

書誌第1005號

簡易水路誌

臺灣南西諸島

南西諸島

大東島 尖頭諸嶼

臺灣及附近島嶼 新南群島

昭和22年8月刊行

水路部





107 800



Faint, illegible text impressions on the left page, possibly bleed-through from the reverse side.



書誌第 1005 號



臺灣南西諸島

南 西 諸 島

大 東 島 尖 頭 諸 嶼

臺灣及附近島嶼 新南群島

昭和 22 年 8 月 刊 行

發行所寄附本



水 路 部

木
107

序

本誌ハ昭和 16 年 3 月刊行ノ臺灣南西諸島沿岸水路誌ノ記事ヲ抄記セ
ルモノナリ、但シ終戦ニヨリ本誌記事ト相違セル箇所アルベキヲ以テ
注意ヲ要ス。

本誌ノ誤謬又ハ改補資料ハ速ニ當部ヘ通報アラシムコトヲ希望ス。

昭和 22 年 8 月

水路部長 須田 皖次



臺灣南西諸島沿岸水路誌



臺灣南西諸島沿岸水路誌

凡 例

1. 方位ハ主トシテ眞方位ヲ用ヒ、眞北ヲ0度トシ右廻リニ360度ニ至ル、又磁針方位ヲ用フル場合ニハ點若ハ度ニ依ル。
2. 風、「ウネリ」ハ其ノ進ミ來ル方位ヲ、海流及潮流ハ其ノ流レ去ル方位ヲ示ス。
3. 燈光ノ方位ハ海方ヨリ燈光ニ向ヒテ取ル。
4. 四方點及四隅點ノ方位ニ「偏」ノ字ヲ冠シ、其ノ方位ノ左右2點以內ニ方ルモノヲ汎稱ス。
5. 「乃至」又ハ「至」ヲ以テ連記スベキ場合「一」ヲ用フルコトアリ。
6. 河川又ハ海峽ニ於テ左舷側、右舷側ト稱スルハ河口ヨリ水源ニ向ヒ廻ル船ヨリ見タル左右ヲ稱ス、又河川ノ左岸、右岸ト謂フハ水源ヨリ河口ニ向ヒ左右ヲ稱スルモノトス。
7. 水深ハ基本水準面下ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
8. 高サハ平均水面上ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
9. 氣壓及降水量ハ耗、積雪量ハ糶、濕度ハ百分比、溫度ハ攝氏ノ度ニテ示ス。
10. 風力ハ0ヨリ12ニ至ル「ビューフォート」式ニ依リ、風速ハ毎秒米ニテ示ス。
11. 地名ト併記セル經緯度ハ通例概位ヲ示ス。
12. 地名ニ()ヲ附セルハ舊名稱又ハ讀ミ方ヲ、[]ヲ附セルハ別名稱ヲ、{ }ヲ附セルハ説明ニ用ヒタルモノナルコトヲ示ス。

目 次

	頁		頁
第1編 南西諸島總記 ...	1	潮 汐...	13
氣 象...	1	潮 流...	14
氣壓配置...	1	海 流...	14
天 候...	2	臺灣東岸...	14
低氣壓...	2	臺灣海峽...	15
潮 汐...	3	無線電信電話...	15
潮 流...	4	標準時...	15
海 流...	4	法規關係...	15
南西諸島ノ北西側...	4	檢 疫...	15
南西諸島各島間...	6	第3編 南西諸島北部 ...	17
南西諸島ノ南東側...	6	土噶喇海峽...	17
無線電信電話...	6	海 流...	17
標準時...	7	土噶喇群島...	18
第2編 臺灣總記 ...	9	氣 象...	18
地 誌...	9	海流及潮流...	18
地 勢...	9	口之島...	19
氣 象...	10	口之島水道...	20
風 候...	10	中ノ島...	20
低氣壓...	11	中ノ島水道...	21
南支那海ノ氣象...	11	臥蛇島...	21

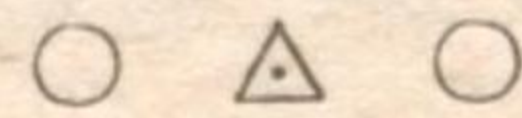
	頁		頁
平島	22	德之島	40
諏訪瀬島	22	鳥島	43
諏訪瀬水道	23	沖永良部島及與論島	43
惡石島	23	沖永良部島	43
寶島	24	與論島	44
奄美群島	26	第4編 南西諸島南部及	
氣象	26	大東島	47
奄美大島北西岸	26	沖繩群島	47
笠利灣	27	伊平屋列島	47
名瀬港	29	伊平屋島	47
燒内灣	32	野甫島	48
大島海峽	33	具志川島	49
潮流	33	伊是名島	49
奄美大島南東岸及喜界島	35	屋奈葉島	50
奄美大島南東岸	35	沖繩島北西岸及伊江島	50
喜界島	36	伊江島	52
加計呂麻島、請島及		那霸港	53
與路島	37	沖繩島南東岸	57
加計呂麻島	37	潮流	58
請島水道	38	中城灣	58
請島	38	金武灣	59
與路島水道	39	慶良間列島	62
與路島	39	潮流	63
德之島及鳥島	40	前島	63

	頁		頁
渡嘉敷島	63	伊良部島	72
慶良間海峽	63	來間島	73
座間味島	64	宮古島	73
阿嘉島	65	平良港	73
慶留間島	65	水納島	75
外地島	65	多良間島	75
屋嘉比島	65	八重山列島	75
久場島	66	風土病	76
粟國島、渡名喜島及		石垣島	76
久米島	66	石垣泊地	77
粟國島	66	竹富島	78
渡名喜島	66	小濱島	78
久米島	67	小濱航門	78
鳥島	68	黑島	79
大東島	68	新城島	79
北大東島	68	鳩間島	79
南北大東島間ノ水道	69	鳩間水道	79
南大東島	69	西表島	79
沖大東島〔ラサ島〕	70	波照間島	82
先島群島	71	仲ノ神島	82
氣象	71	與那國島	82
潮流	71	赤尾嶼及尖頭諸嶼	82
宮古列島	71	氣象	83
池間島	72	赤尾嶼	83

	頁		頁
尖頭諸嶼	83	潮流	107
海流	83	通霄溪口至新虎尾溪口	108
黃尾嶼	83	潮流	109
北小島及南小島	84	澎湖水道	111
魚釣島	85	潮流及海流	111
第5編 臺灣北岸	87	海水ノ變色	112
臺灣北東端沖合ノ離嶼	87	航法	112
花瓶嶼	87	澎湖水道東濱〔新虎尾溪口	
棉花嶼	87	至曾文溪口〕	112
彭佳嶼	88	潮汐	112
三貂角至富貴角	88	潮流	112
潮汐	89	航法	112
潮流	89	海口泊地	113
基隆港	91	布袋泊地	116
富貴角至白沙岬	97	澎湖列島及臺灣堆	118
潮汐	98	潮汐	119
潮流	98	潮流	119
淡水港	98	海流	119
第6編 臺灣西岸及		澎湖列島北部島群	120
澎湖列島	105	北東側嶼礁	120
白沙岬至新虎尾溪口	105	馬公港	124
潮汐	106	漁翁島	125
潮流	106	白沙島	126
白沙岬至通霄溪口	106	澎湖島	127

	頁		頁
八罩水道	128	潮流	154
澎湖列島南部島群	128	呂宋海峽及紅頭嶼	154
潮流	129	呂宋海峽	154
八罩列島	129	海流	154
頭巾水道	131	紅頭嶼	155
礁列島	131	小紅頭嶼	157
東側嶼礁	132	鶯鑾鼻至奇萊鼻	157
南西側嶼礁	132	鶯鑾鼻至ケラン鼻	157
臺灣堆	133	臺東港	158
激湍及海流	134	火燒島	159
曾文溪口至鶯鑾鼻	134	ケラン鼻至奇萊鼻	161
潮汐	134	花蓮港	163
潮流	134	奇萊鼻至三貂角	165
曾文溪口至壽山	135	奇萊鼻至蘇澳港北角	165
安平港	135	蘇澳港	166
壽山至率芒溪口	139	蘇澳港北角至三貂角	169
高雄港	139	龜山島	170
東港泊地	143	第8編 新南群島	171
琉球嶼	144	險惡地圈外	171
率芒溪口至鶯鑾鼻	146	險惡地圈外北西部	171
海口灣	147	北險礁	171
南灣	149	三叉礁	172
第7編 臺灣東岸	153	千津礁	172
潮汐	153	鳩礁	173

	頁	次
千里堆	173	第 2 那霸氣象表
險惡地圏外南西部	174	第 3 石垣島氣象表
鐵 礁	175	第 4 臺北氣象表
險惡地圏外南東部	176	第 5 臺中氣象表
險惡地圏内	176	第 6 恒春氣象表
<hr/>		第 7 臺東氣象表
<hr/>		第 8 花蓮港氣象表
附表		尋米、米尋、呎米換算表
氣象表凡例		
第 1 名瀨氣象表		



臺灣南西諸島

第 1 編

南西諸島總記



本誌ハ南西諸島ト臺灣トニ關シテ記述ス。

本編ニハ南西諸島（大東島及尖頭諸嶼ヲ加フ）及之ヲ包括スル海區ニ關スル一般記事ヲ收録ス。南西諸島ハ5群島ヨリ成ル、大隅群島、土噶喇群島、奄美群島、沖繩群島及先島群島即チ是ナリ。

註 大隅群島ニ關シテハ簡易水路誌九州沿岸ニ記述ス。

列島内各島ノ記事ハ土噶喇海峽ニ始リテ順次南方ニ及ボシ、各島内ハ概ネ其ノ北端ヲ起點トシ時計ノ針ト反對ノ方向ニ北西岸、南東岸ノ順序ニ記載ス。

氣 象（日本近海ノ氣象海流圖參照）

南西諸島ハ略北緯 24 度—31 度間ノ海洋上ニ點在シ、附近ニハ黑潮ノ優勢ナル暖流アリテ氣候一般ニ海洋性ニ富ミ至ツテ凌ギ易シ、氣温年平均北部ニ於テ約 22 度ナリ、冬季 2 月ト雖モ 14 度ヲ下ラズ、夏季 7 月、8 月ノ頃モ平均 28 度前後ニシテ寒暑ノ差少シ。

氣壓配置

南西諸島ハ東海ヲ隔テテ支那大陸ニ近ク位置スルヲ以テ「アジア」大陸沿岸ニ流行スル季節風ノ現象極メテ顯著ナリ、即チ 9 月末頃ヨリ支那大陸ニ高氣壓發達スルヤ北—北東ノ風吹き始メ

11月至翌年2月間最モ良ク定吹シ且風力モ強ク其ノ平均5—6或ハ其以上ナリ、5月至8月ハ支那大陸ニ低壓部アリ、北太平洋高氣壓ハ漸次其ノ西方ニ擴延シ來リ南西諸島東方洋上ニ近ク迫ルヲ以テ東—南ノ風流行ス、7月及8月ハ南東風最モ多ク平均風力3—4ナリ、但シ此ノ夏季ノ季節風ハ風力强カラズ又靜穩ナルコト多シ。3月、4月頃及9月頃ハ季節風ノ交替期ナルヲ以テ一般ニ風力弱ク風向不定ナルコト多シ。

冬季低氣壓通過後ハ大陸高氣壓著シク發達シ、氣壓ノ上昇ト共ニ偏北風ノ吹出シ猛烈ナルヲ以テ特ニ注意ヲ要ス。

天候 11月ヨリ翌年4月頃迄ハ曇天又ハ雨天多ク7月至9月ハ天氣良シ又12月、1月及2月冬季ノ氣壓配置固定スルトキハ洋上一般ニ風ハ強キモ天氣晴朗ナリ、但シ冬季ハ颱風ノ襲來頻繁ナルヲ以テ全體トシテハ快晴ナル日數少シ又本諸島附近ガ冬季支那大陸ノ高氣壓ノ東縁ヲ成ストキハ其ノ縁邊附近ハ一帶ニ天氣不良ニシテ殊ニ外縁ノ東側又ハ南側ニ低壓部滯留スルコトアリ、斯カル場合ニハ本諸島附近ハ連日風雨又ハ濛氣アリテ視界大ナラズ。

一般ニ南西諸島附近ハ恰モ日本海ニ於ケル裏日本沿岸ニ似タル處アリテ島嶼附近ニハ地形性降雨多キガ如シ、故ニ本諸島ノ東側沖合ニ在リテハ一般ニ西側ニ比シ天氣良好ナル傾向アリ。

霧ハ冬季節ヲ通ジ稀ナルモ冬季西側洋上ニ於テ濛氣多シ、2月ニ最モ然リ。

梅雨ノ時節ハ内地附近ヨリ稍早ク奄美大島附近ニテハ5月下旬ヨリ始リ6月下旬ニ終ルヲ例トス。

低氣壓 南西諸島附近ハ冬季ハ大陸颱風、夏季ハ颱風ノ去來頻

繁ニシテ毎年1—2回猛烈ナル暴風ニ見舞ハルヲ例トス。

颱風 冬季ヨリ春季ニ互リ南西諸島ニ襲來スル颱風ハ主トシテ揚子江流域以南ノ支那大陸又ハ東海洋上ニ發生シ偏東ノ進路ヲ採リ、多クハ東海ニ出デテ勢力ヲ増シ南西諸島ニ沿ヒテ北東進スルカ又ハ東進シテ本諸島ヲ横ギリ九州及本洲方面ニ向フ、颱風通路ノ大部分ハ本諸島ノ北半部ニ偏スルヲ以テ颱風東海ニ出ヅルトキハ本諸島ノ南半部ニ於テハ偏南風ト爲ルモ風力ハ中心ニ近キ區域ノ他ハ左程大ナラズ、寧ロ低氣壓東ニ去ルヤ支那大陸高氣壓發達ノ爲ニ吹出ス偏北風ハ氣壓上昇ト共ニ益猛烈ト爲ルヲ以テ注意ヲ要ス、颱風ノ進行速度ハ一般ニ15—25ノモ冬ニ平均25ノモ以上ノモノ多シ。

颱風 颱風ハ11月至翌年6月頃迄ハ至ツテ少ク7月至10月ニハ來襲頻繁ナリ、夏季ノ颱風ハ南洋方面ニ發生シ西乃至北西ニ進ミ南西諸島附近ニテ北—北東ニ轉向スルモノ最モ多キモ、時ニ本諸島ヲ南東ヨリ北西ニ横ギルモノアリ、南西ヨリ本諸島ニ沿ヒテ北東進スルモノアリ又北乃至北西ニ進ミ本諸島ニ近ヅキ附近洋上ニ滯留シテ後北東乃至北ニ轉向スルモノアル等一樣ナラザルヲ以テ其ノ時ノ氣壓配置等ニ關シ十分ノ注意ヲ要ス、颱風ハ颱風ニ比シ其ノ徑小ナルヲ常トスルモ中心通路附近ハ風雨猛烈ナリ。

潮 汐

南西諸島ニ於テハ全區域ニ互リ潮汐略同様ナリ、平均高潮間隙ハ6時12分至7時32分、大潮升ハ1.6—2.2米ニシテ概シテ北部ニ於テハ大ナルモ南スルニ從ヒテ減少ス。

一般ニ潮汐ノ性質トシテ太陰ガ赤道附近ニ在ルトキ即チ春秋ニハ朔望ノ頃、夏冬ニハ兩弦ノ頃ニハ日潮不等ハ著シカラズシテ1日ニ2回ノ

略規則正シキ高低ヲナセドモ、太陰ガ赤道ヲ隔ツルニ從ヒテ次第ニ不等ヲ増シ最北又ハ最南ニ在ル頃即チ春秋ニハ兩弦ノ頃、夏冬ニハ朔望ノ頃ニ日潮不等ハ最モ顯著ナリ、此ノ地方ニ於テハ日潮不等アレドモ顯著ナラズ1日1回潮ト爲ルコト稀ナリ。相次グ2高潮ノ高サノ差ハ0.3米以上ニ達スルコト稀ナルモ相次グ2低潮ノ高サノ差ハ0.9米ニ達スルコトアリ、而シテ高キ高潮ノ次ニ低キ低潮ト爲ル又此ノ低キ低潮ハ春季ニハ午後ニ、夏季ニハ晝間ニ、秋季ニハ午前ニ、冬季ニハ夜間ニ起ルヲ常トス。平均水面ハ2月最低、7月最高ニシテ其ノ差約0.4米ニ達ス。

潮 流

南西諸島ニ於ケル潮流ハ甚ダ複雑ニシテ且不規則ナリ、種子島附近ニ於テハ一般ニ西方及東方ニ流レ、西流ハ低潮後0—1.5時ヨリ高潮後0—1.5時迄、東流ハ高潮後0—1.5時ヨリ低潮後0—1.5時迄流ルレドモ海流ノ影響ヲ受ケ海水ノ流動ハ不規則ナリ、種子島附近ヲ除ク外ハ一般ニ諸島間ヲ北西方及南東方ニ流レ、海流ノ影響ヲ受ケザル處ニ於テハ北西流ハ低潮後1.5—3時ヨリ高潮後1.5—3時迄、南東流ハ高潮後1.5—3時ヨリ低潮後1.5—3時迄流レ、狹水道ニ於テハ流勢強烈ナリ。

海 流 (日本近海ノ氣象海流圖參照)

南西諸島附近ハ總テ黑潮ノ流域ニ屬ス。

南西諸島ノ北西側 黑潮本流ハ南西諸島ノ大部分ニ互リ其ノ北西側ヲ流走ス。

夏季 南西諸島ノ北西側ニ於テハ黑潮本流ノ北西界ハ略東海200米等深線ト一致シ、其ノ流幅50—60哩ニシテ流向ハ略南西諸島ノ島

列ト竝行ス、流帶中軸ノ流速ハ2—3節ニシテ北界及南界ニ於テ1節内外ナリ。尙之ヲ部分的ニ記スレバ次ノ如シ。

魚釣島ノ南東線

流幅約60哩、流向ハ北東ニシテ、其ノ流速ハ魚釣島ヨリ其ノ南東40哩ニ於テハ2—2.5節、其ヨリ次第ニ減少シ60哩ノ地點ニ於テハ1節以下ナリ、此ノ海流ノ中軸ハ赤尾嶼ヲ洗ヒ北東ニ進ム。

久米島ノ北西線

流幅約60哩ニシテ其ノ流向ハ北東ヨリモ稍北ニ偏ス、中軸ハ久米島ノ北西45哩附近ニ在リテ流速3節ヲ示シ、其ノ西側ニ至ルニ從ヒ流速次第ニ減ジ1節内外ト爲ル。

横當島ノ北西線

横當島ノ北西20哩ノ地點ヨリ約60哩ノ幅ヲ有シ、同島ノ北西40—50哩附近流速最モ大ニシテ略2.5節ナリ、其ノ兩側ハ流速次第ニ減ジ1節内外ト爲ル、此ノ附近ヨリ流向稍東偏シ北側ノ一部ハ大隅海峡ニ向ヒ、其ノ他ノ一部ハ漸次東偏シテ奄美大島ト屋久島トノ間ニ向フ。

横當島至奄美大島間

殆ド海流ヲ認メズ、奄美大島ノ西方ニハ小渦流存スルモノノ如シ。奄美大島ノ北西方附近ヨリ北方ヘ支流(對馬海流)ヲ分派ス。

大隅海峡

1—2.5節ノ東流アルヲ例トシ、中央部最モ強ク北側ニ於テハ微弱ナル反流ニ會スルコト多シ、大隅海峡附近ニ於ケル海流ハ氣壓配置其ノ他ニ因リ屢變調スルコトアリ、詳細ハ九州沿岸水路誌第8編ヲ見ルベシ。

冬季 南西諸島北西側ニ於ケル海流ハ夏季ト大差ナク、大隅海峡

附近ニテハ夏季ニ比シ流勢大ナルガ如シ。

南西諸島各島間 八重山列島ヨリ奄美大島ニ至ル各島間ニ於テハ著シキ海流ノ存在ヲ認メズ、但シ興那國島石垣島間ニハ概ネ1—1.5節ノ北東流アリ、然レドモ之トテモ潮流ノ影響ヲ受ケ又時トシテハ海流ヲ見ザルコトアリ。奄美大島北東方ノ「サンドン」岩ト屋久島トノ間ニハ1—2節ノ南東流アリ、此ノ海面ニ於ケル經驗者ノ言ニ從ヘバ、通常此ノ海面ノ初航者ガ陥ル失敗ハ屋久島海峽ヨリ奄美大島ニ向フニ當リテハ常ニ東壓セラレテ喜界島端ヲ奄美大島笠利崎ト誤信シ又南方ヨリ屋久島海峽ニ入ルニ當リテハ東壓セラレテ夜間ナラバ屋久島燈臺ノ光ヲ認ムル能ハズ、霧ガカリタル日ナルニ於テハ種子島ヲ屋久島ト誤認スルコトアリト謂フ。

南西諸島ノ南東側 之ヲ北西側ニ比スルニ北部ノ外ハ海流ノ確然タル狀況ヲ認メズ。

夏季 宮古島ヨリ沖繩島ニ至ル沖合ニ於テハ著シキ海流ナキガ如シ。奄美大島屋久島間ヲ通過シタル海流ノ一部ハ喜界島附近ヨリ南西ニ向ヒ沖繩島沖合ニ達スルモノノ如ク、「サンドン」岩ノ南方ニハ通例海流ヲ認メズ。

大東島方面ニ於テハ南大東島ノ北ニ方約1節ノ西流アリ又南大東島沖大東島間ニテハ南西ニ向フ海流アルモノノ如シ。

冬季 夏季ト大差ナキガ如キモ年ニ依ル或ハ季節ニ依ル變化等ニ就テハ尙未ダ明ナラズ、航海者ハ此等ノ點ニ就キ注意ヲ要ス。

無線電信電話

無線電信及無線電話ニ關スル參考事項ニ就テハ水路誌附録第6卷及第8卷ヲ見ルベク氣象通報及關係諸規程ニ關シテハ水路誌附録第7卷ヲ

見ルベシ。

標準時

標準時ハ南西諸島ニ於テハ從來中央標準時（東經135度ノ子午線ニ於ケル平時即チ綠威平時ヨリ早キコト9時0分0秒）ヲ使用シ、宮古列島及八重山列島ノミハ臺灣ト共ニ西部標準時（綠威平時ヨリ早キコト8時0分0秒）ヲ用ヒ來リシガ、昭和12年10月1日以降一律ニ中央標準時ヲ使用スルコトナレリ。

第 2 編

臺 灣 總 記

地 誌

地勢 本島ハ「ニューギネア」ニ起リ北方千島列島ニ至ル火山脈ノ1連鎖中ノ一部ニシテ、水深概ネ100米ヨリ浅キ大陸棚ニ依リテ支那大陸ニ連リ島ノ東側ハ直ニ深海ニ臨ム。

山脈 本島ノ中央ヲ南北ニ連互セル山脈ハ東西ノ分水嶺ヲ成ス、所謂中央山脈是ナリ、中央山脈ノ西側ニ分岐竝走スル次高、水社、新高等ノ諸山脈アリ、其ノ西方ニ尙1列ノ山脈アリテ南北ニ縦走ス、之ヲ蕃界嶺トス又東部海岸ニハ海岸山脈アリ、北端ニハ大屯火山彙アリ。

島岸 中央山脈ノ東方ハ多山地方ニシテ東岸ノ險崖ハ其ノ高度ニ於テ世界無比ト稱セラレ高サ約1,800米ノ絶壁ヲ成セル處アリ。又中央山脈ノ西方ハ段丘ヲ成シテ島ノ西側ヲ成セル平原ニ下降ス、此ノ平原ハ南北ニ連レル廣キ沖積平野ニシテ處々河流ニ貫カレ海岸ニ至リ沙堆及泥嘴ニ盡ク。本島西側ノ最モ顯著ナル現象ハ陸地ノ海方ニ増延スルノ迅速ナルコト是ナリ、其ノ1例ハ安平港ノ英國領事館ノ位置ハ以前支那型船ノ碇泊セル處ナリシコトハ今尙人ノ記憶スル處ナリ。

河川 河川ハ水源何レモ近ク上流及中流ハ其ノ兩岸懸崖絶壁ニシ

テ屈曲甚シ、且地勢ノ急峻ニ伴ヒ其ノ水流急ニシテ舟楫ノ便渺シ、而モ下流ニ至ルヤ河幅徒ニ大ヲ成シ支流多ク灌溉ニ便ナルモ雨季ニハ氾濫シテ被害少カラズ又海邊ニ廣漠タル沙堆ヲ造成スルニ至ル、其ノ主ナルモノヲ濁水溪、下淡水溪、淡水河、卑南大溪等トシ就中濁水溪ヲ最大河、下淡水溪ヲ本島第 2 ノ大河トス。

湖沼 湖沼ハ西岸附近ニ發達セル瀉ノ外僅ニ本島中央部海拔約 730 米ノ高地ニ在ル日月潭ヲ擧ゲ得ルニ過ギズ。

氣象 (日本近海ノ氣象海流圖參照)

臺灣ニ於テハ 1 年ヲ分チテ夏冬ノ 2 季トス、冬季ハ氣候溫和ニシテ北部ニハ稀ニ結霜アルモ降雪ハ高山ニ限ラル、北東信風連吹スル冬季ニハ北部ハ多雨陰鬱ノ天氣連日續キ北側及北東側海面一帯ニ濛氣深キコト往々アリ、之ニ反シ南部ハ天氣晴朗ニシテ降雨亦少シ。夏季ハ暑氣内地ト多ク異ラズ唯其ノ期間ノ甚ダ長キヲ異ニスルノミ、而シテ天氣一般ニ平穩ナリ、夏季ニハ南部地方雨季ニ屬スト雖モ北部ニ於ケル冬季ノ雨季ノ如キモノニ非ズ、即チ北部冬季ノ雨季ニ於ケル地形性降雨(降雨時間 1 日中殆ド各時間均一ニ分布ス)ト異リ夏季南部ニ於テハ雷雨性降雨或ハ颱風ノ通過ニ際シ盆ヲ覆スガ如キ降雨アリ。氣温ノ平均ハ北部ニ於テ 22 度、南部ニ於テ 24 度ナリ、氣温最低ノ現ハルルハ北部地方ナレドモ冬季 2 月ニ於テモ 14 度ヲ下ラズ、夏季 7 月、8 月ノ頃ハ氣温全島殆ド變リナク平均 28 度近クナリ。

風候 冬季大陸ノ高壓部ヨリ吹出ス北東信風ハ 10 月初頃ニ始リ、高氣壓發達スルニ從ヒ風力益加ハリ近海一般ニ高浪ヲ起シ 11 月至翌年 2 月間最モ甚シク、殊ニ臺灣海峽ニ於ケル冬季ノ北東強風ハ顯著ナルモ 3 月末ニ至レバ止ム、但シ時々靜穩ナルコトアリ又枋寮沖附近ハ

海峽一般ニ北東風強キトキト雖モ比較的靜穩ナルコト多シ。夏季ノ信風ハ 5 月初頃ニ始リ 8 月末迄吹續スレドモ風力大ナラズ、特ニ 4 月至 6 月ノ 3 箇月ハ近海最モ風浪穩ナル時期ナレドモ 7 月至 9 月ハ颱風ノ來襲スルコト多ク時ニ強風ヲ見ルコトアリ。

低氣壓 臺灣附近ヲ襲フ低氣壓ハ殆ド總テ颱風ナリ、明治 30 年ヨリ大正 5 年ニ至ル 20 年間ノ夏季ニ於テ本島ニ多少ノ損害ヲ與ヘタル颱風ハ實ニ 37 回ニ達ス、之ヲ月別ニ示セバ次ノ如シ。

月 別	6	7	8	9	10	計
回 數	3	7	17	8	2	37
百分比	8	19	46	22	5	100

6 月至 10 月以外ノ月ニ颱風ノ來襲スルコトアルモ極メテ稀ニシテ 7 月至 9 月最モ多シ、颱風ノ通路ハ本島ノ南北兩側ヲ西ニ通過スルモノ、東側ヲ北上スルモノ或ハ本島ヲ東ヨリ西ニ横斷スルモノアリ、中心附近ハ勢力猛烈ナリ、但シ本島ノ山脈ヲ越エテ西側ニ出ヅレバ一般ニ勢力衰フルヲ常トス。

本島附近ニ於ケル颱風中心ノ進行速度ハ一般ニ遅キヲ常トシ 6—13 哩ナルモノ多シ、從ツテ颱風ノ來襲ヲ受クルヤ局地ニ於ケル通過時間比較的長ク被害亦大ナリ。

南支那海ノ氣象 南支那海ニ於ケル氣象ノ一般ヲ茲ニ特記ス。

氣候ノ概況 南支那海ノ氣候ハ西方「アジア」大陸ト東方太平洋トニ接スルヲ以テ其ノ影響ヲ蒙ルコト甚ダ大ナリ、即チ 10 月至翌年 3 月間ノ冬分ニハ「アジア」大陸ハ甚ダ寒冷ニシテ大氣ノ密度増加シ

テ氣壓上昇シ爲ニ固定シタル大高壓部ヲ形成ス、然ルニ夏季ニ於テハ其ノ狀態之ニ相反シ大陸ハ甚ダ暑ク比較的的低壓地方ト爲ル。南支那海全部ノ氣候ハ雨季中蒸暑クシテ濕潤ナリ、然レドモ北東信風季中ハ比較的乾燥ニシテ冷涼ナル健康季節トス。

風候 信風ノ方向竝ニ其ノ季節的變化ハ上記ノ氣壓配置ノ變換ト相關聯ス又其ノ風向ハ一般ニ高低氣壓部周圍ニ於ケル風向ニ一致ス。北東信風及南西信風ハ概ネ全海面ニ流行ス。北東信風ハ10月ヨリ定吹シ、3月迄吹續キ、12月及翌年1月ニ於テ最強ト爲ル。4月ハ信風ノ變換ニ先チ北東—南東ノ間ヨリ強風及不定風來ル。5月中ニ南西信風ハ「アジア」沿岸ニ始リ、6月ニ至レバ可ナリ全海面ニ定吹シ、7月、8月連吹シ、9月ト爲リテ衰フ。

信風ニ關シ更ニ詳述スレバ次ノ如シ。

北東信風 南支那海ノ北部ニ於テハ北東信風ハ略9月下旬若ハ10月上旬ニ始ルヲ常トス、然レドモ時ニ依リ早ク8月末頃ヨリ吹き始ムルコトアリ、10月ニ至レバ南支那海ノ北部ニ於テハ疾風ノ力ニ達ス、但シ Luzon Island 西岸ハ例外ニシテ信風弱ク無風ト南西方ヨリノ驟雨トヲ伴フ。南支那海ノ南部ニ於テハ北東信風ハ11月ニ至ル迄ハ殆ド定吹スルコトナク、10月ノ大部ハ偏南輕風若ハ軟風流行ス。

信風ハ時ニ依リ豫兆ナクシテ吹來スルコトアレドモ概ネ強風程度ヲ以テ始リ、10—12日間猛吹スルコト屢アリ。

一般ニ11月中ハ北東信風流行スレドモ12月及翌年1月ニ至レバ風力増大シテ一層定吹シ、天氣ハ此ノ兩月中曇リ勝ニシテ降雨モ多ク且波浪高シ、北緯10度所在ノ Pulo Sapatu 以南ハ特ニ然リトス、然レドモ其ノ間晴天ノ斷續スルコトモアリ、南支那海ノ東部ニ於テハ12月

下旬迄不定風及無風ノコト多シ。2月ニ於テハ概ネ強キ偏北東風吹キ天氣定マラズ、靜穩ナル天氣ハ稀ナリ。3月中ハ風力和ギテ天氣定マリ Luzon Island 島岸ヲ除クノ外南支那海ニ面スル海岸全部ニ互リ主トシテ海陸風ヲ感ズ。

南西信風 南支那海ニ於テ南西信風ハ概ネ4月ノ第3週中ニ始リ、10月上旬若ハ中旬迄續クヲ例トス、但シ2週間前後ノ遲速アリ。5月中南西信風ハ「アジア」沿岸地方ノ全部ニ定吹ス、但シ洋中ノ風ハ屢輕風ニシテ或程度迄方向不定ナリ、然レドモ其ノ主ナル風位ハ偏東若ハ偏南東ナリ。

南西信風ハ6月、7月及8月最強ニシテ南支那海全部ニ吹キ渡リ中絶スルコト稀ナリ、氣候ノ推移ニ從ヒ風ハ南南西—南南東ノ間ニ變轉スル傾アリ、且此ノ3箇月間ハ南支那海到ル處降雨多ク又曇天多シ。9月ニ入レバ南西信風ハ弱リ不定ノ輕風ト爲ル、然レドモ時々諸方向ヨリ強風來リ時ニ猛烈ヲ極ムルコトアリ。南支那海北部ニ於テハ南西信風ハ概シテ9月初週頃ニ終ルモ、北緯11度以南ニ於テハ比較的長ク吹續ス。

氣溫 南支那海南部ノ平均氣溫ハ26.7度ヲ超ユ、氣溫ハ北緯度ノ加ハルニ從ヒテ減ジ同海北部ニ於テハ約23.9度ト爲ル。概シテ緯度ノ高マルニ從ヒ1年中ノ氣溫ノ差ハ大ナリ。

潮 汐

臺灣北岸東部ハ第5編第89頁、同北岸西部ハ同編第98頁、臺灣西岸北部ハ第6編第106頁及第112頁、同西岸南部ハ同編第134頁、澎湖列島ハ同編第119頁、臺灣東岸ハ第7編第153頁ニ就テ各之ヲ見ルベシ。

潮 流

各島岸 = 於ケル潮流ノ一般ハ上掲潮汐ノ部 = 於ケル各頁ノ潮汐ノ項ノ次 = 記載シアルヲ以テ之ヲ見ルベシ。

海 流 (日本近海ノ氣象海流圖参照)

臺灣附近ハ總テ黑潮ノ流域 = 屬シ南西諸島附近 = 於ケル海流ノ上流ヲ成ス。

臺灣東岸 黑潮本流ノ著シキ流ヲ示スハ臺灣東岸ニシテ、東岸沖合 = 於テ略海岸ト並行 = 北流ス。

夏季 鶯鑾鼻至紅頭嶼間北緯 22 度線上 = 於ケル黑潮ノ幅ハ東經 121 度 10 分ヲ中心トシ約 25 浬 (流速約 3 節ノ流幅約 15 浬) = シテ、其ノ外側 = テハ著シク其ノ流速ヲ減ジ、紅頭嶼ノ附近 = 於テ約 1 節、臺灣東岸ヲ距ル約 7 浬ノ地點 = 於テ 0.5 節ヲ示ス、其ノ流向ハ北々東 = シテ北向スル = 從ヒ稍其ノ流速ヲ減ズルモノノ如シ。紅頭嶼ノ東方沖合 = ハ顯著ナル 1 流帶アリ、即チ同嶼ノ東方 20 浬ノ地點ヨリ其ノ東へ 30 浬ノ幅ヲ以テ 1—2 節ノ北東流アリ、此ノ流レハ北方 = 進ム = 從ヒ其ノ流幅擴大シ流速著シク減ジ宮古列島ノ南方ヲ偏東 = 流ル。

黑潮本流北緯 23 度線上 = 至レバ流軸ハ距岸約 20 浬 = 存シ、流速 2 節弱ノ流幅約 25 浬 (23 度ノ緯線上距岸 5 浬附近 1.5 節、距岸 25 浬附近 2 節、距岸 40 浬附近約 0.5 節) 其ノ方向ハ北北東方ナリ。

蘇澳港ト與那國島トノ間 = 於テハ蘇澳港沖合約 20 浬ヨリ幅約 30 浬、流向北北東—北東、其ノ流速 2 節内外ノ流帶顯著ナリ。

上記ノ黑潮本流流帶ノ兩側 = テハ流速著シク減少シ、臺灣東岸 = 近寄レバ反流ヲ見ル處アリ、即チ花蓮港蘇澳港間 = 於テ距岸 5 浬以内 = ハ偏南西ノ反流アリ又鶯鑾鼻臺東港間 = 於テモ反流ヲ見ルヲ普通トス。

冬季 臺灣東岸沖合 = 於ケル黑潮ハ夏季ト大差ナク其ノ流速夏季 = 比シ稍大ナルガ如シ、經驗アル船長ノ報告 = 依レバ北東信風連吹中 = 流速 = 大ナル變化ナク風力 8 以上 = 達スルモ尙 1 節以上ノ海流ヲ感ズト謂フ。紅頭嶼東方ヨリ宮古列島南東方沖合 = 至ル海面 = ハ夏季 = 於ケルガ如キ著シキ海流ナキガ如シ。

臺灣海峽 南西信風季中海流ハ海峽ノ方向 = 從ヒ北流ス、其ノ流速概ネ 1 節内外ナルモ澎湖水道ヨリ臺灣西岸 = 沿フ海面 = テハ往々 2 節ヲ超ユルコトアリ。北東信風季中支那沿岸航路上 = 於テハ略海岸 = 並行 = 約 1 節ノ南流アルヲ常トスレドモ、臺灣西岸 = 沿フテハ依然北流アルヲ常トス。一般 = 臺灣海峽 = 於ケル海流ハ著シク潮流ノ影響ヲ受ク。

無線電信電話

無線電信及無線電話 = 關スル參考事項 = 就テハ水路誌附録第 6 卷及第 8 卷ヲ見ルベク、氣象通報及關係法規 = 關シテハ水路誌附録第 7 卷ヲ見ルベシ。

標準時

標準時ハ臺灣本島及澎湖列島 = 於テハ南西諸島中ノ宮古列島、八重山列島ト共 = 從來西部標準時 (綠威平時ヨリ早キコト 8 時 0 分 0 秒) ヲ用ヒ來リシガ、昭和 12 年 10 月 1 日以降中央標準時 (東經 135 度ノ子午線 = 於ケル平時即チ綠威平時ヨリ早キコト 9 時 0 分 0 秒) ヲ使用スルコト = 改マレリ。

法規關係

檢疫 臺灣 = 於ケル檢疫施行海港ハ基隆港、淡水港、高雄港及花蓮港港ノトス。

第 3 編

南 西 諸 島 北 部

本編＝ハ南西諸島北部＝於ケル各島ノ記事ヲ収録ス。本誌＝於テハ土噶喇海峽ヨリ與論島＝至ル間ヲ南西諸島北部ト稱ス。

註 大隅群島＝關シテハ簡易水路誌九州沿岸＝記述ス。

土噶喇海峽(トカラ)

大隅群島ト土噶喇群島トノ間ノ海峽ニシテ平瀬ト屋久島南西端トノ間ニ於テ幅約 23 湮アリ、海峽内ハ水深 550 米内外ナレドモ 200 米以下ノ淺所 3 アリ、中ノ曾根、上ノ瀬及平瀬ヨリ北方ニ擴延セルモノ即チ是ナリ、殊ニ上ノ瀬ハ水深案外淺キ疑アルヲ以テ避クルヲ要ス。東海ヨリ九州以東ノ本邦ニ赴ク船舶ハ宜シク此ノ海峽ヲ選ブベシ、大隅海峽ニ比シ概シテ好天氣ニ會スルコト多シ、但シ通峽ノ際屋久島ハ高峻ニシテ好目標ナレドモ山巔ハ雲霧ニ掩ハルルヲ例トス。

海流 西風及西南西風ノ際海流ハ流速 4—5 節ヲ以テ土噶喇海峽ヲ東流スト謂フ。

上ノ瀬(ウワノ) 屋久島ノ西南西方約 20 湮ニ在ル珊瑚礁脈ニシテ周圍ノ 200 米等深圏域ハ南北約 2 湮、東西約 2.5 湮アリ、既測ノ最小水深ハ 53 米ナルモ尙 18 米以下ノ淺所存在スル疑アリト謂フ。天候平穩ノ日ト雖モ上ノ瀬附近ニハ微波アルコト多シ。

土噶喇群島

土噶喇群島ハ口之島、中ノ島、臥蛇島、平島、諏訪瀬島、悪石島及寶島ノ7主島ニ附近ノ小島嶼ヲ併セタル島群ヨリ成リ、北ハ土噶喇海峡ヲ隔テテ大隅群島南部ニ連リ、南ハ約30哩ヲ隔テテ奄美群島北部ニ對ス。此ノ7主島ヲ土噶喇七島〔沖ノ島〕〔七島〕ト通稱ス、往古ハ此等7島ニ黒島、硫黄島及竹島ヲ加ヘ川邊十島ト稱セリ。土噶喇七島附近ノ海面ハ俗ニ七島灘ノ名アリ。

本群島ハ火山系ニ屬シ平島及寶島ヲ除クノ外噴煙シ温泉若ハ舊火孔アリ、山岳急峻ニシテ地勢傾斜多ク大明竹、篠竹及雜樹密生シ耕地少シ。各島ノ島岸ハ著シキ彎曲ナク多クハ高崖若ハ岩壁ニシテ島周ハ珊瑚礁ヲ繞ラシ其ノ外縁ハ水深頗ニ増加スルノミナラズ潮流及海流共ニ強ク船舶ノ錨泊ニ適スル處ナシ。七島灘ニハ深水ノ珊瑚礁脈處々ニ散在スト雖モ口之島北西方ノ芽瀬ヲ除クノ外航行ニ危險ナル離礁ナキモノノ如シ。

氣象 土噶喇群島ニ於テハ夏季南西信風季中ハ概シテ海上平穩ニシテ6月ノ梅雨季ヲ過グレバ天氣漸ク快晴ト爲リ驟雨屢襲來ス、8月中旬頃ヨリ漸次偏北ノ風起リ9月頃ヨリ其ノ力増加シ波浪高マルヲ常トス、而シテ各山嶺ハ雲霧ニ隱蔽セラルルコト多キモ偏北風ハ又能ク之ヲ飛散セシム。

海流及潮流 黒潮本流ニシテ土噶喇群島間ニ流入スルモノハ各島嶼ノ西面ヲ衝キテ南北ニ分岐シ島嶼ノ南北兩端ニ於テ湍潮ヲ起シ、更ニ島嶼ノ南東側附近ニ於テ岐流相合シ南端附近ニ激湍ヲ惹起スルヲ常トスルモノノ如シ、若シ風向潮流ニ反スルトキハ波浪愈高ク小舟ノ航行ヲ危險ナラシム、里俗之ヲ汐枕ト稱ス、嘗テ速力約5節ノ1

發動機船ハ臥蛇島ノ南北兩端ニ於ケル湍潮ヲ逆航スルコト能ハザリシコトアリ。

潮流ハ一般ニ各島岸ニ沿ヒ漲潮流ハ北方若ハ北西方ニ、落潮流ハ南方若ハ南東方ニ走ルガ如シト雖モ海流（此ノ海流ハ七島灘以外ニ於テ影響ヲ受ケ其ノ進來方向及流速等常ニ一定セザルモノノ如シ）ノ爲ニ混亂セシメラルルコト多シ。

前記海流及潮流ノ爲島岸ニ接シ反流ヲ生ズル處多シ。夏季ハ土用波ノ襲來スルコトフリト謂フ。

平瀬 土噶喇群島最北ノ簇岩ニシテ北東—南西ノ方向ニ延ビ長サ約1.5哩、其ノ間大小高低十數箇ノ露岩簇在ス、最高岩ハ南部ニ在リテ高サ28米、其ノ西側ニハ白色岩アリ又北部ニハ高サ15米ノ岩アリ。簇岩間ハ水淺クシテ海流強シ。

口之島 平瀬ノ南西方約7.5哩ニ位シ北部ハ地勢傾斜緩ナリト雖モ南部ハ山岳高峻ニシテ海岸ニ險崖多シ。島周ハ珊瑚礁波ヲ繞ラシ數箇ノ離岩アリ、北方ノ一部ヲ除ク外舟艇ヲ達着セシメ得ル處ナシ。島ニハ蝨蟲棲息シ又「マラリア」熱毒潜伏スト謂フ。

平瀬 口之島北端セリイ岬ノ西方距岸約50米ニ在ル高サ8.3米ノ岩嶼ナリ。平瀬ノ南隣ニハ丸瀬ト稱スル高サ6.7米ノ岩アリ。平瀬ノ北西方約1.5哩ニ水深5.9米ノ暗礁アリ。

西之濱 「セリイ」岬半島ノ基部附近西側ニ於テ平瀬及丸瀬ヲ灣口ノ北端トスル二等邊三角形ノ開灣ナリ、灣濱ハ大部分裾礁廣延スルモ灣首ニ1條ノ水路ヲ通ジ小漁船ハ濱汀ニ繫泊陸揚スルコトヲ得、裾礁ノ外側ハ水深8.6—43米ニシテ風向ニ依リ船舶ノ碇泊ニ適ス、蓋シ土噶喇群島中ノ最好錨地ナラン。

灣首ハ沙濱ニシテ假小舎數棟アリ、附近海濱ノ岩間ヨリ湧出スル温泉ハ高潮ニ没ス又海岸ニ流出スル清水ハ飲料ニ適セズト謂フ。

湍潮 口之島東岸南部ノ沖合ニハ湍潮ヲ見ルコト多シ。

前之濱 「セリイ」岬半島ノ東側ニ於テ西之濱ト略腹背ヲ成セル假泊地ナリ、此ノ地ハ西方ヨリ南方ニ至ル間ノ風ヲ遮蔽シ適度ノ水深アレドモ波浪多キヲ例トス。

水垂ノ瀨 (ミタレノ) 「セリイ」岬ノ北北西方約1.5哩ニ在ル水深10.9米ノ珊瑚礁ナリ。

芽瀨 (メ) 「セリイ」岬ノ北西方約4哩ニ位シ最小水深3.2米、礁上ハ水深不齊ナレドモ口之島ニ近寄ルニ從ヒ水深漸ク増加ス。芽瀨ノ近傍ハ海流強ク且湍潮アリ又之ニ接近スレバ海水ノ變色ヲ認メ得ベシ。

口之島水道 口之島ト其ノ南方中ノ島トノ間ノ海峡ナリ、幅約5哩、水深500米内外ニシテ隱險礁ナキモノノ如シ。

海流 口之島水道ニ強海流アリ、東方ニ走り水道ノ處々ニ湍潮ヲ惹起スルコト多シ。

中ノ島 土噶喇群島中ノ最大島ニシテ口之島水道ヲ隔テテ口之島ト相對スル火山島ナリ、其ノ最高峯ハ島ノ北西部ニ位シ**御嶽** (オ)ト稱ス、高サ980米、山容富士山ノ如ク群島中最高峯タリ、山巔及北東側山肩ヨリ硫煙噴出ス。島岸ハ多ク岩壁若ハ高崖ニシテ舟艇ノ達着ニ適スル處尠シ。島ニハ蝨蟲多ク棲息シ其ノ蝨毒甚シ。

鯉埼 中ノ島ノ北西端ヲ成セル岩角ニシテ埼端ニ畸形ノ巨岩アリ。埼ノ東側ニ岩礁障壁ヲ成シ小舟ノ避泊ニ便ナル處アリ、里俗之ヲ白木ノ籠 (シラキノコモリ) ト稱ス。

平瀨 中ノ島南端ノ東方約1.6哩、距岸約5鏈ニ在ル高サ28米ノ岩嶼ニシテ、其ノ北部ハ高ク且矮樹及雜草ヲ生ジ南部ハ裸岩ニシテ漸ク低シ。中ノ島ト平瀨トノ中央ニ尖柱狀岩ヲ有スル1小岩嶼アリ。

セリ岬 中ノ島ノ南東端ニシテ同岬ヨリ北方約7鏈間ノ海岸ハ多ク峻峻ナル岩壁ヲ成シ海面ニ岩礁簇在ス。

中ノ島水道 中ノ島ト其ノ南西方諏訪瀨島トノ間ノ海峡ナリ、幅約11哩、水深600米内外ニシテ隱險礁ナキモノノ如シ。

海流 口之島水道ト同ジク東向ノ海流強ク處々ニ湍潮アリ。

小臥蛇島 中ノ島ノ西方約11哩ニ位スル無人島ニシテ島岸ハ海面ヨリ直立セル險崖ヨリ成リ島頂ハ雜樹疎生ス、島ノ北部ニ近寄ルトキハ硫氣ヲ感ズ。島ノ南端ニ近ク高サ4.6米ノ離岩アリ、其ノ附近ニハ常ニ湍潮ヲ見ル。

雄神瀨 (ヲガミノ) 小臥蛇島ノ北方1哩餘ニ在ル水深4.5米ノ孤立礁ニシテ其ノ周圍ハ海上平穩ノトキト雖モ常ニ湍潮アリ。

臥蛇島 (ガジャ) 小臥蛇島ノ西北西方約3.5哩ニ在リ、島頂(高サ511米)ハ島ノ中央ニ位シ岩石重疊シテ遠望顯著ナリ、島周ハ概ネ斷崖ヨリ成ル。島ノ南端ハ灰色ヲ呈シ高崖岬ヲ成ス。

村落ハ島ノ北側高サ約60米ノ崖上ニ在リ、村落前面險崖ノ間僅ニ磔濱アリ、低潮ノ外ハ小舟ヲ寄スルコトヲ得。

臥蛇島南西側附近及北西側附近ニハ常ニ湍潮アリ。本島附近ハ北東ノ海流強ク航行ニ相當困難ヲ感ズルヲ例トスルヲ以テ視界不良ノ際本島ニ近接スルガ如キ場合ニハ天明ヲ待ツカ或ハ他ノ安全ナル迂回航路ヲ採ルニ如カズ。

臥蛇島燈臺 島ノ北西側山腹ニ在リ、地上高12米ノ白塗圓形「コ

ンクリート」造、燈高204米。

海流 島民ノ言ニ依レバ臥蛇島島岸ヲ洗フ海流ハ北東方或ハ東方ニ流レ日ニ依リ流向一定セズ、又臥蛇島ト小臥蛇島トノ間ニハ西流ヲ見ルコト多シト謂フ。

平島 (タイラ) 臥蛇島ノ南方約12哩ニ在リ、比較的平低ニシテ最高頂(高サ246米)ハ北部ニ偏ス。

南風ノ濱 (ハエノ) 平島南西岸ノ沙濱ニシテ干出礁脈擴延シ、礁上ヲ開鑿シテ1條ノ舟路ヲ通ジ漁舟ノ避難用ニ充ツ。濱ノ北西角附近ニ水深1.3米ノ暗礁アリ。

諏訪瀨島 (スワノセ) 土噶喇群島ニ於ケル第2位ノ大島ニシテ中ノ島水道ヲ隔テテ中ノ島ト相對シ、平島ノ東方約8哩ニ位スル火山島ナリ、島頂ハ御嶽(オン)ト稱シ高サ799米、殆ド島ノ中央ニ位シ燒石及熔岩ヲ以テ蔽ハレ中腹以上ハ草木ヲ生ゼズ、山巔尖銳ナラズシテ其ノ北西部ニ著岩アリ、北東側ハ峻崖ノ豁谷ニシテ噴煙夥シク豁底ヨリ騰上シ山巔ヲ隱蔽スルヲ常トス又著岩ノ南西方約500米ニ舊火孔アリ。北東脈上ニ遠望顯著ナル高サ541米ノ富立岳(トミダチ)アリ。島ノ北部沿岸ニハ雜樹密生シ南部一帯ハ高丘ヲ成シ竹類多シ。

富立鼻 諏訪瀨島ノ北東端ニシテ鼻端ニ尖岩及高サ9.1米ノ離岩アリ。鼻頂ノ東側ハ海岸險崖ニシテ其ノ間ニ小瀧アリ、水量多カラズト雖モ飲料ニ適ス、此ノ險崖附近ニ2箇ノ離岩アリ。

富立鼻ノ沖合ニハ湍潮ヲ生ズ。

古里埼 (フルサト) 富立鼻ノ西方約2.5哩ニ突出セル岬角ナリ。埼ノ東側ヲ脇山濱ト稱シ沙濱ニシテ漁舟ノ避泊ニ適シ少量ノ飲料水アリ。

富立鼻ト古里埼トノ間ハ降雨ニ際シ數條ノ小瀑ヲ見ルベシ。

長埼 諏訪瀨島南端ノ高崖岬ナリ。長埼ノ西北西方約1.5哩ニ水深85米ノ岩礁アリ。此ノ岩礁ノ東方即チ長埼ノ西側ニ元浦ト稱スル小灣アリ、浦ハ岩石多ク裾礁アリ又底質沙ナレドモ水深シ。

長埼ノ沖合ニハ湍潮アリ。

切石泊地 (海圖218分圖) 諏訪瀨島南端東側ノ小灣ニシテ灣首ヲ切石ト謂フ。

灣口ノ南端ヲ潮見埼ト稱シ此ノ埼ヨリ礁脈擴延シ岩石多シ、灣口ノ北端ハ岩屋埼ノ名アリ。此ノ小灣ハ南西信風季中ノ避泊地トス、灣濱ハ岩石多ク礁脈擴延スト雖モ其ノ外側ハ底質沙ニシテ水深適度ナリ。

諏訪瀨水道 諏訪瀨島ト其ノ南西方惡石島トノ間ノ海峽ナリ、幅約9哩既測水深612—963米ニシテ隱險礁ナキモノノ如シ。

海流 湍潮及東向ノ海流アルコト中ノ島水道ト同様ナリ。

惡石島 (アクセキ) 諏訪瀨島ノ南西方約9哩ニ位ス、島頂(高サ587米)ハ島ノ西部ニ偏在シ雜樹及竹類密生ス。島周ハ概ネ高崖ニシテ殆ド舟艇ヲ寄スル處ナシ。

ハヨウムネ岩 惡石島北端ニ於テ海中ヨリ直立スル高サ60米ノ柱狀岩ニシテ其ノ頂部ハ雜草疎生ス。

此ノ岩ノ沖合ニハ湍潮アリ。

荷積岬 (ニヅミサキ) 惡石島ノ南西端ヲ成セル岩崖岬ナリ。島ノ西岸ニ大浦泊ト稱スル小灣アリ、此ノ地ノ上陸所ノ北側海岸ニ温泉及硫煙ノ噴洩スル處アリ。

荷積岬ノ沖合ニハ湍潮アリ。

オネガミ岩 惡石島北東端ニ於テ海中ニ直立セル高サ47米ノ柱

狀岩ナリ、其ノ北側及南方島岸ニ接シ離岩アリ。

沖會根 悪石島ノ南西方約15.5哩、小寶島ニ近キ處ニ在ル最淺部水深21米ノ岩礁ニシテ荒天ノトキハ海面異狀ヲ呈ス、四周ノ水深110—180米。

小寶島 悪石島ノ南西方約19.5哩ニ在リ、島周ニハ平低ナル干出礁脈ヲ環ラシ、礁脈上ニハ數箇ノ尖岩孤立ス、遠望離岩ノ如シ。島ノ北側ニ數基ノ尖岩併立ス。島ノ西側ニ尖丘アリ、**大岩屋**ト稱シ雜樹叢生ス。島ノ南側ニ2岩アリ、其ノ北方岩ハ高サ59米ニシテ雜樹叢生シ下部ニ洞孔アリ、南方岩ハ褐色ノ柱狀ヲ成ス。島ノ南東岸ナル礁脈上ニ蒸氣ノ噴洩スル處及温泉アリ。島ニハ飯匙蛇(ハブ)夥シク棲息ス。

飲料水僅少ナル爲島民ハ噴洩蒸氣ノ凝結シタルモノヲ用フ。

小島 小寶島ノ東方約1哩ニ位スル圓頂ノ雜樹島ニシテ高サ59米、淺水ノ礁脈ニ依リ小寶島ニ連接ス、又概シテ小島ノ東側ハ海面險惡ナリ。

中ノ瀬 小島ノ東方約6鏈ニ在ル高サ28米ノ離岩ナリ、其ノ東方約3鏈ニ在ル高サ26米ノ**沖ノ瀬**ト共ニ遠望顯著ナリ。此ノ兩岩間及四周ハ礁脈擴延シ磯波アリ。

彌勒次ヶ瀬 中ノ瀬ノ北東方約3.5鏈ニ在ル干出0.9米ノ礁ニシテ高潮ニ破浪ス。此ノ瀬ノ北西方約2鏈ニ水深4.1米ノ暗礁、同南西方2.8鏈ニ干出0.9米ノ岩アリ。

道中瀬 沖ノ瀬ノ南東方約2鏈ニ在ル干出0.9米ノ岩ニシテ高潮ニ破浪ス、其ノ東西兩側ニ各水深2.7米及3.2米ノ暗礁アリ。

寶島 小寶島ノ南西方約7哩ニ在リ、島頂(高サ291米)ハ略

島ノ中央ニ在リ。其ノ山勢急峻ナリト雖モ山麓ト岸線トノ間ハ傾斜緩カニシテ米田及耕地多シ。本島ニハ飯匙蛇夥シク棲息シ人畜ヲ害スト謂フ。

寶島泊地(海圖218分圖) 寶島北東端**赤木崎**ノ西方即チ寶島北側ノ村落前面ニ於テ海岸少シク彎入セル處ニシテ小形船舶ノ假泊地ナリ、彎入部ニ於ケル裾礁ノ外方ハ水深12.8—37米アレドモ水深急加シ且潮流強ク南風ノ外碇泊ニ便ナラズ。

赤木崎ト寶島西端**鷺ノ崎**トノ間ハ一帯ニ平低ナル礁盤ノ海岸ナリ。

前立神 鷺ノ崎ノ東南東方約1.2哩、距岸3鏈附近ニ在ル高サ29米ノ黑色岩ニシテ海中ニ孤立シ島岸トノ間ハ礁脈連リ小舟ノ外通航シ難シ。前立神ノ東南東方約2.5鏈、海岸附近ニ黑色雙頂岩屹立ス、**二股岩**ノ名アリ又其ノ東方島岸ニ隣リテ屹立スル岩ヲ**スツ立神**ト稱ス。鷺ノ崎ト寶島南端**荒木崎**トノ間ハ海岸沙濱若ハ礫濱ヲ成ス。

黒山ノ瀬 荒木崎ノ東方約1哩ニ在ル水深6.8米ノ珊瑚礁ニシテ孤立ス。本礁ノ四周ハ水深18—38米アリ。

上ノ根嶼 寶島ノ南南西方約21哩、横當島ニ近ク位スル高サ288米ノ嶼ナリ。此ノ嶼ノ西側附近ニ**下ノ根**ト稱スル1嶼アリ。

障礙物 上ノ根嶼ノ北西方約2哩ニ周圍ノ200米等深圈ノ南北ノ長サ約2哩ナル珊瑚礁アリ、其ノ既測ノ最小水深ハ71米ナルモ昭和13年英國汽船 *Ridley* (吃水約7.9米)ガ其ノ北東方約5鏈ノ處ニ於テ尖岩ラシキモノニ底觸シ船底ヲ破損シタル事實アリ。

横當島 上ノ根嶼ノ南方約1.5哩ニ在リ、島ニハ東西ノ兩頂アリテ判然島ヲ東西ノ2部ニ分ツ、東頂ニハ大ナル舊火孔アリ。上ノ根嶼ト横當島トノ間ノ水道ハ水深ク強潮流ノ爲強激湍ヲ生ズ。

奄美群島 (アマミ)

奄美群島ハ土噶喇群島ト沖繩群島トノ間ニ連瓦シ奄美大島、加計呂麻島、與路島、請島、喜界島、徳之島、沖永良部島、與論島及鳥島等大
小各種ノ島嶼ヨリ成ル、就中奄美大島ハ南西諸島中沖繩島ニ次グ大島
ナリ。

奄美大島、加計呂麻島及徳之島ニハ飯匙蛇棲息シテ毎年4月頃ヨリ11
月頃迄徑路樹林及草叢中ニ出沒ス。之ト同種ノモノニシテ海中ニ棲ム
モノアリ、海飯匙蛇 (ウミハブ) ト稱ス。又「ヒヤン」ト呼ブモノア
リ、長サ30糎餘ニ過ギザルモ其ノ毒極メテ猛烈ナリ。

氣象 奄美群島中雨量最モ多キハ南西部ニシテ北東部ニ進ムニ
從ヒテ其ノ量ヲ減ズ、喜界島ハ雨量最モ少ク比較的快晴ノ日ヲ見ルコ
ト多シ。霧ハ一般ニ少キモ奄美大島附近ニ於テハ4月至5月頃1—2
回濃霧ヲ見ルコトアリ、視界100米内外ニシテ0900—1000頃ニ至レ
バ消失スト謂フ。

奄美大島北西岸

奄美大島 (大島) ハ奄美群島中ノ最北且最大ノ島ニシテ其ノ南西方ハ
大島海峡ヲ隔テテ加計呂麻島ト相對ス。全島平地ニ乏シク樹木ニ蔽ハ
レタル山脈連瓦シ、南西部ハ稍峻秀ノ状ヲ呈スルモ北東部ニ向ヒ漸次
低下シ山勢モ亦從ヒテ平低ト爲ル。島岸ハ概ネ高險崖ニシテ急深ナレ
ドモ中部以北ニハ距岸1—5鐘間珊瑚礁脈擴延シテ半潮或ハ低潮ニ出
沒スル處アリ。

奄美大島ノ北西岸ハ其ノ南東岸ニ比シテ屈曲多ク笠利灣、名瀬港、燒
内灣等ノ深入灣アリ。

サンドン岩 下記笠利崎ノ北北東方約14.5哩ニ在リ、最高岩ハ

高サ10米ノ黑色圓錐形岩ニシテ其ノ南方ニ稍密接セル2箇ノ孤立低
岩アリ、此等ノ岩ト最高岩トノ中間ニ礁脈アリ。此等諸岩附近ハ水深
20—40米、底質岩ナリ。

笠利崎 奄美大島ノ北端岬ニシテ崎頂ヲ高崎山ト稱ス、高サ148
米。崎端ヨリ露岩及珊瑚礁脈擴延スレドモ2鐘以外ハ水深14.6—27
米アリ。

笠利崎ノ北方約1.7哩ニ水深12.8米ノ礁アリ、20米等深圈ハ南北約
5鐘ノ長サニ及ビ其ノ外方ハ水深21—42米ナリ。崎ノ東北東方約2
哩ニハ高サ25米ノ黑色岩ト**ンバラ岩**アリ、其ノ北側ニ小岩アリ、此
等兩岩ハ四周急深ニシテ水深70米内外ナリ。崎ノ東方約1.4哩ニ**平
瀬** (高サ3米) アリ、其ノ南東側1鐘以内ニ1箇ノ洗岩ヲ有ス、此等
兩岩ハ四周急深ナリ。平瀬ト崎端トノ中間ノ稍南側ニ水深0.9米ノ岩
アリ。

潮流 笠利崎附近ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ流レ最強流速約3
節、落潮流ハ東方ニ流レ最強流速約4節ニシテ略高低潮時ニ轉流ス。
「トンバラ」岩附近ヨリ平瀬迄ノ間ノ海面ニハ常ニ強烈ナル激湍アリ。
笠利崎ヨリ笠利灣口北東角**蒲生崎**迄ノ海岸ハ一帯ニ珊瑚礁伸出シテ距
岸1—2鐘ニ達シ概ネ低潮ニ干出ス、其ノ間蒲生崎東側基部ノ屋仁
(ヤニ) ヲ除クノ外小舟ト雖モ着岸困難ナリ。

笠利灣 奄美大島北東端附近ニ於ケル大灣ニシテ蒲生崎ト之ニ
對スル今井崎トヲ以テ灣口ノ兩端トス、**今井崎**ハ樹木鬱蒼遠望顯著ニ
シテ灣口ヲ認識スルニハ良好ナル目標ナリ。本灣ハ彎入5哩、灣濱屈
曲シテ3支灣ヲ成ス。

赤木名港 笠利灣ノ東側支灣ニシテ西方ニ立神岩ヲ擁シ南南東方

=入ルコト2哩餘、幅員4—8鏈ナリ、**立神岩**（高サ39米）ハ黑色圓錐形ニシテ此ニ對スル南方ノ岬角トノ間ハ珊瑚礁擴延スルヲ以テ小艇モ通過セザルヲ可トス。本港ハ港口北西方ニ開クヲ以テ風濤ノ保障ヲ缺キ波濤奔騰スルノミナラズ港内沿濱ハ遠淺ニシテ中央ニ**名會根**（水深5.9米）及**柳名會根**（水深5.4米）點在スル爲大吃水ノ船舶ハ入港セザルヲ可トス。

赤尾木港 笠利灣ノ中央支灣ニシテ灣入約2.5哩、幅0.7—1.2哩アリ。港内ハ港濱一帯ニ珊瑚礁沿布シ距濱2—5鏈ニ達ス、中部ハ水深12—36米、底質沙ニシテ中形以下ノ船舶ノ避泊ニ適スト雖モ北方ハ露開シ南方ニハ低地頸ヲ控フルヲ以テ北風又ハ南風ノトキハ安全ナラズ。

龍郷港（タツゴウ） 笠利灣ノ西側支灣ハ南南西方ニ約3.5哩間灣入シ略中央部ニ於テ其ノ幅狹隘ト爲リ支灣内ヲ更ニ内外ノ2部ニ分ツ、龍郷港ハ其ノ外方部ナリ。龍郷港ハ其ノ北東部ノ開闊ナルト沿岸礁アル爲大ニ錨地區域ヲ減縮セラル、然レドモ三方ハ山岳圍繞スルヲ以テ能ク偏南偏西風ヲ避ケ得ベク且潮流ナシ。龍郷村落ノ背後ヲ流レテ港内西濱ニ注ゲル溪流ヨリ清水ヲ汲取り得ベシ。

浦港 笠利灣西側支灣ノ奥部即チ龍郷港内方ノ狹長ナル港ナリ。水深10.9—27米、底質泥ニシテ小形船舶ノ泊地ニ適ス。

武運埼 今井埼ノ西方4哩餘ニ位スル險崖岬角ナリ。埼端ニ**立神**ト稱スル高サ2.9米ノ岩アリ、此ノ岩ノ外方ニ數箇ノ露岩アリ。今井埼ヨリ武運埼ニ至ル間ノ海岸ハ高山ノ山脚ニシテ岩崖沙濱相交ハリ珊瑚礁沿布シ破浪アリテ着岸困難ナリ。

デッショ 武運埼ノ西南西方約1.1哩、距岸3鏈餘ニ在ル高サ5.8

米ノ岩ナリ。

梵論瀨埼（ボロセ） 武運埼ノ南西方約1.5哩ニ在ル草生岬ナリ。埼附近ニ數箇ノ岩散在シ其ノ外方岩ヲ**梵論瀨**ト稱シ3箇ノ岩ヨリ成ル。

梵論瀨埼ノ南南西方約7鏈、距岸2鏈以内ニ簇岩アリ、其ノ最大ナルヲ大瀨、平低ナルヲ平瀨、圓柱形ナルヲ立瀨ト謂ヒ、里俗之ヲ「カエナ」埼ト總稱ス。

名瀨港燈竿 梵論瀨埼上ニ在リ、高サ4.6米ノ鼠色塗圓柱形鐵造、燈高105米。本燈竿ハ晝間ノ遠望ニ適セズト謂フ。

名瀨港（海圖218分圖） 梵論瀨埼ノ南南西方約2.5哩ニ其ノ港口ヲ有スル灣ナリ、灣入約1.7哩、別ニ灣入約8鏈ナル東支アリ、港内ハ水深適度、底質泥ナルヲ以テ偏北風時以外ハ安全ニ錨泊シ得、偏北風ノトキハ波濤侵入シ着舟困難ニシテ危險ナルヲ例トス。港口ノ西端ヲ**端埼**ト稱シ其ノ外端ヨリ南東方立神迄ノ間ハ一帯ニ珊瑚礁擴延スルモ立神ノ東側ハ急深ナリ、之ニ反シ港口ノ東側ハ距岸少許ノ外概ネ急深トス。

山羊島以南ノ本港内ハ沿濱一帯ニ距岸1—2鏈迄礁脈擴延シ大ニ錨地ヲ減縮ス、而シテ礁脈ノ外側ハ急深ニシテ其ノ限界ハ海水ノ變色ニ依リ知り得ベキモ船舶ハ宜シク注意ヲ要ス、山羊島南方ノ溪流ハ四時斷水スルコトナク其ノ質飲料ニ適ス。

東支ハ特ニ**大熊港**（デクマ）ト稱シ其ノ南濱及港首ニハ一帯ノ珊瑚礁及沙堆擴延シ中央以北ノ狹小ナル部分ニ僅ニ深水ノ處アルモ唯漁舟及帆船ノ碇泊ニ適スルニ過ギズ。

氣象 四季共ニ降雨頗ル多量ナルモ冬季ハ温暖ニシテ夏季ハ酷熱

ナラズ。卷末氣象表第1 (名瀨氣象表) 参照。

目標 港口附近西側ノ**立神**ハ黑色ノ岩嶼ニシテ北方ヨリ望ムトキハ圓錐形ヲ呈ス、**山羊島** (高サ46米) ハ大熊港口ノ南側ニ在リテ茅草ヲ生ズ、共ニ入港時ノ好目標ト爲ル、但シ沿岸諸處ニ形状類似ノ岩嶼アルヲ以テ密濛ノ天候ニ入港セントスル定期船ニシテ東方ヨリ來ルモノハ笠利灣口ノ今井崎又西方ヨリ來ルモノハ島西端ノ曾津高崎 (共ニ顯著ナリ) ヲ確認シタル後島岸ニ接航シテ各岬角ヲ傳ヒ入港ノ目的ヲ達スト謂フ。

辨天崎燈竿 辨天崎上ニ在リ、塗裝セザル木造圓柱、燈高44米。

名瀨港導燈 測候所高塔ノ南方高地ニ高低兩燈ヨリ成レル導燈アリ、兩燈共塗裝セザル圓形「コンクリート」造柱ニシテ燈高ハ低燈50米、高燈114米。

2燈一線191度(14度)上ヲ航スレバ港ノ中央ヲ進ムコトヲ得。

立神岩燈標 立神上ニ在リ、紅塗四角形「コンクリート」造、燈高35米。

錨地 港内東濱**佐太熊鼻** (サデクマ) ノ前面水深23—27米附近ヲ好適トス、某船ハ嘗テ立神ヲ零度ニ、佐太熊鼻ヲ77度ニ望ミテ水深25米、底質泥ノ處ニ投錨セリ、3,000噸級吃水5.2米ノ定期船ハ防波堤工事ノ未濟ナル間測候所ヲ193度ニ望ム水深20米附近ノ處ニ投錨スルヲ例トス。

氣象信號 名瀨測候所ニ於テ地方天氣豫報信號標、地方氣象特報信號標及地方暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

摺子崎 (スルコ) 端崎ノ西方約1.5湮ニ在リ、雜草繁生ス。崎端ヨリ約3鍾間ハ礁脈擴延シ其ノ盡端ニ近ク2—3ノ岩アリ。

大和濱灣 (ヤマトバマ) 摺子崎ノ西南西方約4湮ナル**宮戸崎**ト其ノ南南西方約8鍾ノ**親子鼻**トノ間ニ彎入シ其ノ長サ約1.5湮アリ、灣濱ニ沿ヒテ珊瑚礁脈擴延スルヲ以テ大形船舶ハ入ルベカラズ、小形船舟ハ灣首津名久村落ノ前面ニ泊地ヲ得ベシト雖モ四周山高キ爲風強シ。

大山崎 親子鼻ノ西方約2.5湮ニ在リ、崎端附近約3鍾間許多ノ露岩及暗礁擴延シ其ノ外側ハ急深ナリ。

親子鼻ト大山崎トノ間ハ開灣ヲ成シ岩崖沙濱相交ハル。

大會根 大山崎ノ南西方約2湮ナル**阿山崎** (アサン) ノ南西方1湮餘、距岸約5鍾ニ位スル水深1.8米ノ暗礁ナリ。大會根ノ外方ハ急深ニシテ島岸トノ間ハ水深9米ヨリ淺シ。

立神 大會根ノ西南西方約1.2湮、距岸約3鍾ニ在ル高岩 (高サ64米) ナリ、岩頂樹木アリ、東西ヨリ望ムトキハ顯著ナレドモ海方ヨリハ其ノ附近險崖ト同色ナルヲ以テ識別シ難シ。

湯灣嶽 (ユワン) 「ソソ」崎ノ南南東方約5軒ニ聳立スル奄美大島第1ノ高峯ナレドモ顯著カラズ、東西2頂ヲ有シ東頂ハ稍尖銳ニ西頂ハ稍低ク滿山巨樹茂ル。

倉木崎 阿山崎ノ西南西方約6湮ニ突出セル岬角ニシテ燒内灣ニ通ズル狹水道北口ノ一側ヲ成ス。

枝手久島 (エダトウ) 狹水道ヲ隔テ倉木崎ノ前面ニ横タハレル島ニシテ燒内灣口ノ北側ヲ成ス。島ノ北端**戸倉崎**ヨリ南西方ナル島ノ北西岸ハ珊瑚礁沿布シ距岸約5鍾間ハ岩礁突出ス、其ノ外端ナル水深6.8米ノ礁ヲ**大瀨**ト稱シ其ヨリ南東方約50米間ハ同水深ノ岩礁擴延ス。島西端ノ南方約4鍾、距岸約3鍾ニ**船瀨**アリ、高サ1.5米ノ岩

ニシテ其ノ外部ハ急深ナリ。

焼内灣 奄美大島北西岸西端ノ深入灣ニシテ枝手久島ノ南西端「カンマ」埼ト對岸屋鈍埼トノ間ヲ灣口トシ東方ヘ約6湮彎入ス、其ノ幅0.4—1.3湮、高サ300—600米ノ高山脈之ヲ圍繞ス。灣濱ハ多ク水際ヨリ急起シテ險崖ヲ成シ其ノ間數多ノ村落及支灣アリ、灣首ノ田檢錨地ハ好錨地ナレドモ他ノ支灣ハ何レモ小形船舶ノ泊地ニシテ狹隘且水深過大ナリ。

宇檢灣 (ウケン) 枝手久島ノ東端赤埼ヨリ北方約5鍾ニ在ル焼内灣内ノ小支灣ナリ、灣内狹隘且甚シキ深水ニシテ小形船舶ノ外錨泊スルヲ得ズ。

芦檢灣 (アシケン) 焼内灣内方北濱ノ岬角**ネヅミ**埼ノ北東方ニ在ル小支灣ニシテ水深35米内外ナリ。

田檢錨地 (タケン) 芦檢灣口ノ東方ナル焼内灣灣首ノ錨地ニシテ水深31—32米、底質泥ノ處ハ灣内最好ノ避泊地ナリ。湯灣及田檢ノ2村落ハ何レモ湯灣嶽ノ南西麓ニ在リテ水質良好ナル溪流ヲ有シ飲料水ノ汲取ニ便ナリ。

部連灣 (ブレン) 芦檢灣ノ對岸ニ在ル小支灣ニシテ灣口北向シ、芦檢灣ニ比スレバ狹小ニシテ水深ハ略同ジ。

名柄灣 (ナガラ) 「ネヅミ」埼ノ南西方對岸ニ在ル長サ約8鍾ノ小支灣ナリ、灣口ハ東西兩側ノ5米等深線ニ依リ其ノ可航幅ヲ約1鍾以内ニ狹窄ス、灣内狹隘ニシテ小形船舶ノ外安全ニ錨泊シ難ク水深18—36米アリ。

阿室灣 (アムロ) 枝手久島南岸ノ對岸ニ在ル長サ約1湮、幅約7鍾ナル北向ノ支灣ニシテ、西—北以外ノ風浪ヲ遮蔽シ且外海ニ近キ

便アル爲避泊地トナスニ足ル。灣口ノ西端岬ヨリ北東方ヘ約4鍾間伸出セル淺水礁脈ノ外端ヲ**カンマ**ト稱シ水深4.1米アリ又此ノ岬ヨリ海岸ニ沿ヒテ南東方ニ擴延スル淺水部ノ外端、距岸約3鍾ニ**中曾根**(水深0.9米)アリ。

錨地ハ中曾根ノ東方ニシテ水深31—32米、底質沙ノ處ヲ可トス。

曾津高埼 焼内灣口南角ナル**屋鈍埼**ノ西南西方約2.7湮ニ位スル奄美大島ノ西端岬ナリ。埼ノ外側ニ數箇ノ岩アリ、其ノ最大岩ハ高サ35米ノ尖頂ヲ成シ南北ノ海方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

曾津高埼燈臺 曾津高埼上ニ在リ、高サ14米ノ白塗八角形鐵造、燈高133米。

大島海峽

奄美大島ノ南西岸ト加計呂麻島ノ北東岸トノ間ニシテ長サ約13湮、幅0.5—2湮ノ深水水道ヲ成ス。

潮流 大島海峽ニ於テハ西流ハ低潮後約1.5時ヨリ高潮後約1.5時迄、東流ハ高潮後約1.5時ヨリ低潮後約1.5時迄流レ流速甚ダ大ナリ。

海峽西口 大島海峽西口附近主水道ニ於ケル最外方ノ狹部ハ**立神島**(高サ44米)ト**赤瀬**(高サ30米ノ嶼)トノ間ニシテ、之ニ次グ内方ノ狹部ハ西古見浦口南東側岬ト**草瀬**(高サ45米ノ嶼)トノ間ナリ、何レモ其ノ幅約1.5湮アリ。立神島ト曾津高埼トノ中間ニハ距岸約3鍾ニ**立瀬**(水深6.9米)アリ。赤瀬ノ南南西方約5鍾ニハ**小瀬**(高サ4米ノ岩ト水深2.7米ノ礁)アリ、小瀬ノ東方約1湮ニ位スル松樹疎生セル平頂島ヲ**江仁屋離**(エニヤバナレ)ト稱シ其ノ南西端沖合3鍾ノ處ニ在ル簇岩ヲ**ワレ瀬**ト謂フ、此ノ簇岩ノ最外方岩ハ高サ51米ニ

シテ稍著シ。

久慈灣 海峽ノ北西部ニ在リテ其ノ兩側ニ及ビ奄美大島側ノ久慈港ト加計呂麻島側ノ薩川灣トヲ併セ稱スルモノナリ、灣ノ周圍ハ樹木多キ高山ニ包マル。久慈村落ノ前面水深18—21米ノ處ニ於テ錨地ヲ得ベシ、底質ハ泥、破碎石及礫ノ混合ニシテ稍錨搔キ善シ。薩川灣ハ海峽主水道ノ南西側ニ位シ能ク各方向ノ風ヲ避ケ得レドモ水深樹ネ過大ナリ。

古仁屋港 大島海峽ノ南東半全域ヲ占ムル港灣ニシテ皆通埼ヨリ244度ニ引キタル一線ト阿鐵ノ南西端ヨリ180度ニ引キタル一線トニ依リテ圍マレタル區域ヲ以テ其ノ選定港域トス。港内ノ奄美大島側ニハ阿鐵、油井(ユイ)、久根津、手安(テヤン)、古仁屋、清水(セイスイ)、嘉鐵、蘇刈(ショカリ)等、加計呂麻島側ニハ三浦、瀬相(セソウ)、押角(オシカク)、勝能(カツヨク)、生間(イケシマ)、渡連等ノ各小灣ヲ有ス。

港内北東濱ノ古仁屋ハ奄美大島南部ノ首邑ナリ。古仁屋村落ノ前面ニテ水深9—31米ノ處ハ東—北ノ風ヲ遮蔽シ安全ニ避泊スルヲ得ベシ、然レドモ水道ノ中央部ハ潮流強烈ナルヲ以テ注意ヲ要ス。古仁屋村落ノ海岸ハ一般ニ遠淺ナルモ村落ノ西端附近ニ「コンクリート」造突堤アリテ汽艇ノ達着ニ便ナリ。

海峽東口 海峽東口ハ北東側ノ險崖岬神ノ鼻ト其ノ對岸カネンテ埼トノ間ノ幅約7鏈ナリ。東口外方ノ東側岬ヲ皆通埼ト稱シ奄美大島ノ最南端ナリ。東口附近東側ニハ神ノ鼻ノ南側距岸約1鏈ニタカオ(水深9.1米)又皆通埼ノ南側至近ニ3箇ノ高岩アリ。

奄美大島南東岸及喜界島

奄美大島島岸ノ一般狀勢ニ就テハ第26頁奄美大島北西岸ノ部ヲ見ルベシ。

喜界島ハ奄美大島南東岸北端部ノ東南東方約13哩ニ位ス。

奄美大島南東岸 奄美大島ノ南東岸ハ其ノ北西岸ニ比シテ深入灣少ク伊須灣、住用灣等ノ開灣アリ。島ノ南東岸中特異ナルハ仲干瀬埼ヨリ笠利埼ニ至ル其ノ北半部ニシテ樹ネ平低ナル白沙濱ノ全部ニ互リ珊瑚礁沿布シ距岸約5鏈ニ達スル處アリ、加之後記ノ「セダン」岩等ノ危険アルヲ以テ沿岸航行船舶ハ注意ヲ要ス。

伊須灣 皆通埼ト其ノ北北東方約3哩ノ黑色崖岬真埼(マ)トノ間ヲ灣口トシ北西方ヘ約3.5哩彎入ス、灣口開大ナルヲ以テ灣周ニ高山脈連瓦スレドモ南—東ノ風浪ヲ遮蔽セズ、灣濱ニハ岩礁沿布スル爲灣首ニハ大形船舶ノ入泊困難ナリ。皆通埼ノ北側ニ黑色尖岩アリ、各方ヨリ視ルモ著明ナリ。埼ノ内方約1.5軒ノ灣濱ニムタデ山アリ、其ノ容圓錐形ヲ成シ東方ヨリ望ムトキハ山頂迄殆ド斷崖ニシテ遠望殊ニ顯著ナリ。

真埼ヨリ北東方5哩餘市埼ニ至ル迄ノ島岸ハ峻峻ニシテ1—2ノ淺入灣アレドモ皆風浪ニ暴露ス。此ノ海岸中ニツ離レノ北方對岸ニ高サ約10米ノ瀑布アリ、水量甚ダ多キヲ以テ海方ヨリ目撃スルコトヲ得。

御瀨(ミ) 市埼ノ東南東方約8鏈ニ於テ南北ニ連レル3箇ノ岩ヨリ成ル、北方岩ハ最モ高ク高サ2.1米アリ。北方岩ノ北方約1鏈ニ水深0.2米ノ暗岩又南方岩ノ南方約1鏈ニ水深1.8米ノ暗岩アリ、此等岩礁ノ四周ハ急深ナリ。

御瀨ト市埼トノ間ハ埼側ヲ除クノ外深水ナリ、汽船ニシテ時々之ヲ通

行スルモノアリ。

住用灣 市崎ト其ノ北北東方仲干瀬崎トノ間ニ在ル大開灣ニシテ奥部ニ住用浦及「スタル」浦ノ灣入アリ、何レモ偏東風ニハ「ウネリ」侵入ス。

大形船舶ノ錨地ハ住用浦口ノ外方ニシテ城鼻(グスク)トトビラ島(高サ55米)トノ間、水深21—29米、底質沙ノ處ヲ可トス。

仲干瀬崎 住用灣口ノ北東端ヲ成セル岬角ニシテ崎端ヨリ約5鏈間露岩及暗岩伸出スルヲ以テ接近スベカラズ。

方瀬 仲干瀬崎ノ東方約2.5湮ニ在リ、2箇ノ露岩ヨリ成リ高岩ハ高サ4.5米、兩岩ハ約1鏈ヲ隔テテ相對シ其ノ東側近距離ニ1箇ノ洗岩アリ。此等ノ岩周ハ急深ナリ。

明神崎 仲干瀬崎ノ北東方約8.3湮ニ在リ、赤木名半島ノ南端ヲ成ス。崎周珊瑚礁沿布シ崎ノ南方4鏈ニ水深0.9米ノ暗岩カメドロアリ。

セダン岩 笠利崎ノ南南東方約3.5湮ナル須野崎ノ東方約1湮ニ在ル破浪岩ニシテ低潮ニ出沒ス。此ノ岩附近ハ急深ナレドモ其ノ東方4鏈ニ最淺部ヲ有スル珊瑚礁アリ、其ノ20米等深圏ノ徑ハ約6鏈ニシテ最小水深9.1米。

喜界島 奄美大島ノ赤木名半島ト相對シテ其ノ東南東方約13湮ニ横タハリ北東—南西ノ長サ約8湮、幅約2—3.5湮、其ノ中央部ハ百ノ臺ト稱シ高サ200米内外ノ高臺地ヲ成ス、某船ハ嘗テ月明ノ夜(月齡13)22湮ノ距離ヨリ本島ヲ認メタリト謂フ。

氣象 喜界島ハ一般ニ温暖ニシテ11月至翌年2月間ハ北西風、3月至10月間ハ南東風流行ス、8月、9月頃ハ暴風ノ來襲アリ、4月、

5月ハ霖雨季ニ屬ス。

潮流 喜界島ノ西方距岸約2湮竝ニ北東方距岸約2湮ノ處ニ於テハ共ニ漲潮流ハ南西方ニ、落潮流ハ北東方ニ流レ略高低潮時ニ轉流ス、最強流速約2節ナリ。

オガメ礁 喜界島南端シツル崎ノ西南西方約3.5湮ニ在リ、最小水深0.9米、波高キトキハ破浪シ平波ノ際ニハ海水變色ス、周圍ノ20米等深圏ハ北西—南東ノ長サ約1.4湮、幅5鏈アリ。「オガメ」礁最淺部ヨリ北西方約1.8湮ニ水深16米ノ暗礁アリ、兩礁間ノ礁脈ハ水深31—49米。

モリ礁 「シツル」崎ノ南東方約3.2湮ニ在ル最小水深29米ノ礁ナリ。「モリ」礁ノ東北東方約3.8湮ニハ嘉鈍岩(最小水深29米)アリ。

早町港(ソウマチ)(海圖218) 喜界島南東岸ノ北寄りニ在ル狹小灣ニシテ水深7.3—27米、南東風ヲ除クノ外稍各方向ノ風ヲ防グモ僅ニ小形船舶ヲ容レ得ルニ過ギズ。入港目標トシテハ平家森(高サ72米)ノ外好適ノモノナシ。

加計呂麻島、請島及與路島

奄美大島南西側ニ於ケル1群ノ屬島ナリ。

加計呂麻島 大島海峡ノ南西側ヲ形成スル亂形島ニシテ島内ハ山脈運互シ其ノ最高峯ハ島ノ南西端風崎ノ内方ニ位ス、而シテ諸山ハ概ネ樹木茂ル。島ノ南側ニハ伊子茂灣及諸鈍灣アリ。

加計呂麻島ノ北東岸ニ屬スル記事ハ大島海峡ノ部ニ在リ。

一ツ島 加計呂麻島南西岸ノ北寄りノ岬角モ崎ノ西北西方約9鏈、距岸約6鏈ニ在ル孤立岩ナリ、高サ8.8米。

夕離 (ユウバナレ) 「モ」埼ノ南西方2湮餘ニ位スル2嶼中ノ北西嶼ニシテ尖頂ヲ有シ四周岩多シ。夕離ノ北北西方約8鏈ニ**カメ瀬** (高サ4.4米)、同西方約9鏈ニ**ミヤウ瀬** (高サ4.1米) ナル2箇ノ孤立岩アリ又同嶼ノ南西方約1.1湮ニ**淺會根** (水深6米) アリ、此等ノ岩礁ノ周圍ハ何レモ急深ナリ。

須子茂離 (スコモバナレ) 「モ」埼南西方沖合ニ於ケル2嶼中ノ南東嶼ニシテ全周殆ド斷崖ナリ、其ノ西部ニハ樹木鬱生シ南端ヨリハ礁脈伸出ス。

伊子茂灣 加計呂麻島南西端風埼東側ノ開灣ニシテ前面ニ請島ヲ控フルヲ以テ稍風浪ヲ保障スレドモ過深ナル爲大形船舶ニ在リテ水深55米ヨリ淺キ錨地ヲ得難シ。灣首ハ少シク西方ニ折レテ小内灣ヲ成シ、此處ニ入泊シ得ル小形船舶ハ能ク各方向ノ風浪ヲ避ケ得ベシ。

サキニ鼻 伊子茂灣ト諸鈍灣トヲ分隔スル半島ノ突端ナリ。「サキニ」鼻附近ヲ航行スル船舶ハ偏南風及偏東風ノ時潮流ノ爲島岸ニ寄せラルル傾アルニ付注意ヲ要ス。

諸鈍灣 「サキニ」鼻ト其ノ東方約1.6湮ノ**崎根鼻**トノ間ヲ灣口トシ北方ニ彎入ス、灣内ハ水深21—40米、稍便利ナル錨地ヲ得ベキモ偏南風及偏東風ノ時ニハ波濤侵入ス。

請島水道 加計呂麻島ト請島トノ間ニシテ請島北岸ノ中部ヨリ小「タンデ」ヲ北端トスル礁脈突出スル爲可航幅ヲ約1湮ニ減縮ス、此ノ水道ハ深水ニシテ舟艇ノ航行ニ適スレドモ潮流甚ダ強シ。

潮流 請島水道ニ於テハ高低潮時後各1.5時ニ轉流シ西流4節、東流3.3節ニ達スルコトアリ。

請島 請島水道ヲ隔テテ加計呂麻島ノ南方ニ横タハリ東西ノ長

サ約3.5湮、最大幅約2湮アリ。島ノ北岸ニハ請阿室及池地ノ2箇ノ小灣アリ、加計呂麻島南岸ニ比スレバ稍風浪ヲ避ケ得ベシ。

ジャナレ島 請島南端岬ニ接在スル高サ67米ノ嶼ナリ。「ジャナレ」島ノ外側ニ3高岩アリ、**沖ノクワ**ト稱シ最高岩ハ高サ21米、尖頂ニシテ顯著ナリ。

木山島 請島東岸ノ略中央ニ於テ距岸約2鏈ニ位スル高サ81米ノ嶼ナリ。木山島ノ北東方3鏈餘ニ**木山ノ子**ト稱スル高サ30米ノ岩アリ。

木山ノ子ノ南東方約4鏈ニ水深夫々2.5米及1.5米ノ暗岩存在スト謂フ。

永瀬 木山ノ子ノ北方約6鏈ニ在ル水深3.2米ノ礁ニシテ、此ノ附近激湍甚シク遠方ヨリ其ノ危險界ナルヲ知ルコトヲ得。

丹手島 請島北岸ノ略中央ヨリ請島水道ノ可航幅ヲ狭ムル如ク突出スル礁脈上距岸約6鏈ニ位シ2島(高島ハ高サ53米)ヨリ成ル、其ノ周圍ニ數多ノ大小露岩及干出岩散在ス。丹手島ノ北方該礁脈ノ北端ニ在ル高サ11米ノ黑色岩竝ニ水深9.1米ノ礁ヲ**小タンデ**ト稱ス、此ノ附近激湍甚ダ強シ。

與路島水道 請島ト與路島トノ間ニシテ其ノ中央ニ**ハヤミ島**ト稱スル4箇ノ列岩(最高岩ハ高サ74米ニシテ岩頂矮樹密生ス)ト之ヨリ東方約5鏈ノ間連瓦スル數多ノ露岩及暗岩アリ、大形船舶ノ通航ニハ適セズ。

潮流 與路島水道内ニハ激湍アリ、漲潮流ハ北方ニ向ヒ最強流速約2.8節落潮流ハ南方ニ向ヒ最強流速約3.7節ナリ。

與路島 與路島水道ヲ隔テテ請島ノ西方約1.5湮ニ在リ、島周

ノ大部ハ險崖ヲ成シ唯東岸ノ與路村落附近ヨリ島ノ北端ニ至ル迄ノ間ノミ處々沙濱ヲ成シ小舟ヲ着岸セシムルコトヲ得。島頂ハ南部ニ在リテ大勝山ト稱ス、好目標ナリ。

タカ瀬 與路島南端ヨリ南方ニ約3.5 鐘ノ間1 群ノ露岩延出シ其ノ外端ヲ「タカ」瀬ト謂フ、高サ11 米。

徳之島及鳥島

徳之島ハ其ノ南西方ニ在ル沖永良部島與論島ト共ニ奄美大島ト沖繩島トノ連結線上ニ於テ飛石ノ如キ觀ヲ呈セル島ナリ。鳥島ハ徳之島ノ西方約35 湮ニ全ク離在スル孤島ナリ。

徳之島 與路島ノ南西方約12 湮ニ位シ樹木繁茂セル多山島ニシテ島岸屈曲少ク唯其ノ東岸ニ山村灣及龜津泊地ノ2 小灣ヲ有スルノミ。島ノ北端ニ近ク天城嶽(高サ532 米)アリ、其ヨリ山脈南方ニ蜿蜒連互シ島ノ中央ニ於テ高サ643 米ノ井之川岳ヲ成ス。

島岸ハ南西側ノ犬田布岬竝ニ伊仙崎附近ノ外干出珊瑚礁ニ圍繞セラレ距岸1—5 鐘ニ達ス。島内飯匙蛇多ク人畜其ノ害ヲ蒙ルモノ夥シ。

潮流 徳之島沿岸ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ向ヒ概ネ岸線ニ竝流ス、而シテ漲落兩流共ニ高低潮後約3 時間流續ス。漲潮流ハ神嶺崎以北「トンバラ」岩ニ近ヅクニ從ヒ流速ヲ増シ同岩附近ニ於テ最強4 節ニ達ス、然ルニ神嶺崎以南喜念崎ニ至ル間ノ距岸4 湮以内ニ於テハ春夏南西信風季中漲落兩流共常ニ南方ニ偏流スルヲ實驗セリ、而シテ其ノ流速ハ漲潮時ニハ2 節ニ達スルモ落潮時ニハ1 節ニ達セス。

島ノ北側附近距岸2—3 湮ニ於テハ落潮流ハ流速約3 節ヲ以テ東流シ東岸ノ落潮流ニ合シ島岸ニ沿フテ南下ス。島ノ南西端伊仙崎附近ニ於

テハ漲潮流ハ1.5—2 節ノ流速ヲ以テ北西ニ流レ落潮流ハ其ノ流速1.5—2.5 節ナリ。

金見崎(カナミ) 徳之島ノ北東端ニシテ、其ノ東方約1 鐘ニ高潮ニ没スル礁脈アリ。

トンバラ岩(ウトセ) 徳之島北東端**金見崎**ノ北北東方約2 湮ニ在ル4 箇ノ岩嶼ニシテ最高嶼ハ高サ50 米、尖頂ニシテ赭色ヲ呈シ稍顯著ナリ。「トンバラ」岩ノ周圍ハ急深ナリ。

金見崎ト「トンバラ」岩トノ間ハ憩流時ノ外常ニ激湍アリ、大潮期ハ殊ニ甚シ。

與名間崎 徳之島北側ノ西端ナリ。崎ノ北西方約1 鐘ニ干出1.8 米ノ礁アリ、礁ノ外側ハ水深5.4 米ヨリ深シ。

平土野泊地(ホドノ) 與名間崎ノ南方約4.5 湮ニ在ル平土野村落前面ノ小形船舶假泊地ナリ、此處ハ能ク東方ノ風浪ヲ遮リ水深18—25 米ナルモ距岸3 鐘以上ハ水深36 米ヨリ深クシテ錨地ニ適セス。泊地ノ南側岬角ハ距岸約5 鐘迄岩礁擴延スルヲ以テ南方ヨリノ出入ニハ注意ヲ要ス。

面繩(オモナハ) 徳之島南西端**伊仙崎**ノ東方約2 湮ニ面繩ト稱スル村落アリ、村落前面ノ珊瑚礁ハ距岸約3 鐘ノ處迄最低低潮ニ干出シ半潮ニハ小舟ヲ通ズベキ狹隘ナル濤ヲ生ズ、此ノ珊瑚礁端ヨリ約4 鐘以内ハ水深36 米ヨリ淺ク底質岩ニシテ處々礫ヲ交ヘ偏北風時小形船舶ノ避泊ニ適ス。

喜念崎 徳之島ノ南東端ヲ成セル平低岬ニシテ面繩村落ノ東方約1 湮ニ在リ。崎ノ南側至近ニ1 箇ノ岩アリ、稍顯著ナルヲ以テ此ノ崎ヲ識別シ得ベシ。

龜津泊地 (海圖 183 分圖) 喜念崎ノ北北東方約5 哩 = 在ル珊瑚礁脈間隙ノ假泊地 = シテ龜德村落ノ前面ナリ。第1及第2防波堤竣工セルモ稍偏西風ヲ遮ル外更ニ風浪ノ保障ナク唯天候最モ靜穩ナルトキ錨泊シ得ル = 過ギズ。海岸附近ノ岩嶼**アングスク** (高サ14米)、**タンギヤ** (高サ11米)、泊地北方ノ**神嶺崎** (カン =) 南西側ノ高サ18米ノ高地等ハ泊地 = 近ヅク = 從ヒ好目標ト爲ル。

龜德、龜津間ノ海岸 = 沿布セル干出珊瑚礁ハ距岸約5 鐘ノ處迄擴延シ其ノ外方約1 鐘ノ間ハ2—3ノ點礁アリ。

花德泊地 (キトク) 神嶺崎ノ北西方約5.3 哩 = 位スル平低岬ノ南側 = 在ル小開灣 = シテ西一偏南ノ風ノ時水深6.8—11.4米ノ處ヲ稍安全ナル假泊錨地ト爲シ得ベシ。

山村灣 (サンムラ) (海圖 183 分圖) 花德泊地ノ北方2 哩餘 = 位スル灣入約8 鐘ノ小灣 = シテ灣口北端ノ岬角**潮飛屋崎** (シュバン) ト南端ノ岬角**金間崎** トノ間 = 在リ、灣口ノ幅約9 鐘ナルモ南北兩濱ヨリ擴延セル干出珊瑚礁ノ爲可航幅ハ狭メラレテ僅 = 1.5 鐘ト爲ル、殊ニ北側ノ珊瑚礁ハ灣濱ヨリ東方 = 突出スルコト約5 鐘 = シテ半潮後 = 干出シ、更ニ其ノ東端ヨリ南東方へ淺瀬約1.5 鐘間擴延シ荒天ノトキ破浪ス、其ノ盡端ノ水深3.2—4.5米 = シテ外側ハ急深ナリ、出入船舶ハ之 = 對シ十分ナル警戒ヲ拂フノ要アリ。

珊瑚礁内ノ錨地ハ**山港**ト稱シ水深5.4—16米、底質沙 = シテ錨搔キ悪シ、灣ノ北、西、南ノ3方ハ山脈 = 圍繞セラレ能ク該方向ノ風浪ヲ遮屏スレドモ東一北東ノ風 = ハ「ウネリ」山港 = 侵入ス又大平山嶺ノ南西風 = 在リテハ波浪高ク俗 = 「山村ノ横搖」ト稱スル横動ヲ感ズルヲ以テ錨泊安全ナラズ、經驗者ノ談 = 依レバ偏東風、偏南風ノトキハ屢

双錨泊ヲ爲スヲ要スト謂フ。山港内ハ海水比較的清澄ナルヲ以テ晴天ノトキハ容易 = 珊瑚礁脈ヲ認メ得ベシ。

針路法 北方ヨリ來リテ山港 = 入ラントスル船舶ハ先ヅ島ノ北峯天城嶽 (好目標ナレドモ雲霧 = 掩ハルルコト多シ) = 向ツテ進ミ「トンバラ」岩ヲ確認シタルトキ其ノ東方2 哩ノ點 = 向フ如ク變針シ、次デ該岩ヲ267度 = 望ム處ヨリ215度 = 向ヒ潮飛屋崎南東方1 哩ノ處附近 = 達シタルトキ入港針路 (2導燈一線273度) = 移リ此ノ線上ヲ航シテ入進シ港内適宜ノ處 = 投錨スベシ、該導燈ハ定期汽船入港時竝ニ特ニ依頼 = 依リ點燈スルモノナリ。

鳥島 德之島北部ノ西方約35 哩 = 位スル活火山島 = シテ四周險崖ヲ成シ其ノ東側及南側 = 沿布セル干出珊瑚礁ハ距岸約1 鐘ノ處迄擴延ス。島ノ東側ノ南端 = 近キ處 = 舢舨ヲ引揚ゲ得ベキ濱アレドモ極メテ靜穩ノ日 = 非ザレバ着岸危險ナリ。

島上南北ノ2箇ノ峯アリ、北方峯ノ南西側ヨリ絶エズ多量 = 噴煙シ遠距離ヨリ望ムトキハ汽船ト誤認スルコトアリ。

島内湧水絶無ナル爲島民ハ雨水ヲ貯ヘテ飲料トス。

沖永良部島及與論島

沖永良部島及與論島ハ德之島ト共ニ奄美大島ト沖繩島トノ連結線上ニ於テ飛石ノ如キ觀ヲ呈セル島嶼ナリ。

沖永良部島 (オキノエラブ) 德之島ノ南西方約18 哩 = 在ル樹木繁茂セル島 = シテ地勢ハ南西部 = 同ヒ次第 = 隆起シ島ノ南西端ノ内方 = 至リテ島頂**大山** (高サ244米) ヲ成ス。

島ノ南東側及西側ハ概ネ平低ナル珊瑚崖ナレドモ、北側ハ險崖ヲ成シ島ノ北西端「ヤクニヤ」崎近傍ノ外ハ距岸約2 鐘ノ處迄干出珊瑚礁 =

圍繞セラル。此ノ島ニハ飯匙蛇棲息セズト謂フ。

潮流 沖永良部島ノ北側附近ハ漲潮流ハ西流シ落潮流ハ東流ス、然レドモ少シク遠ザカレバ混亂シテ一定セズ。島ノ南東側ニ於テハ漲潮流ハ東方ニ、落潮流ハ南西方ニ流ルルガ如キモ風候及海流ニ左右セラレ海水ノ流ハ甚ダ不規則ニシテ0.8—2節ノ流速ヲ以テ終日東方若ハ南西方ヘ流ルルコトアリ。島ノ南端沖合ニ於テ夏季ノ實驗ニ據レバ漲潮流ハ0.8—2節ノ流速ヲ以テ北流シ、落潮流ハ0.8—1.5節ヲ以テ南東方ヘ流レ、高低潮後1.5—3時ニ轉流スルモノノ如シ。

伊延 沖永良部島北東端**國頭岬**(クニガミ)ヨリ西南西方約6湮ナル北岸ノ白沙濱上ニ在ル村落ナリ、南東風ノトキ南東岸和泊ニ假泊スルコト能ハザル船舶ハ此ノ村落ノ前面珊瑚礁ノ外側ニ假泊シ荷役ヲ爲ス、舳舟ハ半潮以上ニ珊瑚礁上ヲ越エテ着岸スルコトヲ得。

國頭岬ヨリ伊延ニ至ル間ノ島岸ハ平低濱ニシテ距岸約2鏈迄干出珊瑚礁ノ擴延スル處アリ。

此ノ海岸中伊延ヨリ沖永良部島北西端**ヤクニヤ埼**ニ至ル約4湮間ハ概ネ險崖ニシテ沿岸ノ珊瑚礁脈モ遠ク擴延セズ。

和泊(ワドマリ) 沖永良部島南端**シャン埼**ヨリ北東方約6湮ニ在ル村落ナリ。村落前面ノ干出珊瑚礁ハ距岸約4鏈ノ處迄擴延シ其ノ間1條ノ狹水路ヲ通ズレドモ淺礁多クシテ小舟ノ外出入シ難シ、此ノ地ニ寄港スル汽船ハ該珊瑚礁ノ東側水深9—11米ノ處ニ假泊ス。

與論島 沖永良部島南端ヨリ南南西方約17湮ニ位シ、島岸ハ概ネ珊瑚質ノ險岸ト白沙濱トヨリ成リ、島周干出珊瑚礁脈ニ圍繞セラレ殊ニ東岸ヨリハ距岸約8鏈ノ處迄擴延ス。

與論島西端**ハネブ埼**ノ東側ニ淺水浦アリ、浦内礁脈擴延スト雖モ海水

透明ナルト磯波アルトニ依リテ明ニ危險界ヲ認知スルコトヲ得ルト謂フ。浦内人家ノ西方ハ北西風ノ外各方向ノ風ヲ遮屏スルヲ以テ小形船舶ノ碇泊スルモノ多シ、此ノ地ニ寄港スル船舶ハ「ハネブ」埼北側ニ在ル小嶼ノ北方約5鏈、水深7.3—9.1米ノ處ニ假泊スト謂フ。

第 4 編

南西諸島南部及大東島

本編 = ハ南西諸島南部 = 於ケル各島 (尖頭諸嶼ヲモ含ム) ト、此等列島ヨリ遙 = 東方 = 離レテ九州東岸有明灣ノ南方之ト略同子午線附近 = 點在スル大東島各島トノ記事ヲ収録ス、本誌 = 於テハ伊平屋列島及沖繩島ヨリ與那國島 = 至ル間ヲ南西諸島南部ト呼稱ス。

沖繩群島

沖繩群島ハ奄美群島ト先島群島トノ間 = 連瓦シ、最大島タル沖繩島、其ノ北方 = 位スル伊平屋列島及伊江島、同ジク西方 = 散在スル慶良間列島、粟國島、渡名喜島及久米島等ノ總稱ナリ。

伊平屋列島 (イヘヤ)

與論島ノ西方 21 湮、沖繩群島ノ最北 = 位シ伊平屋、野市、具志川、伊是奈、屋奈葉ノ 5 島ヨリ成リ、沖繩島ノ北端邊戸埼、北西端備瀬埼及伊江島ト相對シ其ノ間 = 最狹幅 11 湮ノ水道ヲ成ス。

伊平屋島 伊平屋列島中ノ最大島 = シテ、島周ハ珊瑚礁 = 圍繞セラレ南東岸ノ島尻及我喜屋ノ 2 灣ノミ僅 = 小舟ヲ容ルルヲ得ベシ。島上數箇ノ峯アリ、各峯ノ間極メテ低地ナルヲ以テ東西ノ遠距離ヨリ望メバ多數ノ島散在スルガ如ク見ユ。

潮流 伊平屋島附近 = 於テハ漲潮流ハ西方 =、落潮流ハ東方 = 流

レ略高低潮時ニ轉流ス、然レドモ諸島間ヲ除ク外ハ流速微弱ニシテ不定ナリ。

御埼 (ミ) 伊平屋島ノ北端ナリ、此ノ埼ヨリ擴延セル珊瑚礁上ニ御埼岩(高サ12米)アリ、御埼岩ノ外方ニ更ニ2岩潮被岩(シオカブリ)及北潮被岩アリ、此等2岩ノ外側ハ別ニ危險物ナキモ距岸約2.5湮迄ノ間ハ屢激湍ヲ起スコトアリ。

彌兵衛岩 伊平屋島ノ北西岸ニ於テ御埼ノ西方1.4湮、距岸約2鏈ニ在ル高サ47米ノ岩嶼ナリ。

具岩川北路 伊平屋島ノ南端米埼(ヨネ)ト其ノ南南東方具志川島トノ間ニ在ル水道ニシテ兩側ヨリ擴延セル珊瑚礁ニ狹メラレ可航幅約3.5鏈、最小水深10.9米。

潮流 具志川北路ハ潮流甚ダ強ク流速往々2.5—3節ニ達シ激湍ヲ起シ、冬季ハ屢小形船舶ノ航行ヲ絶ツコトアリト謂フ、而シテ漲潮流ハ西方ニ、落潮流ハ東方ニ向ヒ高低潮時ニ轉流スルヲ驗シタルコトアリ。

野甫島 (ノホ) 伊平屋島南端米埼ノ西方約5鏈ニ位ス、島周礁脈圍繞シ西端及南端ヨリハ距岸約4鏈ノ處迄擴延ス。

中根 野甫島ノ西方約9鏈ニ在ル干出1.2米ノ岩ニシテ此ヨリ南南東方ニ礁脈擴延シ2鏈ノ間ハ水深1米ヨリ淺ク、其ヨリ更ニ同方向6鏈ノ間ハ10米ヨリ淺シ、而シテ此ノ礁脈上ニ常ニ激湍アルヲ以テ認識シ得ベシ。

野甫島西端礁脈ト上記礁脈トノ間ハ可航幅約4鏈、水深14.6—31米ノ無碍水道ヲ成ス。

小手岩 中根ノ南西方約8.5鏈ニ在ル干出1.8米ノ岩ニシテ周圍

水深7.7—12.8米、岩上常ニ破浪アリ。

小手岩ノ南方約1湮ニ徑約2鏈ノ暗礁アリ、最小水深8.2米、底質珊瑚ニシテ礁上常ニ激湍アリ、沖繩島名護灣南側ノ恩納岳ヲ該島北西端備瀬埼ノ右方ニ開視スルカ、若ハ上記ノ彌兵衛岩ヲ伊平屋島西端ヨリ開視スレバ本礁ヲ避ケ得ベシ。

具志川島 具志川北路ヲ隔テテ伊平屋島南端ノ南南東方ニ横タハレル狹長ナル小低島ニシテ其ノ東端最モ高ク高サ28米アリ、島周珊瑚礁ニ圍繞セラレ島ノ東端ヨリ北西方8.5鏈ノ間擴延セル珊瑚礁上ニハ數箇ノ岩嶼アリ、其ノ最外岩嶼チジフシガア(高サ12米)ノ北方約2鏈ニ水深3.2米ノ孤立岩、大岩(ウフナン)アリ。

具志川南路 具志川島ト其ノ南方伊是名島トノ間ニ在ル水道ニシテ兩側ヨリ擴延セル珊瑚礁ニ狹メラレ可航幅約8鏈、水深21—29米ナリ、兩側ノ珊瑚礁ハ殆ド常ニ破浪スルヲ以テ認知スルニ難カラズ。

潮流 具志川南路ハ具志川北路ト同様潮流甚ダ強ク流速往々2.5—3節ニ達シ激湍ヲ起シ、冬季ハ屢小形船舶ノ航行ヲ絶ツコトアリト謂フ、而シテ漲潮流ハ西方ニ、落潮流ハ東方ニ向ヒ高低潮時ニ轉流スルヲ驗シタルコトアリ。

伊是名島 (イゼナ) 具志川南路ヲ隔テテ具志川島ノ南方ニ位スル徑約2.3湮ノ島ナリ。

大岩 (ウフナン) 伊是名島北端ノ西方約1湮、距岸約7鏈ニ位スル水深1.8米ノ孤立珊瑚礁ニシテ具志川島北方ノモノト同名ナリ。

伊是名港 伊是名島ノ南岸ハ其ノ南方屋奈葉島トノ間珊瑚礁及淺水ヲ以テ相連リ僅ニ小舟ヲ通ズルニ過ギズ、其ノ東西兩側ハ風向ニ應ジテ假泊シ得ベク東側ヲ特ニ伊是名港ト稱ス、下記愚龜島頂ヲ城埼端

ノ高サ5.4米ノ岩ト一線ニ望ミ同岩ヨリ約8鏈、水深23—32米、底質細沙ノ處ニ投錨シ得ベシ。

城崎 (グスク) 伊是名島ノ南東端ヲ成セル險崖角ニシテ該崎ノ北東方約3.5鏈ニ**愚龜島** (オロガメ) アリ。

屋奈葉島 (屋那覇島) 伊平屋列島ノ最南位ヲ占ムル高サ僅ニ15米以下ノ平低島ナリ。

沖繩島北西岸及伊江島

沖繩島ハ沖繩群島中ノ最大島ニシテ島岸ハ到ル處珊瑚礁ヲ見ザル處ナク備瀬崎半島ヨリ島ノ南端ヲ經テ南東岸ノ知念崎ニ至ル間ハ海流ノ衝ニ當リ波高ク流急ニシテ最モ珊瑚礁ノ發達ニ適スレドモ、其ノ餘ノ島岸ハ前者ノ如ク盛ナラズ、一般ニ珊瑚礁ノ發達ハ本島ノ港灣ニ大影響ヲ及ボシ那覇港ノ如キハ之ガ爲港内狹隘ニシテ且港口ノ出入安易ナラズ。

沖繩縣ハ低緯度ニ位シ且暖流ニ洗ハルルヲ以テ全年ヲ通ジ氣温高ク殊ニ濕氣多クシテ皮膚ノ蒸發ヲ妨グル爲暑サヲ感ズルコト甚シ、且較差極メテ少キ故盛夏中涼ヲ覺ユルハ僅ニ拂曉前2—3時間ノミトス、氣温ノ年變化モ亦小ナリ、夏秋ノ候ニハ時トシテ颱風襲來シ又近海ニハ屢龍卷ヲ起シ疾風海水ヲ運ビテ野ニ青色ナキニ至ラシムルコトアリ。

沖繩島ノ北西岸ハ其ノ南東岸ニ比シ周圍ノ遮蔽ニ富メル大形灣ニ乏シ、北西岸中國頭郡域ハ備瀬崎ニ終レル半島ノ突出スル外大ナル出入ナシ、從ツテ該半島ノ兩側ニ位スル名護灣、運天港ノ外大形船舶ヲ泊スル處ナシ、殘波岬以南ノ島岸ハ南方ニ轉向シ開灣ヲ成セドモ那覇港ノ外碇泊地ナシ。

伊江島ハ備瀬崎端ノ西方ニ横ハリ沖繩島周ニ於ケル屬島中ノ最大島ナ

リ。

邊戸崎 (ヘド) 沖繩島ノ最北端ニシテ高サ約30米ニ達スル珊瑚質ノ險崖ヲ成シ海岸ハ急深ナリ、崎上ハ廣キ臺形地ニシテ高サ69米、顯著ナル松林アリ。

邊戸崎ヨリ南南西方約5湮ノ邊野喜 (ベノキ) ニ至ル間ハ殆ド深水ナリ。

赤丸崎 邊戸崎ノ南西方約9.5湮ニ位スル突出岬ナリ。

赤丸崎ノ北方約1湮餘ニハ水深0.9—7.7米ノ淺瀬アリ、又崎ノ南西方約1.8湮ニハ**シッピシ礁**アリ、礁上水深1.8—8.6米ナリ。

運天港 (海圖 227) 赤丸崎ノ西南西方約9湮、**古宇利島**ト島岸前面ノ礁脈トノ間竝ニ内方ニ於テ**屋我地島** (ヤガジ) ト島岸トノ間ノ海峽ノ狹所ニ在リ、外方錨地ハ古宇利島南側ノ村落古宇利ノ南西方前面ニシテ水深23米内外ナレドモ北風ニ暴露ス、内方錨地ハ運天村落ノ前面水深14.6—16米、底質泥ノ處ニシテ小形船舶ニハ安全ナル泊地ナリ、然レドモ航路及錨地内ニハ水深5米及5.4米ノ點礁アリ、且**ハーシルハール岬**ニ竝ビテ**煙筒岩**ノ北方ニ伸出セル門洲上ノ水深ハ5米以下ナリ。

外方錨地ニ入泊セントセバ屋我地島東岸北部ノ**アカ島**ヲ141度ニ望ミ之ニ向首進入スルヲ可トス、此ノ航路ニ於ケル可航幅ハ僅ニ1.5鏈ニ過ギズ且其ノ兩側ヲ界スル礁脈ハ常ニ水面下ニ没スルモ水色ニ依リ容易ニ識別シ得ルヲ以テ、船舶ハ好時機ヲ選ビ(天候、太陽ノ方位等ニ注意)高所ニ見張ヲ置キテ警戒スレバ出入港概シテ危險ナラズト謂フ。

内方錨地ニ入泊セントセバ外方錨地入進針路ヨリ煙筒岩ヲ船首175度

=望ム線=轉ジテ南進シ、次デ**ランキン**角ヲ 237 度=望ム線上ヲ向首進航シ、「ランキン」角東隣ノ岬角ヨリ北方へ擴延セル礁脈ヲ避ケテ船ヲ回轉スル=十分ノ餘地アル處=投錨スベシ、上記航路中煙筒岩北側ノ門洲上ハ淺ク、運天村落ノ東側海岸ヨリ擴延スル礁脈ハ距岸約 1.2 哩=達シ外端ノ水深 6.8 米ナルヲ以テ注意ヲ要ス、運天海岸=在ル漁業公司ノ煙突ハ投錨ノ際好目標ナリ。

クイ礁 古宇利島ノ北方約 3.7 哩=在ル最小水深 14.6 米ノ淺堆ナリ、周圍ハ急深ナリ。

備瀬崎 (ビセ) 古宇利島ノ西方約 7 哩=位シ沖繩島ノ北西端ナリ。

運天港ヨリ備瀬崎=至ル間ノ海岸ハ裾礁 0.2—1 哩擴延沿布シ其ノ外側ハ概ネ急深ナリ。

伊江島 備瀬崎ノ西方約 2.5 哩=位ス、北岸ヲ除クノ外礁脈沿布シ其ノ外側ハ急深ナリ、島ノ東部=削立セル奇岩峯ヲ **イコスコ山** (高サ 170 米)ト稱シ東北東方ヨリ望メバ烏帽子狀ヲ呈ス、伊江島燈臺ノ北西方約 3.6 哩=水深 14.6—16 米ノ珊瑚堆アリ。

伊江島燈臺 伊江島ノ西端=在リ、高サ 35 米ノ黑白横線塗八角形鐵造、燈高 52 米。

面那島 (メンナ) 伊江島ノ南方約 3.5 哩=位スル平低嶼=シテ礁脈=圍繞セラル、伊江島ト面那島トノ中間=**中ノ瀬**ト稱スル干出 0.6 米ノ礁アリ。

面那島ノ西北西方約 1.8 哩=水深 16 米ノ珊瑚堆アリ、周圍急深=シテ 50 米ヨリ深シ。

渡久地港 (トグチ) (海圖 240) 備瀬崎ノ南方約 2.5 哩=在ル港

灣ナリ、本港ハ西方=露開スレドモ北東—南西ノ方向=互レル—連ノ礁脈=依リテ稍此ノ方面ノ風浪ヲ屏障ス、此ノ礁脈ハ處々斷續セル處アリテ稍深キ狹水道ヲ通ズ又礁脈上ハ常=激シク破浪ス。

港ノ北部ハ 12.8—18 米ノ水深ヲ有シ低潮=洗フ (若ハ殆ド洗フ) 數箇ノ點礁存在スレドモ安全=シテ風浪ノ保障アル錨地アリ。

港首=ハ修築内港アリ、吃水適度ノ船舶ハ太陽好位置=在ルトキ橋上見張ヲ以テ注意航進スレバ内港=入ルヲ得ベシ。

瀬底錨地 (海圖 240) 瀬底島ト沖繩島岸トノ間ナル水道ノ南部=於テ水深 9.1—20 米ノ處=各方向ノ風ヲ保障スル錨地アリ。

某船ハ嘗テ瀬底島ノ高サ 75 米頂ヲ 318 度約 7.3 鐘=望ム水深 18 米、底質沙殻ノ處=投錨セリ、此處ハ潮流アレドモ特=北東ノ風浪ヲ避ケル=宜シト謂フ。

名護灣 (海圖 226 分圖) 此ノ灣ノ灣首ハ瀬底錨地ヨリ東南東方約 6.5 哩=在リ、西—南西ノ間=暴露スレドモ名護ノ前面距濱約 5 鐘ノ處=錨地アリ、其ヨリ外方ハ深水=シテ錨泊=適セズ。

殘波岬 (ザンパ) 備瀬崎ト沖繩島南端トノ略中間=在リ、著シク西方へ突出シ好目標ト爲ル。

那覇港 (海圖 243) 殘波岬ノ南方約 13 哩=位スル南西諸島中唯一ノ開港ナリ、外港ハ北—西ノ風=暴露スト雖モ數多ノ珊瑚礁=依リテ浪勢ヲ殺ギ且錨搔キ善キヲ以テ大小船舶=利用シ得ベシ、然レドモ北—西ノ強風時=在リテハ波浪大ナルガ故=十分ナル警戒ヲ要ス、内港内ハ波浪ノ襲來ヲ避ケ暴風時ト雖モ碇泊安全ナリ。

内港ハ地勢上之ヲ 2 部=分ツコトヲ得、一ハ三重城突端ヨリ南北明治橋附近=至ル迄ノ水道形ノ部=シテ他ハ南北明治橋ヨリ南東方 1 小島

(奥武山公園ト稱ス)ヲ圍繞シテ深ク眞王橋迄灣入シ高潮時以外ハ干出スル湖形ノ部ニシテ一ニ之ヲ漫湖ト名ツケ底質概ネ沖積泥土ナリ。

外港ノ東濱港界北端附近ニ**安里川**(アサト)開口ス、此ノ河口ハ水淺クシテ泊船ニ適セズ、然レドモ首里ニ通ズル陸路ノ便アルヲ以テ國頭郡方面ヨリ薪炭ヲ運ブ琉球船ハ常ニ此處ニ碇泊ス。

氣象 初冬ヨリ初春ニ至ル迄北—北東ノ風流行シ、夏季ハ南東—南西ノ風多シ、最強風ハ北西風ニシテ風速45ノットニ達セシ記録アリ、降水量ハ全年ヲ通ジテ多ク殊ニ夏秋ハ其ノ量多シ、尙卷末氣象表第2(那覇氣象表)参照。

潮流 港外附近ニ於ケル漲潮流ハ東方若ハ北方ニ向ヒ、落潮流ハ西方若ハ南西方ニ向フ、而シテ高低潮後1.5—2時ニ轉流シ流速0.5—1.8節ヲ驗セリ、港口附近ニ在リテハ港口北側ノ珊瑚礁上ヲ流レ其ノ凹所ヨリ航路ニ注入スル落潮流ハ意外ニ強ク東航船舶ノ左舷ヲ押壓シテ針路ヲ誤ラシムルノ惧アリト謂フ、故ニ落潮時入港ノ船舶ハ之ニ留意スルヲ要ス。

港灣設備 三重城ノ北側ヨリ北西方へ約300米延出セル防波堤アリ、内港ニ小船架ヲ有スル水深1.4米ノ琉球型船碇泊所、側傍水深8.1米、長さ350米ノ第1岸壁(第1棧橋)、側傍水深8.7米、長さ200米ノ第2岸壁(第2棧橋)竝ニ長さ89米及7.4米ノ物揚場アリ。

目標 港界東端安里川河口ノ北方ニ在ル**相順山**(高さ50米)ハ頂上松樹アリテ遠望顯著ナリ、安里川上流ノ首里城ハ高さ143米、城壁樹間ニ隱見シ頗ル顯著ナリ、同河口ノ西方約5鐘ニ位スル**雪埼**(ユーチノサチ)ハ高崖岬ニシテ顯著ナリ、雪埼ノ南西方約3鐘ニ**波之上埼**(ナムミーザチ)アリ、3面絶壁ヲ成シ崖脚深ク凹入ス、埼頂ニ遠望顯

著ナル官幣小社波上宮アリ、波之上埼ノ南西方約300米ニ**博奕山**アリ、少シク隆起シ附近墳墓多シ(古來墓地ガ琉球人ノ財産ノ主要部ヲ占ムルハ良ク知ラルル處ニシテ其ノ墳墓ハ頗ル宏壯遠ク之ヲ望メバ白堊ノ大厦ノ如ク見ユ)。

内港口北側ノ**三重城**(ミエグスク)ハ砲臺ノ舊址ナリ、三重城ト相對スル**屋良座**(ヤラジャ)モ亦舊石壘ニシテ高さ6.9米、今尙舊形ヲ存ス。

三重城燈臺 内港口三重城北西端ニ在リ、高さ4.7米ノ白塗四角形煉瓦造、燈高10米。

先原埼燈臺 先原埼上ニ在リ、高さ14米ノ白塗圓形煉瓦造、燈高29米。

障碍物 那覇港外ニ於テ港界ノ北方ニ**自謝加瀨**(ヂチャカ)(干出0.8米)及**伊奈武瀨**(イナン)(干出1.3米)ナル2大珊瑚礁アリ、此ノ2礁間ノ南方ニ**イナンノソネガー**(水深1.8米)、**ダナカソネガー**(水深3.8米)等ノ點礁アリ又港界ノ屈曲點附近ニ長さ約3.5鐘、幅約2.5鐘ナル珊瑚礁**干ノ瀨**(カンノ)(干出0.5米)アリ、干ノ瀨ノ東側及南側ニハ珊瑚點礁アリ、其ノ主ナルモノヲ**モンナン瀨**(水深5.4米)トシ内港ニ通ズル中央航路ノ北界ヲ成ス、三重城燈臺ハ紅光分弧ヲ以テ自謝加瀨、伊奈武瀨及干ノ瀨ヲ示シ、先原埼燈臺ハ綠光分弧ヲ以テ干ノ瀨、「モンナン」瀨、「ダナカソネガー」及「イナンノソネガー」ヲ示ス。

中央航路ノ南西側ニハ**淺ノ瀨**(最小水深2.4米)、**中淺瀨**(中ノ瀨)(最小水深4.8米)等ノ淺礁アリ、三重城燈臺ノ紅光分弧ヲ以テ淺ノ瀨等ヲ又先原埼燈臺ノ紅光分弧ヲ以テ淺ノ瀨、中淺瀨等ヲ示ス。

内港口ノ外方ニ於テ南北兩側ニ島岸ヨリ擴延セル珊瑚礁アリ、其ノ北側ノモノハ先原埼燈臺ノ紅光分弧、南側ノモノハ三重城燈臺ノ紅光分弧ヲ以テ各之ヲ示ス。

錨地 外港ニ於テハ先原埼燈臺ヨリ31度ノ線上水深24—27米ノ處ハ礁脈ノ擁護ヲ得テ錨泊シ得ベシ、但シ此ノ錨地ハ稍偏西強風ニ暴露ス、斯クノ如キ場合ニ於テハ安里川河口ノ前面海岸ニ近ク水深12.8米ノ處ニ於テ稍風浪ヲ避ケ得ベシ又此ノ錨地ニ碇泊セル汽船ノ暴風ニ遭フトキハ慶良間列島ノ風下側ニ避難スルヲ常トスト謂フ、内港内ハ安全ナルモ狹隘ニシテ全長107米以上ノ船舶ハ入港スルヲ得ズ、當港ニハ曳船ナキヲ以テ出港セントスル船舶ハ南濱ヨリ取りタル鋼索ヲ張り適宜機械ヲ使用シテ出港スルヲ要ス。

航路 港外珊瑚礁ノ間ヨリ那覇港ニ赴ク3條ノ航路アリ、倭口、唐口及宮古口ト謂フ、唐口（唐船口）ハ干ノ瀬ト淺ノ瀬トノ間ニ於ケル直條ナル中央航路ニシテ3航路中最モ良シ、可航幅約5鍾、水深18—30米、倭口（ヤマト）ハ自謝加瀬ト伊奈武瀬トノ間ニ成レル北方航路ニシテ水道内ニ數多ノ淺礁點在スル爲可航幅約2鍾ニ狹マリ水深12—20米、且航路屈曲スルヲ以テ地方ニ通曉セザルモノハ通航セザルヲ要ス、宮古口ハ淺ノ瀬ト中淺瀬トノ間ニ成レル南方航路ニシテ可航幅約7鍾、水深11—24米アルモ水道ハ陸岸裾礁ニ面スルヲ以テ直條通航ハ困難ナリ。

針路法 外港ニ於テ附近ノ淺瀬ハ概ネ明瞭ニ認メ得ルモ雨季ニハ港内ヨリ流出スル濁水ノ爲海水白色ヲ呈シ淺瀬ノ如ク見ユルコトアリ殊ニ先原埼燈臺下ニ於テ然リトス。

港口ノ最良航路ハ唐口ニシテ大小ノ船舶皆之ヲ採ルヲ得ベシ、外港錨

地ニ入ルニハ那覇市街ノ南東方約3.5軒ニ在ル長嶺山（ナガンミ）（圖載シアラズ）ヲ三重城ト屋良座トノ中間127度ニ望ミテ向首航進シ、先原埼燈臺ヲ189度ニ見ルニ及ビテ漸次北東方ニ轉針シ遂ニ該燈臺ヲ船尾211度ニ保チテ進ミ前記錨地ニ投錨スベシ、夜間ハ三重城燈臺ノ白光分弧（121—126度間）内ヲ航シテ先原埼燈臺ノ内方白光分弧内ニ入ル迄進ミ、然ル後先原埼燈光ヲ船尾207—226度間ニ保視シ晝間ト同ジク必要ニ應ジ投錨スベシ、此ノ際意ヲ用フベキハ漲潮流ハ唐口ヲ横ギリテ北方ニ流レ、落潮流ハ之ニ反スルコトナリ。

宮古口ハ偏南風時ニ唐口ヲ探ルコト能ハザル帆船ニ對シ必要ナリ、然レドモ判然タル目標ナキ故初航者ニハ推薦スルヲ得ズ、大嶺山ヲ155度ニ望メバ宮古口ニ導ク。

内港ノ出入ニ當リテハ其ノ入口附近ニ於テ落潮時船首尾ヲ三重城燈臺下ニ壓流セララル傾向アリ。

大嶺鼻 先原埼ノ南南西方約1.2湮ニ位スル岬角ナリ。

大嶺鼻ヨリ南方喜屋武埼ニ至ル約7湮ノ間ノ島岸ハ概ネ沙濱ニシテ稀ニ岩石濱アリ、距岸1—2湮間干出珊瑚裾礁擴延シ礁上ニ3箇ノ小嶼アリ又此ノ珊瑚裾礁ノ外端附近ニ數箇ノ險礁アリ、船舶ハ水深36米ノ外側ヲ保チ航スルヲ要ス。

ルカン礁 沖繩島南端荒埼ノ西方ナル喜屋武埼ノ西方約6.5湮ニ位スル橢圓形ノ珊瑚礁ニシテ南北ノ長徑約1湮、最大幅約7鍾、礁上數箇ノ露頭アリ又四周急深ナリ。

沖繩島南東岸

沖繩島ノ南東岸ハ岸線屈曲出入シテ中城灣、金武灣、大浦灣、有銘灣、川田灣等ノ諸灣ヲ成ス、就中中城灣及金武灣ハ大形灣ニシテ共ニ其ノ

南部=在リ、此ノ兩灣ハ其ノ灣口=島嶼數多散在シテ風波ヲ防ギ且灣内水深クシテ大形船舶ヲ泊スル=足レドモ暗岩ノ危険アルヲ免レズ。島ノ南端荒埼(沖南角)ヨリ金武埼=至ル間即チ南東岸中ノ略南半部ハ彎入シテ上記ノ大灣ヲ成シ、其ノ2灣ノ中間及中城灣灣口南側附近ハ距岸遠ク珊瑚礁擴延ス、金武埼ヨリ川田灣=至ル約16哩ノ間ハ岸線北東方=走り數多ノ屈曲アリテ數灣ヲ成セドモ、珊瑚礁脈其ノ口ヲ擁シ大浦灣ノ外大形船舶ヲ容レ難シ、此ノ海岸ハ概ネ遠淺ニシテ珊瑚礁脈ハ距岸2—9鏈ノ間=斷續連瓦シ之ト島岸トノ間ハ極メテ淺水ナリ、川田灣ヨリ島ノ北端邊戸埼=至ル約21哩ノ島岸ハ彎入極メテ少ク、概ネ遠淺ニシテ珊瑚礁亦沿布スルヲ以テ5鏈以內=接近スベカラズ、然レドモ其ノ外側ハ急深ニシテ危険ナシ。

潮流 沖繩島南東岸ノ北部ヲ距ル3哩以內=在リテハ漲潮流ハ南方若ハ南西方へ流レ落潮流ハ之=反ス、流速ハ安田小島ノ外1節ヲ超ユル處ナシ、距岸3哩以上ノ沖合=於テハ漲潮流ハ概ネ北流スルモノノ如シ。

中城灣(ナカグスク) 沖繩島南東岸南部ノ大開灣ニシテ東—南ノ風=暴露ス、中央ノ灣口ハ**ニッコ**ト稱シ久高島ヨリ北東方へ約2.6哩ノ間擴延セル礁脈端ト津堅島トノ間=在リテ幅約2哩、水深57米内外ナリ、ニッコノ内方航路ノ中央=**チクニガ**ト稱スル水深2.3米ノ暗岩アリ、此等ノ險礁ハ津堅島燈臺ノ紅光分弧ヲ以テ之ヲ示ス、灣濱附近ハ礁脈遠ク擴延シ殊ニ灣ノ北隅ヨリハ南方=向ヒ約6哩ノ間數多ノ洗岩險礁散布突出スルヲ以テ大ニ泊船ノ利ヲ減殺ス。

灣央附近ハ水深25米内外、底質沙殻ニシテ大形船舶ノ碇泊=適スルモ東風兩三日連吹スルトキハ「ウネリ」侵入シ時=陸岸トノ交通杜絶

スルコトアリ、故ニ東北東—東南東ノ風濤=對シテハ安全ナル錨地=非ズ。

久高島(クダカ) 中城灣濱ノ岬角**知念岬**ノ東方約3哩=在リ、島ノ南西側=中城灣ノ南方灣口タル**久高口**アリ、汽船羅州丸(2,348噸)ノ報告=依レバ本水道ノ通航ハ安全ニシテ**イラブー岩**ハ水面上約8米位ノ高サヲ有シ近接スレバ顯著ナリト謂フ。

與那原灣(ヨナバル) 中城灣南西隅ノ支灣ニシテ山丘南及西ノ2面ヲ擁シ水深適度ナルヲ以テ夏季船舶ノ錨泊=適ス。與那原灣ノ西隅=**與那原港**アリ、港口東方=面スルヲ以テ西—南ノ風ヲ除ク外ハ波浪襲來スルノミナラズ港内狭ク且水淺キガ故=好泊地=非ズ。

與那原灣ノ南隅=**馬天港(バテン)**アリ、北方ノ外3面陸ヲ控ヘ夏季小形船舶ノ錨泊=適ス、但シ灣首ハ低潮=干出スルコト約2鏈=達シ東濱ハ珊瑚礁脈擴延スルヲ以テ港幅大ニ狭メラル。

勝連灣(カツレン) 中城灣内北部=於テ中城灣ト金武灣トノ境界ヲ成セル**勝連半島**ノ南側=在リ、灣ノ北東方ハ同半島ノ山脈ヲ擁シ東方ハ津堅島ト半島外端**勝連埼**トノ間=散在スル岩礁等アリテ波浪ノ障屏ヲ成ス、錨地ハ水深適度ニシテ冬季船舶ノ避泊=可ナリ。

津堅島(ツケン) 勝連埼ノ南南東方2.2哩=在リ、島頂ノ松樹ハ形狀傘ノ如ク遠望顯著ナリ。

津堅島燈臺 津堅島ノ南端=在リ、高サ15米ノ白塗六角形鐵造、燈高24米。

金武灣(チム) 勝連半島北側ノ大形灣ニシテ灣口ハ伊計離ト金武埼トノ間=開口ス、灣ノ北側ハ**恩納岳(オンナ)**(高サ363米)等

ノ山脈ヲ負ヒ、南東側ハ勝連半島外端ヨリ北東方ニ連瓦スル嶼列ヲ控ヘ稍風浪ヲ保障スレドモ、灣内南部ハ險礁散在シ泊地ニ適スルハ北濱ニ沿ヘル一小部分ニ過ギズ、該泊地中北濱ニ沿ヒ水深25米、底質泥ノ處ノ附近ハ南風時ノ外安全ナル錨地タリ、又伊計離及高離島ノ西側ニ於テ水深27米ノ處モ錨地トナシ得。

漢那港 金武灣口北西角**金武崎**ノ北東側ニ在リ、其ノ北東方ノ久志灣(海圖242)ト共ニ何レモ狹隘ニシテ險岩散布スルヲ以テ船舶ヲ容レ難シ、但シ金武崎北方ノ南里川(ナンザト)河口ハ珊瑚礁其ノ前面ニ擴延シ風浪ヲ遮ルヲ以テ小舟ノ泊地ト爲ル。

漢那港口附近ヨリ北東方大浦灣口大浦口ニ至ル約6.5哩ノ島岸ハ距岸約7鏈附近ニ珊瑚礁斷續連瓦シ、其ノ外側少許ノ間ハ點礁散布スルヲ以テ接近スベカラズ、此ノ珊瑚礁ト島岸トノ間ハ淺水平波ナリ。

長島(海圖242) 大浦灣ノ西口タル大浦口ノ西側ヲ成セル3箇ノ黑色岩嶼ニシテ何レモ雜草ニ蔽ハル、長島ノ北東側ハ約1鏈間險惡地擴延シ且其ノ南東端ヨリ干出珊瑚礁南東方ヘ4鏈間突出シ其ヨリ漸次西方ニ連瓦ス。

大浦灣(オオラ)(海圖242) 長島ト阿倍王留島トノ間ヨリ北西方ヘ彎入スルコト2.5哩ニシテ幅1.5—2哩アレドモ北濱ヨリハ3—6鏈間礁脈擴延シ、且灣口ノ殆ド中央ニ**中干瀬**(ナカビ)アリテ僅ニ灣ノ西部ニ深水ノ處ヲ存スルノミ、然レドモ沖繩島南東岸ニ於テハ與那原港ト此ノ灣トノ外ニ避泊地ナキヲ以テ天候不良ノ徵アルトキ琉球形船ノ多クハ此ノ灣内ニ避難スト謂フ。

灣口ハ中干瀬ノ兩側ニ通ジ西側ナルヲ**大浦口**、東側ノモノヲ**大北口**(オウニシ)ト稱ス、灣内入進ニハ普通大浦口ヲ採ルヲ可トス、大浦口

ハ幅約2鏈、水深38—65米ニシテ、其ヨリ灣内西濱ニ沿ヒ漸次淺水ト爲ル、錨地トシテハ灣首西濱渦護(ナビゴ)ノ前面水深27米内外、底質細沙泥ノ處ニ大形船舶ヲ泊センメ得、小形船舶ハ尙内方ニ於テ松崎ノ南方約2.5鏈、水深5.4—7.3米、底質細沙泥ノ處ニ錨地ヲ得ベシ、但シ荒天ニハ錨泊困難ナリ。

灣内西部ノ深水區ニ3箇ノ珊瑚點礁アリ、**南中瀬**ハ航路ノ西側ニ於テ長島北西嶼ノ北方約3鏈ノ處ヨリ北西方ヘ1鏈ノ間擴延シ礁上最小水深3.6米、周圍急深ナリ。**中瀬**ハ航路ノ東側ニ於テ南中瀬ノ北北東方約2.3鏈ニ位シ水深3.7米、周圍急深ニシテ水深14.6—36米アリ、**北中瀬**ハ中瀬ノ北方約4鏈ニ位シ水深1.8米、周圍16—34米ニシテ航路ノ東側ニ在リ、灣内入進ニハ名護嶽ヲ灣首ノ松崎ト一線323度ニ望ミテ之ニ向首セバ上記諸險礁ヲ避クルコトヲ得。

琉球形船ハ各村落ノ河内ニ入り若ハ前面ノ干出泥堆上ニ膠着シテ荒天ヲ凌グヲ常トス。

阿倍王留島(アブワウル)(海圖242) 大浦灣口ノ東端ヲ成セル險崖嶼ニシテ島周珊瑚礁ニ圍繞セラル。

有銘灣(アルミ) 阿倍王留島東北東方約3.5哩ノ**天仁屋崎**(崎端ニ極メテ顯著ナル數箇ノ尖岩突出ス)ト其ノ北方約1.7哩ノ**曲崎**トノ間ニ北西方ヘ彎入シ彎入約1.5哩ナレドモ灣濱ヨリ珊瑚礁遠ク擴延シ泊船ニ適スル區域ハ極メテ狹隘ナルノミナラズ向岸風ニハ波浪侵入シ更ニ泊船ノ價值ナシ。

川田灣 有銘灣ノ北東隣灣ニシテ灣口幅2哩餘、彎入約1.5哩、有銘灣ト同様灣内珊瑚礁域廣ク錨泊地トシテ適當ナラズ。

曲崎ノ東北東方約5哩ナル**危難崎**ヨリ北東方安波港ニ至ル迄ノ6哩間

ハ山脚ノ急下セル亂岩ノ險崖ニシテ珊瑚礁沿布シ辛ウジテ小舟ヲ着ケ、得ルハ大泊、新川、嵩江ノ3箇所ノミ。

安波港 (アハ) 危難崎ノ北東方約6湮ニ在リ、東方ニ露開ス、灣口幅6鏈、彎入4.5鏈ニシテ南側ヨリ擴延スル珊瑚礁ハ港内ノ一半ヲ蔽ヒ甚ダ狹隘ナレドモ、該珊瑚礁ノ爲南東方ヨリ來ル波浪ヲ防グヲ以テ大浦灣以北ニ於ケル琉球形船ノ最好泊地ナリ、港口ノ南側岬角ニ近キ高サ32米ノ岩ハ顯著ナリ。

安田小島 (アダガー) (シトモウ島) 安波港ノ北東方約2.5湮ニ於テ島岸ヨリ南東方ニ1湮餘ノ間突出セル珊瑚礁上ニ位セル南東—北西ノ方向ニ長キ小嶼ニシテ其ノ西端ニ阿旦樹林アリ、該珊瑚礁端ハ急深ニシテ其ノ外方約1湮ノ間ハ常ニ激湍アリ。

安田小島西方對岸安田 (アダ) 村落ノ前面ハ水深12.8—18米ニシテ西—北東ノ間ノ各方向ノ風ニハ假泊シ得ベシ。

奥港 安由小島ノ北北西方約6.2湮ニ在ル草生岬瀬戸崎ノ西側ニ在リ、彎入3鏈、珊瑚礁港口ヲ擁シ西方ニ偏シテ僅ニ小形船舶ヲ入レ得ベキ水道ヲ存ス。

慶良間列島 (ケラマ)

那覇港ノ西方11—23湮ニ於テ南北7湮ノ間ニ在ル1群ノ島嶼ニシテ前島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島、外地島、屋嘉比島、久場島其ノ他ノ小嶼ヨリ成リ就中渡嘉敷島最モ大ナリ、渡嘉敷島以東ヲ前慶良間ト總稱シ同島ノ西側ニ通ズル水道ヲ慶良間海峽ト謂フ。

本列島ハ頗ル急峻ナル傾斜ヲ成シ山上ニハ沖繩松及常綠闊葉樹ノ密林繁茂シ溪間清泉ニ乏シカラズ、列島内鹿多シ、飯匙蛇ハ渡嘉敷島及阿嘉島ニ産シ座間味島及慶留間島ニハ産セズト謂フ。

潮流 本列島ノ諸水道ニ於テハ北流ハ低潮後3—4時ヨリ高潮後3—4時迄、南流ハ高潮後3—4時ヨリ低潮後3—4時迄流レ、最強流速2節ニ達ス。

前島 列島ノ最東ニ位シ全島矮樹叢生ス、島頂(高サ138米)ハ圓錐形ヲ成シ頗ル顯著ナリ。

黒島 列島中ノ最北嶼ニシテ前島ノ北西方約3湮ニ在リ。

ウチザン嶼 黒島南端ト前島南端トノ間ナル水道ノ中間ニ位スル高サ6.1米ノ大岩ナリ、之ヨリ南南西方8鏈ノ間暗岩擴延ス。

渡嘉敷島 (トカシキ) 列島ノ中央ニ位シ列島中ノ最大島ナリ。

阿波連港 (アハレ) 渡嘉敷島ノ西岸ニ於テ島ノ北端ヨリ全長ノ約 $\frac{2}{3}$ ニ當ル處ニ在ル小形船舶ノ泊地ナリ、港ノ西側ハ深瀬島〔離リ〕ト稱スル高サ68米ノ小嶼及暗礁ニ依リテ成ル、深瀬島北端ヨリ90度ノ線以北ハ港内暗岩梗塞ス。

儀津崎 (ギヅノ) 渡嘉敷島南東端野嘉良崎ノ北方約2.8湮ニ位スル島ノ東岸ノ1岬角ナリ、該崎ノ南東方約2.5鏈ニ島頂樹木繁茂セル黒色ノ險崖嶼域島(グスク)アリ、崎トハ干出珊瑚礁ヲ以テ連ル。城島及該干出珊瑚礁ノ西側ニ小灣アリ、南風及南東風ノ外小舟ヲ泊スルヲ得ベシ。

慶良間海峽 渡嘉敷島ト其ノ西側ノ諸島トノ間ノ水道ニシテ最狹可航幅9鏈、水深60米内外、其ノ東濱附近ハ危險ナシト雖モ西側ニハ麻茶武礁、北平瀬、平瀬、名瀬等、南口外方ニハ「トムモーヤ」礁等ノ險礁アリ、海峽内ハ諸島嶼ニ依リ各方向ノ風ヲ防護シ自然ノ好錨地ヲ成セリ、故ニ那覇港ノ外港ニ碇泊スル船舶暴風ニ遭フトキハ此處ニ避難スルヲ常トスト謂フ。

座間味島

慶良間海峡ヲ隔テテ渡嘉敷島ノ北西方ニ在リ、峻峻ナル亂形島ニシテ珊瑚礁ニ圍繞セラル、島ノ中央ハ北岸中央ノ灣入ト南岸ノ深入灣トニ依リ幅約2.5鏈ノ低地類ニ狹窄セラル。

座間味錨地

座間味島ノ南岸ト安慶名敷島トノ間ニ在リ、嘉比島南端ト屋嘉比島ノ南端トヲ一線ニ又渡嘉敷島阿波連崎附近ノ白岩ヲ安室島南西端ト名瀬トノ間ニ望ム水深31米、底質沙ノ處ヲ好錨地トス、然レドモ潮流屢1.5節ノ流速ニ達スルコトアルヲ以テ注意ヲ要ス。

錨地ニ臨メル座間味島南岸ノ灣入部ハ大部分低潮ニ干出スルヲ以テ高潮時ニ非ザレバ着岸シ難シ。

安室島 (阿室島)

座間味島ノ南方ニ位シ礁脈ヲ以テ相連ル、島ノ南東端附近ニ牛瀨(ウシジ)(高サ17米)及平瀨(ヒラシ)(高サ1.5米)ノ2岩アリ。

名瀬 (ナジ)

安室島南端ノ南方約8鏈ニ位スル高サ15米ノ岩ニシテ其ノ北東側ニ數箇ノ岩アリ又東方へ2.5鏈間、南東方へ3鏈間淺水擴延シ其ノ外縁ニ各高サ2.1米ノ岩、干出0.3米ノ岩アリ。

大會根

安室島北端ノ北東方約7.5鏈ナル安護浦口ノ西角麻儀地鼻ヨリ南東方へ約7鏈ノ間水深20米以下ノ淺水礁脈突出シ其ノ外端ニ近ク礁頭大會根(水深3.2米)アリ、大會根ト麻儀地鼻トノ中間ニハ他ノ礁頭會根釜(水深0.9米)アリ。

船舶安護浦入泊ニ當リ大會根及會根釜ヲ避ケンガ爲ニハ安護浦口ノ東側岬角留加比鼻(ルカヘノ)頂(高サ49米)ヲ座間味島北端岬上ノ赤崎山(高サ133米)ト一線330½度ニ保視進入スベシ。

安護浦 (阿護浦)

麻儀地鼻ト留加比鼻トノ間ニ北方ニ比較的深入スル小灣ニシテ灣入約7鏈、幅約3鏈アリ、能ク各方向ノ風ヲ屏障

スレドモ「ウネリ」南方ヨリ來ルトキハ警戒ヲ要ス、且灣濱ハ珊瑚礁沿布シ底質亦珊瑚ノ處アルヲ以テ好泊地トハ稱シ難シ。

北平瀨 (キタヒラジ)

座間味島南東端ヨリ南南東方へ約4鏈間突出スル礁脈ノ南端附近ニ在ル高サ1.8米ノ岩ナリ。

麻茶武礁 (マチャム)

北平瀨ノ北北東方約1湮、座間味島岸ヲ距ル約7鏈ノ處ニ位シ礁上水深1.8—4.5米、周圍急深ニシテ西側ハ14.6—20米、東側ハ25—31米ノ水深アリ。北平瀨北隣ノ高サ70米ノ嶼頂ヲ222度以下ニ望マザレバ此ノ礁脈ヲ避クルコトヲ得。

阿嘉島

阿嘉海峡ノ南西側ヲ成シ慶良間列島中最モ樹木多シ、島頂ヲ大岳ト謂ヒ樹木鬱黒トシテ他島ヨリ區別シ易シ。

慶留間島

阿嘉島ノ南側ニ接在シ且礁脈ニ依リ互ニ相連レル小島ナリ。

外地島 (ホカヂ)

慶留間島ノ南側ニ接シ礁脈ニ依リ之ト相連レル小島ナリ、外地島ノ南端ヨリ約5鏈間南方ニ擴延セル礁脈上ニ數箇ノ高岩嶼アリ。

トムモーヤ礁

外地島南端ノ南方2.1湮ノ處ヨリ南方約6鏈ノ間ノ擴延セル3礁脈ノ總稱ニシテ北方礁ハ干出0.9米、南方礁ハ水深5.4米、中央礁ハ東西2頭ヲ有シ其ノ西頭ハ干出1.8米、東頭ハ水深4.1米ナリ、而シテ各礁脈間ハ水深20米ヨリ深シ、此等礁脈上ハ常ニ破浪アルヲ以テ認知シ易シ。

下會根

「トムモーヤ」礁ノ西方約2.3湮ニ在ル水深5.4米ノ孤立岩ナリ、周圍急深ニシテ水深40米ヨリ深ク岩上常ニ激湍アルヲ以テ識別シ得ベシ。

屋嘉比島 (ヤカビ) (屋加比島)

阿嘉島ノ北西方約1.5湮ニ位

シ島頂ニハ樹木アリ、島周珊瑚礁沿布ス。

久場島 (コバ) 屋嘉比島ノ南方約2湮ニ位シ慶良間列島ノ最西島ナリ。

粟國島、渡名喜島及久米島

沖繩島ノ西方、慶良間列島ノ北西方ニ於テ此ノ3島ニ小嶼鳥島ヲ加ヘ4者相對シテ不等邊四角形ノ各角點ヲ成ス、就中久米島ハ其ノ形最モ大ナリ。

粟國島 (アグニ) 那覇港ノ北西方約31湮ニ位シ西方ヨリ同港ニ至ル船舶ニシテ本島ノ北方ヲ經由スルトキハ本島ハ楔形ノ觀ヲ呈スルヲ以テ好目標ト爲ル。

島ノ東岸ハ珊瑚礁遠ク沿布シ、西岸ハ岩壁ニシテ共ニ着岸シ得ル處ナシ、島ノ南岸略中央ノ崖下ニ2箇ノ汲水所アリ、水質稍早魃ニモ容易ニ潤渴スルコトナシト謂フ。

濱 島ノ南岸ニ在ル村落ニシテ其ノ前面ニ存在スル珊瑚礁ノ切目ヨリ上陸シ得ベク北一東ノ各方向ノ風ハ稍平穩ナリ。

渡名喜島 (トナチ) 粟國島ノ南南西方約13湮、座間味島ノ北西方約10湮ニ在リ。

島ノ北岸及西岸ハ一帯ノ沙濱ニシテ**西濱** (イリハマ) ト稱シ珊瑚礁距岸5鏈餘ノ間擴延ス、島ノ南東岸ハ全ク裾礁ナシ、之ヨリ以北ナル島ノ東岸ハ灣形ヲ成セドモ珊瑚礁填塞シ低潮ニ2條ノ濤ヲ存スルノミニテ着岸スルコト能ハズ。

潮流 渡名喜島附近ニ於テハ漲潮流ハ北流、落潮流ハ南流シ略高低潮時ニ轉流ス。

激湍 渡名喜島ノ南西方約3.5湮ノ處ハ水深200米内外ニシテ常

ニ激湍アリ。

久米島 沖繩群島中ノ最西島ニシテ渡名喜島ノ西方約18湮ニ位シ、島内南北ニ2山脈アリテ其ノ中間稍低キヲ以テ東西ヨリ望メバ2島ノ如シ、島頂ハ北山脈中ノ**大嶽**ニシテ高サ326米、島ノ南北兩岸ハ險崖、東西兩岸ハ遠淺ニシテ島周概ネ珊瑚礁ニ圍繞セラレ、儀間港及島尻灣ノ外小形船舶ヲ容ルル處ナシ。

潮流 久米島附近ニ於テハ北流ハ低潮後約3時ヨリ高潮後約3時迄、南流ハ高潮後約3時ヨリ低潮後約3時迄流レ、沿岸ニ於テハ流速3.5節ニ達ス。

儀間港 (海圖238) 久米島南西岸ノ略中央ニ在リ、前面ハ干出珊瑚礁竝列シ稍浪勢ヲ殺ゲドモ、其ノ内方ハ半バ低潮ニ干出シ甚ダ狹隘ニシテ小形船舶ノ外碇泊困難ナリ、港口ハ珊瑚礁間ニ在リ、儀間村落背後ノ松樹ノ森 (高サ51米) ヲ65度ニ望ミテ進メバ安全ニ進入シ得ベシ。

島尻灣 (海圖238分圖) 久米島南端**島尻崎**ノ北東側ニ在リ、北方ハ**奥武島** (アウ)、**奥端島** (アウハ) 等ニ、東方ハ干出珊瑚礁ニ依リテ稍波浪ヲ防ゲドモ、灣内無數ノ暗岩散在シ灣口狹部ニモ亦暗礁アリテ荒天ニハ一面ニ破浪シ往々灣口ヲ辨ゼザルコトアリト謂フ、小舟ノ外ハ久米島南山脈ノ最高峯**荒嶽** (高サ293米) ト灣首南西隅ニ在ル島尻沙濱ノ北端トノ一線以北ニ入ルベカラズ。

御神岬 (オガン) (拜崎) 久米島ノ東端ヨリ東方ニ約6湮間礁脈擴延シ礁脈上常ニ大破浪アリ、其ノ外方部ノ幅約1.5湮ニシテ外端ヲ御神岬ト稱ス、此ノ礁脈ノ北側ハ最高高潮ニ没シ南側ハ低潮ニ洗フ、而シテ外端ニハ高サ1.8米ノ1岩アリ。

鳥島 久米島ノ北方約12.5 哩ニ在ル珊瑚質ノ孤立岩嶼ニシテ高サ25 米、北面ハ斷崖ヲ成シ南面ハ稍傾斜ス、岩頂殆ド平ナルガ如ク兩端ニ著シキ尖岩ヲ有シ遠望汽船ノ如ク見ユルコトアリ又東西ヨリ望メバ2 岩ノ如ク見ユ、島上多數ノ海鳥群棲シ其ノ鳴聲朝夕ニハ1—2 哩外ニ聞ユト謂フ。

大東島 (オホアガリ) (ダイトウ)

大東島トハ南西諸島列線ノ遙ニ東方洋上ニ於テ沖繩島南端ノ東方約195 哩ニ在ル南北大東島ト其ノ南方約80 哩ニ在ル沖大東島トノ3 島ノ總稱ナリ。

北大東島 本島ハ半圓形ノ珊瑚島ニシテ、北岸ハ殆ド一直線ヲ成ス、地勢全ク南大東島ニ同ジク一帯ノ丘陵外輪ヲ成シテ中央ニ盆地ヲ作ル、島ノ中央ヨリ少シク北西方ニ**大神宮山**アリ、高サ72 米、大東諸島中ノ最高點ニシテ特ニ隆起セルヲ以テ遠方ヨリ識別シ易シ、島周急深ニシテ距岸1 鏈ノ處水深20 米ヲ超エ200 米等深線ハ距岸2—4.5 鏈ニ在リ。

島内池沼ノ水ハ全然飲用ニ堪ヘズ、飲料水ハ雨水ヲ貯ヘテ之ニ充ツ。

氣象 製糖會社積取船ノ報告ニ依レバ3 月至5 月間ハ霧發生スルコトアリ、雨期ハ5 月、暴風期ハ7 月ヨリ10 月迄ナリト謂フ、其ノ他南大東島ノ同項ヲ参照スベシ。

海流 南大東島ニ於ケル同項ヲ参照スベシ。

繫船浮標 西岸中島ノ北西端ニ近ク位スル旗竿(高サ51 米山上ニ在リテ遠望稍著シ)ノ北西方ニ圓臺形繫船浮標2 箇ヲ碇置シアリ。

上陸所 西岸ニ上陸所アリ、岩壁ヲ開キ斜面ヲ造レルモノニシテ南大東島ニ於ケルモノヨリ遙ニ劣ル、其ノ南側ニ起重機アリ、丘上ニ

旗竿、大煙突及數棟ノ倉庫アリ。

南北大東島間ノ水道 南北兩大東島間ノ水道ハ幅約4 哩、深水ニシテ常ニ西方ニ流ルル海流アリ。

南大東島 北大東島ノ南西方4 哩餘ニ在リテ同ジク珊瑚環礁ノ隆起シタルモノナリ、其ノ形恰モ摺鉢ノ如ク中央ハ平低ナル盆地ヲ成シ多數ノ池沼アリ、島岸ハ高サ10—15 米ノ珊瑚岩壁屹立シ其ヨリ内部ハ尙次第ニ隆起シテ島ノ外輪ヲ形成シ高サ36—60 米ニ達シ1 軒内外ノ幅ヲ以テ島ヲ圍繞ス、該丘陵ノ外縁及内縁ニハ檳榔樹ノ列アリ、内部ニ對シテ二重ノ防風林ヲ形成シ丘陵ノ内側ハ緩傾斜ヲ成シテ盆地ニ下ル、内部ニ在ル許多ノ池沼ハ多クハ其ノ水外海ト通ズルモノノ如ク水面昇降ヲ爲シ且鹽分ヲ有シテ飲料ニ適スルモノハ僅ニ1—2 ニ過ギズ。

島周急深ニシテ距岸1 鏈ノ處水深20 米ヲ超エ5 鏈ヲ距レバ水深400 米ニ達シ附近隱險礁ナシ、島ノ南西角ハ岩脚比較的緩傾斜ヲ成シテ淺水部約70 米突出ス、北西角モ亦淺水礁脈約70 米廣延スルモノノ如ク海水變色スト謂フ。

此ノ島ニ一種ノ痢病アリ、烈シキモノハ血液ヲ痢シ容易ニ全癒セズ又輕微ナル「マラリア」熱(大東熱ト俗稱ス)アリ、脚氣モ亦少カラズ、嘗テ「チフス」ノ大流行ヲ見タルコトアリト謂フ、本島到ル處蠅多シ。飲料水ハ雨水ヲ用ヒ辛ウジテ全島民ノ需要ヲ充タスニ過ギズ、處々ニ井戸アルモ鹽分ヲ含ムガ故ニ飲料ニ適セズ。

氣象 氣候ハ概ネ沖繩島ニ同ジ、春夏ノ候ハ比較的靜穩ナリ、殊ニ春季ヲ然リトス、10 月至翌年3 月間北風卓越シ5 月、6 月ハ南西風多ク、7 月—9 月間ハ東—東北東ノ風多シ、雨ハ冬季ニ少ク夏季ニ多

シ。

潮流及海流 極メテ岸近キ處ニ於テノミ弱キ漲落流アリ、沖合ハ常ニ西方ニ流ルル海流アリテ流速1節内外ナリ。

錨地 本島寄航ノ船舶ハ西岸起重機ノ前面水深約36米ノ處ニ兩舷錨ヲ投下シ、船首ヲ南方若ハ北方ニ向ケ島岸ヨリ前後ニ繫索ヲ取り約20米ノ間隔ヲ保タシメ又ハ船ヲ島岸ニ直角トナシ船尾ヨリ繫索ヲ取り島岸トノ間隔ヲ約20米トナシ荷役ヲ行フト謂フ。

上陸所 西岸、北岸及南岸ニ各1箇所ノ上陸所アリ、西岸上陸所ハ水際ヨリ約30度ノ傾斜ニ岩壁ヲ開キテ通路ヲ造リ此ノ島最良ノ上陸點ナリ、崖上ニ旗竿、起重機、倉庫等アリ、起重機ノ南側ニ稍凹入セル處アリ、舟艇ノ達着可能ニシテ階段ノ設アリ、南北兩岸ノ上陸所ハ唯僅ニ崖壁ノ頂ヲ崩シタルモノニ過ギズシテ殆ド貨物ノ揚陸ヲ行フ能ハズ、南岸上陸所ニ旗竿アリ。

沖大東島〔ラサ島〕 本島ハ南大東島ノ南方約80湮ニ在リ、島周ハ緩傾斜ノ珊瑚礁ヲ以テ圍繞セラル、而シテ内部ハ平臺地ヲ成シ中央部ハ稍低ク、島頂ハ北西部ニ在リテ高サ34米、島周水深ク距岸2鍾ニシテ水深32-107米、島ノ北西角附近ニハ常ニ激浪アリ。

氣象 1月ヨリ3月上旬頃迄ハ北東風連次シ其ヨリ風向次第ニ東偏シ4月ヨリ10月迄ハ偏南風連次シ以後ハ再ビ北東風ノ連次季ト爲ル、4月-6月ハ海上平穩ノ日多ク、11月ハ強キ北東風連次スルヲ常トス、7月中旬以後9月末迄ハ屢強烈ナル低氣壓本島附近ヲ通過ス。

氣温ハ南北大東島ト大差ナキモ稍高ク、3月至5月ノ雨季ヲ過グレバ俄ニ上昇シ11月ニ入レバ急降ス。

潮流及海流 島岸ニ近ク微弱ナル潮流アリ、沖合ニハ常ニ北西ニ

流ルル海流アリ、流速0.8節内外ナリ。

繫船浮標 西岸中央部ニ於テ水深29米、底質珊瑚礁ノ處ニ南北2箇ノ繫船浮標ヲ碇置シアリ。

上陸所 西岸ノ略中央ニ上陸所アリ、此處ニ幅2.1米、長サ13.8米ノ棧橋ヲ設ク、上陸所ノ東方ニ在ル3基ノ煙突(地上高15米)ハ遠望顯著ナリ、偏南風ノ際ハ北岸ノ中央部ヨリ上陸スルヲ得ベシ。

先島群島 (サキシマ)

南西諸島中最南西ニ位セル群島ニシテ宮古列島及八重山列島ヨリ成ル。本群島周圍ノ礁脈ハ往々海藻ニ蔽ハレ他ノ地方ニ於ケルガ如キ珊瑚礁ノ容易ニ識別シ得ベキモノトハ其ノ狀況稍異レリ、故ニ本群島間ヲ航スルトキハ大ナル注意ヲ要ス、殊ニ太陽ノ位置水面下ノ危險ヲ透視スルニ可ナラザルトキヲ然リトス。

氣象 先島群島ノ南方海上ニ低氣壓現ハレ北方ニ進行スル場合ニ於テハ發生當初ノ氣壓ハ比較的ニ低カラザルモ進行シテ本群島ニ接近スルニ從ヒ氣壓頓ニ下降シ大暴風ト爲ルヲ常トス、而シテ暴風ノ前後約1週間ハ海上波浪高シ、又北東信風季ニハ偏北風多ク、南西信風季ニハ偏南風多シ、一般ニ冬季ハ風力強ク荒天ノ日續キ、夏季殊ニ5月-7月ハ風力弱ク海上モ亦平穩ナリ。

潮流 先島群島ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ北流シ、落潮流ハ南流スルガ如シト雖モ海流ノ爲ニ混亂スルコト多シ。

宮古列島

先島群島中東部ニ位シ其ノ最大島宮古島ハ久米島ノ南西方約120湮ニ在リ、宮古島ヲ主島トシ其ノ附近ノ大神島、池間島、伊良部島、下地島、來間島ヲ屬島トスル1群ト、其ノ西方約25湮ニ在ル多良間島及

水納島ノ1群トヨリ成ル。

八重干瀬 (ヤエビ) 宮古列島北端ニ位シ南北約7湮、東西約4湮ニ互レル廣大ナル珊瑚礁脈群ニシテ深水ヲ挾メル數箇ノ礁脈ヨリ成リ何レモ約0.3米干出ス、此ノ礁脈ハ荒天ニハ全面破浪シ高潮平波ニハ隱没シテ見エズ、從來外國船ノ之ニ觸レテ難破セシモノ少カラザルヲ以テ此ノ近海ヲ航スルモノハ大ニ警戒スルヲ要ス。

八重干瀬ノ北東端ニ最小水深11.8米ノ珊瑚礁アリ、北西—南東ノ長さ約1.3湮、幅約3鏈ナル20米等深圈上ノ最淺部ニシテ四周概ネ急深ナリ。八重干瀬ノ北西端ニモ最小水深5.9米ノ珊瑚礁アリ。

潮流 八重干瀬東側ニ於テハ北流ハ低潮後約3時ヨリ高潮後約3時迄、南流ハ高潮後約3時ヨリ低潮後約3時迄流レ、流速1節未滿ナリ。

フデ岩 八重干瀬南端ノ東方約5湮ニ在ル高さ9米ノ岩ナリ、之ヲ東方ヨリ望ムトキハ恰モ龜ノ浮上レルガ如キ形ニシテ好目標ナリ。「フデ」岩ヨリ南南東方約3.5湮ニ孤立珊瑚礁アリ、礁上ノ水深2.2米ナリ。

池間島 (海圖241) 八重干瀬ノ南方ニ於テ宮古島北端トノ間ニ位シ、宮古島トノ間ハ礁脈ニ依リテ殆ド相連ル、島ノ南東端附近ノ高さ28米ノ山ハ圓頂ヲ成シ好目標ナリ。

池間島ノ東南東方約3湮ニ**大神島** (オガミ) ト稱スル圓錐形島アリ、島頂樹木茂リ本列島中最モ顯著ナル目標ナリ。

池間島燈臺 池間島ノ北端ニ在リ、地上高20米ノ白塗圓形「コンクリート」造、燈高45米。

伊良部島 (エラブ) (海圖241) 池間島ノ南西方約5湮ニ在リ

テ平良港ノ南西側ヲ成セル島ニシテ周圍珊瑚礁沿布ス。

伊良部島ノ南西側ニ於テ之ト抱合ヘルガ如ク相密接スル**下地島** (シモヂ) ハ幅約100米ノ狹水道ヲ以テ僅ニ之ト相分ルル無人島ナリ、下地島北西端ト伊良部島北西端トノ間ハ珊瑚礁弧狀ヲ成シ該兩端ヲ連ヌル一線ヨリ外方約1湮迄擴延シ其ノ外縁ハ干出0.6米ニシテ外側ハ急深ナリ。

來間島 (クレマ) 宮古島ノ南西端ニ近ク干出珊瑚礁ヲ以テ之ト相連ル、島ノ南方約1.5湮及南西方約2湮ノ間ニハ數箇ノ孤立暗岩アリ又島ノ西方2湮ノ間ハ珊瑚礁伸出シ其ノ外端ト下地島西端トノ一線以內ハ海底險惡ナルヲ以テ決シテ接近スベカラズ。

來間島ノ西方約4湮ニ水深13米ノ珊瑚礁アリ、此ノ附近ハ海底不整ナリ。

宮古島 宮古列島ノ主島ニシテ其ノ屬島トハ珊瑚礁ニ依リ互ニ相連續ス。

平良港 (ヒララ) (宮古泊地) (漲水港) (狩俣錨地) (海圖241)

池間島及西平安名岬ト伊良部島北東岸トノ間ニ成レリ港ナリ、其ノ間ノ礁脈ハ能ク波浪ヲ碎キ北東ヨリ南ヲ經テ南西ニ至ル間ノ風浪ヲ避ケ得ベシ、然レドモ港内海底不整ニシテ處々ニ孤立珊瑚礁點在シ、其ノ白色ニシテ淺水ナルモノハ橋上若ハ船橋上ヨリ透視シ得ベシト雖モ往々暗黑色ニシテ透視シ難キモノアリ、而シテ下埼ヨリ南方ハ海底白ク礁ハ色黒キモノ多キガ如シ、依ツテ出入港ニ際シテハ見張ヲ嚴ニスルヲ要ス、尙未知ノ礁脈ナキヲ保セザルガ故ニ大ニ警戒ヲ要ス。

天測點ノ西方海岸ニ北西方ニ突出スル物揚場突堤アリ、堤側ノ水深1米。

目標 錨地周圍ノ陸ハ何レモ平低ニシテ目標ニ乏シキモ、稍顯著ナルモノハ伊良部島北西角、伊良部島東端ノ斷崖頂(高サ89米)、市街中央部ノ煙突、市街北側ノ樹林、下埼北東方約600米ノ沙崩、**ピン** **フ岳**北西方約1.2軒ノ險崖、大神島「セド」埼、西平安名岬、池間島ノ高サ28米ノ圓頂等ナリ。

錨地 大形船舶ハ大神島頂ヲ55度約4.4湮ニ望ミ水深53米、底質沙ノ地附近ヲ可トシ、小形船舶ハ伊良部島東端ノ斷崖頂(高サ89米)ヲ260度約2.9湮ニ望ミ水深26米、底質泥ノ地附近ヲ可トス、北東信風強吹ノトキハ池間島ノ南方ニ於テ西平安名岬頂ヲ105度約7.5鍾ニ望ム水深36米、底質沙殻ノ地ニ投錨スル外他ニ好錨地ナキガ如シ。

針路法 八重干瀨ノ北端ヲ適當ノ距離ニテ繞航シタル後伊良部島ノ北角ニ向ヒ183½度ノ針路ヲ以テ東方ヘノ流壓ニ注意シツツ航進シ、池間島北端ノ岩嶼ト大神島頂トヲ一線ニ見ル處ヨリ155½度ニ轉針シテ野川埼ニ向針シ、既ニ西平安名岬ヲ71度ニ望ムニ到レバ120度ニ針路ヲ轉ジテ**中ノ離レ**(高サ9米)ニ向ヒ前記大形船舶錨地ニ就クヲ可トス、小形船舶錨地ニ赴カントスル船舶ハ適宜前進シテ**千島ノ離レ**(高サ2.2米)ノ北西方約6鍾附近ニ達シ、其ヨリ下埼前面ノ礁間ヲ縫航南下シ前記錨地ニ就クベシ。

一般ニ本港ノ錨地ニ在リテハ錨爪礁間ニ嵌入シ往々揚錨ニ困難ヲ感ズルコトアリ、機動揚錨機ヲ備ヘザル船舶ハ注意ヲ要ス。

上陸所 天測點ノ西方ニ突堤アリ、最低低潮時ノ外發動機船ノ達着ニ支障ナシ。

東平安名埼(アガリヘンナ) 宮古島ノ東端ニシテ平低ナル狹長嘴ナリ、埼ノ東側至近ニ**パナレ干瀨**アリ、礁上ノ最大岩ハ高サ8米、

此ノ瀨ト埼トノ間ハ珊瑚礁ヲ以テ殆ド梗塞セリ。

ツブツワ干瀨 宮古島北東岸略中央部ニ位スル**與那濱**ノ北東方約2.5湮ノ處ヨリ北西方ヘ1湮餘ノ間擴延セル珊瑚礁ナリ。

水納島(ミナ) 宮古島ト石垣島トノ中間ニ於テ南方多良間島トハ約4湮ヲ隔テテ相對スル珊瑚嶼ニシテ、礁脈ニ圍繞セラレ且平低ナルヲ以テ夜間又ハ天候密濛ナルトキハ之ヲ避クルノ注意ヲ要ス。

ヤビ瀨 水納島南東端ノ北東方約4.6湮ニ在ル水深8.6米ノ珊瑚礁ナリ、此ノ礁ヲ貫キタル南北線ノ東側約5鍾以內及西側約2湮以內ハ南北約2湮ノ間水深20米以內ニシテ處々ニ11米内外ノ淺水アリ。

多良間島 水納島ノ南方約4湮ニ位スル珊瑚礁ニシテ礁脈ニ圍繞セラレ且平低ナルヲ以テ夜間ノ近接航行ハ危險ナリ。島周1—7鍾ノ間干出珊瑚礁擴延シ其ノ外側ハ急深ナリ。

潮流 多良間、水納兩島間ノ水道ニ於テハ低潮後約3時ヨリ高潮後約3時迄ハ西方ニ、高潮後約3時ヨリ低潮後約3時迄ハ東方ニ流レ流速ハ西流1.5節、東流3節ニ達ス。

八重山列島

南西諸島ノ西端ニ位スル列島ニシテ石垣島及西表島ヲ主島トスル1群ト、其ノ西方ニ離レテ孤立スル與那國島トヨリ成ル、列島中ノ最大島ハ石垣島ニシテ西表島之ニ次グ、石垣島ト西表島トノ間ニ竹富島、小濱島、黒島、新城島等ノ數箇ノ嶼アリ、殆ド珊瑚礁ヲ以テ相連ル又西表島ヨリ稍離レテ南西方ニ仲ノ神島、南方ニ波照間島アリ、孤立セル與那國島ハ西表島ト臺灣トノ中間ニ位シ、臺灣ノ東岸ヲ距ルコト約60湮ナリ。

泊船ニ適スルハ僅ニ石垣島ノ石垣泊地ト西表島ノ船浮港トノ2者アル

ノミ。

風土病

八重山熱ハ臺灣、印度等ニ流行スル「マラリア」熱ノ一種ニシテ、毎年4月至10月ノ間ニ流行シ7月、8月ハ最モ猖獗ヲ極メ死亡スル者少カラズ。

本病ハ石垣島ノ過半及西表島ノ全部ト小濱島ノミニ流行シ其ノ他ハ無病地ナリ、此等有病地ニハ一種ノ石アリ、八重山語ニテ粉石ト謂フ、地下或ハ水中ニ在ルトキハ少シク軟ナレドモ容易ニ水ヲ滲透セシメズ又乾燥スルトキハ初ハ表面ニ粉末狀ヲ現ハシ僅ニ指端ヲ觸ルルモ破碎シ易シ、然レドモ久シク日光ニ暴露スルトキハ硬固ト爲ル、此ノ石ハ恰モ七分板ヲ積重ネタルガ如キ觀アリテ其ノ接着面ニハ屢天然ノ鐵或ハ酸化鐵ノ扁層ヲ包有ス、此ノ石ハ無病地ニハ曾テ見ザルモノナリ西表島ハ總テ此ノ石ヨリ成ル。

本病ノ病狀ハ沖繩島其ノ他ニ時ニ流行スル間歇熱ノ症狀ト異ル處ナキモ、之ニ比スレバ腦ヲ侵シ悪液質ニ陥ルコト早キガ如シ、是病中意ノ如ク滋養物ヲ得ラレザルニ因ルナラン又本病ハ悪性間歇熱ノ如キ劇症少キガ如ク豫後ハ佳良ニシテ發病ノ初期ヨリ治療ヲ施ストキハ死亡スルコト稀ナリ、但シ治療ヲ怠リ若ハ時機ヲ失スルトキハ全治セズシテ脾藏ノ肥大ヲ來スカ或ハ腹水ヲ起スコトアリ、就中「マラリア」性腹水ヲ患フ者ハ死亡スルコト多シ。

石垣島

八重山列島ノ主島ニシテ其ノ北端ハ多良間島ノ西方約3.8浬ニ在リ、島岸ニハ數多ノ灣入アレドモ稍泊船ニ適スルハ西側ノ名藏灣及石垣泊地ノミ。

島周珊瑚礁圍繞シ常ニ破浪アルヲ以テ晝間ハ識別シ易シト雖モ、波浪極メテ靜ナルカ又ハ高潮ノトキハ島岸至近ヲ航スルモノハ宜シク注意

スベシ、但シ此ノ近海ハ水色透明ニシテ水深約20米ヨリ淺キ岩石ハ明ニ視認シ得ベシ。

潮流 石垣島ノ北端平久保埼附近ニ於テハ漲潮流ハ北方ヘ、落潮流ハ南西方ヘ流ルルガ如シ。

川平澳 (カピラアウ) 平久保埼ノ南西方約13浬ニ位スル澳ニシテ澳内ニ安全ナル錨地アレドモ小嶼殆ド澳口ヲ塞ギ、水道ハ甚ダ狹隘ニシテ小形船舶モ出入スル能ハズ、南風時ニハ澳ノ北東方ニ避泊地ヲ得ベシ。

平久保埼ヨリ川平澳ニ至ル間ノ島岸ニハ1—2ノ灣入アレドモ、珊瑚礁ノ爲殆ド填塞セラレ且珊瑚礁ノ遠ク伸出セル處アルヲ以テ接近スベカラズ。

名藏灣 (海圖224) 石垣島ノ西端屋良部埼南東方1浬餘ノ大埼ト次記觀音埼トノ間ニ灣入シ北東信風季中ハ比較的風波ヲ避ケ得ルモ灣内孤立暗岩多ク海底不整ナルヲ以テ安全ナル泊地ニ非ズ、南西信風稍強吹セバ波浪侵入ス、且同季節ハ暴風ノ襲來多シ。

觀音埼 (富埼) (海圖224) 名藏灣口ノ南側岬角ナリ、埼ノ東北東方約1.3浬ニ位スル皆野底森ハ高サ87米ノ高地ニシテ山頂ノ岩崖ハ好目標ナリ。

觀音埼(富埼)燈竿 觀音埼上ニ在リ、紅白塗圓柱木造、燈高17米。

石垣泊地 (海圖224) 觀音埼ト後記竹富島トノ間ニ在リテ北西方ニ開口シ、其ノ南東側ハ石垣島ノ南端美埼(ミ)ト竹富島東端ヨン埼トノ間ニ連レル干出0.3—1.2米ノ珊瑚礁ニ依リテ成リ、僅ニ同方向ノ風浪ヲ屏障ス、泊地ノ兩側及南東側ヨリ4—9鍾迄淺水地擴延シ且磊石散布スルヲ以テ錨泊ニ適スル區域甚ダ狹ク又泊地ヨリ陸岸ヘ

ノ短艇往復甚ダ困難ナリ、泊地ノ東側ヲ成セル石垣島ノ南西岸ハ一般ニ沙濱ナリ。

石垣港 石垣泊地ノ内奥ヲ古ムル港ニシテ天測點ヲ中心トシテ3.7 軒ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ一弧内ヲ以テ其ノ選定港域トス、天測點ノ南方珊瑚礁間ニ小水道アリ、小舟ハ之ニ依リ大潮期ヲ利用シ辛ウジテ石垣島ノ南側ニ出デ得ベシ、之ヲ釜口（ハガマグチ）ト稱ス。

天測點ノ西方ニ位スル美崎泊ノ北方ニ上陸棧橋アリ。

氣象 卷末氣象表第3（石垣島氣象表）參照。

目標 市街ノ北西方海岸ニ在ル黒色煙突、市街ノ北西端附近ニ在ル紅色煙突及其ノ中間ニ在ル白色煙突ハ何レモ顯著ナリ、上陸棧橋（外端ニ紅光電燈ヲ點ズ）ノ南西方約4 鍾ニ在ル燈竿（燈高5.4 米）及煉瓦屋ノ測候所モ亦好目標トス。

錨地 觀音崎ト竹富島トノ間ノ中央ヲ經過シ、竹富島ノ北端御崎ト上陸棧橋端トノ一線上ニ於テ皆野底森ノ186½ 度1.9 湮、水深23 米内外、底質沙殻ノ處ニ投錨スルヲ可トス。

宮良灣 石垣島ノ南側ニ在ル小灣ニシテ北東信風季ニ石垣泊地若ハ名藏灣ニ達スル能ハザル船舶ハ必要ニ際セバ入泊シ得ベシ。

竹富島（海圖224） 石垣泊地ノ南側ヲ成セル竹富島ハ殆ド平坦ニシテ島岸ハ南岸ノ外總テ沙濱ナリ、島周珊瑚礁ヲ以テ圍繞セラレ其ノ外側ハ數多ノ點礁アルヲ以テ警戒ヲ要ス。

小濱島 竹富島ノ西方約4.3 湮ニ在リ、附近島嶼中最モ高ク且大ナリ、島ノ東岸ニ清水アリ。

小濱航門 小濱島ト西表島トノ間ニ於テ西側ヨリ伸出スル珊瑚礁ノ間ニ通ジ可航幅約2 鍾、南北ノ長サ約3 湮、水深18—29 米ナ

リ、此ノ航門ハ石垣島ト西表島トヲ連絡セル礁脈間ニ在ル唯一ノ水道ナリ、小形船舶ハ此處ニ兩信風ヲ避クルコトヲ得。

潮流 小濱航門ノ潮流ハ強ク漲潮流ハ南流シ落潮流ハ北流ス。

黒島 小濱島ノ南方約4.5 湮ニ在ル低島（高サ14 米）ナリ、島周ハ總テ岩岸ヨリ成リ北側以外ハ礁脈沿布ス。

新城島（アラグスク） 北東—南西ノ方向ニ約3 鍾ヲ隔テテ相對セル2 低嶼ニシテ地貌黒島ニ類似シ其ノ北東嶼ハ黒島ノ西方約2 湮ニ在リ、2 嶼互ニ礁脈ヲ以テ相連リ、周圍若干距離ノ間干出珊瑚礁及淺水地突出ス。

鳩間島 小濱島ノ北西方約10.5 湮、西表島ノ北側ニ位スル小島ニシテ珊瑚礁ニテ圍繞セラル。

鳩間水道 鳩間島ヨリ擴延セル珊瑚礁ト西表島北岸トノ間ニ於テ東西ニ通ズル水道ニシテ最狹幅7.5 鍾、水深31—47 米ナリ、晝間本水道ニ於ケル珊瑚礁ノ限界ハ水色ニ依リ判然ト識別シ得ルモ孤立暗岩ハ見分ケ難シ。

西表島（イリオモテ） 石垣島ノ西方約9 湮ニ位シ、島周ハ南岸西端部ノ外一帯ニ珊瑚礁沿布シテ處々1 湮以上擴延シ少シク「ウネリ」アルトキハ礁上破浪ス。

島ノ西岸ハ屈曲出入シ其ノ間ニ船浮港等數灣ヲ形成ス、船浮港ノ北東側ヲ成セル内離島及附近ノ沿岸ニハ石炭ヲ産ス、本島ノ清水ハ宮古島石垣島ノモノニ比シ良質ナレドモ採取困難ナリ。

全島「マラリア」病流行地ニシテ就中島ノ北端ニ近キ土原附近ニ於テ殊ニ甚シト謂フ、又船浮附近ニハ飯匙蛇殊ニ多シ。

野原崎 西表島ノ東端ニシテ之ヨリ西表島北端西崎ニ至ル約10

湊ノ間ノ海岸ハ距岸0.5—2湊ノ間珊瑚礁沿布シ、礁端ヲ3鏈距レバ水深40米ヨリ深シ。

テドウ山 西崎ノ南南東方約9軒ニ聳ユル高サ442米峯ニシテ中腹ニ高サ56米ノ瀑布アリ、此ノ近海ヲ航スルトキハ其ノ顯著ナルヲ見ル。

浦内灣 (海圖199) 西崎ノ南西方約1.2湊ニ位スル宇奈利崎南側ノ小灣ニシテ西方ニ開キ水深12米内外、北東風時ニハ小形船舶ノ避泊ニ適ス。

潮流 南崎ヨリ浦内灣ニ至ル間ノ漲潮流ハ南西方へ、落潮流ハ北東方へ流ルルガ如シ。

仲良港 (海圖199) 浦内灣ノ南南西方約3湊ニ在ル開灣ニシテ北方ニ暴露ス、灣口中央ニ最小水深0.7米ノ淺礁アリ、港内ハ珊瑚礁擴延シテ僅ニ1條ノ狹水道ニ依リ港首ニ達シ得ベシ、船舶ハ載炭ノ爲此ノ灣ニ投錨スルコトアリ。

外離島 (ソトバナレ) (海圖199) 仲良港口ト船浮港口トノ間ニ在リテ其ノ南東隣ノ**内離島**ト共ニ干出堆ヲ以テ島岸ニ連ル、外離島ハ樹木ナク其ノ外側ハ水平ノ地層ヲ現ハセル斷崖ヨリ成リ船浮港ヲ認ムルノ好目標ナリ。

船浮港 (フノウケ) (海圖199) 時ニ仲良港ヲモ合セテ船浮港ト稱スルコトアリ、此ノ港ハ外離島ト**サバ崎** (崎頂ハ高サ86米ノ草山)トノ間ニ開口シ、外離島及内離島ヲ港内北東側トスル深入灣ニシテ能ク各方向ノ風ヲ防ゲドモ、港濱ヨリ裾礁擴延シ港内狹隘ナルノミナラズ水深大ニ過グルノ缺點アリ又港内ハ南風ノ際ニモ吹風強シ、内離島南端ト相對スル**本成屋崎**ハ低キ赤色崖ニシテ入港ノ好目標ト爲

ル。

大形船舶ハ船浮村落ノ東方水深56米、底質泥ノ處ニ投錨スルコトヲ得、小形船舶ハ更ニ内方ニ投錨シ得ベシ、村落背後ノ林間ニ溪泉湧出シ容易ニ港濱迄搬出スルコトヲ得、港首附近ノ西濱高サ3米餘ノ斷崖ヨリ落下スル溪流アリ、高潮ノ前後3時間以内ニハ小艇ヲ遣リ直接汲取り得ベシ。

網取灣 (海圖199) 船浮港西隣ノ狹長灣ニシテ「サバ」崎ヲ其ノ分割岬トス、南方ニ深入シ灣濱ハ裾礁ヲ繞ラシテ水稍深キニ過ギ好錨地ニ非ザルモ、高山ヲ繞ラスヲ以テ北風又ハ北西風ノ外小形船舶ノ避泊ニ適ス。

八重目崎 (海圖199) 西表島西端ノ壞崖岬角ニシテ約1鏈間裾礁擴延シ其ノ外側ハ急深ナリ、崎頂 (高サ75米) ハ草山ニシテ圓頂ヲ成ス。

鹿ノ川灣 八重目崎ノ東方約3.5湊ニ在ル小開灣ニシテ灣ノ中央ニ1洗岩アリ、荒天ニハ破浪ス、灣内ハ水深20米内外ニシテ偏南風時ノ外風浪ヲ遮蔽スルモ、吹下シ強ク安全ナル泊地トハ謂ヒ難シ、灣口ノ西端岬ヲ**落水崎**ト謂ヒ其ノ高岸ニ1瀑布アリ、之ニ對スル灣口東端附近ノ高崖ハ地層ノ斷面ヲ現ハシ此ノ灣ヲ認ムルノ好目標ト爲ル。八重目崎ヨリ落水崎ニ至ル間ノ海岸ハ急深ニシテ裾礁ナキ部分アリト雖モ、大ナル岩石散布シ極メテ靜謐ノ日ノ外近接シ難シ。

鹿ノ川灣ヨリ西表島南東端ヲ成セル低角南風見崎 (ハイミ) ニ至ル西表島南岸ノ大部ハ殆ド直條ナル高險崖ニシテ其ノ中間ノ**ウバラ崎**附近ヨリ裾礁ハ漸ク其ノ幅ヲ増シ南風見崎附近ニ至リテ最大ト爲ル、「ウバラ」崎ノ内方ニ稍顯著ナル高峯アリ、高サ425米。

波照間島 (ハデルマ) 西表島ノ南方約12湮=在リ、島周ハ少許ノ間概シテ珊瑚礁沿布シ殊ニ島ノ西端ヨリ最モ多ク擴延セリ、上陸=便ナルハ唯北西岸ノミニシテ其ノ他ハ舟ヲ寄セ難シ。

仲ノ神島 (ナカノガン) 西表島ノ西端八重目埼ノ南西方約8.5湮=在ル岩嶼=シテ周圍險崖急深=シテ唯西端ノミハ約1鍾ノ間珊瑚礁擴延セルヲ異トス。

暗礁 仲ノ神島ノ西方約4.5湮=水深18米ノ暗礁アリ、底質珊瑚及岩=シテ四周急深池=危險ナシ。

與那國島 (海圖1206分圖) 西表島ノ西方約36湮=在ル南西諸島中ノ最西島ナリ。

租納 (ソナイ) ハ與那國島北岸=位スル島ノ主邑=シテ村落ノ前面ハ小灣ヲ成シ珊瑚礁之ヲ圍繞シ能ク風波ヲ遮リ約20噸ノ小形船舶ヲ容ルル=足ル、然レドモ灣口淺水險惡ナルヲ以テ唯高潮平波ノトキノミ出入シ得、大形船舶ハ灣口外側距岸約4鍾、水深18—36米、底質珊瑚及沙ノ處=一時ノ錨地ヲ得ベシ、但シ北東信風季=ハ海上荒ク錨泊=適セザルベシ。

赤尾嶼及尖頭諸嶼

南西諸島西端部ノ北側=於テ南西諸島ノ列線ト並行=之ト離レテ存在スル小嶼及其ノ集團=シテ赤尾嶼ハ單獨ヲ以テ宮古列島ノ北方=、尖頭諸嶼ハ群集シテ八重山列島ノ北方=在リ。

諸嶼ノ支那東海=面スル側ノ水深ハ距岸1—2湮=シテ概ネ130米内外、底質ハ細沙=シテ海底ノ不同ナキモ、之=反シ先島群島=面スル側ノ水深ハ距岸2—3湮=シテ忽チ400米以上=達シ尙遠ザカル=從ヒテ水深急激=増加ス。

氣象 本地方ハ天候ノ變化急激=シテ5月至9月間ハ概シテ偏南風吹キ海上亦比較的平穩ナレドモ、10月至翌年4月間ハ偏北風連吹シ天候險惡=シテ波浪高ク陰鬱ノ荒天週日=互ルコト珍シカラズト謂フ。

赤尾嶼 (セキビ) 宮古島北端ノ北北西方約70湮ノ洋上=孤立セル小岩嶼=シテ全島熔岩ヨリ成リ樹木ナシ、四周斷崖急峻=シテ登攀スルコト能ハズ、遠望恰モ帆走シツツアル和船ノ如ク嶼上海鳥群棲ス、嶼ノ周圍ハ平坦ナル低キ床狀ヲ形成シ其ノ間=數條ノ罅裂ヲ有ス、島ノ北端=著シキ尖岩直立シ形貌觀音像=似タリ。

下記ノ湍潮區域ハ其ノ水深不齊ナルモ島周ノ他ノ部分ハ概ネ急深ナリ。

海流 赤尾嶼附近ノ海流ハ甚ダ強ク流速2.5節=及ブ、本嶼ヨリ西南西方約6鍾間及東北東方約4鍾間=ハ湍潮アリ。

尖頭諸嶼

尖頭諸嶼ハ黃尾嶼、沖ノ北岩、沖ノ南岩、北小島、南小島及魚釣島ノ諸嶼ヨリ成ル。

諸嶼内=ハ定住者ナク漁期間八重山列島方面ヨリノ出漁者經漁=從事スル者アルノミ。

海流 尖頭諸嶼附近=於テハ黒潮ノ北東方=流ルルコト急=シテ嶼周=激湍ヲ生ズ、沖ノ北岩附近ハ流勢最モ急=シテ6艇櫓艇ノ如キハ操縦甚ダ困難ナリ、汽艇ト雖モ約4鍾ノ間ヲ運航スル=1時間ヲ要セシコトアリト謂フ、操艇上深キ注意ヲ要ス。

黃尾嶼 尖頭諸嶼中=在リテ北東隅=孤立セル小嶼=シテ殆ド

圓形ヲ成セル熄火山島ナリ。

島ノ周圍ハ巨大ナル熔岩ヲ以テ蔽ハレ徒涉困難ニシテ一ノ沙濱及小舟ノ泊地ト雖モ皆無ナリ、但シ僅ニ西岸ニ人工ノ凹所アルモ短艇2隻ノ同時着岸困難ニシテ風波時ノ避難ハ絶對ニ不可能ナリ、島周ハ距岸約4鍾ニシテ水深20米ヲ超ユルモ錨泊ニ適スル處ナク風向ニ依リ風下側ニ避難スルモ全然無効ナリ。

海流 島周ハ海流激シクシテ平穩時ト雖モ波浪相鬪ヒ舟艇ノ操縦困難ナリ、其ノ方向ハ風向ニ因リテ左右セラルルコト多キモ概シテ北東方ニ流レ流速1—2節ナリ、南風連吹時ニハ流速ヲ増ス。

沖ノ北岩 黄尾嶼ノ南西方約11.5哩ニ位スル岩嶼ニシテ遠望顯著ナリ、島上ニハ樹木ナク草モ亦生セズ。

沖ノ南岩 沖ノ北岩ノ南南東方約2哩ニ在ル小岩嶼ナリ、沖ノ北岩ト同様島上ニハ樹木ナク草ヲモ生セズ。

海流 沖ノ北岩及沖ノ南岩ノ附近ハ北東ノ海流最モ激シキガ故ニ注意ヲ要ス。

北小島及南小島 此ノ2島ハ沖ノ南岩ノ南西方2哩餘ニ位シ遠望1島ノ如キモ幅約1.5鍾ノ淺水道ニテ南北ノ2島ニ分クル、兩島ハ全然岩骨ヨリ成リ殆ド樹木ナク唯雜草ノ繁茂スルアルノミ、島岸ハ概ネ岩塊、沙及珊瑚礁ニシテ島ノ周圍ノ海底ハ岩ナリ、島周ニハ着舟シ得ベキ場所ナシ、但シ平波ノトキノミ近寄り得ルニ過ギズ、此ノ兩島ニノミ特ニ群棲スル海鳥アリ、「アジサン」(Tern)ト稱シ其ノ數實ニ數萬ヲ算ス。

南小島ハ東西ニ長ク其ノ東端ノ尖頭岩ハ頗ル顯著ニシテ黄尾嶼方面ヨリ望メバ一大尖岩ノ海中ニ突出スルガ如ク航行船舶ノ好目標ナリ。

海流 北小島及南小島附近一帶ノ海流ハ極メテ急激ニシテ北東方ニ流ル、流速2—3節。

魚釣島 本諸嶼中ノ最大嶼ニシテ北小島ノ西方約3哩ニ位ス、東西ニ長ク形狀恰モ海鼠ニ似タリ。

島岸ハ概シテ岩沙ヨリ成リ南岸以外ハ幅約30米ノ尖銳ニ凹凸セル石陂ヲ以テ圍繞セラル、距岸約2鍾ニシテ水深20米ヲ超ユルヲ以テ船舶ハ接近シ得ベキモ錨泊ニ適スル處ナク、且海流モ亦急激ナルヲ以テ漂泊ニモ多大ノ注意ヲ要ス。

西岸ノ和平庄ハ本島唯一ノ着舟地點ナリ、人工ヲ以テ島岸ノ石陂ヲ穿開スルコト長サ約36米、幅4.5米、此處ニ舟艇捲揚機ヲ備フ、沖合ニ波浪アルトキハ餘波堀割内ニ及ビ着舟困難ナリ又大潮期ニハ低潮時水深僅ニ0.3米餘ニ過ギザルヲ以テ舟艇ノ出入全ク不可能ナリ。

飛瀨 魚釣島東端ノ南東方約8鍾ニ在ル高サ3.4米ノ岩ナリ、此ノ附近ニ激湍リア。

第 5 編

臺灣北岸

本編ニハ三貂角ヨリ白沙岬ニ至ル間ノ記事ヲ収録ス。

三貂角ノ北北西方約 8.5 哩ニ鼻頭角アリ、海岸ハ之ヨリ西北西方ニ折レ約 24 哩ニシテ臺灣ノ北端ナル富貴角ニ達ス、此ノ間ハ山地ニシテ富貴角ノ内方山脈中ニハ高サ 1,100 米以上ニ達スル數箇ノ峯アリ、此ノ海岸ノ沖合ニ 3 箇ノ離嶼點在ス。富貴角ヨリハ岸線南西方ニ折レ約 10 哩ニ淡水河口アリ、其ヨリ西南西方約 20 哩ニシテ白沙岬ニ至ル。

臺灣北東端沖合ノ離嶼

臺灣北岸東部ノ北東方距岸 19—23 哩間ニ花瓶嶼、棉花嶼及彭佳嶼ノ 3 箇ノ離嶼點在ス、此ノ 3 嶼ハ何レモ黑潮ノ流域内ニ在リ、且又潮流ノ範圍内ニ位ス。其ノ北嶼タル彭佳嶼ノ北東方約 39 哩ニシテ尖頭諸嶼ノ西端嶼魚釣島ヲ距ル西北西方約 60 哩ニ時トシテ破浪變色スル處アリト謂フ。

花瓶嶼 基隆島ノ北東方約 16 哩ニ位スル亂形岩嶼ニシテ、四面黑色ノ直立崖ヨリ成リ周圍ニ數箇ノ尖岩アリ。嶼ノ西側ノ 2 角ヨリ西方ヘ 1 鍾餘ノ間礁脈突出シ概ネ碇浪ス。

棉花嶼 花瓶嶼ノ東北東方約 9.5 哩ニ在リ、3 箇ノ圓頂ヲ有スル岩嶼ニシテ東方頂最モ高ク、樹木ナク 6 月頃ニハ 1 種ノ海鳥群集ス

ト謂フ。島ノ東側ニ屏風岩ト稱スル尖頂岩アリ、甚ダ顯著ナリ。

障碍物 大正15年12月汽船天正丸(最大吃水7米)ハ棉花嶼頂ノ南方約8.5鐘ニ於テ種類未詳ノ海底障碍物ニ底觸セリト謂フ。

潮流 大正13年7月ノ觀測ニ據レバ棉花嶼附近ニ於テ落潮流ガ南東—南南東ニ流レ流速1—4節ナルヲ驗セリ。同嶼ノ東方9.2浬ノ處ニ於テハ南東方ニ向フ潮流ト北向スル海流ト相闘ヒ三角波ヲ起スト謂フ。

彭佳嶼 棉花嶼ノ北方約8.5浬ニ位シ外國人ハ之ヲ Agincourt ト稱ス、島上殆ド樹木ナク唯芝又ハ萱ヲ生ズルノミ。嶼ノ東側ハ急深ニシテ深水ナレドモ西側及南側ハ距岸3—4鐘迄水深20米ヨリ淺クシテ底質ハ岩及粗沙ナリ。

彭佳嶼燈臺 彭佳嶼頂ニ在リ、高サ20米ノ白塗圓形煉瓦造、燈高146米。

霧信號 船舶ノ霧中信號ヲ聞クトキハ2分時ヲ隔テ空砲ヲ2發ス、爾後該信號ヲ聽カザルニ至ル迄5分毎ニ前ノ如ク發砲ス。

長瀬 彭佳嶼ノ南方約1.8浬ニ在ル水深16米ノ岩礁ナリ、水深20米ヨリ淺キ部分ノ南北ノ長サ約5鐘、最大幅約5鐘アリ、少シク波浪アルトキハ礁上波高シ。

破浪(海圖1203) 昭和2年6月米國汽船 *Aurora* ハ彭佳嶼ノ北東方約39浬ノ處ニ於テ變色水點在シ激湍破浪アルヲ發見セリト謂フ。該位置附近通航ノ船舶ハ警戒ヲ怠ラザルヲ要ス。

三貂角至富貴角

三貂角ヨリ北北西方約8.5浬ノ間ノ海岸ハ淺入灣形ヲ成シ鼻頭角ニ至ル、其ヨリ西方深澳灣ニ至ル約5浬ノ海岸ハ概ネ岩岸ニシテ峻峻急深

ナリ。深澳灣ヨリ西北西方約4浬ニシテ基隆港口ニ達シ其ノ中間ニ八斗港アリ、基隆港ノ沖合ニハ基隆島横タハル。基隆港口ノ西端岬萬人堆鼻ヨリ海岸ハ北西方ニ走ルコト4.5浬ニシテ野柳半島ニ至ル、此ノ海岸一帶ハ瑪鍊溪口附近ノ沙濱ヲ除ク外ハ皆岩岸ニシテ1—2鐘ノ處迄石陂岩礁擴延シ天氣穩和ノトキト雖モ波浪高クシテ近ヅキ難シ。野柳半島外端ヨリ北西方獅子頭鼻ニ至ル約3浬間ノ海岸ハ一帶ノ長沙濱ヲ成シ、獅子頭鼻ヨリ北西方富貴角ニ至ル約7.5浬間ハ獅子頭鼻附近ノ沙濱ト富貴角附近ノ沙濱トヲ除ク外ハ總テ磊石岸ニシテ礁脈沿布シ常ニ激浪アリ。

潮汐 三貂角至富貴角ノ間ニ於ケル潮汐ノ性質ハ臺灣東岸ニ於ケルト著シク異リ、平均高潮間隙ハ東端ニ於テハ約7時ニシテ西スルニ從ヒテ急速ニ遲レ西端ニ於テハ約11時ト爲ル、大潮升ハ約0.8米ナリ。日潮不等ハ甚ダ著シク1日1回潮ト爲ルコト多シ、即チ春秋ノ朔望前後ニ於テハ1日ニ略規則正シク2回ノ高潮及2回ノ低潮ヲ生ズルモ他ノ時期ニ於テハ日潮不等アリ、潮時ノ不等ハ高潮ニ顯著ニシテ潮高ノ不等ハ低潮ニ著シク又低キ低潮ノ次ニ高キ高潮起ル、夏季大潮ニハ晝ノ高潮ハ早マリ夜ノ高潮ハ遲レ、午後ノ低潮最低ニシテ夜ノ高潮最高ナリ、冬季大潮ニハ之ニ反ス又此ノ低キ低潮ハ春季ニハ夜間ニ、秋季ニハ晝間ニ起ルヲ常トス。平均水面ハ1月最低、8月最高ニシテ其ノ差約0.3米ニ達ス。

潮流 三貂角至富貴角間附近ニ於ケル潮流ハ一般ニ東西ニ流レ、西流ハ低潮後1—3時ヨリ高潮後1—3時迄流レ、東流ハ高潮後1—3時ヨリ低潮後1—3時迄流ルレドモ、甚ダ不規則ニシテ流速及流續時間ハ時トシテ著シク異ルコトアリ。

三貂角 臺灣ノ東端ヲ成セル岬角ナリ、岬端ハ平低ニシテ約2鍾間石陂突出スルヲ以テ接近スベカラズ。岬端ヨリ南西方約900米ノ高サ167米ノ尖峯、此ノ山ノ南西方約1軒高サ207米ノ山及西方約2.4軒ニ屏風山(高サ444米)ハ何レモ遠望顯著ニシテ此ノ岬ヲ認ムルノ好目標ナリ。

三貂角燈臺 三貂角ノ山腹ニ在リ、高サ16米ノ白塗圓形コンクリート造、燈高102米。

卯澳灣 三貂角ノ西側ニ位スル北向灣ニシテ灣入約5鍾、幅約2.5鍾、水深20米ヨリ漸減シ偏西風時ノ避泊ニ適ス、然レドモ北東信風季ニハ大浪浸入スト謂フ。

鼻頭角(ビドウ) 臺灣北東端ノ岬角ニシテ三貂角ノ北北西方約8.5浬ニ在リ。

鼻頭角ノ南側ニ小灣アリ、灣ノ略中央ハ水深14.6米、底質沙設ニシテ東風ノ外ハ小形船舶ノ假泊ニ適スベシ、然レドモ灣口ノ殆ド中央ニ干出1.2米ノ岩アルヲ以テ出入ニ注意ヲ要ス。岬ノ西側ニモ小灣アリ、小形船舶ノ避泊ニ適ス。

鼻頭角燈臺 鼻頭角上ニ在リ、高サ15米ノ白塗六角形鐵造、燈高67米。

武丹坑 鼻頭角ノ西南西方約7.2軒ニ在ル山峯ナリ、此ノ山頂近傍ニ散在スル燈群ハ晴天ノ暗夜約30浬ノ海上ヨリ認識シ得ルヲ以テ鼻頭角燈臺及基隆燈臺ノ光達距離外ニ於テハ頗ル顯著ナル目標ナリト謂フ。

深澳灣〔庚子寮灣〕 鼻頭角ノ西方約5浬ニ在リ、灣入約7鍾、灣口ハ幅約5鍾、水深20米ニシテ其ノ兩側ノ岬角ハ岩礁ニ圍繞セラ

ル、灣中央水深10.8—12.8米、底質沙ノ處ハ北東風ノ外各方向ノ風ヲ遮障スベシ。東濱ノ庚子寮(ギナリオ)ニハ粗雜ナル木製棧橋(長サ90米、幅1.8米)アリ、其ノ前面ニ鑛石積取船ノ前後繫留用浮標3箇ヲ碇置シ4,000噸級船ノ繫泊ニ充ツ又棧橋ノ北方ニ防波堤アリテ西方ヨリノ波浪ヲ防ギ船溜ヲ形成ス。

基隆島〔基隆嶼〕 深澳灣ノ西北西方約2浬ニ位スル小灣八斗港(ペイトー)ノ北方約2.7浬ニ位スル峻峻ナル黑色岩嶼ニシテ、島頂ハ寧ろ平坦ナルモ顯著ニシテ基隆港ニ入ラントスルトキノ好目標ナリ。

基隆島ヨリ南西方ニ向ヒ長サ1.3浬ノ間幅2.5鍾ノ礫石嘴突出ス、乞岸石帯ノ名アリ、本嘴上島ヨリ6.5鍾ノ間ハ水深4.1—5.4米、其ノ餘ハ10—23米ニシテ全面常ニ強キ激湍ニ蔽ハルルヲ以テ決ジテ之ヲ横過スベカラズ、基隆燈臺ヲ中山ヨリ西方ニ開キ238度ニ望ミテ進メバ該嘴ノ南東方ニ導ク。該島周圍ノ爾餘ノ部分ハ概ネ急深ナリ。乞岸石帯ト中山トノ間ハ可航幅約4鍾、水深40—60米ナル水道ヲ成ス。

新瀨(シンロー) 基隆島頂ヨリ西北西方約2.1浬ニ水深5.6米ノ暗岩アリ、此ノ暗岩ノ東方約1.9鍾ニ水深6.6米ノ岩アリ、兩岩間ノ水深12.3—35米又前者ノ北東方約100米ニハ水深20米ノ礁、後者ノ北方約1鍾ニハ水深14.2米ノ礁アリ、該兩岩間ノ水深57米内外ナリ、此等ヲ總稱シテ新瀨ト謂フ。鼻頭角頂ト基隆島南西端トノ一線(117度)ハ上記諸岩ノ北東方2.5—4鍾ノ處ヲ導ク又基隆燈臺ノ紅光分弧ハ新瀨ヲ示ス。

基隆港(海圖1217分圖) 基隆港ハ三貂角至富貴角間ノ中央、

基隆島ノ南西方約2.5哩＝開口シ、臺灣南部＝於ケル高雄港ト相俟テ本島＝於ケル主要ナル開港＝シテ東、南、西ノ3面ハ山岳之ヲ環繞ス。港口ハ桶盤嶼ト萬人堆鼻トノ間＝在リテ北方＝開キ幅約4.5鍾、之ヨリ大沙灣ノ灣首迄南方＝彎入スルコト約1哩、次デ南西方＝折レ約2鍾ノ幅員ヲ以テ南西方＝約1哩彎入ス。

外港ハ偏北風強烈ナルトキハ波浪常＝高クシテ船舶ノ碇泊安全ナラズト雖モ東、南、西ノ風波＝對シテハ安全ナル泊地ナリ。内港ハ山岳＝圍繞セラレ能ク總テノ方向ノ風波ヲ遮ル＝拘ラズ從來ハ水淺ク干出泥堆大半ヲ占メ小形船舶ダ＝尙容ルル＝足ラザリシガ現在ハ其ノ面目全ク一新セリ。

港口ノ西側岬萬人堆鼻附近＝沙岩質ノ數箇ノ岩アリ、奇形＝シテ顯著ナリ、此ノ岬ノ海方側＝ハ層ヲ露出セル數箇ノ險崖アリ。萬人堆鼻ト相對スル港口ノ東側島桶盤嶼（トウバン）ハ數箇ノ岩嶼ヨリ成リ珊瑚礁＝圍繞セラル。桶盤嶼ノ東方＝中山ト稱スル島アリ、其ノ南隣＝聳立スル社寮島ト共＝其ノ北岸ハ急傾斜ノ礁脈＝依リ圍繞セラル、此ノ3嶼間ハ裾礁及淺礁充塞ス。

潮流 社寮島ノ北岸附近＝於テハ低潮後約1時ヨリ低潮後約7時迄西方＝、低潮後約7時ヨリ次ノ低潮後約1時迄東方＝流レ、流速2—3節＝達スルコトアリ、冬季ハ落潮流（東流）強ク夏季ハ漲潮流（西流）強シ。社寮島ノ北西側＝於テハ潮流甚ダ不規則＝シテ流速大ナラズ。

港灣設備 港口東側＝長サ約200米ノ防波堤アリテ其ノ内方＝水深3.1—5.8米ノ八尺門漁港アリ、船溜トシテハ内港南東濱＝二沙灣及三沙灣ヲ有シ2,000噸級船舶繫留用トシテ大正棧橋、對馬棧橋アリ。

内港首部＝壁側水深8.2米及9.1米ノ第1號至第4號岸壁アリテ第4號岸壁＝30 疋及10 疋移動式起重機各1臺ヲ設備ス。

牛稠港＝壁側水深9.1米ノ第5號至第13號岸壁アリ、第14號至第18號岸壁ノ内第14號ハ第13號ト共＝仙洞新岸壁ト稱シ壁側水深9.7米及10.6米ナリ。

内港ト外港トノ境界＝仙洞防波堤アリ火號澳棧橋ハ南北＝各1箇アリテ澳首＝檢疫所アリ。

内外港＝繫船浮標9箇ヲ碇置ス。

目標 仙洞防波堤ノ基部附近＝仙洞山アリ、截頭圓錐形山＝シテ萬人堆鼻ト共＝西濱＝於ケル顯著ナル目標ナリ。

基隆燈臺 萬人堆鼻上＝在リ、高サ10米ノ白塗圓形煉瓦造、燈高41米。本燈臺＝於テ碇泊所指定信號ヲ行フ。

霧信號 基隆燈臺＝霧信號（霧砲）ヲ附設ス、船舶ノ霧中信號ヲ聞クトキハ3分時ヲ隔テ空砲ヲ3發ス、爾後該信號ヲ聽カザル＝至ル迄6分毎＝前ノ如ク發砲ス。

球子山假燈竿 仙洞山西方ノ球子山頂＝在リ、高サ9.1米ノ黑白橫線塗木柱、燈高134米。

仙洞燈臺 仙洞防波堤東端＝在リ、高サ17米ノ紅塗八角形コンクリート造上部四角柱、燈高19米。

桶盤嶼北燈標 桶盤嶼北西端附近＝在リ、黑白橫線塗八角形コンクリート造、燈高13米。

八尺門燈臺 八尺門漁港防波堤南端＝在リ、高サ6.6米ノ紅塗圓形コンクリート造、燈高7.6米。

港口挂燈浮標 港口兩側防波堤工事中ノ捨石區域外端ヲ標示スル

爲2箇ノ挂燈浮標ヲ碇置スルコト次ノ如シ、但シ本浮標ハ工事ノ進捗ニ伴ヒ移動セラルベシ。

第1挂燈浮標 港口東側ニ在リ、黒塗圓筒形上部櫓形鐵造、燈高水面上3.4米。

第2挂燈浮標 港口西側ニ在リ、紅塗圓筒形上部櫓形鐵造、燈高水面上3.7米。

桶盤嶼挂燈浮標 桶盤嶼南西端ノ南西方ニ碇置ス、黒塗圓筒形上部櫓形鐵造、燈高水面上3.3米。

仙洞挂燈浮標 基隆燈臺ト仙洞燈臺トノ中間ニ碇置ス、紅塗圓筒形上部櫓形鐵造、燈高水面上3.3米。

障碍物 港口外東側ニ於テ桶盤嶼ノ北側距岸約200米ノ間ハ淺礁擴延ス、依ツテ東方ヨリ來リテ基隆港ニ入港セントスル船舶ハ注意ヲ要ス。

浚渫區域識別用トシテ仙洞燈臺ノ北方約1.3鍾ニK浮標（紅塗圓錐形鐵造）、同東方約1.9鍾ニJ浮標（黒塗圓錐形鐵造）、八尺門燈臺ノ西方約1.9鍾ニG浮標（黒塗圓錐形鐵造）ヲ碇置シアリ。

港内ニ於テ浚渫船ノ作業スル際其ノ附近ヲ通過セントスル船舶ハ浚渫船ニ向ヒテ其ノ旨ヲ豫報スベシ、浚渫船ハ成ルベク其ノ通過ヲ容易ナラシムル爲國際信號旗ヲ掲揚シ其ノ針路ヲ指示ス。

投錨禁止區域 臺灣開港規則ニ依リ港内公ノ航路（海圖ニ就テ見ルベシ）ニ投錨シ又ハ他ノ船舶ノ航行ヲ妨グルコトヲ禁ゼラル（水路誌附録第2卷第3編基隆港内公ノ航路區域ノ項參照）。

錨地 港内到ル處錨搔キ善キモ外港ニ在リテハ偏北風強吹時ニ於テ激浪高濤侵入シテ錨泊甚ダ困難ナリ、唯桶盤嶼北燈標ヲ8度ニ望ム。

水深12.6—18米ノ處ニ好避泊地アリ。内港ハ山岳ニ圍繞セラレ總テノ風向ニ對シ遮蔽セラレ波浪ナク安全ノ泊地ニシテ大沙灣ヨリ三沙灣ニ至ル東濱ニ沿ヘル帶狀ノ部分及内港港首凹入部ノミハ水深3.6—7米ナレドモ其ノ他ハ概ネ8.4—10.9米ニ浚渫セラレアルコト海圖ニ就テ見ルガ如シ、而シテ港内ハ狹隘ナル爲岸壁及棧橋ニ繫留スルモノ外ハ双錨泊ヲ行ヒ船尾ヲ繫船浮標ニ繫留スルカ又ハ浮標間ニ繫留スルヲ例トシ振レ繫リノ餘地ナシ。二沙灣及三沙灣ノ船溜ハ常ニ小舟ノ繫留又ハ避難所ニ充ツ。

上陸所 基隆驛前及港務部前ニ各上陸用棧橋アリ。

水先 自由水先制ニシテ免許水先人2名當港水先ニ從事ス（昭和13年調）、其ノ事務所ハ三沙灣船溜入口ノ南西方約200米ノ海岸ニ在リ。基隆港水先區ハ野柳半島外端龜頭鼻ヨリ基隆島ノ北東端ヲ經テ中山ノ北西端ニ引キタル各線ノ内部水面トス、水先人要招ノ場合ニハ國際信號旗G又ハP Tヲ掲グルカ若ハ水先人宛（港務部長宛ニテモ差支ナシ）依頼シ豫メ入港時日ヲ電報スルヲ可トス、乗船地點ハ港界水先區若ハ港界線附近ト爲リ居レドモ本邦船舶ノ場合又ハ荒天ニ際シテハ萬人堆鼻以內ニ於テ乗船スルヲ普通トス、水先船ハ白塗「ヨット」形發動機船（約4噸）ニLicensed Pilotト黒書シ規定ノ水先旗（上白下紅）ヲ掲グ。尙水路誌附録第1卷ニ就テ臺灣水先法施行ニ關スル規則同第2卷ニ就テ基隆港水先規則ヲ見ルベシ。

檢疫 當港ニ於テハ海港檢疫法ニ依リ檢疫ヲ施行ス。水路誌附録第1卷ニ就テ海港檢疫法、臺灣海港檢疫法施行規則日没後海港檢疫ヲ受ケントスル船舶汽笛吹鳴ノ件等ヲ見ルベシ。

港則 水路誌附録第1卷ニ就テ臺灣開港規則、臺灣ト内地樺太朝

鮮及南洋群島間通航船舶取締規則等、同第2卷=就テ基隆港規程、基隆及高雄築港岸壁其ノ他港灣營造物使用料等ヲ見ルベシ。

氣象信號 港務部屋上北西隅=暴風雨標アリ。三沙灣船溜入口ノ南南東方約200米=氣象特報及暴風警報ノ信號標アリ。

特定信號 水路誌附録第1卷=就テ基隆港特定信號(岸壁繫留信號、棧橋及繫船浮標繫留信號、錨泊其ノ他ノ信號)ヲ見ルベシ。

報時信號 基隆市ノ中央=位スル火ノ見櫓=於テ其ノ上部=備附ケアル電氣「サイレン」=依リ中央標準時正午ノ報時信號ヲ爲ス。

補給 給炭、給油及給水ノ概況下記ノ如シ。

石炭 臺北州ノ炭鑛ヨリ産出スル石炭多量アリ、本港ノ貯炭場=ハ約20萬噸ヲ貯藏シ得。牛稠港西側ノ石炭専用岸壁ハ3,000噸級船4隻ヲ同時=接岸セシメ得ベク、1日1船=對シ貨物炭1,000噸内外、燃料炭280—600噸ヲ積込ムコトヲ得。運搬給炭船ハ計3隻有リ毎時約120噸搭載ノ能力アリ(昭和12年調)。

燃料油 第13號繫船岸壁=給油栓4箇ヲ有シ全力ヲ發揮スレバ毎時275噸ノ積込能力アリ。運搬給油=ハ唧筒附給油船2隻アリ、給油能力ハ毎時33噸、他ハ15噸ナリ(昭和12年調)。

清水 上水道ノ設備アリ、繫船岸壁=25箇、荷揚場=7箇ノ給水栓ヲ有ス、荷揚場ノ中2箇ハ給水船用ニシテ毎時各30噸ノ供給能力ヲ有スルモ其ノ他ハ皆各栓毎時7噸ノ能力ナリ。運搬給水用トシテハ100噸、75噸及70噸ノ唧筒附給水船各1隻アリ(昭和13年調)。

野柳(ヤリュウ)[龜頭鼻(クータウピー)] 萬人堆鼻ノ北西方約4.5哩=位スル沙岩ヨリ成レル險崖岬角ナリ。

同岬ヲ外端トシテ約1.6哩北東方=突出スル狹長ナル半島ヲ野柳半島

下稱ス。該半島地頭ノ兩側=各1小灣アリ、東灣ハ泊地ト爲スノ價値ナシ、西灣ハ野柳灣ト謂ヒ灣口北=開クモ其ノ灣口西側=數箇ノ岩アリテ風浪ヲ遮リ小舟ノ避泊地ト爲スヲ得ベシ。

獅子頭鼻 野柳岬ノ西北西方約3哩=位スル岩崖岬ニシテ鼻ノ西側=小港アリ、小形船舶ノ避泊=適ス。

富貴角 獅子頭鼻ノ北西方約7.5哩=位スル岬角ニシテ臺灣ノ最北端ヲ成ス、角端附近岩礁散在ス。角ノ西側岩間=狹小ナル沙濱アリ、平穩ノ際小舟2—3隻ヲ寄せ得ベシ、海路ヨリ燈臺=至ル者ハ常=此處=着舟ス。

富貴角附近=ハ常=張烈ナル激湍アルヲ以テ遠ク離レテ航スルヲ可トス。

富貴角燈臺 富貴角上=在リ、地上高34米ノ黑白横線塗八角形鐵造、燈高50米。

霧信號 富貴角燈臺=霧信號(霧砲)ヲ附設ス、船舶ノ霧中信號ヲ聞クトキハ4分時ヲ隔テ空砲ヲ2發ス、爾後該信號ヲ聽カザル=至ル迄8分毎=前ノ如ク發砲ス。

富貴角至白沙岬

富貴角ヨリ海岸ハ西南西方=走ルコト1.5哩ニシテ麟山鼻=至リ次テ南西方=走ルコト約8.5哩ニシテ淡水河口=至ル、此ノ海岸一帶ハ沙礫濱ニシテ礁脈沿布シ場所=依リ約5鍾迄擴延ス、岸上ハ高サ30米内外ノ低丘ニシテ漸次内方=高マリ約5軒ノ處ヨリ急昇シテ高サ1,000米内外ノ大屯山脈=達ス。淡水河口ヨリ白沙岬=至ル約20哩間ハ岸線西南西方=走り、最初ノ8哩間ハ高サ約150米ノ臺形地ニシテ淡水河口南方ノ南走山脈=連リ、後ノ12哩間ハ低キ沙山點在シ内陸數十

料ノ間平坦ノ耕地ヲ成ス、而シテ沿岸ハ沙堆若ハ岩礁纏布シ距岸5 鍾迄擴延シテ其ノ外側水深7.3 米ヨリ深シ。

潮汐

第6編白沙岬至新虎尾溪口ノ同項ヲ見ルベシ。

潮流

富貴角、淡水河口間ニ於テハ北東流（落潮流）ハ約7 時間、南西流（漲潮流）ハ約5 時間流走ス、而シテ富貴角附近ハ流速最モ強烈ニシテ夏季（南西信風季中）ニ東流5 節、西流2 節ナルヲ驗シタリ、富貴角沖ニ在リテハ北風又ハ北東風吹クトキハ甚シキ激湍ヲ起シテ波浪亂立シ小形船舶ノ航行頗ル危險ナリ。

白沙岬ノ沖合距岸約3 鍾附近ニ於ケル漲潮流ハ南流シ流速約1.5 節、落潮流ハ北流シ流速約2.8 節ナルモ、距岸約5 鍾ノ處ニ於テハ北向海流ノ影響ヲ受クル爲ニ漲潮時ノ南流ノ流續時間ハ約4 時間ニ、流速ハ約0.5 節ニ減ジ、落潮時ノ北流ハ之ニ反シテ約8 時間流續シ流速ハ約3.3 節ニ達ス、而シテ南北兩流共北方ニ至ルニ從ヒ流動漸ク増加シ南嶽港ノ沖合距岸約3.5 鍾ニ於テハ南流ハ1.8 節ニ、北流ハ3.5 節ニ達シ特ニ北流ハ富貴角沖ニ至リ最モ強烈ト爲ル。

淡水港（海圖 211）

富貴角ノ南西方約10 鍾ニ注ゲル淡水河ノ河口ニ位シ臺灣唯一ノ河港ニシテ開港ノ一ナリ、河口ノ外方ハ西方ニ開キ北東ヨリ南ヲ經テ南西ニ至ル間ノ風ヲ屏障スト雖モ北東信風季中（1 年ノ $\frac{2}{3}$ ハ此ノ時期ニ屬ス）ハ決シテ泊スベキノ地ニ非ズ、河内ハ各方向ノ風ヲ防ギ得ベキモ河口ハ淺水ナルニ加フルニ年々埋没ノ度ヲ増スガ故ニ吃水淺キ船舶ト雖モ高潮ヲ待チテ出入セザルベカラザル等不便極メテ大ナリ。

淡水河ハ源ヲ大嵙崁ノ南方山中ニ發シ北流シテ臺北市ノ西側ニ至リ新店溪ト相會シ、更ニ北流スルコト約2 鍾ニシテ基隆河ヲ收メ、其ヨリ

北西方ニ流ルルコト約8 鍾ニシテ海ニ入ル。河口ノ門洲ハ幅約1 鍾ニシテ之ヲ横ギル直條ナル滯ノ幅ハ僅ニ1—2 鍾、最小水深約2.4 米ナリ、門洲以內ハ河幅約8 鍾アルモ南側ハ一圓ニ泥堆充塞シ河口兩角間ニ於ケル深水道ノ幅ハ1—2.5 鍾ニ過ギズ、此ノ深水道ハ上流約1.7 鍾ノ鼻子頭（ピアタウ）附近迄北岸ニ沿ヒ略同一ノ幅ヲ持續シ其ノ水深概ムネ2.7—3.7 米ナリ、淡水河ハ出水アル毎ニ其ノ水深ヲ變ジ處ニ依リテハ10.9 米以上ノ差ニ達シタルモノアリ、門洲ハ毎年冬季ニハ淺クナル傾向アリ、是北岸上ニ堆積セル沙ガ北東風ノ爲ニ漸次水道中ニ流入シテ其ノ水深夏季ニ比シ0.3—0.9 米ヲ減ズルニ因ル、其ノ他颱風モ門洲水深ノ變化上ニ著シキ影響ヲ及ボスモノノ如シ。高潮ニ於ケル門洲上ノ水深ハ夏季ニハ大潮ニ約4.7 米、小潮ニ約4.4 米、冬季ニハ大潮ニ約4.4 米、小潮ニ約3.6 米ナルヲ例トス。

氣象

淡水港ニ於テハ11 月下旬ヨリ翌年5 月末迄ヲ雨季トス、此ノ季節中ハ空氣甚ダ濕潤ナルヲ以テ氣温ハ同緯度ニ位スル支那沿岸ヨリ高キニ拘ラズ氣候寒冷ナリ又此ノ季節ノ雨量ハ年總量ノ約4 割ニ過ギズ、是臺北地方ハ冬季陰鬱ニシテ比較的雨天多キモ其ノ量割合ニ少ク、夏季ニ於ケル頻繁ナル雷雨ニ伴フ短時間ノ驟雨性豪雨ノ量ノ勝レルニ因ルモノナリ。北東信風季中ハ黑潮流域ノ温暖ナル海面ヲ吹キ多量ノ濕氣ヲ吸收セル北東風ガ臺灣ノ高山脈ニ觸レテ其ノ濕氣ヲ放散スルヲ以テ臺灣北部ハ降雨甚ダ多ク人ヲシテ不愉快ナラシム、然レドモ北東ヨリ東ニ偏シタル風吹來スルカ又ハ其ノ方向ヨリ雲來ルトキハ晴天ト爲ルベシ又此ノ期間中ノ氣温ハ晴曇ニ因リ其ノ差16—17 度ニ及ブコトアリ、夏季ハ晝間南西信風吹キ夜間ハ南東風吹キ幾分暑サヲ和ラシメ、而シテ暴風又ハ雷雨ノ場合ヲ除キ一般ニ天氣靜穩ノ時季ナリ。

里俗「基隆ノ雨ニ淡水ノ風」ナル諺アリ、實際ニ於テ1年ヲ通ジテ淡水ノ無風ナルハ1箇月中1・5日ヲ超エザルヲ以テ見ルモ其ノ眞ナルヲ知ルニ足ルベシ。

潮流 潮流ハ門洲上ヲ東西ニ直流シ河口以內ニ入レバ稍水道ノ方向ニ順ヒテ流レ、漲潮時ニ最強流速1・5節、落潮時ニ3・3節ナルヲ驗セリ、流續時間ハ漲潮流（西流）約4・5時間、落潮流（東流）7・5時間ニシテ、漲潮流ハ高潮後尙約1時間餘流ヲ存シ、落潮流ハ低潮後尙約1・5時間餘流ヲ存スルコトヲ驗シタルコトアリ。鼻子頭附近モ大差ナキガ如シ。落潮流ハ北東信風季間風上ニ間切ル船舶ノ助ト爲ルベシ。淡水河出水ノトキハ潮高及潮流轉換時ニ影響ス。

港灣設備 本港ハ大規模ナル設備ナキモ稅關棧橋、5箇ノ石造及木造棧橋アリ。

港口ニ於テ北門洲北側及沙嘴北界ニ浮標ヲ碇置シ又3,000噸級船舶繫留用トシテ1箇ノ繫船浮標アリ。

淡水港導燈 低燈ハ河口北角上ニ在リ、高サ14米ノ白塗四角形鐵造、燈高12米、高燈ハ低燈ノ東方1,320米ニ在リ、高サ12米ノ白塗圓柱、燈高45米。

2燈一線ハ淡水河口門洲上ノ水道ヲ示ス、但シ出水ノ爲門洲屢其ノ位置ヲ變ズルコトアレドモ平日ニ於テハ高低兩燈ヲ一線ニ望ムヲ以テ洲上ヲ航過スル最良ノ水道トス。

錨地 外港ニ於ケル最好ノ錨地ハ導燈低燈ヨリ西北西方約1・5哩、水深12・8米、底質泥ノ處附近ナリ、然レドモ此處ハ陸地方面ノ外全ク露開スルヲ以テ常ニ揚錨ノ準備ヲ爲シ置カザルベカラズ。若シ北偏ノ強風始ラバ帆船ハ直ニ揚錨シテ沖合ヘ出ヅルヲ要ス、何トナレ

バ走錨ノ場合ハ門洲ノ南西方ナル淺瀬ノ風上ニ達スルコト（漲潮流即チ南向流ノ強キトキハ殊ニ）困難ナレバナリ。南西信風季中ハ北門洲浮標ノ南西方水深9・1米ノ處ニ好錨地アリ。

内港ハ錨地極メテ狹隘ニシテ吃水約3・7米ノ船舶ノ双錨泊ヲ爲シ得ベキ場所ハ唯3箇所アルノミ、吃水3—3・4米ノ船舶ナルニ於テハ泊スベキ場所數箇所アリ。河内ハ河底ノ沙層時々刻々變化スルヲ以テ走錨等ノ事故ハ時々起ルモノト知ルベシ、然レドモ錨地區狹隘ニシテ水勢疾強ナルガ爲走錨ヲ免レント欲シテ錨鎖ヲ長ク延バスハ却ツテ害アリ又双錨泊ハ必ズ河流ニ順ジテ上下ニ投錨スルヲ可トス。

洪水期ニ際シ河水漲リ流勢増加スルトキハ河口上流約1哩ノ處ヨリ鼻子頭ニ至ル間ノ北岸ニ接シ激烈ナル反流ヲ生ズ、此ノ反流ト本流トノ間ニ投錨セバ船體幾回トナク旋回シ最強ナル錨鎖ト雖モ忽チ切斷セラレテ河岸ノ淺處又ハ下流ニ押流サレ破壊沈没ノ不幸ヲ招クコトアリ。

洪水期ノ安全ナル錨地ハ稅關支署旗竿ヨリ舊砲臺南方ノ元營舎ニ至ル河岸ノ前面ヲ以テ最良トス、從來ノ經驗ニ據レバ最モ安全ノ手段ハ爲シ得ル限り北岸ニ接シテ錨ヲ投ジ尙河岸ノ樹木ニ數條ノ綱索ヲ固繫スルニ在リ、但シ元營舎埠頭以西及中流以南ニハ決シテ投錨スベカラズ。

降雨數日ニ互ルトキハ流勢ヲ増スト同時ニ河底ノ深淺ヲ變ジ、其ノ結果或ハ流沙ヲ以テ錨ヲ埋没シ爲ニ錨鎖ノ緊張ヲ來シ或ハ沙ヲ掃去シテ走錨ヲ起スコトアリ。

暴風雨襲來スレバ濁流滔々トシテ狂奔シ鼻子上流約3哩ノ關渡（カントウ）附近ニ至レバ基隆川ノ水一時ニ合シテ流勢益加ハリ、強烈ナル激流ト爲リテ河口ニ達シ河底ノ土沙湧亂シテ錨ヲ搖ガシ船舶ノ碇泊

極メテ危険ナリ。

針路法 陸地ノ形狀ニ依リ淡水港ヲ求メント欲セバ河口南側ノ觀音山ヲ以テ好目標トス、此ノ山ハ低地ヨリ突起シ南方ヨリ望メバ2頂ヲ顯ハシ他ノ方向ヨリ望メバ尖頂ヲ呈シ甚ダ顯著ナリ。

内港ニ入ラントセバ導燈ヲ一線ニ見テ北門洲浮標ノ南側ヲ進ミ、既ニシテ河口ニ近ツカバ南側ノ淡水港口浮標（河口沙嘴北界浮標ノ公稱）ノ北方及低燈ノ南方約90米ノ處ヲ通過シ次デ北岸ニ沿ヒ同距離ヲ保チツツ遡航スベシ。

門洲上ノ滯ハ出水若ハ颶風ノ爲ニ位置ヲ變ジ易キヲ以テ注意ヲ要ス。門洲ノ黑塗浮標、河口ノ紅塗浮標等ハ常ニ其ノ正位置ニ在ルモノト輕信スベカラズ、時トシテハ此等ノ浮標ハ風波ノ爲洗ヒ去ラレ長ク復舊ヲ見ザルコトアリ。

水先 無免許水先人1名アリ、信賴スルニ足ルト謂フ（昭和12年調）、水先人ヲ要スルトキハ豫メ稅關等ニ依頼スルヲ便トス。

檢疫 當港ニ於テハ海港檢疫法ニ依リ檢疫ヲ施行ス。水路誌附録第1卷ニ就テ海港檢疫法、臺灣海港檢疫法施行規則、日没後海港檢疫ヲ受ケントスル船舶汽笛吹鳴ノ件等ヲ見ルベシ。

港則 水路誌附録第1卷ニ就テ臺灣開港規則、臺灣ト内地樺太朝鮮及南洋郡島間通航船舶取締規則等、同第2卷ニ就テ淡水港規程ヲ見ルベシ。

淡水港規程ニ依レバ港務部支部ニ於テ船舶ノ信號ハ國際信號ニ依リ導燈低燈信號竿ニ之ヲ掲揚ス。

氣象信號 淡水郡役所構内ニ氣象特報及暴風警報ノ信號標アリ、但シ碇泊船ノ帆檣ト混ジ外方ヨリノ識別困難ナリ。

給油 燃料油供給ハ「ライジングサン」及「スタンダード」兩會社之ヲ經營ス、前者ハ鼻子頭北方ニ大小2基ノ油槽、棧橋及繫船浮標ヲ有シ約1,800 吨ノ貯藏能力アリ（昭和7年調）。

臺北市 淡水河ノ上流約9 哩ノ東岸ニ在リテ臺北平野ノ中央ニ位ス。

氣象 卷末氣象表第4（臺北氣象表）參照。

暗礁 淡水河口南角ノ西南西方約11 浬ニ位スル高サ167 米ノ山（大南灣附近）ノ北方約1.6 浬、距岸1 浬餘ニ水深10 米ノ暗礁アリ。

南崙港 淡水河口南角ノ西南西方約9.5 浬ニ位スル小河港ニシテ低潮ニハ全ク閉塞スルモ高潮ノトキ支那形船ハ入ルヲ得ベシ。

點礁 南崙港口ノ北東方7 浬ト1.1 浬トニ各1 箇ノ點礁アリ、礁上水深前者ハ2.7 米、後者ハ5 米ナリ。

許厝港 南崙港ノ西南西方約4.7 浬ニ位スル小河港ニシテ前者ト同様低潮ニハ全ク閉塞スルモ高潮ノトキハ支那型船之ニ入ルコトヲ得。

第 6 編

臺灣西岸及澎湖列島

本編ニハ白沙岬ヨリ臺灣ノ南端鶯鑾鼻ニ至ル間ノ海岸ト其ノ略中央ニ於テ澎湖水道ヲ隔テテ之ト相對スル澎湖列島トノ記事ヲ収録ス。

臺灣西岸ハ極メテ單調ニシテ沿岸ニハ肥沃ナル平野發達シ數多ノ河流之ヲ貫キ三角洲ノ發達著シク干出泥堆各所ニ存シ以テ瀉ト相交錯ス、從ツテ海岸ハ遠淺ニシテ泊船ニ便ナラズ又各河口ニ於ケル諸港ハ河川ノ土沙流出ニ因リ現時殆ド廢滅ノ状態ニ在ルモノ多シ、安平、高雄兩港ノ如キハ何レモ上記ノ瀉ヲ利用シテ成レル港ナリ。

臺灣西岸ニ沿フ處ハ絶エズ新ニ淺瀬ヲ生ジ且海岸ハ次第ニ埋マリ2—3年前迄深カリシ場所モ今ハ全ク淺水ニ變ジタル處少カラズ、殊ニ大安港ト安平港トノ間ナル沿岸ハ遠ク離レテ航セザルベカラズ、加之此ノ附近ニハ常ニ強勢ナル向岸流アルヲ以テ能ク注意シテ其ノ流壓ヲ豫防センコトヲ要ス。

白沙岬至新虎尾溪口

白沙岬ヨリ澎湖水道東濱ノ北端ナル新虎尾溪口ニ至ル間ノ海岸ニシテ臺灣西岸中澎湖水道以北ノ臺灣海峽狹幅部ニ臨メル區域ナリ。

註 水路誌上臺灣海峽ハ臺灣北端富貴角、支那牛山島及海壇島南端ヲ連結シ其ヨリ270度ニ引キタル線ヲ以テ其ノ北界トス。

潮汐

富貴角至曾文溪口ノ間ニ於ケル潮汐ノ性質ハ臺灣東岸及南西諸島ニ於ケルト殆ト同様ナルモ潮升ハ一般ニ稍大ナリ、平均高潮間隙ハ北端及南端ニ於テハ約11時ナルモ海口泊地ニ近ヅクニ從ヒテ徐々ニ遅レ同地附近ニ到レバ約12時ト爲ル、大潮升ハ淡水港ニ於テハ約3米ナルモ南スルニ從ヒテ増加シ後龍港ニ於テ最大4.8米ニ達シ其ヨリ南ハ次第ニ減ジテ布袋港ニ到レバ1.9米ト爲ル。日潮不等ハ顯著ナラズ、而シテ潮高ノ不等ハ高潮ニハ甚ダ小ナレドモ低潮ニ大ナリ又低キ低潮ハ春季ニハ夜間ニ、夏季ニハ午後ニ、秋季ニハ晝間ニ、冬季ニハ午前ニ起ルヲ常トス。平均水面ハ1月最低、8月最高ニシテ其ノ差約0.3米ナリ。

潮流

富貴角ヨリ大肚溪口附近ニ至ル間ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ海岸ニ沿ヒテ南西方ニ流レ、澎湖水道ヲ北方ニ向ツテ流ルル漲潮流ト後龍港、鹿港間ニ於テ相會シ略高潮時ニ轉流シ、落潮流ハ略反對ノ方向ニ流ル、然レドモ夏季ノ驗測ニ據レバ白沙岬以南ニハ海岸ニ沿ヒテ北東方ニ流ルル海流アリ、南西流ハ北東流ニ比シ流續時間短ク流速小ニシテ後龍港、鹿港間ニ於テハ常ニ北向流アリ、潮時ニ因リテ流速ヲ増減ス。

大肚溪口附近ヨリ曾文溪口附近ニ至ル間ノ距岸數哩以内ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ略高低潮時ニ轉流ス、然レドモ沖合ニハ澎湖水道ヲ北流スル海流アリ、潮流ヲ壓シテ海水ハ終日北流スルコト多シ。

白沙岬至通霄溪口

白沙岬ヨリ南西方ニ向ヒ坑子口山ニ至ル約11哩間ノ海岸ハ矮樹茂レル沙濱ニシテ距岸1—5鍾迄干出堆擴延ス、而シテ内陸ハ廣闊ナル平低

ノ耕野ヨリ成ル。坑子口山ノ南南西方約2.5哩ニ舊港アリ、舊港ヨリ南西方約14哩間ハ沙又ハ礫濱ニシテ淺入弓形灣ヲ成シ山丘低地錯互ス、此ノ灣岸ノ南陽ニ中港溪流出シ其ノ河口ヨリ西南西方約5.5哩ニシテ後龍溪口ニ達ス。後龍溪口ヨリ南南西方通霄ニ至ル約9哩間ノ海岸ハ低山脈ニシテ其ノ南端附近ニ虎頭山ト稱スル孤立峯アリ、此ノ山ノ南西方約2軒ニ通霄溪開口ス。

潮流

中港、後龍港及通霄附近距岸5哩ノ處ハ所謂片潮ニシテ海流ノ影響ニ因リ常ニ北流ス、流速ハ漲潮時ニ減ジ落潮時ニ増シ一般ニ白沙岬以北ノ如ク大ナラズシテ2節以上ニ達セズ、且此ノ北流ハ海岸ニ近ヅクニ從ヒ漸次其ノ流速ヲ減ジ距岸2哩ニ到レバ漲潮時ニハ殆ト消滅ス。

白沙岬(ハクシャカフ)

臺灣ノ北西端ヲ成セル鈍岬角ニシテ許厝港ノ西南西方約6哩ニ位シ其ノ外端ハ草ヲ以テ蔽ハレタル沙山ヨリ成ル。

白沙岬燈臺

白沙岬上ニ在リ、高サ25米ノ白塗圓形煉瓦造、燈高39米。

坑子口山(臺形山)

紅毛港ノ南方約3.7軒ニ位スル東西ニ長キ臺形ノ草山ナリ、高サ90—127米ニ過ギザルモ淡水港南西方ノ高地迄擴延セル一大平野ニ面スル低崖上ニ在ルヲ以テ顯著ナリ。

舊港(海圖212分圖)

白沙岬ノ南西方14哩餘ニ在ル小港ニシテ頭前溪(舊港溪)ト鳳山溪トノ2河相隣接シテ海ニ入ル處ニ在リ。兩河ノ河口外ハ距岸約1哩ノ處迄沙堆干出シ其ノ間ニ共通ナル1條ノ濬ヲ通ズ、然レドモ半潮以上ニ非ザレバ小艇モ出入シ難シ。

暗礁

香山驛ノ西北西方約1.8哩、距岸約1.6哩ニ1箇ノ暗礁アリ

リ、礁上水深3.6米、周圍水深7.7米及9.1米ナリ。

中港 (海圖212分圖) 舊港ノ南南西方約12哩、**中港溪**ノ流出スル處ニ在リ。河口ノ外方ハ約1哩ノ間門洲擴延シ其ノ中央ニ1條ノ滯ヲ存ス、滯ノ形狀ハ時々變化スト雖モ半潮以上ニハ小艇ヲ入レ得ベシ、河口門洲ノ外縁ヲ距ル約5鍾ノ處ハ稍偏南風ヲ遮ルヲ以テ一時假泊シ得ベキモ錨搔キ惡シキヲ以テ風強キトキハ泊スベカラズ。

河口ノ南側ニ**一堡山** (イポーサン) アリ、其ノ西方約2.9軒ニ高サ55米ノ尖頂赤崖ノ小山アリ、共ニ顯著ニシテ河口ヲ知ルノ目標トナスヲ得ベシ。

暗礁 一堡山ノ西方約4.5哩、距岸約7鍾ニ水深5米ノ暗礁アリ、周圍水深7.3—9.1米。

後龍港 (海圖211) 中港溪口ノ西南西方約5.5哩、**後龍溪**ノ流出スル處ニ在リ。港口即チ後龍溪口沙堆滯口ノ兩側ニ樹枝數箇ヲ設ケ夜間ハ船ノ出入時ニ燈籠ヲ掲グト謂フ、港内ハ一面ニ干出約2.7米ノ沙堆ニシテ高潮時ニハ40—50噸ノ帆船容易ニ出入スルコトヲ得。門洲ノ外方水深7—15米ノ處ニ錨地ヲ得ベキモ西方及北方ノ2面ハ全ク暴露スルヲ以テ波浪高キトキハ錨泊ニ堪ヘズ。

通霄溪 後龍溪口ノ南南西方約9哩ニ開口スル河流ニシテ高潮ニハ支那型船ヲ容ルルヲ得ベシ。

通霄溪口至新虎尾溪口

通霄溪口ト其ノ南南西方約8哩ニ在ル大安港トノ間ハ平原ニシテ數條ノ小河錯綜シテ海ニ入ル。大安港附近ヨリ南南西方新虎尾溪口附近ニ至ル約42哩間ノ海岸ハ水淺ク且不規則ニシテ干出堆遠ク延出シ鹿港附近ナル濁水溪口ニ於テハ距岸3哩ニ達ス、依ツテ此ノ附近ハ水深20

米以內ニ近寄ラザルヲ要ス、而モ陸上ハ唯矮林草舎ノ外高サ9米未滿ノ沙丘低岡ノミニシテ顯著ナル物標甚ダ稀ナリ。内陸ノ山脈ハ南スルニ從ヒ漸次内方ニ退キ新虎尾溪附近ニ至レバ内方約40軒ノ間又山峯ヲ見ズ。

潮流 大安港附近ニ於テハ漲潮流ハ北流シ落潮流ハ南流ス、然ルニ夏季ノ驗測ニ據レバ海流ノ爲海水ハ常ニ北流シテ南流ヲ認メズ、潮時ニ依リ流速變化スルノミニシテ最強流速ハ漲潮時約2節、最小流速ハ落潮時約1節ナリ、塗葛堀港沖合ニ於テハ北流ノ最強流速ハ漲潮時ニ約1.2節ニ減ズルモ猶落潮時ト雖モ南流ヲ認メズ。鹿港沖ニ至レバ落潮時ニ南流アリ、其ノ最強流速約1節ニシテ漲潮時ノ北流ノ半ニモ及バザルモ、南方ニ移ルニ從ヒ漸次増加シテ遂ニ漲潮時ノ北流ト匹敵スルニ至ル、然レドモ2者トモ4節以上ノ流速ヲ驗セシコトナシ。

大安港 (タイアン) 通霄溪口ノ南南西方約6.5哩ニ於テ海ニ注ゲル**大安溪**本流口ノ南南西方約1.5哩ニ位スル分派河口ノ港ニシテ支那型船ノ泊地ナリ。

該河口前面ハ距岸1哩ニシテ水深急ニ9.1—14.6米ニ増加ス。

鐵砧山 大安港ノ東南東方約7.5軒ニ位スル樹木繁茂セル方形山 (高サ236米) ニシテ大安港ヲ識別スルノ好目標ナリ。

崩山 大甲市街ヲ挾ミテ鐵砧山ト南北相對スル顯著ナル山峯 (高サ179米) ニシテ其ノ南面赤色ヲ呈ス、鐵砧山ト共ニ大安港ヲ識別スルノ好目標ナリ。

新高港 (梧棲港) (海圖212分圖) 新高港ハ大安港ノ南南西方約8哩ニ開口スル小河流ノ河口港ニシテ干出門洲アルノミナラズ磯波アリテ上陸困難ノ地ナリ、其ノ錨地ハ稅關監視署ヲ距ル1哩餘ノ地點ニ

シテ貨物ハ大形ノ竹筏ヲ以テ運搬ス。昭和14年9月梧棲港域ヲ含ム港域ヲ新ニ定メラレテ新高港ト命名セラル、ソノ築港工事中温雅寮ノ西端ヨリ西方へ1,000米、梧棲街ノ南西方ヨリ北西方ニ約350米ノ各防波堤竣工セリ。

塗葛堀港 (トカツクツ) 新高港ノ南南西方約4哩ノ大肚溪口ニ在リ、明治44年頃數回ニ互レル大洪水ノ爲港口埋没シ船舶ノ出入不可能トナレリ、從ツテ沖合碇泊船トノ交通ハ竹筏ニ依ル。

氣象 臺中氣象表卷末氣象表第5參照。

鹿港 (ロク) (海圖247) 塗葛堀港ノ南南西方約9.5哩ニ於テ鹿港溪ト濁水溪分派流トノ合流シテ海ニ注グ處ニ在リ。

塗葛堀港ト鹿港トノ間ノ海岸ハ土地低クシテ高サ30米以下ノ小丘散點シ距岸約2.5哩迄低潮ニ干出スル泥堆沙堆擴延ス、從前ハ鹿港市街ノ西方約4哩ニ泥堆ヲ貫通スル水道アリシモ明治33年出水ノ際填塞シ、現今ハ更ニ其ノ北方ニ1水道ヲ生ジ支那型船ハ此ノ水道ニ入リテ錨泊スルモ其ノ過半數ハ低潮ニ膠著ス、而シテ鹿港市街トハ小舟ニテ交通ス。

鹿港市街ノ北西端ニ近ク氣象特報及暴風警報ノ信號標ヲ設ク。

濁水溪 鹿港ヨリ南南西方沙山港ニ至ル約9.5哩間ノ海岸モ亦土地低ク、干出泥堆距岸1.5—3哩ニ達ス。濁水溪ハ此ノ海岸中鹿港溪口ノ南西方約2哩ニ其ノ主流ノ出口ヲ有スル大河ニシテ河口ノ幅1哩アルモ門洲之ヲ閉塞シ高潮時ト雖モ小舟ダニ尙出入スルコトヲ得ズ。

新虎尾溪 鹿港溪口ノ南南西方約18哩ニ開口スル大河ナリ。

鹿港溪口ノ南南西方約9.5哩ナル沙山港ヨリ新虎尾溪口ニ至ル間ハ一帯ノ低岸ニシテ低潮ニハ距岸數哩ノ間泥沙干出シ其ノ外側淺キガ故ニ

船舶ハ決シテ20米ヨリ淺キ處ニ進入スベカラズ、且此ノ邊ハ潮勢甚ダ強キヲ以テ是亦斟酌シテ航行センコトヲ要ス。

澎湖水道

臺灣西岸ト澎湖列島トノ間ノ水道ニシテ其ノ長サ約45哩、最狹部ノ可航幅約15哩、水道中央部ノ水深38—177米アリ、概シテ北部ヨリ南部ヲ深シトス、而シテ底質多クハ鳶色ノ礫沙ニ介殼ヲ交フ。

潮流及海流 澎湖水道ノ漲潮流ハ黑潮ト同方向ニ北流シ、落潮流ハ之ト反對ニ流ル、故ニ北流ハ強ク南流ハ弱クシテ時ニ終日南流ヲ見ザルコトアリ、海流ノ流速ハ概シテ南西風ノ連吹ニ因リテ加ハリ北東風ニ因リテ減ズルガ故ニ6月及7月ニ於テ南西風ノ連吹スルトキハ大潮期ニ於ケル北流ノ最強流速ハ間々5節ニ達スルコトアリ。

水道東側ノ外陵子淺瀬附近ニテハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流ル。外陵子ノ西方1哩ノ處ニ於テハ夏季ノ北流ハ布袋港ノ高潮後約2時ニ南流ニ轉ジ、流速ハ北流約4.5節ニ達スルモ南流ハ甚ダ弱シ。水道ノ西側即チ澎湖列島側ニ在リテハ潮流ハ布袋港ノ高低潮後約1時ニ轉流ス。

水道ノ中央ハ海流ノミノ部分ニシテ2—4節ノ流速ヲ以テ北流シ、其ノ北部以北距岸7—8哩以外ニテハ絶エズ1—2節ノ流速ヲ以テ偏北ニ流ル、距岸7—8哩ト同3—4哩トノ間ハ海流ト潮流トノ混流區ナリ。

海流ノ澎湖水道ニ入ルヤ約49米等深線ヲ界トシテ沿濱ノ潮流ト相伴ヒ又相逆ヒテ北流ス、然レドモ斯ク海底ノ深淺ニ伴ヒテ海流ト潮流ト相交代スル状態ハ靜穩無風ノトキニハ殆ド認メ難シ。澎湖列島側ニ於テハ六呎礁ヨリ北方ハ距岸5—6哩以內ヲ以テ常ニ潮流區トナス又六呎礁ヨリ南方ハ該礁ト東吉嶼トヲ連スル線以西ヲ以テ潮流區トス、諸

報告 = 依レバ冬季ハ北北東風強吹シ屢強力ノ南向皮流ヲ起スコトアリ、然レドモ其ノ餘勢東吉嶼以南ニハ及バザルガ如シト謂フ。

上記ノ外尙第119頁澎湖列島ニ於ケル海流ノ項ヲ見ルベシ。

海水ノ變色 澎湖水道東濱中布袋港附近一帶ハ平低ナル沙堆ヲ纏ヒ其ノ沿濱ノ底質ハ上層ニ厚サ十數糎ノ泥土ヲ掩ヘル細沙ヨリ成ル、而シテ潮流強ク波浪高キトキニハ18米ヨリ淺キ部分ハ海水悉ク黃泥色ヲ呈シ、其ノ外部ニ於ケル黃泥色ト淡青色トヲ混ズル海水ノ區界ヲ判然タラシム又海流ノ水道ニ入ルヤ水色ノ變化ヲ來シ水深60米餘ノ處ニ至レバ著シク暗藍色ヲ呈シ全ク沿濱ノ海水ト別種ナルガ如キ觀ヲ呈ス(前記潮流及海流ノ項參照)。

航法 本水道ハ西側ノ列島、東側ノ陸地共ニ低クシテ遠望ニ適スル目標ナク、加フルニ水平線ノ朦朧タルコト多キト共ニ風浪ノ荒キコト多キ等此ノ地特有ナル海上ノ模様ハ難航路ノ一トシテ航海者ノ特ニ注意スベキ處ナリ。一般ニ本水道ヲ南ヨリ北ニ通過スル船舶ハ布袋港沖ノ諸險礁ヲ避ケンガ爲東吉嶼ノ方ニ近寄リテ航スルヲ常トス。

澎湖水道東濱〔新虎尾溪口至曾文溪口〕

潮汐 第106頁ノ同項ヲ見ルベシ。

潮流 第106頁ノ同項ヲ見ルベシ。

航法 塹港堆ヨリ南方布袋港ニ至ル沿濱前面ハ危險ナル淺堆擴延シ、澎湖水道ノ可航部ト淺水區トノ分界ヲ成シ兼テ又海流ト潮流トノ區界ヲ成ス、故ニ36米ノ水深以內ニ入ラントスル船舶ハ急ニ水深4.5米内外ニ減ズル箇所アルコトヲ記憶センコトヲ要ス。波浪高ク風荒ルルトキハ此等淺堆上ニ白波アリテ其ノ位置ヲ明示スルモ平時ハ泥色ノ海水之ヲ掩フヲ以テ其ノ位置ヲ知ルコト難シ。

布袋港附近ノ沿岸ハ矮樹ト人家トヲ點綴セル一帶ノ沙丘ニシテ一モ遠望ニ適スル目標ナシ、故ニ此ノ沿岸ヲ航スル船舶ハ晴天ト雖モ距岸10哩以外ヨリ陸地ヲ望見スルコト能ハズ、加之此ノ地特有ノ風ニ伴フ沙塵ノ爲ニ地物ヲ掩ハルルトキハ距岸5哩ニ近ヅクモ尙陸地ノ見エザルコトアリ、殊ニ夏季中淡霧起ルトキハ水平線朦朧トシテ全ク辨識スルヲ得ズ。

一般ニ此ノ近海ヲ航スル船舶ハ海流及潮流ノ壓流アルベキコトヲ片時モ忘ルベカラズ又濛雨靄霧等ニテ展望分明ナラザルトキハ水色ノ變化ト水深ノ變更トニ注意スルハ船位ノ確定上最モ必要ナリ、殊ニ國聖港附近ハ流壓最大ナルヲ認ムベシ。此ノ附近ニ於テハ船位ヲ確ムベキ目標ニ乏シク而モ流壓ノ影響大ナルヲ以テ夜間ノ航行ハ極メテ困難ナリト知ルベシ。

海口泊地(海圖234分圖) 海口泊地ハ舊虎尾溪ノ濬口附近ニシテ沿岸堆彎曲部ノ南蔭ニ當リ、水深7.3—10.9米、底質泥ノ處ニ在リテ北東風時船舶ノ避泊ニ適ス、

風力約7ノ北及北北東ノ風連續強吹シタル後ハ波浪北西方ヨリ泊地ニ侵入シ、沖合ノ一半ハ荒波ノ状態ヲ呈スルモ、泊地ノ外方水淺クシテ自然ノ防波堤ヲ成スヲ以テ泊地内ハ波浪強大ナラズ又波頭破碎シテ白波ヲ立ツルコト多シ。泊地濬口附近ノ渚ハ波浪極メテ微弱ナリ。

泊地ノ東方ニ高サ6.2—9.2米ノ沙丘アリ、東ケ岡ト稱シ其ノ中央高地ニ目標杆アリ、東ケ岡ノ北北東方約1.2軒ニ在ル泥角ヲ外繩角(ゴアソア)ト稱ス。泊地ニ臨メル海岸ハ土地低ク低潮ニハ外角繩ヨリ北西方ニ向ヒ約3哩間沙堆露出シテ泊地ノ北方ヲ遮蔽ス。

氣象 海口ニ於テハ10月至翌年3月間ハ偏北風強吹シ就中11月

至翌年2月間ハ風力强盛ナリト雖モ平均1箇月ノ約 $\frac{1}{3}$ ハ平穩ナリ、普通偏北風強吹時ノ風力ハ4—5ニシテ7以上ノ風力ハ1箇月1—2回ニ過ギズ、4月至9月間ハ平穩ニシテ支那型船ノ交通盛ナリ。海口ノ風力ハ概シテ澎湖島ノ其ト強弱ノ比例ヲ同ジウス。雨ハ6月及7月ヲ最多トシ10月至12月間ハ降雨殆ドナシ、其ノ他ハ1箇月ニ5—10日ノ降雨アルヲ普通トス。

目標 外繩角ノ北北西方約3.5哩ニ高サ2.5米ノ沙地アリ、佐々木島ト稱ス、島上ノ漁家ハ港外ヨリ能ク認ムルヲ得ベシ。北西口ヨリ泊地ニ近ツケバ五條港村落北側ノ高サ7.7米ノ丘上ノ三角標及白屋竝ニ屋側ノ竿ハ明ニ認ムルコトヲ得。

錨地 北東信風季ニハ東ケ岡ノ標杆ヲ東方ニ、外繩角ヲ東北東ニ望ム水深7.3—9.1米、底質泥ノ處ヲ普通船舶ノ好錨地トス。

海口港 外繩角ニ沿ヘル濤ハ即チ海口港ニシテ支那型船ノ泊地ナリ、近來東ケ岡西方ノ濤口ハ南方ヘ移動シ濤筋モ亦變位セルモノノ如シ、本港ハ海口灣灣首ニ位スル海口港(第148頁)トハ同名異港ナリ。

塩港堆(オンカン) 海口泊地ノ南方ニ在ル落子寮ヨリ南西方ヘ突出セル長サ約10哩ノ大堆ニシテ外方ハ沙、内方ハ泥ヨリ成リ低潮ニハ概ネ干出ス、堆中ニハ統仙洲、落子寮洲、外傘頂洲(鼻尾洲)及三脚招子洲ノ4露出堆アリ。

塩港堆燈臺 落子寮洲ノ東側ニ在リ、高サ21米ノ白塗圓形コンクリート造、燈高23米。

外陵子 外傘頂洲北端ノ西方約2.6哩ニ在ル最小水深3.2米ノ沙堆ニシテ澎湖水道東側ノ最外險礁ナリ。

塩港淺瀬(海圖245) 外傘頂洲南端ノ南西方約2哩ニ於ケル最小

水深1.8米中ノ最南ノモノヨリ北方ヘ約1.2哩、南方ヘ約2.5鐘ニ互リ水深5米以下ノ部分擴延スル沙堆ニシテ南西信風時ニハ堆上破浪ス。外陵子及塩港淺瀬ハ塩港堆ノ西側ニ於テ之トハ離レタル淺瀬ニシテ相合シテ南北ノ長サ(其ノ間ニ在ル幅約2哩ノ水道ヲ合セテ)約5.5哩ニ互リ澎湖水道中ノ最險處ナリ。

塩港 塩港堆ト陸岸トノ間ニ成リ南北ノ長サ約10哩ニ互ルモ、其ノ大部分ハ低潮ニ干出スル泥堆ニ依リテ梗塞セラレ僅ニ其ノ間ニ南北ノ長サ約6哩ノ狹水道ヲ存ス、港口ハ塩港堆燈臺ノ南東方約4哩附近ニ在ルモ處々2米ヨリ淺キ處アルヲ以テ吃水深キ船ハ入ルヲ得ズ、唯支那型船及小舟ノ繫泊地タルニ過ギズ。港首ニ落子寮及新港ノ2村落アリ、新港ニハ氣象特報及暴風警報ノ信號標アリ、新港ノ南方ニ北港溪ト稱スル河アリ、高潮ノトキハ小舟ヲ通ジ得ベシ、河口ノ北側ニ顯著ナル煉瓦造ノ家屋アリ。

淺堆(海圖245) 塩港堆ノ南方ハ淺堆遠ク擴延シテ距岸約7哩ニ達シ水深5米ヨリ淺ク、堆内處々ニ2米ヨリ淺キ點礁アリ、其ノ主ナルモノヲ打白及「シエン、アカン」トス。打白ハ塩港堆燈臺ノ南方約5哩ニ位シ東西ノ長サ5鐘、干出0.6米ノ狹長堆ニシテ東方2鐘ノ處ハ水深0.4米ヨリ直ニ5米ニ増加ス、故ニ塩港ニ赴ク船舶ハ常ニ此ノ堆ノ東側ヲ通過ス。シエン、アカンハ打白ノ西南西方約1哩ニ在ル最小水深0.2米ノ狹長沙堆ニシテ北方及東方ヘ各1哩間ハ2米ヨリ淺シ。

東石港(海圖245) 北港溪口ノ南方約4.5哩、朴子溪ノ廣闊ナル開口部ニ在リ。

本港ハ北西ヨリ北ヲ經テ南東ニ至ル間ノ風浪ヲ避クルニ適スルモ、吃水1.8米以下ナル支那型船ガ僅ニ入港シ得ルニ過ギズ、港口ノ兩側ハ

北汕島及南汕島ト稱スル沙洲ニシテ其ノ間ニ1條ノ水道ヲ存ス。

錨地ハ護岸前面ノ細長キ部分ナレドモ裕ニ30噸級船30隻ヲ碇泊セシムルコトヲ得。

氣象特報及暴風警報ノ信號標等アリ。

布袋泊地 (海圖 245 分圖) 塹港堆ヨリ南方ニ向ツテ擴延スル淺堆脈ノ最外端ナル沙堆**外型**(長サ約1湮、水深1.3—5米、堆上常ニ破浪ス)ト東方陸岸トノ間ニ在ル水域ヲ謂フ。

外型ト陸岸トノ間ノ略中央ニ**内溝**ト稱スル沙堆アリ、南北ノ長サ約3.5鍾ニシテ堆ノ西側約4鍾間ハ水深5.4米内外ナリ。内溝ノ北方約1湮ニ水深4.5米ノ點堆アリ又同北北西方約1.5湮ニハ東西ニ相竝ビテ水深5米ノ2點礁アリ。

氣象 一般ニ3月至7月上旬間ハ偏南風多ク主トシテ西ニ偏ス、8月至翌年3月上旬間ハ常ニ偏北風ニシテ北—北西ノ風ヲ多シトス。3月、8月及9月トハ變向風多ク屢偏南偏北ノ強風アリ、殊ニ8月上旬頃ヲ最多トス。7月ハ海上最モ靜穩ノ月ナリ。11月至翌年1月間ハ偏北風最モ強ク1—2週間連吹シテ後1—2日靜穩ト爲ルヲ常トス。

雨ハ6月至8月間ニ多ク、霧ハ4月、5月頃ニ多シ、而シテ霧ノ後ハ好天氣ノ續クヲ例トス。晴雨計ノ昇降ハ規則正シ、若シ變動アラバ必ズ天氣ニ異狀アリト知ルベシ。

潮流 布袋泊地ニ於テハ漲潮流ハ略北方ニ流レ流速1.5—2.8節ニシテ、落潮流ハ略南方ニ向ヒ流速約1.5節ナリ。

布袋港 布袋泊地ノ内方ニ於テ東石港ノ南方約4.7湮ニ位スル小港ナリ、港口ハ北方ニ向ヒ其ヨリ布袋市街地ニ至ル水道ハ最淺部水深0.2米ニシテ信風強吹スルトキハ波浪強ク小舟ト雖モ近ヅキ難シ、然

レドモ海上平穩ノトキハ小舟出入スルヲ得ベシ。

針路法 西方ヨリ八罩水道ヲ經テ布袋泊地ニ赴カントセバ海流及潮流ノ爲ニ六呎礁ノ方ヘ壓流セラレザル様注意スルコト肝要ナリ、既ニ東吉嶼ト查母嶼トノ中間ヲ通過セバ北向海流ノ流壓ヲ加減シツツ澎湖水道ヲ横ギリ、次デ海水ノ色合ニ注意シ且外型及後記ノ葛城洲ニ接近セザル様適宜ノ針路ヲ定メテ泊地ニ向フベシ、布袋ノ人家ハ近ヅクニ從ヒ漸次顯著ト爲ル。布袋港附近ノ沿岸ハ2湮ヲ隔ツレバ安全ニ航スルヲ得ベシ。

布袋泊地ヨリ八罩水道ニ向フ船舶ハ潮流ノ爲外型、葛城洲等ノ諸險礁ニ壓流セラレザル様深ク注意シツツ西航シ、既ニ此ノ危險區域ヲ離レタルトキハ北向海流ノ爲ニ六呎礁ノ方ヘ推シ流サレザル様流壓ヲ加減シツツ八罩水道ノ中央ニ向フベシ。

葛城洲 (海圖 245) 外型ノ南方約5湮、王爺港ノ沖合約5湮ニ在ル水深5.9米ノ沙堆ニシテ南北ノ長サ約1.3湮、幅約5鍾、水深7.3—10米ノ洲上ニ在リ。

青鯤鯨 布袋港南南西方約9.5湮將軍溪口ノ南方約2.5湮ニ在ル離島ニシテ島民皆漁業ヲ營ム、此ノ島ハ王爺港ト國聖港トノ略中央ニ在ルヲ以テ支那型小船ノ寄港スルモノ多ク殊ニ10月至翌年4月間ハ船舶ノ出入頻繁ナリ。

目標 青鯤鯨ノ東方約9.2軒ニ在ル大煙突ハ甚ダ顯著ニシテ其ノ煤煙ハ十數湮ノ海上ヨリ認メ得ベク澎湖水道東濱唯一トモ稱スベキ好目標ナリ。

門口汕 (モンコウツア) 青鯤鯨ノ西方約1.5湮ニ在ル南北ノ長サ約3.7湮、高サ2.4米ノ狹長ナル沙丘ニシテ、北方ハ2.5鍾ヲ隔テ

テ蚵寮ト相對シ、南方ハ3.5 鍾ヲ隔テテ胡寮ト相對ス。

トアヒャン堆 胡寮南端ノ西方約1.3 湮ニ在ル南北ノ長サ約1 湮ノ沙堆ニシテ堆上水深5 米、此ノ附近ニ於ケル最外方險礁ナリ。

潮流 「トアヒャン」堆ノ外側ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ向ヒ（流速約2 節）、落潮流ハ南方ニ向フ、而シテ國聖港ノ高低潮時ニ轉流ス。

曾文燈臺 胡寮南端ノ北東方至近ニ在リ、黑白横線塗圓形コンクリート造、燈高20 米。

國聖港（コクシンカン） 國聖港溪（溪ノ下流ニ七股港アリ）ニ通ズル水道ノ出口ニシテ長沙丘、中合及南平額ヲ以テ圍マレタル水域ナリ、其ノ水域ノ略中央ニ干出沙堆ニ圍繞セラレタル高サ1 米ノ小堆アリ、港内南平額附近ニハ支那型船輻輳シテ常ニ帆檣林立スルヲ以テ此ノ海岸ニ近寄ルトキノ目標ト爲ル。偏西、偏南ノ風強キトキハ波浪高クシテ小舟ト雖モ本港ノ出入困難ナリ。

澎湖列島及臺灣堆

澎湖列島ハ澎湖水道ヲ隔テテ臺灣西岸ト相對シ 南北約35 湮ノ間ニ散布セル大小64 ノ島嶼ト幾多ノ岩嶼トヨリ成ル、地形概ネ平低ナル臺地型ヲ成シ 80 米以上ノ高サニ達スルモノナク、各島ノ形狀略同一ナルヲ以テ惡天候ノトキハ殆ド彼是見分ケ難シ。各島ノ地質ハ主トシテ玄武岩ト沙岩トノ交互層層ヨリ成リ列島ノ最西端ナル花嶼ハ主トシテ石英玲岩ヨリ成ル又小門嶼及大嶼ノ一部ニハ石灰岩ヲ以テ被ハレタル處アリ。

本列島ハ其ノ中央部ニ於テ東西ニ通ズ八單水道アルニ依リ自然南北ノ兩島群ニ分タル。列島中最モ大ナルハ澎湖島ニシテ漁翁島、白沙島之ニ次ギ何レモ北部島群内ニ在リ。

天水ハ6 月、7 月ノ兩月ハ潤澤ナレドモ季節ニ依リテハ全ク缺乏ス、但シ地盤ノ關係上離島ニモ多少ノ地下水アリテ住民ノ生活ニハ差支ナシ。

澎湖列島ノ南西方臺灣海峽廣幅部ノ中央ニハ區域廣闊ナル臺灣堆アリ。

潮汐 澎湖列島ニ於ケル潮汐ノ性質ハ臺灣ノ北西岸及西岸ト略同様ナリ。平均高潮間隙ハ略11 時30 分ナルモ大潮升ハ北部ニ於ケル約3.5 米ヨリ南方ニ行クニ從ヒテ小ト爲リ南部ニ於テハ約1.8 米ナリ。日潮不等ハ顯著ナラズ1 日1 回潮ト爲ルコト稀ナリ、潮高ノ不等ハ高潮ニハ甚ダ小ナレドモ低潮ニハ著シク、夏季大潮ニハ午後ノ低潮ハ午前ノモノニ比シテ遙ニ低ク冬季ハ之ニ反ス。

潮流 澎湖列島附近ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ高低潮後0—1 時ニ轉流シ、海流及風ノ影響ナキ場合ハ一般ニ最強流速約3 節ナルモ沿岸ニ於テハ5 節以上ノ強流ヲ見ルコトアリ。

海流 澎湖水道ノ中央ニハ常ニ北向海流アリト雖モ冬季中東吉嶼以北ニ在リテハ皮流ハ風向及潮流ノ影響ヲ受ケ強烈ノ偏北風アルトキハ屢強力ノ南向皮流ヲ起スコトアリ、然レドモ東吉嶼以南ハ偏北風及落潮ノ影響ヲ受ケザルモノノ如シ、而シテ東吉嶼ノ東方ニ於テハ水色ノ變化ニ依リ海流ノ水體ト他ノ水體トヲ判然區別シ得ベシ。

冬季中澎湖水道ニ於テ波濤ノ狂暴ナルハ北流ト逆風トノ衝突ニ原因スルヤ疑ナキガ如シ。

夏季ハ當然ニ北向海流アリテ偏南風及漲潮ニハ大ニ其ノ流勢ヲ増シ、落潮ニハ大ニ其ノ流勢ヲ減ジ、時トシテハ其ノ流跡ヲモ辨ジ得ザルコトアリ、然レドモ東吉嶼以南ハ斯ノ如キ影響ヲ感ゼザルモノノ如シ。

澎湖列島北部島群

八罩水道以北ノ島群ニシテ列島中ノ3大島ヲ包含ス、島群中ニ於テ各島嶼ノ相密接スルハ南部島群ニ比シテ異色トス。

北東側嶼礁 白沙島ノ北方ニ在ル目斗嶼ヨリ澎湖島東側ノ查母嶼ニ至ル一連ノ小嶼群ヲ指スモフニシテ何レモ珊瑚礁脈ヲ繞ラシ尙附近ニハ險礁頗ル多ク船舶ノ航行ニハ極メテ危険ナリ、其ノ主ナルモノヲ下ニ掲グ。

潮流 澎湖列島北部島群中北側ノ嶼礁附近ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ高低潮後1—0時ニ轉流ス、一般ニ落潮流(南流)ハ漲潮流ヨリ強ク最強流速ハ處ニ依リテ異レドモ1—2.5節ナリ。北部島群中東側ノ嶼礁附近ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ略高低潮時ニ轉流シ最強流速約2節ナリ。

澎湖水道ニ於テハ海流(北向流)ノ影響ヲ受ケ查母嶼ノ東方約2.5哩ノ處ニテハ北流ハ漲潮時ニ約5節ニ達スルモ南流ハ落潮時ニ約1.8節ニ達スルニ過ギズ又鳥嶼ノ東方約8哩ノ處ニ於テハ常ニ北流シ流速ハ漲潮時ニ約5節ニ達シ落潮時ニハ約0.5節ニ減ズルヲ驗シタルコトアリ、而シテ吉貝島ノ東方約10哩ノ處ニ至レバ常ニ北流ノミト爲リ夏季ノ流速漲潮時ニ約5.6節ニ達シ落潮時ニ約0.5節ニ減ズ。

翁公礁(オンコンター) 北部島群北東側嶼礁中ノ北西隅ニ在リ、水深5米以下ノ區域ノ廣サ南北2.5鍾、東西3.5鍾ナル淺礁ニシテ其ノ最淺部ハ低潮ニ洗フ、此ノ礁ノ近傍ハ處々ニ破浪ヲ生ズ。翁全礁ノ西方約3鍾ニ礁上水深4.6—7.2米ナル淺礁アリ。此等2礁ハ極メテ危険ナルヲ以テ遠ク離レテ航スルヲ要ス。

北列岩 澎湖列島最北端ノ大險岩ニシテ下記ノ目斗嶼ヨリ北方へ

約1.5哩擴延セル礁脈上ニ位シ、南北1.1哩ノ間ニ列セル3岩ヨリ成ル。其ノ北方岩ヲ**大嶼礁**(トアキャウター)ト謂ヒ低潮ニ約2.3米干出ス、其ノ北側ハ急深ニシテ2鍾ヲ隔タレバ水深20米ニ増加ス。中央岩ハ**二嶼礁**(ジキョーター)ニシテ水深0.4米、低潮ニ洗フ。南方岩ヲ**關帝爺礁**ト稱シ低潮ニ約1.9米干出ス。

翁公礁及北列岩附近ハ航行最モ危険ニシテ古來航海者ノ畏怖セル處ナリ、此ノ附近ニ於テ沈沒破碎セル汽船既ニ十數隻ヲ算ス。

目斗嶼(バクタウスー) 澎湖列島岩嶼中ノ北端嶼ニシテ基隆港ヨリ澎湖列島ニ赴カントスル船舶ハ先ヅ此ノ嶼ヲ確認スルコト必要ナリ。目斗嶼ハ南北3.7哩ノ間ニ擴延セル大珊瑚礁上ノ北端ニ位シ、嶼上ニハ燈臺ノ外ニ高サ約1.5米ノ石垣ヲ繞ラセル瓦葺ノ小屋アリ、夏季中出漁者此處ニ寄泊ス。

北島燈臺 目斗嶼上ニ在リ、高サ41米ノ黑白横線塗圓形鐵造、燈高50米。本燈臺ハ偏北風ノ荒天ニ際シ支那大陸ヨリ飛來スル塵埃並ニ海水ノ飛沫透鏡面ニ附着シ爲ニ光達距離ヲ甚シク減縮スルコト往々アリト謂フ。

吉貝島(キチガイタウ) 本島ハ目斗嶼及過嶼ト共ニ前記ノ大珊瑚礁上ニ位スル平低ナル大嶼ニシテ目斗嶼ノ南方約2哩ニ在リ。一般ニ目斗嶼ノ西方1.9哩ヨリ吉貝島西端丘西岫ノ西方1哩ニ至ル一線以東ハ岩礁出沒シ頗ル危険ナル區域ナルヲ以テ決シテ近寄ルベカラズ。

伊東礁 吉貝島南端ノ東方約5哩ニ在ル孤立礁ニシテ礁上水深6米。

屈爪嶼(クツショースー) 伊東礁ノ南西方約2.7哩ニ在リ、高サ

7米。

白沙嶼 (ペイスワサー) 屈爪嶼ノ南東方約1.1湮ニ位スル高サ23米ノ小嶼ニシテ珊瑚礁脈上ニ在リ。

白沙嶼ノ北北東方約1.3湮ニ水深3.2米ノ礁アリ。

鳥嶼 (トリシマ) 白沙嶼ノ南方約1湮ニ在ル東西ニ長キ島ニシテ屈爪嶼ノ南方迄擴延スル大形珊瑚礁脈上ノ南東隅ニ位ス、本嶼ハ其ノ東端(高サ27米)ヨリ漸次西方ヘ傾斜シ西端ノ沙濱上ニ小村落アリ。

鷄善嶼 (ケーセンスー) 鳥嶼東端ノ南南東方約2.4湮ニ在ル東西2箇ニ分レタル黑色ノ岩嶼ナリ。鷄善嶼ノ北北東方約1湮ニ**鷄善礁**アリ、低潮ニ2.1米干出ス、此ノ礁ハ水面下ニ没スルトキモ破浪スルヲ以テ認メ易シ。

錠釣嶼 (デアコースー) 鷄善嶼ノ南東方約9鏈ニ位スル高サ18米ノ嶼ニシテ、其ヨリ北西方ヘ約5鏈、南東方ヘ約2.5鏈岩礁擴延ス。錠釣嶼ヨリ北東方約7鏈ニ**錠釣礁**アリ、低潮ニ1.9米干出シ且常ニ破浪ス。

北淺礁 (パーキンター) 錠釣礁ノ東方約1.7湮ニ在リ、礁上最小水深12.7米。此ノ礁ノ南東方約1湮ニ水深15米ノ點礁アリ。

内淺礁 (ライキンター) 錠釣嶼ノ南南東方約1.9湮ニ在リ、礁上水深2.9米ニシテ周圍深シ。此ノ礁ノ南方ニ接シテ水深15米ノ點礁アリ。

外淺礁 (ゴアキンター) (ケンテイ岩) 内淺礁ノ東方約8鏈ニ在リ、長サ約1鏈、岩上水深1.5米。此ノ岩礁ノ近傍ハ常ニ強過流アリ。外淺礁以西ハ淺礁多ク水深不同ニシテ危險少カラザルヲ以テ船舶ハ近

ヅクベカラズ。查母嶼燈臺ノ紅光分弧ハ此等ノ淺礁ヲ示ス。

查坡嶼 澎湖島東端裏正角ノ東方約1.6湮ニ在リ、高サ19米ノ圓形岩嶼ニシテ之ト裏正角トノ間ハ雙方ヨリ淺礁擴延シ且激湍アリテ甚ダ危險ナリ。查母嶼燈臺ノ紅光分弧ハ此等ノ淺礁ヲ示ス。

裏正礁 裏正角ノ南東方約1.2湮ニ水深3.7米ノ裏正礁アリ。此ノ礁ノ西南西方約8鏈ニ南北約6鏈、東西約5鏈ニ互レル淺礁アリ。查母嶼燈臺ノ紅光分弧ハ之等ノ淺礁ヲ示ス。

查母嶼 本嶼ハ3小島ノ集合セルモノニシテ裏正角ノ南東方約2湮ニ在リ、中央ノモノ最モ高ク(高サ14米)遠ク之ヲ望メバ其ノ状恰モ筆架ノ如シ、故ニ住民ハ本嶼ヲ筆架又ハ陰礁トモ呼ベリ、全島玄武岩ノ累積ヨリ成リ土沙、草木ヲ有セズ。島ハ東西ニ長ク其ノ南北兩岸ニハ比較的良好ナル上陸所アリ。

查母嶼燈臺 查母嶼上ニ在リ、高サ12米ノ黑白横線塗八角形煉瓦造、燈高25米。

南礁 查母嶼ノ南南西方約1.7湮ニ在リ、礁上ノ水深4.5米ニシテ之ヨリ北東方ヘ約7鏈、南方ヘ約2鏈ノ間礁脈擴延シ其ノ周圍急深ナリ。查母嶼燈臺ノ紅光分弧ハ本礁ヲ示ス。

六呎礁 查母嶼ノ南南東方約4湮ニ在リ、礁頂ノ面積方約6米、水深1米ニシテ周圍急深ナリ、鍾測ニ依リテ其ノ位置ヲ知ルコト難シト雖モ聊ニテモ潮流アルトキハ必ズ礁上ニ激湍アルヲ以テ晝間ハ其ノ位置ヲ知り得ベシ。查母嶼燈臺ノ紅光分弧ハ本礁ヲ示ス。

澎湖港 漁翁、白沙、澎湖ノ3大島ニ依リ包圍セラレテ成レル水域ヲ占メ北東信風季中ノ好避泊地ナレドモ偏北東以外ノ各方向ノ風ニ對シテハ十分ノ保障ヲナサズ、本港ニハ出入口2箇アリ。南口ハ漁翁

島東鼻頭ト對岸ノ平低島**四角嶼**（嶼ヨリ礁脈西方へ約2鐘擴延シ其ノ外側急深ナリ）トノ間ニ於テ幅約1.5哩ヲ有シ其ノ中央稍北寄りニ水深8.8米ノ處アリ。北口ハ漁翁島北岸ト白沙島西端部トノ間ニ在リ、東西兩側ヨリ礁脈擴延シ其ノ間ニ1條ノ水道ヲ在スルモ小形舟艇ノ外通航不可能ナリ、且礁上ニハ到ル處漁柵アリテ高潮時水面下ニ没シ短艇ト雖モ通航危險ナリ。

東鼻頭ノ北東方約1.5哩ニ**海乾岩**ト稱スル干出3米ノ岩アリ、船舶若シ此ノ岩ノ東方ヲ通航セント欲セバ其ヨリ4鐘以內ヲ保チテ航スベシ、但シ成ルベク之ヲ避クルヲ要ス、是澎湖島側ヨリ數多ノ珊瑚礁遠ク延出スルヲ以テナリ。海乾岩ノ北北東方約2.7哩ニ**大倉嶼**アリ、之ヨリ北方ノ支灣ヲ**大倉灣**ト稱ス。

澎湖港ノ西濱ヲ成セル漁翁島ノ東岸ハ東鼻頭ヨリ北方ニ走リテ數箇ノ小灣ヲ成ス、其ノ最北灣ヲ**竹篙灣**ト稱シ防波堤ヲ有スル船溜アリ、此ノ灣ノ前面ニ於テ海乾岩ヲ165度又大倉嶼ノ最高部ヲ81度ニ望ム水深8.2米ノ處ニ錨地アリ、此ノ錨地ヨリ北方ハ珊瑚礁及淺瀬ノ障礙多シ。東鼻頭ノ北方2.3哩ニ在ル岬角ヨリハ距岸約3鐘迄礁脈擴延ス、此ノ礁脈ヲ避クルニハ東鼻頭ヲ199½度以上ニ望ミテ航スベシ。

馬公港 商港馬公港ハ馬公街市街地ト**測天島**トノ間ニ在リテ港濱ニ貨客積卸用岸壁、物揚場及棧橋3箇ヲ有ス。西方ヨリ馬公港ニ入ラントスル船舶ハ漁翁島西端吃仔尾ノ南方1哩以上ノ處ヲ通過シテ舊媽宮城壁ニ向ヒ（舊城内略中央部ニ在ル測候所ハ好目標ナリ）四角嶼及風櫃尾角ヲ約2.5鐘隔テテ廻リ次デ東北東方ニ變針シテ港内ニ進入スベシ、桶盤嶼ト吃仔尾トノ間ハ東方ニ向フ落潮流ノ勢強ク流速時ニ

4節ニ達シ、動モスレバ船ヲ桶盤嶼ヨリ北西方ニ延出セル礁脈ノ方ニ壓流スルコトアルヲ以テ警戒ヲ要ス。澎湖水道ヨリ來ル船舶ハ裏正角沖ヲ廻リ虎井嶼ノ北側ヲ經テ入港スルモノ多シ。

又澎湖島ノ南西部ニ於テ測天島ト風櫃尾角トノ間ヨリ西方へ約2.5哩彎入シ臺灣第1ト稱スベキ安全ナル港ヲ形成ス、港濱附近ハ珊瑚礁多シト雖モ港央ニ唯1箇ノ水深5.9米ノ淺瀬アルノミナルヲ以テ港幅概ネ6鐘アリ、且水深モ10—14.6米ヲ有シ吃水深キ船舶ノ航泊ニ適シ又如何ナル方向ノ風ヲモ避ケ得ベシ。

氣象信號 澎湖測候所ニ於テ天氣豫報信號標、氣象特報信號標及暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

漁翁島 北部島群中ノ最西島ニシテ南北ノ長サ約5哩ノ亂形島ナリ、島周ノ大部分ハ玄武岩礁ニ依リテ圍繞セラレ其ノ表面ハ珊瑚ヲ以テ被ハルル處多シ。

吃仔尾 漁翁島ノ西端ヲ成セル岬角ナリ。吃仔尾ノ南方約6鐘ニ水深6.4米ノ點礁アリ、其ノ附近ハ潮流強烈ニシテ常ニ激湍ヲ生ズ、依ツテ此ノ岬角ノ南方ハ1哩以內ニ近寄ルベカラズ。

東鼻頭ト吃仔尾トノ間ハ2沙灣ヲ成ス、東方ナルヲ**小智灣**ト謂ヒ西方ノモノヲ**外按灣**ト稱ス、北東強風ノトキハ此ノ2灣ノ前面ニ於テ靜穩ナル避泊地ヲ得ベシ、但シ兩灣口中央部間ノ沖合附近ニハ障碍物ヲ沈置シアリ、注意ヲ要ス。

漁翁島燈臺 吃仔尾上ニ在リ、白塗圓形鐵造、燈高62米。

霧信號 漁翁島燈臺ニ霧信號（霧砲）ヲ附設ス、船舶ノ霧中信號ヲ聽クトキハ5分時ヲ隔テ空砲ヲ2發ス、爾後該信號ヲ聽カザルニ至ル迄10分間ニ前ノ如ク發砲ス（但シ當分ノ間霧信號ヲ休止ス、昭和14

年)。

鼻頭 吃仔鼻ノ北北東方約2.3哩、漁翁島ノ西岸中部ニ位スル尖銳岬ナリ。鼻頭ノ西方約5鍾ニ鼻頭礁アリ、低潮ニ洗フ。

鼻頭洲 鼻頭礁ノ西方約1哩ニ在ル水深10—18米ノ洲ナリ、水深20米以下ノ區域ノ南北ノ長サハ2.3哩ニ及ビ最大幅約5鍾アリ。

小門嶼 漁翁島ノ北端部ニ接在セル三角形嶼ニシテ北側ハ險崖ヲ成シ南側ハ沙濱ヲ成ス、嶼ノ西端ニ尖峯突起シ頂ニ石灰岩層ヲ有シ遠望顯著ナリ。嶼ノ西端ヨリ礁脈北方ヘ約6鍾突出シ其ノ外端ニ北端方ト稱スル水深1.8米ヨリ淺キ暗岩アリ。

猫鼠礁 (ニョーチョー) 北端方ノ北方約1哩ニ在ル水深2.7米ノ險礁ニシテ其ノ東西側ノ外ハ急深ナリ。猫鼠礁ト北端方トノ間ニ可航幅約8鍾、水深22—37米ノ水道ヲ存ス。

白沙島 牛公灣及澎湖港北部ヲ隔テテ漁翁島ノ東方ニ位ス、島周全ク玄武岩礁ニ依リテ圍繞セラレ其ノ表面ハ珊瑚ヲ以テ被ハルル處多シ、殊ニ島ノ北東側ニ於テ甚シク距岸1.5哩迄ニモ及ブ。

牛角 白沙島ノ西端ヲ成セル岬角ニシテ小門嶼ト相對ス。

立標 牛角ノ南方附近ニ圓筒形頭標附黑塗圓形コンクリート造立標アリ。

黑公 (オーコン) 牛角ノ北方約2哩ニ位スル高サ9.3米ノ岩ナリ、黑公ノ東方約3鍾ニ白公 (ペイコン) アリ、高サ14米ニシテ其ノ南西崖ハ白沙ヨリ成リ遠望顯著ナリ。此ノ2岩ハ共ニ南北約1.5哩間ニ擴延セル礁脈上ノ長サ8鍾ニ互レル石陂上ニ位ス、兩岩周圍ノ石陂ハ高潮ニ沒ス。

姑婆嶼 (コボスー) 白公ノ北方約1哩ヲ南端トシ北方ニ約7鍾

延伸スル奇形嶼ナリ、其ノ中央ハ細長キ地頸ヲ成シ南北西端ハ擴ガル、之ヲ西方5—6哩外ヨリ望メバ4小嶼ノ相列スルガ如ク見ユ。此ノ嶼ノ最北丘ハ斷崖ニシテ上ニ地上高4.6米ノ石碑ヲ有シ顯著ナリ。

澎湖島 澎湖列島中ノ最大島ニシテ其ノ南西部ニハ深入灣アリ、低潮ノトキハ島ノ北方ニ位スル中屯嶼及白沙島ト相連結シテ殆ド1島ノ觀ヲ呈ス、島周ハ南方側ヲ除クノ外玄武岩礁ニ依リテ圍繞セラレ其ノ表面ハ珊瑚ヲ以テ被ハルル處多キコト漁翁、白沙兩島ト同様ナリ。

裏正角 澎湖島ノ東端ヲ成セル岬角ナリ。

島ノ南東側ニ於テ此ノ角ト其ノ西南西方約5.5哩ナル候角トノ間ニ2灣アリ。何レモ北東信風季中ノ錨地ト爲スヲ得ベシ、灣濱ニ沿ヒテ漁村散在ス。

林投錨地 裏正角候角間ニ於ケル上記2灣中ノ北灣ノ沖合ニシテ水深10.8—13.7米、底質泥沙ノ處トス、此處ハ香爐嶼及其ノ礁脈上ノ數多ノ干出岩ニ依リ東方ヨリノ風浪ヲ遮ルガ故ニ最モ北東信風季ノ避泊地トスルニ適ス、尙此ノ附近海水透明ナル爲石陂附近ノ礁脈ハ牆上ヨリ明ニ見ルヲ得ルノ利アリ。

圓頂灣 候角ノ西北西方2哩餘ニ在ル開灣ニシテ灣首ハ低ク且狹地頸ヲ以テ澎湖島南西部ノ深入灣ト腹背相對スル爲高潮時海風アルトキハ海水ニ洗ハル、灣内水深11米内外ノ處ヲ好錨地トス。灣首北方ノ紗帽山 (セーボー) ハ一般ニ低地ナル此ノ附近ノ最高處ニシテ顯著ナリ。

鷄籠嶼 四角嶼ノ南南西方約1哩、澎湖港南口外方ノ南側ニ於テ距岸約4.5鍾ニ在ル圓頂島ナリ、其ノ東方ハ水深5.4米ヨリ淺キ珊瑚礁ニ依リテ澎湖島ニ連接シ、西方ハ約4鍾間礁脈擴延シ其ノ外端ニ浮

温(ブーオン)ト稱スル岩アリ。鷄籠嶼ノ南南東方約5鍾ニハ水深9.8米、南方約8.5鍾ニハ水深9.3米、同1.5湮ニハ水深16米ノ各孤立礁アリ。

浮温燈標 浮温岩上ニ在リ、紅塗圓形コンクリート造、燈高17米。

桶盤嶼(タンパンサー) 浮温燈標ノ南方約1.5湮ニ在ル平頂島ナリ。

本嶼ヨリ北西方へ約1.2湮ノ間淺水礁脈延出ス、其ノ最小水深0.9米。

虎井嶼(コセイ) 桶盤嶼ノ南方約1湮ニ在ル平頂島ナリ、嶼ノ西端部ハ低キ沙地頸ニ依リテ僅ニ東部ト連接スルヲ以テ北方及南方ヨリ望ムトキハ2島ノ如ク見ユ。嶼ノ東端タル**鵝豆鼻(ヂャトービン)**ハ該險崖ノ尖頭ニシテ好目標ナリ。

八罩水道(ハットー) 虎井嶼ト八罩列島トノ間ノ水道ニシテ最狹可航幅約5湮、無碍且深水ナルガ如シ、東西ニ通ズル本水道ニ依リ自然澎湖列島ヲ南北ノ兩島群ニ分ツコトヲ得。

澎湖列島南部島群

八罩水道以南ノ島群ニシテ八罩島ヲ最大トスル大小10餘箇ノ小嶼ヨリ成リ東西約22湮、南北約14湮ノ間ニ散在ス、多クハ赭色平臺形ニシテ樹木絶無ナルヲ以テ遠望顯著ナルモノ極メテ少シ、唯多少目標ト爲ルモノハ將軍澳嶼南東端ノ船帆嶼、頭巾水道ノ頭巾嶼、礁列島南側ノ鐘仔及花嶼南方ノ猫嶼等數箇所ニ過ギズ、但シ此等ノ中圓頂嶼タル猫嶼ノミハ18—19湮ヨリ望ミ得ベキモ他ハ皆低クシテ13湮外ニ在リテハ認メ難シ、故ニ南部島群ニ近ヅカントスルトキハ橋上見張ノ利用ヲ忘ルベカラズ。

危險礁トシテハ頭巾水道ノ蠔曝淺礁、中淺及頭巾后淺、礁列島東側ノ水深4.3米ノ礁、西吉嶼東吉嶼間ノ淺礁等ノ外各水道航路ノ附近ニハ既知ノ危險ナシト雖モ、此ノ海區ハ水深甚ダ不規則ニシテ而モ潮流強キガ故ニ夜間ハ勿論晝間ト雖モ萬已ムヲ得ザル場合ノ外通航セザルヲ安全トス、但シ島群外周ニ於ケル夜間ノ航海ハ最近建設ヲ見タル東吉嶼、大嶼及花嶼3燈臺ノ燈光ニ依リ船位ヲ知り得ルヲ以テ比較的安易ナルベシ。

潮流 南部島群附近ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ高低潮後0—1時ニ轉流ス、最強流速ハ處ニ依リテ異リ3—4.5節ニシテ西部ヨリ東部ニ至ルニ從ヒ強烈ト爲ル。

八罩列島 八罩水道ヲ隔テテ北部島群ノ最南嶼虎井嶼ト相對シ南部島群中央縱列ノ北部ニ在リ、八罩島及將軍澳嶼ト數多ノ小嶼岩礁トヨリ成レル列島ニシテ兩信風季ニハ其ノ風蔭ニ避泊スルヲ得ベシ。

八罩島 八罩列島ノ中央ニ位シ南部島群ノ主島ニシテ又最大島ナリ、島中ノ最高處ハ西側ニ在リテ**天臺山(虎頭山)**ト稱シ圓頂山ニシテ頂部ニ大ナル壘石柱アリ。

島ノ西岸中部ニ在ル花宅村落ノ西方水深12.8米及14.6米、底質沙ノ處ハ籠温及北温等ノ岩脈ニ依リテ南方ヨリ來ル潮流及波浪ヲ幾分遮ルヲ以テ南西信風季ノ錨地ト爲スヲ得ベシ、然レドモ同季節中ノ最好錨地ハ島ノ東側ニ於テ**馬鞍山嶼(石崖島)**ト其ノ北方船戶礁トノ間水深16—18米、底質沙泥ノ處トス。

將軍水道 八罩島東側ノ狹水道ニシテ同島ト將軍澳嶼トノ間ニ在リ、水道ノ兩側ヨリハ險惡地擴延シ加フルニ潮流急激ナルヲ以テ大形船舶ノ通航シ得ザルハ勿論小形船舶ト雖モ吃水2米以上ノモノハ最モ

注意スルヲ要ス。水道南口ノ中央ニ高サ4米ノ岩アリ、此ノ岩ト將軍澳嶼西端ヨリ南方ヘ伸出セル淺堆トノ間ハ最狹可航幅部ニシテ幅僅ニ約150米ニ過ギズ、且其ノ水深5.9米ヨリ深カラズ水道中第1ノ難所タリ。

潮流 將軍水道ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流レ略高低潮時ニ轉流ス、最強流速ハ漲潮時ニ約2.2節、落潮時ニ約1.5節ニ達スルガ如キモ風ノ影響ニ依リテ此等ニ甚シキ差異ヲ見ルコトアリ、北向流ノ流速ハ南西信風時即チ夏季ニ於テ時トシテ4節ヲ超ユルコトアリ。

將軍澳嶼 (倉島) 將軍水道ヲ隔テテ八單島ノ東方ニ在リ、島ノ北西側ニ小灣アリ、小形船舶ハ入リテ偏北風ヲ避ケ得ベキモ灣首ヨリ約2鏈迄淺礁擴延セルヲ以テ注意ヲ要ス。

島ノ西側ニ將軍澳ト稱スル村落アリ、其ノ前面ハ四時小形船舶ノ泊地ト爲スコトヲ得。島ノ南側ニ於テ距岸1.5鏈ニ后帝仔ト稱スル高サ10米ノ小嶼アリ、此ノ嶼ノ南西方水深21—23米ノ處ハ多少潮流アルモ偏北風時ノ避泊ニ適ス。島ノ東端岬ニ接シテ黑色奇形ノ險崖ヲ有スル**船帆嶼 (ツンパンサー)**アリ、西方以外ノ各方向ヨリ望ムトキ最モ顯著ノ目標ト爲ル。

船帆嶼礁 (ツンパンサーウン) 船帆嶼ノ東方約5鏈ニ在ル徑約2.5鏈ノ礁脈ニシテ最高岩ハ高サ3.5米。

壕曝淺礁 (オーパクキントー) (廣丙礁) 船帆嶼ノ南東方1湮餘ニ在ル險礁ニシテ其ノ礁脈ハ東西4鏈ニ互リ其ノ西端ニ干出0.1米ノ岩アリ。

大碇 (トアウン) 船帆嶼ノ南方約1湮ニ位スル東西ノ長サ約5

鏈ニ互レル礁脈ニシテ其ノ北西隅ニ高サ3.7米ノ岩アリ。

船帆嶼礁、壕曝淺礁及大碇ノ3礁ハ鼎足ノ形ヲ成シ、其ノ各礁間ハ深水ナルモ點礁散在スルヲ以テ通航スベカラズ。

頭巾水道 (タウクン) (頭軍水道) 八單列島ト其ノ南方礁列島ノ北端嶼ナル頭巾嶼トノ間ノ水道ニシテ其ノ北部ハ下記ノ如ク頭巾后淺、中淺、其ノ他數多ノ點礁アリテ危險ナルモ南部ハ幅約1.5湮、頭巾嶼北西方ニ水深20米ノ沙礁アル外一般ニ水深20—38米ニシテ未ダ既測ノ危險ヲ見ズ。

潮流 本水道附近ノ潮流ハ流向不規則ナルノミナラズ流速モ亦一定セザルガ故ニ此ノ附近ヲ航スルトキハ特ニ船位ニ注意センコトヲ要ス。

中淺 (チョンチェン) (吉野礁) 頭巾水道ノ北部ニ於テ八單島南東端南坪鼻尾ノ南方約1.3湮ニ在リ。中淺ノ周圍約7鏈ノ間ニハ水深2.6—8.6米ノ數箇ノ點礁アリ且海底不規則ナルヲ以テ接近セザルヲ要ス。

該點礁ノ一ニ頭巾后淺(タウクンアウチェン)(岩崎礁)アリ、最南位ヲ占メ水深5.2米。

礁列島 頭巾水道ヲ隔テテ八單島ト相對シ南部島群中央縱列ノ南部ニ在リ、南北ニ長キ列島ニシテ頭巾、西嶼坪、東嶼坪ノ3嶼ヨリ成ル。

激湍 東嶼坪嶼ノ西側1湮以內ニテ高サ26米ノ岩ヨリ南方約1湮間、南温仔ノ兩側ニ互ル約6鏈間、東嶼坪嶼南東側ヨリ南東方ニ向ヒ猪母嶼ノ東方1湮ニ至ル間ノ各處ニ於テハ憩流時ノ外常ニ激湍アリ、漲潮時ニハ特ニ強クシテ小艇ニ危險ナリ。

東側嶼礁

南部島群中央縦列ノ東側ニ於テ東西ノ方向4湮間ニ位スル東吉嶼及西吉嶼ト其ノ間ニ介在スル小嶼岩礁トヲ指スモノトス。該兩嶼ノ周圍距岸1—4鍾ノ間ハ淺礁アリ、且潮流強キトキハ岬角附近ニ激湍ヲ生ズ、西吉嶼ノ西端岬、東吉嶼ノ南端岬附近殊ニ強クシテ小舟ニ危険ナリ。

激湍

西吉嶼ト東吉嶼トノ間ニハ俗ニ辭職難ト稱スル急潮アリ、「キンター」礁脈ノ北面一帯ハ漲潮時ニ激湍ヲ生ズ、東吉嶼ノ東側及南側ニ於テモ亦激シク湍潮奔流シ加フルニ北東又ハ南西ノ信風猛威ヲ逞ウスル爲此ノ附近ハ海路最モ險難ノ處ナリトス。

東吉嶼燈臺

東吉嶼北岸西部ニ在リ、黑白横線塗圓形コンクリート造、燈高68米。

南西側嶼礁

南部島群中央縦列ノ西側ニ於テ八單列島ノ西方ニ位スル花嶼、猫嶼及草嶼、礁列島ノ南西方ニ横タハレル大嶼ト此等ノ嶼ノ附近ニ在ル小嶼岩礁トヲ指スモノトス。

花嶼 (ハナシマ)

八單島北端ノ西方約9湮ニ孤立セル高低不齊ノ嶼ニシテ最高部ノ高サ56米アリ、主トシテ石英矽岩ヨリ成レルヲ以テ他ノ島嶼トハ自ラ其ノ地貌ヲ異ニシ遠望之ヲ識別シ得。

花嶼燈臺

花嶼西岸山頂附近ニ在リ、白塗圓形コンクリート造、燈高66米。

猫嶼 (ネコシマ)

花嶼ノ南方約4.5湮ニ在リ、高サ79米ノ圓頂嶼ニシテ顯著ナリ、猫嶼ノ東隣ニ高サ60米ノ小嶼アリ、之ト東方草嶼ノ北端トノ間ハ礁脈擴延シ其ノ間僅ニ小舟ヲ通ジ得ルニ過ギズ。

草嶼 (クサシマ)

猫嶼ノ東方約8鍾ニ在ル平低島(高サ19米)ナリ、草嶼ヨリ南南東方ニ向ヒ9鍾間礁脈擴延シ其ノ南端ニ南碇(ラ

ムウス)ト稱スル高サ5.6米ノ小岩アリ、其ノ外側ハ急深ナリ。

激湍

猫嶼及草嶼ノ附近ニハ常ニ強烈ナル激湍アリ。

大嶼 (オウシマ)

草嶼ノ南南東方約6.5湮又東嶼坪嶼ノ南西方4湮餘ニ在リテ澎湖列島ノ最南島ナリ。

嶼ノ西端ヲ埤尾仔(ピイアベ) (モヤンキャン)ト稱シ舌形ノ低角ナリ、岬ノ周圍ハ2鍾ノ間礁脈纏布シ其ノ外界ハ急深ナリ、該岬北側ノ岩岸ニ着舟所アリ、低潮ニ干出スルモ能ク南風ヲ避クルヲ以テ夏季支那型船ノ好避泊地タリ。嶼ノ西側灣ハ北東風ヲ避ケ得ルガ故ニ冬季小舟ノ泊地ニ適ス、但シ低潮ニハ干出ス。

大嶼燈臺

大嶼南端過壠仔上ニ在リ、白塗圓形コンクリート造、燈高42米(昭和17年消燈)。

激湍

埤仔尾ノ北方約1.2湮ノ處ヲ南端トシテ北方約2湮ニ及ブ水深20米以下ノ廣闊ナル淺水區域アリ、其ノ最淺部水深10.2米ニシテ此ノ區域上常ニ激湍ヲ見ル。大嶼ノ南東側ニ於テ東嶼直下ノ險崖岬ヨリ東方約8鍾ノ處ヲ北端トシテ南方1湮餘ニ互レル水深20米以下ノ礁脈アリ、其ノ最淺部水深14.6米ニシテ礁脈上常ニ激湍ヲ生ズ。其ノ他埤仔尾ノ西方、過壠仔ノ南南西方ノ2箇所附近ハ常ニ激湍ヲ生ズル處ニシテ又頂埼ノ東方礁脈ノ外側ニハ憩流時ノ外ハ常ニ激湍アリ。

臺灣堆 (海圖 244)

澎湖列島ノ南西方ニ在ル大堆ニシテ外國人ハ之ニ Formosa Banksト命名セリ、其ノ界縁ノ水深ヲ36米トスレバ概ネ北界ハ北緯23度30分、南界ハ同22度25分ニ在リ、而シテ東界ハ大略東經119度17分トスルヲ得レドモ堆ト臺灣海峽南部西側トノ間ニハ水深ニ觀ルベキ變化アラザルニ依リ其ノ西界ハ割然區劃ヲ確定スルヲ得ズ。

堆上ノ水深ニ急變ヲ見ルコト多カルベキハ激湍ノ存スルニ依リテモ想像シ得ラルル處ナリ、從ツテ圖載ノ水深ト相違セル箇所ナキヲ保セザルガ故ニ深吃水ノ船舶ハ之ニ近寄ラザルヲ可トス。4月及5月中ハ堆上ニ夥シク魚類ノ群集スルコトアリ。

激湍及海流 堆上ニハ常ニ強烈ナル湍潮アリ。4月及5月中海流ハ常ニ1節ノ流速ヲ以テ北東方ニ向ヒ臺灣ニ近ヅクニ從ヒ愈疾強ト爲ル。

曾文溪口至鷺鑿鼻

澎湖水道東濱ノ南端ナル曾文溪口ヨリ臺灣ノ南端鷺鑿鼻ニ至ル間ノ海岸ニシテ臺灣西岸中澎湖水道以南ノ臺灣海峽廣幅部ニ臨メル區域ナリ。

註 本誌上臺灣海峽トハ臺灣南西端猫尾頭ト支那蓮花峯角トヲ連結スル線ヲ以テ其ノ南界トス。

潮汐 曾文溪口附近以南ニ於ケル潮汐ノ性質ハ之ヨリ以北ノ臺灣西岸ニ於ケルト著シク異リ平均高潮間隙ハ國聖港ニ於テ10時27分ナルモ南スルニ從ヒテ早マリ大板埭ニ到レバ6時50分ト爲ル、大潮升ハ0.8—1.2米ナリ。日潮不等極メテ顯著ニシテ1日1回潮ト爲ルコトアリ、高低兩潮ニ於ケル潮時潮高ノ不等ハ共ニ著シキモ、潮時ハ低潮ニ、潮高ハ高潮ニ於テ特ニ不等顯著ニシテ高キ高潮ノ次ニ低キ低潮起ル、夏季大潮ニハ午前ノ高潮最高ニシテ之ニ次グ晝ノ低潮最低ナリ、冬季大潮ニハ之ニ反ス又此ノ低キ低潮ハ春季ニハ夜間ニ、秋季ニハ晝間ニ起ルヲ常トス。平均水面ハ1月最低、8月最高ニシテ其ノ差約0.3米ニ達ス。

潮流 曾文溪口附近以南ニ於ケル潮流ハ一般ニ海岸ニ沿ヒテ北西及南東ニ流ル、而シテ北流スル海流ノ影響ヲ受ケ北西流ハ流續時間

長ク流速大ニシテ高潮後約1時ニ憩流ス又其ノ北部ニ於テハ潮流微弱ニシテ海流ノミト爲ル。

曾文溪口至壽山

曾文溪口ヨリ南南東方約28哩ノ壽山(高雄山)ニ至ル間ハ以北ノ海岸ト同様低沙濱ニシテ、就中曾文溪口ヨリ約6哩ヲ隔タレル安平港ト壽山ノ山麓トノ間ナル約20哩ノ海岸ハ殆ド直條ナリ、而シテ海岸至近ノ地ハ曾文溪口ヨリ壽山ノ北方約14軒ニ在ル深底山ニ至ル迄ノ間ニハ鹿耳門溪附近ノ沙丘及2—3ノ泥低崖アルモ其ヨリ南方ニハ目標ト爲ルベキ前記深底山及半屏山ノ外壽山ニ至ル迄一モ顯著ナル物標ナシ。臺南市ノ南隣地ハ概ネ低平ナル沼地ナレドモ一圃ニ米等ノ植附アリ又同市附近海岸ノ沙洲上ニハ處々ニ矮樹雜草茂リ且漁民居住シテ各自ニ其ノ筏ヲ海濱ニ引揚ゲ之ヲ竝ベ置クハ此ノ附近海岸ニ於ケル特殊ノ奇觀ナリ。

土城洲 曾文溪口ノ南方ニ於テ海寮ノ海岸ヨリ西方へ約1.5哩擴延スル沙堆ニシテ其ノ南部ハ鹿耳門溪口ノ門洲ニ連絡シ堆上ノ最小水深1.3米アリ、堆上ハ南風時殊ニ激シク破浪スルヲ以テ甚ダ危險ナリ、依ツテ小舟ト雖モ近ヅキ難シ。

安平港(アンピン)(海圖247) 曾文溪口ノ南東方約5.5哩ニ在リテ、鹽水溪(安平河)口附近ノ瀉内及其ノ外方海面ヲ占ム、船舶ハ外港即チ露開泊地ニ錨泊スルヲ要スルヲ以テ荒天ニ際シテハ澎湖列島馬公港ニ避難スルヲ常トス、其ノ貨物ハ支那型船ニ轉載シ小蒸汽船ニテ曳航内港新口ノ水路ニ入り臺南運河ノ安平船溜又ハ臺南船溜ニテ積卸ヲ爲ス、又極メテ小形ノ汽船ナラバ此等ノ船溜ニ避難スルコトヲ得、從ツテ兩船溜ニハ20餘隻(多キトキハ50隻ヲ超ユ)ノ發動機船

其ノ他ノ小形舟艇ノ碇泊スルヲ認ムルヲ常トス。

四草湖南東端側ノ瀉口（内港舊口）附近ハ門洲常ニ變移シ從ツテ外港泊地ヨリノ門洲水道亦絶エズ移動ス。瀉内ハ底質概ネ泥及泥沙ニシテ錨搔キ善ク且岩礁等ノ危険物存在セザルモ、大部分水甚ダ淺ク瀉口内北側ノ支那型船泊地（大形船約30隻ヲ容ルルニ足ル）ト瀉口ヨリ内方安平市街地北側ノ埠頭ニ至ル水道ノ外ハ低潮時ニ於テ廣大ナル數區ノ干瀉ヲ生ズ、殊ニ暴風雨ニ際シテハ鹽水溪氾濫シ港内ヲ埋没スルコト尠カラズ。

安平港地方ノ島民ハ竹筏（テッパイ）ト稱スル一種ノ竹舟ヲ操リ陸地ト碇泊船トノ間ノ交道ヲ爲ス。

臺南市 臺南市街地ヲ中心トシテ其ノ四周ニ互リ臺南市ノ市域アリ、市域ノ北界ヲ鹽水溪トシ安平モ亦市ノ一部ヲ成ス。

氣象 9月ヨリ翌年5月ニ至ル間ハ偏北風強吹シ、6月至8月間ハ偏南西風猛吹ス、一般ニ風速10米以上ニ達スレバ荷役不可能ト爲ルモ冬季ハ夏季ニ比シ靜穩ナリトス、殊ニ夏季ハ強風高濤多ク暴風亦屢至リ多クハ北西風ニシテ海上險惡ヲ極メ船舶ハ貨客搭載ノ儘馬公港其ノ他ニ避難スルノ已ムヲ得ザルコトアリ。風波ノ爲荷役不能ノ日ヲ概算スルニ冬季ハ約5日目ニ1回2日間、夏季ハ約7日目ニ1回3日間トス。5月、6月及10月ハ1年中最モ靜穩ノ月ニシテ荷役不能ノ日少シ又夏季ハ午後3時頃ヨリ波浪高クシテ往々荷役ヲ中止スルコトアリ。

冬季ハ空氣乾燥シ降雨至ツテ少シ、5月至9月間ハ雨季ニシテ降雨雷鳴多シ。平均氣温ハ2月ニ最モ低クシテ最低ノ極ハ2.4度又7月ニ最モ高クシテ最高ノ極ハ36.9度ナリ。夏季ハ暑熱蒸スガ如ク夜間モ尙

32度以下ニ降ラザルコト數夜ニ互ルト謂フ。

港灣設備 港灣設備構造物ノ主ナルモノ次ノ如シ。

瀉口（内港舊口）附近 瀉口及其ノ内方ニ門洲水道ヲ導ク爲メ2對ノ浮標（紅綠2燈）ト、船舶ノ錨地ヲ指示スル爲メ2箇ノ導標トアリ。

尙瀉口南北兩側沙嘴ノ各端末ニ近ク1對宛ノ見通シ標（燈）アリ、瀉口水道内浮標ノ綠燈ハ該標各對見通シ線ノ交叉點ニ位ス。

内港新口附近 瀉口附近ノ鹽水溪門洲ハ埋没移動激シキヲ以テ其ノ南東方約9鐘ニ内港新口ヲ掘鑿シテ兩側ニ導流堤ヲ築キ又内港新口ヨリ臺南運河ニ至ル水路ノ兩側ニハ護岸ヲ設ケ水深2米ニ浚渫セリ。

臺南運河（安平運河） 水深1.8米ニシテ其ノ南側ニハ3米ノ高サニ上幅5.4米ノ堤防ヲ築ク、運河ノ中途安平市街ノ南側ニ於テ安平船溜（水深1.8米）ヲ設ケ北濱ニ沿ヒ延長約455米ノ土留石垣ヲ築造シテ支那型船、發動機船等ノ碇繫ニ便ナラシム又運河ノ東端ニ於テ臺南市街ノ西側ニ臺南船溜（水深1.8—2.4米）ヲ設ケ其ノ東濱ニ沿ヒ石垣ヲ築造シテ支那型船、發動機船等ノ碇繫ニ便ナラシム其ノ他荷揚場、倉庫等ヲ設ク。

目標 安平市街ノ西端附近ニ在ル煙突ハ頗ル顯著ニシテ海上遠距離ヨリ安平港ノ所在ヲ知ル好目標ナリ。安平市街南西側墓山（高サ12米）ノ南方約1.2軒ニ舊砲臺（高サ8.2米）アリ、但シ距岸2浬ニ近寄ラザレバ明ニ認メ難シ。

四草湖假燈標 安平港瀉口（内港舊口）北側ニ在リ、白塗三角形木造、燈高10米。

安平燈臺 墓山ノ北方ニ在リ、高サ5.3米ノ白塗圓形煉瓦造、燈

高24米。

安平導流堤北燈竿 内港新口北方導流堤ノ西端ニ在リ、白塗圓形コンクリート造、燈高10米。

安平導流堤南燈竿 内港新口南方導流堤ノ西端ニ在リ、紅塗圓形コンクリート造、燈高10米。

錨地 一般船舶ノ碇泊地ハ外港若ハ港界ノ外方ニシテ距岸約1哩、水深9.1—10.9米ノ處ヲ其ノ錨地トス、北東信風ノ盛吹中即チ12月至翌年3月間ハ安平燈臺ヲ39—59度ノ間ニ望ム水深9.1米内外ノ處ハ海面穩ニシテ避泊地ト爲スヲ得ベク又安平燈臺ヲ72度ニ見ル線ト(B)・(C)兩導標ノ一線(11度)トノ交叉點近傍ハ2,000噸以下ノ船舶ニ對シ良好ノ錨地トス、然レドモ其ノ他ノ月ハ時ニ偏南西風ノ襲來スルコトアリテ碇泊困難ト爲リ安平市街北側埠頭又ハ船溜トノ交通杜絶スルニ至ル、殊ニ南西信風ノ強吹中ハ波浪激シク如何ナル船舶モ外港附近ニ泊スルコト能ハズ。

氣象信號 臺南測候所ニ於テ天氣豫報信號標、氣象特報信號標及暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

二層行溪 安平内港新口ノ南南東方約5哩ニ於テ海ニ注ゲル河流ナリ。該溪口ノ東方約6.4軒、車路埤驛附近ニ白線1條ヲ有スル黒塗大煙突アリ、附近ノ白色大家屋ト共ニ好目標ナリト謂フ。

大崗山 (トアカンソアン) 二層行溪口ノ南東方約19軒、海岸ヲ距ル内方約14軒ニ聳ユル三角形山ニシテ其ノ南南西方約3軒ニ位スル**小崗山** (ショーカンソアン) ト稱スル稍低キ臺形山ト共ニ顯著ナル目標ナリ、雲霧内陸ノ諸山ヲ隱蔽スルトキト雖モ此ノ2山ノミハ大抵見ルヲ得ベシ。

半屏山 (ポアンペンソアン) 小崗山ノ南南西方約14軒、海岸ヲ距ル内方約5軒ニ位シ、後記ノ壽山ト共ニ此ノ附近海岸低地ニ於ケル得難キ陸標ナリ。

壽山至率芒溪口

壽山ノ南方約1.5哩ニ高雄港ノ内港口アリ、之ヨリ南東方約8.5哩ノ鳳鼻頭ニ至ル迄ハ大部分高雄大瀉ノ海方界ヲ成セル狹沙堆ニシテ堆上ニハ矮樹茂リ漁舍點綴ス、次デ東港溪口ニ至ル約5哩間ノ海岸モ亦鳳鼻頭ヲ除ク外總テ矮樹茂レル低沙濱ナリ。

東港溪口ヨリ南東方率芒溪口ニ至ル約11.5哩ノ間ノ海岸ハ殆ド直條ノ低沙濱ニシテ處々ニ高サ7米内外ノ沙丘ヲ有シ、阿旦樹及其ノ他ノ矮樹繁茂ス又處々ニ竹林アリ、而シテ内方ノ土地ハ能ク耕種ヲ施シアリ。此ノ海岸一帶ハ水深適度ニシテ一ノ障碍ナク距岸4鏈ニシテ水深8—10.9米アリ、而シテ距岸3—4哩ニ至ルモ尙水深27米内外ニ過ギズ且底質ハ泥又ハ細沙ニシテ北東信風季中ハ何處ニテモ船舶ノ錨泊ニ適セザルナシ、但シ距岸1鏈以内ハ水深3.6米ヨリ淺シ。

壽山 (コトブキ) (高雄山) 半屏山ノ東西方約7.5軒ニ在ル珊瑚塊ニシテ其ノ頂ハ噴火口ニ似タリ、此ノ山ノ南面ハ少シク凹凸ヲ成スモ大體ハ山頂ヨリ漸次南方ニ低下ス、之ヲ南方ヨリ望メバ内方ニ漸斜セル截頭圓錐形ノ如ク見エ海方ニハ大ナル白色ノ剝條アリ又遠望スレバ島ノ如クニシテ晴天ニハ35哩外ヨリ見ルヲ得ベク、此ノ邊ニ於ケル最好目標ナリ。

高雄港 (海圖 219 分圖) 高雄港ハ壽山ノ南麓ニ位シ臺灣北部ニ於ケル基隆港ト相對シ臺灣南部ニ於ケル主要ナル港ナリ、本港ハ元來旗後山ヨリ南東方ニ延伸スル狹沙堆ニ沿ヒ1哩内外ノ幅員ト約6哩

ノ長サトヲ有スル**高雄大瀉**ノ北部ヲ利用シタル修築港ニシテ瀉口(内港口)ハ該瀉ノ北西端部ニ於テ壽山ト旗後山トノ間ニ在リ、其ノ可航水道ノ幅約136米(水深7米以上ノ部分ノ幅約90米)。**旗後山**(キゴ)ハ上記狭長沙堆ノ北端ニシテ南西方ニ傾斜シ其ノ海方側ハ險崖絶壁ヲ成ズ、其ノ最高處ニ燈臺ノ外風力塔アリ。

從來ハ港口水道ノ幅狭ク且其ノ北濱ニ近ク岩礁點在シ、加フルニ内港内ハ極メテ水淺ク小形船舶以外ハ入港不可能ニシテ又外港ハ門洲擴延セルガ爲船舶ハ遠ク沖合ニ假泊シ荷役不便等甚大ナリシガ現在10,000噸級以下ノ汽船約30隻ヲシテ安全ニ内港内ニ繫泊セシムルコトヲ得。

高雄市 市街ハ主トシテ内港北濱ニ在ル外一部分ハ旗後山ノ南東側附近ニ在リ。

潮流 港口水道ニ於テハ漲潮流ハ内港内ニ、落潮流ハ外港ニ向ヒ、略高低潮時ニ轉流シ流速1.5節ニ達スルコトアリ。外港ニ於テハ漲潮流ハ南流シ、落潮流ハ北流スルモ微弱ニシテ不規則ナリ。

内港附近ノ潮流ニ關シテハ後段針路法ノ項参照ヲ要ス。

港灣設備 外港ニ防沙堤及防波堤アリテ各長サ約900米延出ス、又防沙堤外端ヨリ東方約600米ニ繫船浮標1箇アリ。

内港北側ニ第1號至第16號繫船岸アリテ第2號至第10號ヲ新濱町繫船岸壁ト稱シ第3號ニ15噸起重機1臺ノ設備アリ。

岸壁裏ニ水深2.7—5.2米ノ船溜アリ。

第13號至第16號ハ荅雅寮繫船岸壁ト稱シ大形船舶ノ接岸可能ナリ。

内港南側ニ旗後棧橋及戎克船溜アリ。

内港ニ繫船浮標13箇ヲ碇置ス。

高雄港防沙堤燈竿 港口水道外方北側防沙堤外端ニ在リ、白塗圓

形コンクリート造、燈高15米。

高雄港防波堤燈竿 港口水道外方南側防波堤外端ニ在リ、紅塗圓形コンクリート造、燈高15米。

高雄燈臺 旗後山頂ニ在リ、高サ14米ノ白塗八角形煉瓦造、燈高58米。本燈ヨリ北北東方約8米ニ白塗四角形コンクリート造ノ副燈アリ、其ノ燈高地上4.8米、平均水面上53米。

高雄港口北岸陸上照明用燈竿 港口水道北側西端附近ニ在リ、木柱、燈高18米。

障碍物 外港ニ於テ高雄港防波堤燈竿ノ西南西方約800米附近ニハ徑約2.5鍾ニ互リ水深8.7—9.9米ノ淺水區域アリ。港口水道東側ノ西緣南部距岸約3鍾ノ處ニ水深4.9米ノ暗岩アリ。

上記ノ外内港内ニハ架空電話線(電燈ヲ點ズ)アリ。

投錨禁止區域 港内公ノ航路ニ於テ投錨シ又ハ他ノ船舶ノ航行ヲ妨グルコトヲ禁ゼラル、公ノ航路區域下ノ如シ。

1. 高雄燈臺ヨリ300度13分1,048米ノ點ヨリ107度43分ノ方向ニ引キタル直線ト、同燈臺ヨリ290度12分1,023米ノ點ヨリ107度43分ノ方向ニ引キタル直線トノ中間ノ海面。
2. 内港口信號所信號竿ヨリ96度ノ方向ニ距離1,000米ニ至ル迄引キタル直線ト、同信號竿ノ180度180米ヲ隔テタル點ヨリ同線ニ竝行シテ距離1,000米ニ至ル迄引キタル直線トノ中間ノ海面。

錨地 錨地ニ關スル信號ニ就テハ水路誌附録第1卷ヲ見ヨ。

高雄港ノ錨地ノ狀況ニ關シ經驗アル水先人ノ言ヲ綜合スルニ高雄内港ノ底質ハ甚シク軟泥ニシテ泥深キヲ以テ商船ノ錨鎖ハ2節以下ニテハ

其ノ爬駐カヲ失ヒ走錨ス又繫船岸壁ニ出船ニ繫留スル際用フル錨ハ夏季偏南風季ニ於テハ特ニ沖合ニ投下シ置カザレバ出港ニ際シ錨鎖ヲ縮ムルニ從ヒ錨ハ漸次引キ寄セラレテ用ヲ爲サザルニ至ルト共ニ偏南風ノ爲船ハ次第ニ岸壁ニ吹寄せラレ出港甚シク困難ナルコトアリト謂フ。

針路法 港口水道狹隘ナル故變針角度ヲ成ルベク少カラシムルヲ要ス、先ヅ港界ヨリ高雄燈臺ニ向首進航シ防波堤端ヲ右舷正横附近ニ見ル頃ヨリ港口水道南側ノ尖端ニ向ヒ、次ニ防波堤中央附近ニ到ルニ及ビテ水道北側尖端ヨリ水道幅ノ約 $\frac{1}{3}$ ノ處ヲ通過スル如ク航進シ最狹部中央ニ到ル頃所要ノ轉舵ヲ以テ錨地ニ向フベシ、港口水道ニ於ケル潮流ハ漲落兩流共北ヨリ南ニ流ルルヲ以テ、最初ヨリ中央ニ向針スルトキハ南方ニ偏倚セラレ北方ニ轉針スルトキ船尾南偏シ水道南側ニ觸接スル處アリ、入港ノ好時機ハ漲潮ノ末期ヲ可トス、是港口水道ノ潮流緩ニシテ且出船ニ繫留スルコト容易ナルヲ以テナリ、逆潮強キ場合ハ入船ノ儘繫留スルヲ例トス。

出港ニ際シテハ成ルベク内港内南側ヲ航シテ港口水道ニ向ヒ、入港時ト同様港口水道北側尖端ヨリ水道幅ノ $\frac{1}{3}$ ノ處ヲ通航シヨル後外港ニ出ヅベシ、逆潮ニテ出港スル場合ハ船首最狹部ニ入ルヤ兎モ角モ面舵ニ取り流ノ爲右舷船首ヲ打ダレザル様ニ注意シ次デ一度舵ヲ戻シ中央ニ來リタルトキ更ニ面舵ニ取ルヲ要ス（入港時逆潮ノ場合ハ之ニ反ス）。高雄港ノ潮流ニ關シ經驗アル水先人ノ言ヲ綜合スレバ下ノ如シ。

1. 高雄内港ニハ潮ノ漲落ニ關セズ常ニ北岸ニ沿ヒ西流スル「ワエ」潮アリ、小潮期ニハ第10號繫船浮標西側至第2號繫船岸附近ニ於テ、大潮期ニハ第11號繫船浮標東側至第5號繫船岸附近ニ於テ左轉シ陸岸ニ沿ヒ信號所下ニ於テ航路ニ直角ニ流出ス。

故ニ内港ニ入ル船舶ハ港口水道ヲ過グルヤ必ズ先ヅ比較的大ナル舵角ヲ以テ取舵ヲ取り船首ヲ右轉セラレザル様警戒ヲ要ス。此ノ「ワエ」潮ハ信號所信號ガ憩流ヲ示シ海水ノ表面ハ靜止セル場合ニ於テモ水面下ニハ尙流續アルヲ例トス、故ニ深吃水ノ船舶ハ注意ヲ要ス。

2. 港口水道出口北側ニハ航路ト交叉スル南東流アリ（外港北側ニ防沙堤竣工ノ今日此ノ現象大ニ減少セラレタルモ）テ出港船舶港口水道ヲ出ヅルヤ其ノ船首ヲ左轉セシメラルルヲ例トス。故ニ出港船舶ハ常ニ先ヅ面舵ヲ取り豫メ警戒スルヲ要ス。

上陸所 港務部對岸ノ漁船溜東濱、第1號繫船岸西隣ノ小蒸汽船棧橋及旗後棧橋ノ3箇所ニ在リ。

水先 現在水先人3名アリ（昭和13年調）、高雄市哨船町3丁目15番地ニ事務所ヲ置ク。

氣象信號 港口水道北側附近ニ在ル高雄測候所ニ於テ天氣豫報信號標、氣象特報信號標及暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

給水 清水ハ高雄市上水道ヨリ取ル、船舶給水栓ハ新濱町繫船岸壁ニ19箇、第1號繫船岸ニ2箇、岸壁裏船溜南側ニ1箇、新濱町小蒸汽船棧橋ニ1箇アリ、給水栓1箇ノ給水能力毎時25噸ナリ。運搬給水ノ爲ニハ唧筒附給水船50噸積1隻アリ。

東港泊地（海圖219分圖） 下淡水溪口ノ南東方約1哩ニ開口スル東港溪ノ河口南方附近一帶ノ泊地ナリ。東港溪口ノ南東方2.2哩ニ南屏叢林アリ、高サ約13米ニシテ圓形黑色ヲ呈シ9哩外ヨリ望メバ一黒子ノ水平面ニ點在スルガ如ク見ユ。

潮流 海圖219ニ示シアル東港泊地ノ潮流ハ北東信風季中小潮期

ニ於ケルモノニシテ大潮期ニ於テハ流速約其ノ $\frac{3}{4}$ ヲ増加ス、最近ノ觀測ニ於テハ大潮期ニ於ケル流速漲潮流1.5節、落潮流2節ナルヲ驗シタリ、一般ニ潮流ハ不規則ニシテ終日周流シ落潮流ハ漲潮流ト反對ノ方向ニ向フヲ例トスレドモ時トシテ終日1方向ニノミ流ルルコトアリ、但シ南西信風季ニ在リテハ未ダ其ノ如何ヲ驗セズ。

錨地 東港溪口附近距岸3鍾以外ハ水深頗ニ變ジ僅々5鍾ノ間ニ23米ヨリ106米ト爲ル、依ツテ稍大ナル船舶ハ溪口ヨリ南方ノ錨地ニ投錨セザルベカラズ。南屏叢林ヲ78—100度ニ望ム間、水深9.1—12.8米ノ處ハ總テ北東信風季ノ錨地ト爲スコトヲ得ベシ、最好錨地ハ同叢林ヲ90度1.2浬ニ望ム水深10米、底質細沙ノ處ニ在リ、然レドモ此ノ錨地ハ潮流上記ノ如クナルヲ以テ某艦ノ如キ此處ニ泊シテ屢擲ミ錨ト爲リタルコトアリ。

東港 東港泊地ノ北隅東港溪口ニ在ル港ニシテ近海漁業ノ根據地ナリ。

東港溪口ハ幅約30米ニシテ内方ノ暴風雨標ト支那型船ノ帆檣トニ依リテ識別スルヲ得ベシ、溪口附近門洲上ノ水深ハ低潮ニハ0.2—1.8米ニ過ギザルヲ以テ吃水淺キ小舟ト雖モ高潮ヲ待チテ入河シ得ルノミ。

目標 東港溪口ノ東北東方約8.5浬、溪洲驛ノ東方約1.6浬ニ顯著ナル煙突アリ、南方海上ヨリノ好目標ナリ。雲霧ナキトキハ附近海上ヨリ東港ノ北東方約37.5浬ノ内方ニ在ル**大武山**(海圖250B)ヲ望ムヲ得ベシ。

琉球嶼(小琉球島) 東港溪口ノ南南西方約7.5浬ニ在リ。嶼ノ北端ニ接シテ1箇ノ奇岩(高サ9.7米)アリ、其ノ形松茸ニ酷似シ西方或ハ東方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。嶼ノ西岸ハ少シク灣形ヲ成スモ深

水ニ過ギ泊船ニ宜シカラズ、唯灣奥ニ杉板路(三板路)ト稱スル小舟ノ着岸所アルノミ、其ノ北部ニ白色ノ家屋アリテ位置ヲ明示ス、此處ハ島周ニ於ケル唯一ノ露開着舟所ナリ。嶼ノ南東岸ハ其ノ中央ニ長サ約5鍾ノ沙濱ヲ有シ其ノ前面距岸約3鍾ノ處ハ水深36米、底質沙ナリ、此處以外嶼周ノ他ニ錨地ナシ。嶼ノ北東端ハ圓形ノ白沙濱ニシテ顯著ナリ、此ノ白沙濱ノ北西部白沙尾村落地先ニ最近防波堤ヲ以テ圍メル船溜ヲ設ケ支那型船ノ常泊地ト爲シ且上陸ニ便セシム。

琉球嶼燈臺 琉球嶼南東岸ニ於テ占山ノ南南西方約450米ニ在リ、高サ11米ノ白塗圓形コンクリート造、燈高88米。

琉球嶼防波堤燈竿 白沙尾船溜西防波堤外端ニ在リ、紅塗コンクリート造圓柱、燈高9.1米。

潮流 東港泊地ト琉球嶼トノ間ニ於テハ漲潮流ハ南東ニ向ヒ、落潮流ハ北東ニ向フモノノ如クニシテ其ノ流速ハ1—2節ナリ、然レドモ琉球嶼ノ西岸ニ於テハ屢漲潮流ノ北流スルヲ見ル又皮流ト底流ト相逆走スルコト多シ、時トシテ同方向ニ流ルルコトナキニ非ザルモ其ノ場合ニハ流速甚ダ相違シ底流ハ皮流ノ約2倍ニ達スルコトアリ、而シテ皮流ノ流速ハ屢風ノ影響ヲ受ク。

琉球嶼ノ南西角及北東角ニ於ケル潮流ノ強烈ニシテ流速2—3節ニ達シ屢激湍ヲ生ジ風アルトキハ大浪ヲ起スヲ常トス又前記海溝ノ南側ニ於テモ激湍ヲ見ルコトアリ。琉球嶼ノ北東角附近ハ1浬以内ニ接近セザルヲ要ス。

新打港 東港溪口ノ南東方約5浬ニ開口スル**林邊溪**ノ河口港ナリ。

河口即チ港口及港内共ニ狹隘且淺水ナルヲ以テ高潮時僅ニ小舟ノ出入

スルヲ得ルノミ、冬季ニハ港口ノ内外ニ支那型小船繫泊ス。毎年3月至4月頃ニ至レバ河口閉塞シテ漁舟モ出入スルヲ得ズト雖モ夏季降雨ノ節ニ入レバ河水増加シテ河口再ビ開通ス、故ニ小舟ノ出入シ得ルハ夏季ヨリ翌年3月頃迄ナリト謂フ。

枋寮港 新打港ノ南東方2哩餘ニ於テ海ニ注グ頂苦溪口ノ南東方約5.5哩ニ位スル枋寮村落前面ノ水域ナリ、當港ハ高雄港ニ次グ好避泊地ニシテ冬季信風連吹スルモ安ンジテ錨泊スルコトヲ得、好錨地ハ村落北部ノ不動白光燈（火ノ見櫓）ヲ17度1,400米ニ望ム水深10米附近トス。

率芒溪 枋寮村落ノ南南東方1哩餘ニ於テ海ニ注グ大溪ニシテ冬季ハ溪口乾涸シ礫石填塞ス、率芒溪口ニ架セル「コンクリート」造橋梁ハ顯著ニシテ其ノ北端附近ニ電柱アリ、好目標トス。

率芒溪口至鷺鑾鼻

此ノ海岸中率芒溪口ヨリ南南東方楓港溪口ニ至ル10哩餘ノ海岸ハ總テ沙礫濱ニシテ連山ノ麓ハ直ニ海ニ達シ僅ニ岸ニ沿ヒテ道路ヲ設ク、而シテ率芒溪口近傍ヲ除ケバ距岸5鐘ニシテ直ニ18米内外ノ水深ヲ有シ、冬季北東信風季中ハ岸ニ接シ隨所假泊シ得ベシ、然レドモ多少ノ磯波ヲ免レズ。

楓港溪口ヨリ南走スルコト約8.5哩ニシテ龜山角ニ達ス、楓港溪口ノ北方約1哩ノ處以南ハ北東風山ヲ越エ來ルヲ以テ北東信風強吹中ノ海面白波大ニ起リ水煙濛々トシテ海面ヲ蔽フコト屢ナリ、殊ニ里龍山風ヲ以テ最モ甚シト爲ス。此ノ區域中楓港溪口ノ南方約6.5哩ノ車城角ノ北側ニ海口灣アリ又角ノ南方ハ長サ2哩弱ノ長沙濱ヲ經テ龜山角ニ至ル。

龜山角ノ南方約1.5哩ニ大平頂角アリ、大平頂角ヨリ南方猫鼻頭ニ至ル約7哩ノ海岸ハ急深ニシテ鱓廣嘴前面ノ水深18米ヲ除ク外ハ距岸5鐘ノ處水深90米餘アリ又一般ニ距岸1哩ノ處ハ270米餘ノ水深ヲ有ス。此ノ海岸ニハ特ニ顯著ナルモノナク唯大平頂（高サ197米）ノ1叢樹ト鱓廣嘴ノ南方1.3哩ニ在ル小ナル樹團及猫鼻頭ノ北北西方2.7軒ニ在ル高サ125米ノ小尖山トノミハ少シク顯著ナリ。

猫鼻頭ノ東方約7鐘ニ黑色角アリ、此ノ角ト其ノ南南東方約7哩ニ位スル臺灣ノ南端鷺鑾鼻トノ間ハ南灣ト稱スル一大灣ヲ形成シ其ノ灣首ニ大板崎錨地アリ。

里龍山（リーリョンソアン） 率芒溪口ノ南南東方約10哩ニ於テ海ニ注グ楓港溪ト其ノ南方四方溪トノ間ニ於テ南北約15軒ニ互リテ海岸ト竝走セル山脈ヲ里龍山脈ト稱ス、此ノ山脈中ノ最高峯里龍山ハ楓港溪口ノ南東方約6軒ニ屹立シ高サ1,068米、森林鬱黒トシテ山容乳房ノ如ク實ニ此ノ近海ニ於ケル好目標ナリ、然レドモ山頂ハ雲ニ掩ハレ易シ。

海口灣（海圖245） 黑龍山ノ南南西方約6.2軒ニ於テ海岸ニ近ク位スル尖山（高サ127米）ト其ノ南南西方約3.5軒ニ在ル後記ノ車城角トノ間ニ成レル開灣ニシテ灣首ニ海口港アリ。

暗礁 海口灣内ニハ海口港ニ至ル航路ノ南北ニ各暗礁アリ、北方ノモノヲ水坑砂（ツイキンソア）ト稱シ北北東—南南西ノ方向ニ約3.6鐘ノ長サヲ有ス、最小水深0.9米ニシテ南端ニハ水深1.8米ノ處アリ、該最淺水部以北ハ其ノ中間ニ水深12.3米ノ小水道ヲ通ジ南北ノ2部ニ分タル、此ノ礁脈ト東方陸岸トノ間ハ約2鐘ノ可航幅アリテ通航ニ支障ナシ、海口燈臺ノ北方紅光分弧ハ本礁ヲ示ス。航路ノ南方ニ在ル

暗礁ハ車城角ノ北方距岸約2.5 鍾ニ位スル**中砂**(チョンソア)(水深5米)ナリ、海口燈臺ノ南方紅光分弧ハ本礁ヲ示ス。

海口港 海口灣ノ灣首ニ位スル港ニシテ海口泊地ニ於ケル海口港(第114頁)トハ同名異港ナリ、此ノ地方ニ於ケル漁船ノ避難港トシテ適當ト認メラレ現在ハ西側ニ鍾形ノ防波堤、北東側ニ防沙堤ヲ設ケ内方ヲ水深2.4米ニ浚渫セル船溜ノ實現ヲ見ルニ至レリ。

海口燈臺 海口港防波堤外端ニ在リ、高サ13米ノ白塗四角形コンクリート造、燈高14米。

海口導標 海口港錨地ヘノ進入及投錨ヲ容易ナラシムル爲2箇ノ導標ヲ設ク、其ノ位置及構造次ノ如シ。

海口A導標 海口村落東方山腹、高サ34米ノ菱形頭標附白塗四角形コンクリート。

海口B導標 車城角端東方丘上、高サ9.8米ノ三角形頭標附紅塗四角形コンクリート。

海口A導標ト海口燈臺トヲ一線112度ニ望ミ航進スレバ水坑砂及中砂ノ兩礁ヲ避ケテ入港スルコトヲ得ベシ、此ノ一線上海口B導標ヲ右方直角ニ望ム位置ヲ良好ナル錨地トス。

車城角(海圖245) 海口灣口ノ南側ヲ成セル岬角ニシテ山麓ヨリ伸出セル草多キ低沙角ナリ、角ノ周圍ハ珊瑚礁纏繞シ常ニ磯波アリ。角端ヨリ北方3鍾ノ間礁脈突出スルヲ以テ過度ニ接近セザルヲ可トス、此ノ礁脈外端ノ東北東方ニハ上記ノ中砂又西側ニハ水深7.7米ノ點洲アリ。

車城泊地(海圖245) 車城角ト其ノ南方約2 湮ニ在ル龜山角トノ間ノ淺入弓形灣ニシテ偏西風ニハ全ク暴露スルモ北東ヨリ東ヲ經テ南

迄ノ風浪ヲ避ケ得ベシ、然レドモ冬季ハ北東ノ山嵐強ク波浪ヲ起スヲ常トス。泊地ノ水深ハ10.9—12.8米ニシテ灣濱ニ向ヒ漸ク淺ク底質ハ概ネ沙ナルモ處ニ依リ泥ヲ混ズ。泊地ノ灣濱ハ一帯ノ長沙濱ニシテ短艇ヲ著ケ得ベキモ磯波甚シキヲ以テ時ニ轉覆ノ難アリ注意ヲ要ス。

後灣子(海圖245) 車城泊地ノ南側ヲ成セル龜山角南側ノ小灣ナリ、南北西濱ヨリ礁脈對出シテ可航幅ヲ80米以內ニ狹ムルモ其ノ内方ハ徑約1鍾、水深1.8—9.1米アリテ小舟ノ碇泊ニ適ス。

大平頂角 後灣子南側ノ黑色圓崖岬ニシテ北方ヨリ望ムトキハ恰モ島ノ如シ。

恒春 大平頂角背後ノ平地ノ中間ニ在ル臺灣南端ノ首邑ナリ。

氣象 此ノ地ハ氣候温暖恒ニ春ノ如キモノアルニ依リ此ノ稱アリ、5月至10月間ハ雨季ニシテ降雨甚ダ多シ。冬季ハ北東信風強吹シ概シテ晴天多シ。尙卷末氣象表第6(恒春氣象表)ヲ參照スベシ。

白沙港 後灣子南方約3.5 湮ナル鱗廣嘴ノ南方約3 湮ニ位スル白沙鼻ノ南側ニ在ル小港ニシテ白濱ヲ有ス、風向ニ依リテハ小舟ノ假泊ニ適ス。

白沙鼻ノ南方約5 鍾、距岸約3 鍾ニ1箇ノ小暗岩アリ、岩上ノ水深5.4米。

南灣 臺灣南端部ノ西側半島端**貓鼻頭**ノ東方約6 鍾ノ黑色角ト其ノ東南東方約7 湮ニ在ル鷺鑾鼻トノ間ニ於テ南方ニ開キタル一大灣ニシテ灣濱ハ概ネ珊瑚礁沿布ス。灣ノ西濱ハ黑色角ヨリ北北東方ニ走ルコト2.5 湮ニシテ灣首ニ達シ、初約1 湮間ハ急深ナルモ次デ1.5 湮ノ間ハ沙濱ト礁脈トヲ交ヘ冬季北東信風季中ト雖モ磯波高クシテ短艇ノ着岸困難ナリ。

大老鼓 (トアロコ) 南灣ノ西側ニ於テ黑色角ヨリ北北東方約1.4
 浬、距岸約4.5 鐘ニ在リ、高サ3.2 米ノ岩ニシテ容易ニ認メ得ベシ。
 此ノ岩ノ南方約1.5 鐘ニ高サ1.1 米ノ岩アリ、其ヨリ北北西方約100
 米ニ水深0.9 米ノ暗礁アリ。大老鼓ノ北東方約3.7 鐘ニハ水深5.4 米
 ノ暗岩アリ、其ノ周圍ハ急深ナリ。大板埭假設燈竿ノ綠光分弧ハ此等
 ノ岩礁ヲ示ス。

大板埭地錨 (トアパンラー) (海圖 250B 分圖) 南灣灣首前面ノ水
 域ニシテ夏季僅ニ南風ニ暴露スル外各方向ノ風ヲ遮障シ海面靜謐ニシ
 テ臺灣南端ニ於ケル好錨地トス、距岸約5 鐘、水深12.8—14.6 米、底
 質沙ノ處ヲ最モ良好トス。

大板埭假設燈竿 大板埭錨地ノ北濱ニ在リ、高サ8.1 米ノ白塗木
 柱、燈高11 米。

石牛子 (チョグーアー) 南灣ノ東側ニ於テ大老鼓ノ東北東方約
 1.5 浬、距岸約1.5 鐘ニ位スル高サ4.5 米ノ岩ニシテ大老鼓ト東西相
 對シテ判然認メ得ベシ。此ノ岩ヨリ南南東方ニ向ヒ約1.5 鐘間礁脈擴
 延シ其ノ最南端ノ水深5.9 米。石牛子ノ北西方約6.5 鐘ノ處ハ距岸2
 鐘ノ間礁脈延出シ其ノ外端ノ水深6.4 米アリ。大板埭假設燈竿ノ紅光
 分弧ハ此等ノ岩礁ヲ示ス。

大浮砂 石牛子ノ南東方約1.1 浬ニ在ル水深1.3 米ノ暗礁ニシテ
 周圍ノ水深極メテ不同ナリ。大浮砂ノ南西方約1.5 鐘ニ水深3.2 米ノ
 礁、同北北東方約1 鐘ニ水深6.8 米ノ點礁又其ノ北方約3.8 鐘ニ水深
 8.2 米ノ暗岩アリ。大板埭假設燈竿ノ紅光分弧ハ此等ノ岩礁ヲ示ス。

鷺鑾鼻 (ガランビ) 臺灣南端ノ東角端ヲ指シテ謂フモノナレド
 モ之ガ所在ノ半島南端部ノ總稱トシテ用フルコトモアリ。鷺鑾鼻半島

ハ北方ヨリ南方ニ向ヒテ地勢漸次傾斜シ矮樹茂リ其ノ縁邊ニ珊瑚礁沿
 布ス。

鷺鑾鼻半島ノ西側ニ於テ燈臺ノ西北西方約3 鐘ニ**馬頭港** (ベイトー)
 ト稱スル小港アリ、小形船舶1 隻ヲ入レ得ベク此處ニ小埠頭ヲ築キ燈
 臺員ノ専用ニ供ス。

鼻ノ東端ニ接シ高サ11 米ノ孤立岩アリ、北東信風季中ハ激浪之ヲ撃チ
 テ壯觀ヲ呈ス。

鷺鑾鼻燈臺 鷺鑾鼻半島南西角ニ近キ處ニ在リ、高サ22 米ノ白塗
 圓形鐵造、燈高55 米。本燈臺ニ於テ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ、
 但シ夜間ハ之ヲ取扱ハズ。

霧信號 鷺鑾鼻燈臺ニ霧信號 (霧砲) ヲ附設ス、船舶ノ霧中信號
 ヲ聽クトキハ3 分時ヲ隔テ空砲ヲ2 發ス、爾後該信號ヲ職カザルニ至
 ル迄8 分毎ニ前ノ如ク發砲ス (但シ當分ノ間霧信號ヲ休止ス、昭和14
 年)。

暴風雨標 鷺鑾鼻燈臺構内ニ暴風雨標アリ。

第 7 編

臺灣東岸

本編ニハ臺灣ノ南端鷺鑾鼻ヨリ北方三貂角ニ至ル間ノ記事ヲ収録ス。
臺灣東岸ハ一般ニ急深ニシテ山岳ハ直ニ岸際ヨリ隆起シ殊ニ花蓮港北
方ノ擢基利溪口ト蘇澳港トノ間ハ千數百米ノ峻峯直ニ海ニ迫リ其ノ山
腹削立シテ斷崖ヲ成ス。其ノ平地ヲ成セルハ臺東及花蓮港近傍ノ2地
方ニシテ稍廣キ沙濱ヲ以テ海ニ瀕ス。

臺灣東岸ハ屈曲少ク其ノ間ニ港口灣、八瑤灣、臺東港、新港泊地、成
廣澳泊地、花蓮港及蘇澳港アリト雖モ花蓮港築港及蘇澳港ヲ除クノ外
ハ全ク風浪ヲ保障スルモノナシ。

臺灣東岸ハ西岸ニ比シ交通比較的不便ニシテ北東信風季中殊ニ11月
末ヨリ翌年2月下旬迄ノ間ハ風浪荒キ爲、花蓮港築港及蘇澳港以外ノ
寄泊地ニ於テハ辛ウジテ郵便物及旅客ノ上陸ハナシ得レドモ貨物ノ陸
揚ハナシ得ザルコトアリ又時トシテハ全然寄港シ難キコトモアリ。

潮汐 臺灣東岸ニ於ケル潮汐ノ性質ハ南西諸島南部ニ於ケルト
殆ド相等シク且全區域ニ互リテ略同様ニシテ平均高潮間隙ハ約6時
10分、大潮升ハ約1.6米ナリ。日潮不等ハ左程著シカラズシテ1日1
回潮ト爲ルコト稀ナリ。平均水面ハ1月最低、8月最高ニシテ其ノ差
約0.3米ニ達ス。

潮流 臺灣東岸ニ於ケル潮流ハ一般ニ微弱ナリ。臺灣東岸中臺東港蘇澳港間ニ於テハ漲潮流ハ潮浪ニ伴ヒ南西方ニ流レ、落潮流ハ之ニ反スルガ如キ傾向アルモ大潮期以外ニハ餘リ著シカラズ、即チ漲潮時ニ在リテハ沿岸ニ於テ時ニ南流ヲ感ジ又ハ北向海流ノ勢力ヲ減殺シ、落潮時ニ在リテハ之ト同方向ナル北向海流ノ流速ヲ著シク増大スルモノノ如シ。

呂宋海峽及紅頭嶼

臺灣南方ノ國境ヲ成セル海峽及其ノ北端ヲ形成セル島嶼ヲ謂フ。

呂宋海峽

鶯鑾鼻及紅頭嶼ト Luzon Island 北岸トノ間ヲ呂宋海峽〔Luzon Strait〕ト稱シ大正 11 年日米當局ノ協定ヲ經テ命名セラレタルモノナリ。

呂宋海峽北部ニ於テ紅頭嶼ト Batan Islands トノ間ナル水道ヲ Bashi Channel ト謂ヒ支那ニ赴ク帆船ノ屢通航スル處ナリ。Bashi Channel 中ノ主水路ハ Gadd Rock ト Y'ami Islet トノ間ノ 40 浬間トス。

海流 鶯鑾鼻ノ南東方ヲ經テ北流スル海流ハ偏南風時ニハ流速大ニ増加スルモ北東風強吹時ハ流速大ニ減少ス、然レドモ全ク消滅スルコトナシ、其ノ實驗セシ最強流速ハ約 2—2.5 節ナリシモ時期ニ依リテハ 3 節以上ニ達スルコトアルベシ。

破浪岩 昭和 12 年 7 月汽船隆福丸ハ呂宋海峽中部ノ西側ニ於テ鶯鑾鼻燈臺ノ南西方約 132 浬ノ處附近ニ破浪シツツアルヲ認メタリト謂フ。

呂宋海峽北部ニ於テ鶯鑾鼻ノ南南西方約 27 浬ニ破浪岩存在スト謂フ (1927 年英國水路告示)。

七星石 鶯鑾鼻燈臺ノ南方約 9 浬ニ位スル孤立岩ノ 1 團ニシテ南北約 6 鍾ノ地ヲ占メ或ハ露出シ或ハ隱沒ス、其ノ内最モ高キ 2 箇ノ岩ハ南北ニ相對シ高サ 5.4—8.4 米アリ。此ノ簇岩附近ノ水深ハ 31—91 米ナルモ其ノ南東面ノミハ 5 鍾ノ處 34 米ナリ。

激湍 七星石ト臺灣南端トノ間ノ水道ハ安全ナルモ時ニハ一面ニ強烈ナル激湍ヲ生ジ、恰モ淺瀬上ノ破浪ニ似タル狀況ヲ呈スルコトアリ。

Gadd Rock 鶯鑾鼻ノ東南東方約 44 浬、北方小紅頭嶼ヲ距ル約 13 浬ニ在リテ Fashi Channel 北部ニ位ス、長サ約 4 鍾、岩上最小水深 2.7 米ニシテ周圍至近ハ水深 34—74 米ナルモ約 1 浬ヲ隔タレバ西側ハ約 80—200 米ヲ示スニ反シ東側ハ 1,000 米内外ニ急増ス。此ノ岩ヲ避ケント欲セバ紅頭嶼ノ方又ハ Batan Islands 北部ノ方ニ近ヅキテ航スベシ、濃霧ノトキ若ハ夜間此ノ岩ノ南方ヲ通航スルトキハ Batan Islands ノ方ヘ寄リテ偏北海流ヲ加減シツツ航スルヲ要ス、至輕風ノトキ及南西信風季中ハ大概北向海流アリ。

激湍 Gadd Rock ハ低潮ニ破浪スルヲ例トスルモ、此ノ邊ハ七星石近傍ニ至ル迄一面ニ激シキ激湍及湍流アルヲ以テ、破浪ヲ見テ直ニ該岩所在ノ地ト速斷スルヲ得ズ、故ニ船舶ハ此ノ岩ヨリ十分遠ザカリテ航セザルベカラズ。

紅頭嶼 (コウトウ)

呂宋海峽北端ノ高島ニシテ鶯鑾鼻ノ東方約 38 浬ノ海中ニ屹立シ約 34 浬ヲ隔テテ火燒島ト相對ス、島岸ハ凹凸起伏シ悉ク立錐狀ノ礁岩ヨリ成リ四面ノ觀望各異ルト雖モ大體ノ島形ハ馬鞍形ヲ成ス、島ノ中央ハ樹木鬱茂セル峻嶺高岳ヲ以テ充タサレ其ノ最高峯ヲ高サ 552 米ノ紅頭

山トス。島内溪流7條アリ、何レモ水量頗ル多ク其ノ質佳良ナリ。嶼ノ東岸ニ東清灣、南西岸ニ八代灣アリ、何レモ風向ニ應ジ船舶ヲ避泊セシメ得ベシ。

島周ニハ岩礁多ク島岸ト同様皆直立柱状ヲ成ス、依ツテ船舶ハ1哩以内ニ近寄ラザルヲ安全トス。本嶼ハ黑潮面ニ屬スル氣温ノ關係上常ニ濛氣ヲ以テ中腹以上ヲ包ム、殊ニ冬季ハ驟雨ノ爲島影ノ顯減常ナク夜間ノ接近ニハ警戒ヲ要スト謂フ。

本嶼ニハ皮膚病及「マラリア」多キモ結核ト花柳病トハ全クナシ、殊ニ結核ナキコトハ世界的ニ有名ニシテ醫學者ハ此ノ地ヲ結核處女地ト名クト謂フ。

八代灣 (矢代灣) (海圖 233 分圖) 紅頭嶼ノ南西岸ニ在リ、南方及西方ニ開キ底質細沙ニシテ錨搔キ善ク、其ノ北西部ハ水深適度ニシテ冬季偏北風アルトキノ錨泊ニ適スルモ南東部ハ深キニ過ギテ錨泊ニ便ナラズ。

灣ノ北西隅ノ距岸約4鍾ニ沖ノ岩ト稱スル圓錐形岩(高サ9.1米)アリテ入灣ノ好目標ト爲ル。此ノ岩ノ南西側ハ水深約2鍾弱ニシテ200米等深線ニ達スルモ、北東側島岸トノ間ハ水深カラズシテ而モ中間ニ水深7.3米ノ礁(沙及珊瑚ヨリ成ル)、水深7.7米ノ礁及水深3.6米ノ礁(位置不確實)等アリ。

灣首ニ在ル白塗ノ元警官派出所ヲ約27度、沖ノ岩ヲ約270度ニ望ム距岸約3.5鍾ノ處ハ錨地トシテ可ナリ。此ノ派出所ノ前面ニ高サ1.6米ノ小岩アリ、其ノ東方ノ入江ハ上陸所ナルモ北東信風季ニ於テダニ磯波アリテ短艇ノ達着危険ナリ。

東清灣 (海圖 233 分圖) 紅頭嶼ノ東岸ニ在リテ八代灣ト腹背相

對ス、灣内ハ距岸6鍾迄水深36米ヨリ淺ク且底質沙ニシテ偏東風時ノ外大形船舶ト雖モ安全ニ碇泊シ得ベシ、殊ニ灣首ノ2村落間ハ距岸約3鍾ノ處水深既ネ20米ヨリ淺クシテ最モ錨泊ニ適ス。灣口ノ北端ヲ獅子角ト稱シ之ヨリ南方約6.5鍾ニ關東礁ト稱スル尖岩アリ、礁頂水深4.5米ナルモ僅ニ20米餘ヲ隔タレバ直ニ36米ノ水深アリ、此ノ礁ハ海面平靜ナルトキハ水色ノ變化ニ依リ識別スルコトヲ得。關東礁ノ南東方約7.5鍾、距岸約5.5鍾ニ水深6.4米ノ暗岩存在ス。

小紅頭嶼 紅頭嶼南端ノ南方約3哩ニ在リ、高サ174米ニシテ嶼ノ四隅ハ高ク中央ハ稍低シ。嶼ノ周圍ハ比較的急深ナレドモ險礁岩石多シ、殊ニ其ノ南端ヨリ南南東方ニ向ヒ約8鍾ノ間礁脈擴延ス。紅頭嶼ト小紅頭嶼トノ間ノ水道ハ激湍アルモ船舶ノ通航ニハ支障ナシ、但シ紅頭嶼ノ南端ニ接シ淺處アルヲ以テ成ルベク水道中央ヲ航スベシ。

鶯鑿鼻至奇萊鼻

鶯頭鼻ヲ南端トシ臺灣東岸ノ略々ニ互レル區域ナリ。

鶯鑿鼻至ケラン鼻

鶯鑿鼻ヨリ北方「ケラン」鼻ニ至ル約58哩ノ海岸ハ港口灣ノ外殆ト屈曲ナク山岳直ニ海ニ没シ高斷崖ヲ成ス、而シテ平地ヲ成セルハ臺東附近ノミニシテ卑南大溪ノ兩側ハ卑南平野ト稱シ地味肥沃ナリ、此ノ海岸ハ概ネ水深ク其ノ北半部ハ卑南平野全面ノ外距岸1哩ノ處水深200米以上ニ達ス。

港口灣 (海圖 239 分圖) 鶯鑿鼻ト其ノ北方約6哩ニ在ル港口鼻トノ間ノ海岸ハ約1.5哩西方ニ彎入シテ一大灣ヲ成ス之ヲ港口灣ト稱

ス、灣内ハ水深適度ニシテ南西風時ニ限り碇泊スルヲ得ベシ、但シ底質ハ概シテ沙ナルモ岩底ニ沙ヲ掩フ處亦少カラズ。灣内中央ヨリ稍南方ニ偏シ東西2箇ノ岩アリ、大ナル方ハ東方岩ニシテ高サ8.4米、西方岩ハ高サ1.4米ニ過ギズ。

出風鼻 (ツーボンピー) 鷺鑾鼻ノ北方約8.5哩ニ在リ、險崖岬角ニシテ遠望著シク又岸ニ接シテ岩礁散在ス。

八瑤灣 (海圖 239 分圖) 出風鼻ノ北方約4.2哩ニ在ル南仁鼻ト其ノ北方約2.3哩ノ**港子鼻** (カンガーピー) トノ間ニ在リテ灣入約7鐘ニ過ギザルモ底質沙ニシテ水淺ク小形船舶ノ碇泊ニ適ス、然レドモ北東風時ニハ大浪侵入シ錨泊スルヲ得ズ。南仁鼻ノ東南東方3鐘餘ニ高サ1.7米ノ岩アリ。

灣濱ハ沙濱ニシテ灣首附近ニハ顯著ナル沙丘アリ。

大武溪 港子鼻ノ北方約13哩ニ於テ海ニ注ゲル河流ナリ。同溪口ノ南方約5鐘ノ海岸ニ接シテ大武ト稱スル村落アリ、附近ニ於ケル主邑ナリ。

氣象信號 大武ニ在ル氣象觀測所ニ於テ天氣豫報信號標、氣象特報信號標及暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

臺東港 (海圖 293 分圖) 大武溪口ノ北北東方約29哩ニ在リ、此ノ附近海岸ハ總テ水深ク距岸5鐘ノ處水深70—190米アリテ碇泊ニ適セズ、唯臺東市街ノ直前距岸約3鐘附近ノ小部分ノミ水深適度ニシテ錨泊シ得ベシ、即チ鯉魚山ヲ297度ニ望ム水深12.8—23米ノ處トス、但シ商船ハ荷役ノ爲上陸所附近ニ錨泊シテ船尾ヲ陸上繫船柱ニ舫ヒ夜間ハ前記ノ錨地ニ轉錨スルコトアリ。當港ニ於テハ冬季北東風強吹時ト雖モ早朝ハ必ズ北西風強吹シテ北東風ノ爲ニ起レル強濤ノ勢力

ヲ殺ギ爲ニ貨物ノ積卸ニ便利ヲ得シムルコトアリ。

氣象 卷末氣象表第7(臺東氣象表)参照。

潮流 潮流ハ風向ト北向海流トニ因リ左右セラレ時ニ北流シ時ニ南流シ其ノ方向不定ナルモ流速ハ常ニ強カラズ。

目標 市街西側ノ鯉魚山(臺東山)(高サ76米)及後記ノ加路蘭山ハ四隣ノ高山悉ク雲霧ニ掩ハレ全ク視認シ得ザルトキト雖モ能ク認識スルヲ得ベク實ニ當港ヲ知ルノ最要目標ナリ、實驗ニ據レバ鯉魚山ハ約15哩ノ海上ヨリ明ニ認メ得ベク最初ハ島ノ如ク見ユト謂フ。鯉魚山山頂ノ電燈及臺東燈臺ノ北東方約160米ニ在ル電燈ハ顯著ニシテ夜間航行船舶ノ好目標ナリ、殊ニ前者ノ如キハ晴天ノ暗夜20哩外ヨリ望見スルコトヲ得ト謂フ。

臺東燈臺 臺東市街東側海岸ニ在リ、高サ8.8米ノ白塗八角形コンクリート造、燈高18米。船舶ノ報告ヲ綜合スルニ本燈臺ハ附近ニ強力ナル電燈アル爲識別困難ナルガ如シ。

上陸所 臺東燈臺ノ東方約800米ノ海岸ヲ可トスルモ磯波強キヲ以テ注意ヲ要ス。

氣象信號 臺東燈臺ノ北東方ニ近ク暴風雨標アリ。臺東測候所ニ於テ天氣豫報信號標、氣象特報信號標及暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

ケラン鼻 臺東市街ノ北東方約3.5哩ニ位スル鈍岬角ナリ。鼻頂ヲ加路蘭山(猴子山)ト謂ヒ好目標ナリ、高サ126米(海圖 239 分圖)。

火燒島(カシヨー)

臺東港ノ東南東方約17.5哩ニ位スル火山島ナリ、全島殆ド草生山ニシテ樹木極メテ少ク火燒山(カシヨーソアン)(高サ277米、從來島民ハ風雨ノ處アルトキ此ノ山頂ニ火ヲ焚キテ出漁者ニ之ヲ報ズルヲ常ト

セルヲ以テ此ノ名アリ)及**阿眉山**(アミソアン)(高サ274米)ノ2峯アリ。島周好錨地ナク風浪高キトキハ寄港不可能ノコトアリ。

激湍 島ノ北西角**鼻頭角**(ピイタオカク)及南東角**帆艘鼻**(パンツオンピー)附近ハ黒潮ノ激スル處ニシテ廣ク激湍ヲ惹起シ、帆艘鼻附近ハ流向甚シク東方ニ偏ス。

中寮灣(海圖233分圖) 火燒島北岸西部ニ於テ極メテ淺ク灣入セル弓形灣ナリ、灣濱ハ一帯ノ沙濱ナレドモ珊瑚礁沿布シ着岸容易ナラズ、然レドモ中寮村落ノ前面珊瑚礁間ニ舟艇ヲ入ルル處アリテ上陸ニ便ナリ。距岸約5鍾、底質軟岩及沙ノ處ヲ錨地トス。

灣ノ東端ニ高サ34米ノ黑色岩アリ、其ヨリ北西方約2鍾ニ水深7.3米、同方向約3.5鍾ニ水深5.4米ノ各岩礁アリ又同ジク同岩ノ北方約7.5鍾ニモ1箇ノ暗礁アリ、時ニ破浪ヲ認ムベシ。灣ノ西端即チ島ノ北西端ナル**鼻頭角**附近ハ淺礁擴延シ、角ヨリ北東方4鍾及4.5鍾ニ各水深5.4米及4.5米ナル岩礁アリ又前者ノ北方2鍾及3.5鍾ニハ水深14.6米及16米ノ2箇ノ岩礁アリ。

海流 黒潮ハ火燒島北西端ヲ繞リテ北側ヲ強流スレドモ中寮灣ノ錨地近傍ハ大ニ流速ヲ減ジ錨泊ニ危険ナルコト少シ。

火燒島燈臺 鼻頭角上ニ在リ、黑白横線塗圓形コンクリート造、燈高50米。

南寮灣(海圖233分圖) 火燒島西岸ノ淺入開灣ナリ、灣濱ハ珊瑚礁沿布シ距岸1鍾ニシテ直ニ水深7.3—12.8米ヲ得ベク5鍾ニ於テハ水深42—144米ト爲ル、底質ハ岩及沙ニシテ好錨地トハ謂ヒ難キモ冬季北東風強吹時ニハ安全ニ錨泊シ得ベシ。錨地ハ元警官派出所ヲ約356度ニ、火燒山ヲ117度ニ望ム距岸2鍾内外ノ處ヲ可トス。

本灣投錨ニ際シテハ南寮村落西方ノ海底ハ岩ニシテ凹凸甚シク錨鎖切斷等ノ虞アルヲ以テ、海底比較的平坦ナル同村落南方ノ部分ニ錨地ヲ選ブヲ可トス、但シ灣ノ南端**龜灣鼻**(クワンピー)ノ北北西方約3.7鍾ニハ水深4.1米ノ暗岩アリ、尙揚錨ノ際ハ十分ノ注意ヲ要スト謂フ。

南寮灣附近ハ潮流常ニ北流スルヲ以テ入泊セントスル船舶ハ動モスレバ之ガ爲ニ鼻頭角ニ壓流セラル、故ニ之ヲ避ケンガ爲ニ火燒山ヲ終始117度ニ保視スル様船首方向ヲ加減シテ航スベシ。

海流 南寮灣ハ黒潮ノ衝ニ當ルヲ以テ常ニ2—4節ノ強流アリ、鼻頭角附近ハ殊ニ甚シク爲ニ激湍ヲ生ズ、而シテ南西風時ニハ更ニ勢力ヲ増シ北東風強吹時ニハ間々其ノ勢力非常ニ減ズルコトアリ、此地ニ泊セントスルモノハ十分ノ注意ヲ要ス又夜間本錨地ニ近接スルコトハ危険ナリト知ルベシ。

ケラン鼻至奇萊鼻

「ケラン」鼻ヨリ奇萊鼻ニ至ル約77哩ノ海岸ハ屈曲少ク其ノ間ニ都鑾灣、新港泊地、成廣澳泊地及花蓮港アリト雖モ花蓮港築港ノ外殆ド風浪ヲ保障スルモノナシ。

新港泊地(海圖220分圖) 「ケラン」鼻ノ北北東方約20哩ニ在リ、南方ニ露開スレドモ三仙臺以南ノ地勢ハ稍北東信風ヲ遮屏シ、**カヤカイ鼻**ヨリ南方ニ擴延セル岩脈ハ約3鍾ニ達シ自然ノ防波堤ヲ成スヲ以テ北東風強吹時ト雖モ錨泊ニ適ス、然レドモ泊地狹隘ニシテ多數ノ船舶ヲ收容シ難ク又底質沙岩ナルヲ以テ暴風季節ニハ安全ナラズ。最良ナル錨地ハ「カヤカイ」鼻岩脈端ノ高サ2.8米ノ西方1.5鍾、水深12.3米、底質沙ノ處トス、此處ハ「ウネリ」ノ侵入ハ免レザレドモ

稍避泊ニ適ス、然レドモ大形船舶ハ尙其ノ外方ニ適當ノ錨地ヲ求メザルベカラズ。

「カヤカイ」鼻ノ北西方約370米ニ在ル旗竿及其ノ西方約730米ノ著樹ハ入港船舶ノ目標ト爲スニ足ル。「カヤカイ」鼻ノ西側ニ防波堤ト船溜（浚渫水深3.6米）トヲ有スル漁港アリ、漁港内北東側ノ沙濱ニハ上陸スルコトヲ得、此ノ濱ニ清水ノ湧出スル處アリ其ノ量多カラザルモ飲料ニ適ス。

新港燈竿 新港漁港東防波堤西端ニ在リ、紅塗圓柱形「コンクリート」造ニシテ燈高13米。

氣象信號 新港ニ在ル氣象觀測所ニ於テ天氣豫報信號標、氣象特報信號標及暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

三仙臺 「カヤカイ」鼻ノ北東方約2.7哩ニ位シ幅廣キ珊瑚礁ヲ以テ纏布セル3岩嶼ニシテ其ノ形極メテ著シク遠望ノ好目標ト爲ル。三仙臺西北西方ノ淺入弓形灣ハ極メテ水深クシテ適當ナル錨地ヲ得ザレドモ、三仙臺西嶼ノ西北西方約6.5鐘、水深14—21米ノ處ハ錨泊スルヲ得ベシ、但シ此處ハ海底岩多ク常ニ「ウネリ」侵入スルヲ以テ保薦シ難シ。

潮流 上記ノ淺入灣内ニハ流速1節以下ノ潮流アリ、海岸ニ沿ヒテ南流及北流スルガ如シ。

三仙臺燈臺 三仙臺中央嶼ノ東頂ニ在リ、高サ3.3米ノ白塗八角形コンクリート造、燈高59米。

成廣澳泊地（海圖220分圖） 三仙臺ノ北方約2哩、小灣成廣澳ノ直前距岸約5鐘、水深21米ノ處ハ底質沙ニシテ假泊ニ適ス。

成廣澳ハ南北ノ長サ約2鐘ノ半圓形小灣ニシテ灣口ハ珊瑚礁ヲ繞ラン

船舶ハ1狭口ヨリ出入ス、灣内モ珊瑚礁擴延シ其ノ大部分ヲ閉塞スレドモ南北兩隅ハ水深2.1—2.4米、北東信風季ト雖モ波浪ナク100石積以内ノ小船2—3隻ハ安全ニ避泊シ得ベシ、故ニ沿岸廻リノ支那型船ハ1—2隻繫泊スルヲ見ルコトアリ、然レドモ灣口ハ磯波高キヲ以テ出入ノ際ハ注意セザルベカラズ。

花蓮港 花蓮溪口ト奇萊鼻トノ前ニ成レル露開港ニシテ其ノ港域ニハ「ウネリ」侵入シ長時ノ錨泊ニ堪ヘズ、然レドモ實驗ニ徴スルニ春季ノ終ヨリ夏季ノ半迄ハ錨泊ニ危險ナルコト稀ナリ又花蓮溪出水ノトキハ土沙ヲ流出シ港内ノ水深ニ大變化ヲ起スモノノ如シ。本港モ亦臺東港ノ如ク冬ノ北東風季ト雖モ早朝ハ必ズ北西風強吹シテ北東風ノ爲ニ起ル強濤ノ勢力ヲ殺ギ上陸及荷役ニ便利ヲ得シムルコトアリ。最近市街ノ北東方約3軒、從來米崙灣ト稱セン部分ヨリ入りテ北方ニ奧入スル築港完成セシヲ以テ之ニ入ルトキハ荷役及上陸安全ナリ。長サ1,330米ノ東防波堤及長サ200米ノ西防波堤ヲ築出シ港首西側ニ側傍水深7.5米、長サ410米ノ繫船岸壁アリ。

氣象 卷末氣象表第8（花蓮港氣象表）参照。

港灣設備 花蓮港築港ニ於ケル主ナル港灣設備次ノ如シ。

築港港口附近

西防波堤 {長サ200米}

東防波堤 {長サ1,330米}

入港水路 {水深7.5米、長サ東防波堤南端附近ヨリ約900米、最狭幅水面70米及海底50米}

築港奥部繫船港

繫船岸壁 { 西側、長サ 410 米、壁側水深 7.5 米、3,000 噸級船 3
隻同時接岸可能

繫船港岸石垣 { 北側及東側、北側ハ長サ 180 米、東側ハ長サ 360
米及岸側水深 3.6 米、全部小蒸汽船及漁船繫船用

目標 市術西部ノ煙突、市術東側花岡山頂北部ノ旗竿、其ノ北方ノ白色著屋、米崙溪口附近ノ鐵橋等ハ顯著ナリ。市術北方ノ米崙山(ビイルンソアン)ハ草生山(高サ 107 米)ニシテ東方ニ膨出セル平原ヨリ孤立シ居ル爲遠望識別シ易ク花蓮港ヲ認ムルノ好目標ナリ。

花蓮港燈竿 花蓮港驛ノ東北東方ニ在リ、高サ 11 米ノ白塗鐵造、燈高 29 米。

花蓮港防波堤燈臺 東防波堤南端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造、燈高 22 米。

花蓮港第 1 挂燈浮標 花蓮港防波堤燈臺ノ南西方約 470 米ニ碇置ス、上部櫓形下部圓筒形黑塗鐵造、燈高水面上 3.7 米(昭和 17 年流失)。

花蓮港第 2 挂燈浮標 花蓮港防波堤燈臺ノ西北西方約 160 米ニ碇置ス、上部櫓形下部圓筒形黑塗鐵造、燈高水面上 3.4 米。

花蓮港導燈 低燈ハ東防波堤北端附近ニ在リ、綠塗八角形「コンクリート」造、燈高 11 米。高燈ハ低燈ヨリ南南西方約 500 米ニ在リ、紅塗八角形「コンクリート」造、燈高 20 米。

2 燈一線 $22\frac{1}{2}$ 度 ($202\frac{1}{2}$ 度)ニ見テ航進セバ安全ナル出入路ヲ導ク。

錨地 花蓮港燈竿ヨリ約 129 度約 6.5 鏈ノ處ハ水深 16—18 米、底質沙ニシテ錨泊ニ可ナリ。從來定期船ハ南方旗竿ノ前面ニ於テ陸岸ニ近ク双錨泊ヲナシ荷役ヲ行ヒ來レリ。

上陸所 嘗テハ花蓮港燈竿南東方ノ沙濱ヲ使用シ平底舟ヲ以テ之ニ乗上グルノ法ヲ行ヒ居リシモ近時此ノ海岸ハ小石多ク舟艇引揚ニ困難ト爲リシ爲海岸驛地先ノ沙濱ニ上陸所ヲ變更シ荷役モ此ノ附近ニテ行フコトトセリ、但シ常ニ「ウネリ」ヲ受ケ天氣晴穩ノトキト雖モ作業平易ナラザルハ勿論ナリ、然ルニ今後ハ最近竣工スシ築港ヲ用フレバ總テ此等ノ不便ヨリ免カレ得ルコト必常ナリ。

氣象信號 花蓮港測候所ニ於テ天氣豫報信號標、氣象特報信號標及暴風警報信號標ヲ掲揚ス。

奇萊鼻(キライビー)〔米崙鼻〕 花蓮港築港ノ北北東方約 1 湮ニ在ル鈍岬角ナリ。

奇萊鼻燈臺 奇萊鼻上ニ在リ、高サ 9.3 米ノ白塗四角形コンクリート造。燈高 28 米。

奇萊鼻至三貂角

臺灣東岸ノ北部ニシテ東岸全長ノ約 $\frac{1}{3}$ ヲ占ムル區域ナリ。

奇萊鼻至蘇澳港北角

此ノ區域中奇萊鼻ト其ノ北方約 8 湮ノ擢基利溪(クッキリ)口トノ間ハ開灣ヲ成シ非常ナル深水ニシテ距岸 1 湮ノ處水深 588 米ニ達ス、其ノ沿岸ハ一般ニ平原ヲ成シ内方ノ山腹及溪間ニハ多數ノ蕃社アリ。擢基利溪口近傍ヨリ蘇澳港ニ至ル沿岸ハ一帶ノ深水ニシテ其ノ間ニ大清水溪、大濁水溪、大南澳溪等開口ス、各溪口ハ小平地ヲ成シ沙濱ヲ有スレドモ、其ノ他ハ概ネ 1,500—2,500 米ノ高峯海岸ヨリ隆起シ山腹削レルガ如キ絶壁ヲ成シ又著シキ赤色崖ヲ交フル處アリ、而シテ其ノ山腹ニ蕃屋ノ散點スルヲ見ル。

烏石鼻(オチョビー) 擢基利溪口ノ北東方約 23 湮ニ在リ、東方

へ突出セル高サ約90米ノ圓錐形岬ニシテ北方龜山島近傍ヨリ望ムトキハ孤島ノ如ク頗ル顯著ナリ。

猴猴鼻 (カウカウピー) 烏石鼻ノ北方約6浬ニ位シ蘇澳港口ノ南端ヲ成セル岬角ニシテ鼻端ヨリ約120米ノ間礁脈突出ス。鼻ノ東端ヨリ東南東方約1.7浬ノ處ニハ水深2米ヨリ淺サ孤立岩アリ。

蘇澳港 (スオウ) (海圖239分圖) 烏石鼻ノ北方約6.5浬ニ在リテ臺灣東岸ニ於ケル唯一ノ天然ノ好避泊地トス、港口ノ幅及灣入各約1.2浬、南東方ニ露開シ三方山岳ヲ繞ラス。港内ニ2支灣アリ、其ノ南隅ニ在ルヲ**南方灣** (ナムホン) ト謂ヒ北東隅ナルヲ**北方灣** (パクホン) ト稱ス、北方灣ハ南一南東以外ノ風波ヲ避ケ1—2隻ノ船舶水深9.1米ノ處ニ碇泊スルヲ得ベシ、南方灣ノ南濱ニハ丁字形ノ修築漁港 (水深1.8—2.7米) アリ、12月至翌年4月ノ漁期ニハ多數ノ漁船來集シ附近沿岸ニ於ケル漁業ノ根據地トシテ利用セラル。

當港ハ南東方ニ露開セルヲ以テ冬季北東信風強吹中ノ最良ナル避難港ナレドモ、夏季低氣壓ノ爲南東方ヨリノ「ウネリ」アル場合恐ルベキハ風威ヨリモ寧ロ強濤ニ在リ、南東方ヨリ進來セル「ウネリ」ハ港内ニ追込マルルモ掃ケロヲ有セザルヲ以テ勢ヒ大海嘯ト爲ル、從來當港ニテ相次デ發動機船ノ遭難セルハ之ガ爲ニシテ大形船舶ト雖モ避難ノ時機ヲ失スレバ逸出ノ途ナク難破ヲ免レズ、從ツテ斯カル場合漁港以外港内ノ碇泊ハ絶對ニ危險ナリト謂フ。

港内ハ臺灣東岸中ノ他ノ部分ト同様漸次激浪ニ浸蝕セラルト雖モ之ガ爲全般ノ水深ニ大ナル影響ナキモノノ如シ。

潮流 港内ニ於テハ漲潮流ハ岸ニ沿ヒテ南方へ、落潮流ハ北方へ流れ、流速ハ共ニ約1.5節ナリ。

目標 市街北方ノ**七星嶺** (チッセンニア) (高サ228米) ハ入港ノ際ノ好目標ナリ。下記夜標ノ外漁港入口及圳頭溪口南側ノ不動白光燈 (電燈) ハ何レモ光力強大ナルヲ以テ他ノ電燈ト識別容易ニシテ夜間出入船舶ノ好目標ナリ。

蘇澳燈臺 北角附近ニ在リ、高サ7.3米ノ白塗四角形コンクリート造、燈高57米 (昭和17年消灯)。

蘇澳挂燈浮標 中心頭北方水深3.6米ノ礁ノ北側ニ碇置ス、黒塗圓筒形上部櫓形鐵造、燈高水面上3.6米。

障碍物 港口附近北側ニ於テ北角ヨリ西方約4.5浬ノ**北方鼻** (パクホンパイ) ニ至ル海岸附近ニ數箇ノ岩嶼アリ、但シ距岸1.5浬ニ於テハ水深20米ヨリ深シ。

港央ヨリ稍西寄りニ於テ徑約2浬ニ互リ碇布スル珊瑚礁アリ、**中心頭** (チョンシムタウ) ト稱シ礁上數箇ノ岩アリ、其ノ最高岩ハ高サ9.5米。中心頭ノ北方ニハ1浬餘ヲ隔テ水深3.6米ノ暗礁アリ。中心頭ト其ノ南南東方**鼻子頭** (ピアタウ) トノ間ハ水深2米ヨリ淺キ岩礁散在スルヲ以テ稍深水ノ處ナキニ非ザルモ之ヲ航過スルハ安全ナラズ。中心頭ト水深3.6米ノ礁トノ中間ノ西側ニ圓臺形繫船浮標1箇碇置シアリ、鐵道連絡船用トス。

錨地 港口ニ近キ處ニ於テ中心頭ヲ278度ニ、猴猴鼻ヲ178度ニ望ム水深20—23米、底質細沙ノ處ハ錨搔キ善ク偏東風ノ外各方向ノ風ヲ避ケ得ベシ、但シ偏東風時ハ安全ナラズ。中心頭ハ能ク波濤ノ力ヲ挫クヲ以テ淺吃水ノ船舶ハ其ノ風蔭ニ安全ナル錨地ヲ得ベシ。

上陸所 港首ノ中央ニ注ガル**圳頭溪** (蘇澳江) ハ高潮時ニ在リテハ貨物ヲ積載セル大形舟艇ト雖モ出入容易ニシテ溪口内方ニテ荷役ヲ

爲スヲ得ベシ、但シ溪口ハ破浪アルヲ以テ舟艇ノ操縦ニハ注意ヲ要ス、同溪出水ニ際シテハ溪口附近ニ沙洲ヲ生ズルコトナシ、然レドモ溪口ハ絶エズ變移シ水淺キヲ以テ低潮時ニ在リテハ輕小ナル舟艇ト雖モ出入甚ダ困難ナリ。

圳頭溪口南北兩側ニ於ケル港首ノ細沙濱ハ狹長ニシテ北濱ハ南濱ニ比シ其ノ幅廣ク且長シ、沙濱ハ傾斜適度ニシテ舟艇ノ着岸ニ便ナリ。港口幅廣キヲ以テ冬季高濤絶エズ浸入シ港首海岸ハ高サ1米内外ノ波濤ヲ起シ舟艇ノ着岸困難ナルヲ常トス。夏季ハ概シテ平穩ノ日多ク舟艇ノ着岸容易ナリト雖モ一旦南東風強吹スルトキハ激浪港首海岸ヲ襲ヒ舟艇ノ着岸不可能ナルニ至ル、此ノ場合ニ於テハ漁港又ハ比較的平穩ナル北方港ニ於テ貨物等ノ陸揚ヲナスヲ得ベシ。南東風ノ強吹スルハ1年間十數日ニシテ特ニ7月及8月ニ多シ。

氣象信號 圳頭溪口南岸角ニ氣象特報及暴風警報ノ信號標アリ。

給水 市街ノ背面ニ湧泉3箇所アリ、水量多クシテ良質ナリ、其ノ一ハ貯水池ノ設アリテ高潮時ニハ小艇ヲ遣リ汲水シ得ベシ。湧泉ノ上流1鍾餘ニシテ圳頭溪ノ右岸ニ炭酸泉3箇所アリ、其ノ一ハ飲料ニ適ス。圳頭溪ノ流水ハ清澄ニシテ良質ナルヲ以テ飲斜水及罐水ニ供シ得ベキモ冬季降雨連日ニ互ルトキハ濁リ易シ。

南方灣ノ灣首西隅ニ注ゲル溪流アリ、住民ハ之ヲ飲料トス、多少不潔物ヲ混ズレドモ難用水トシテハ良好ナリ。

北角 (海圖 239 分圖) 蘇澳港北側半島ノ東端ヲ成セル高角ニシテ港口ノ北端ナリ。北角ノ東方ニ數箇ノ岩ヨリ成レル**三仙臺** (サンセントアイ) [蘇澳列岩] アリ、其ノ最高岩 (高サ30米) ノ南西方約2鍾ニハ水深4.5米ノ暗岩アリ又最高岩ヨリ南東方約1.5鍾ノ間ハ險惡地

擴延シ其ノ東端ニハ水深2.2米ノ暗岩アリ。

北角ノ東北東方約5鍾ト北東方約7鍾トノ間ハ險惡地擴延シ數箇ノ干出岩及洗岩アリテ概ネ破浪ス。此ノ險惡地ト三仙臺トノ間ニハ幅約3鍾、水深12.8—21米ナル水道アリ、然レドモ海底凸凹ニシテ岩多キヲ以テ危險ナリ。

蘇澳港北角至三貂角

蘇澳港北角ヨリ北北東方三貂角ニ至ル約28浬ノ間ハ弓形ノ彎曲ヲ成シ其ノ弦ニ當ル部分ノ中央ニ龜山島アリ。此ノ海岸ハ概ネ急深ニシテ距岸約1浬ノ處水深20米ヨリ深ク危險ナシ、然レドモ磯波高クシテ短艇ヲ着ケ難ク又平穩ノトキニ非ザレバ諸溪ト河口内ニハ入り難シ。此ノ區域中初ノ17浬間ハ殆ド直條ノ沙濱ニシテ内方ハ廣漠タル平野ニ連リ沙濱上ニハ高サ6米内外ノ沙丘アリ、武荖坑溪、濁水溪及頭圍川ノ3河此ノ海岸ニ於テ海ニ注グ。

殘ノ11浬間ノ磊石濱若ハ岩岸ヨリ成リ内方ハ直ニ峻峻ナル山脈ニ連ル。

武荖坑溪 北角ノ北西方約3浬ニ於テ開口ス、河口狹隘且淺水ニシテ傳馬船ト雖モ高潮時ニ非ザレバ入ルコト能ハズ。

東港口 武荖坑溪口ノ北方約4.5浬ニ位シ冬山川、濁水溪及宜蘭川3流ノ合注口ナリ、平常ハ其ノ幅約1鍾、水深0.6—0.9米ナレドモ出水若ハ激浪ノ爲屢河口ノ位置及水深ニ變化アリ。支那型船ハ高潮ノトキ入河シ上流約8鍾ニ在ル東港迄遡航スルコトヲ得、其ヨリ上流ハ傳馬船ヲ以テ宜蘭ト交通スト謂フ。此ノ共通河口北側ノ沙丘ハ臺形ヲ成シテ稍高ク又河内ニ繫泊セル支那型船ノ帆檣モ河口ニ接近スルトキノ好目標ト爲ル。

龜山島 (クーツアン) 東港口ノ北方約8浬ニ於テ海ニ注ゲル頭圍川河口ノ東方約6浬ノ沖合ニ位シ東西約1.5浬、南北約1浬ノ尖頂島(高サ408米)ニシテ南北ヨリ望ムトキハ恰モ東ニ向ヘル龜ノ如ク見ユ、東岸ト西岸トノ各一部ヲ除ケバ周圍險崖ヲ成ス。三貂角燈臺ノ紅光分弧ハ本島ノ所在ヲ示ス。

此ノ島ハ活火山ニシテ南岸ニ白煙ヲ吐ク處2—3アリ又島ノ東端龜頭岸ノ南側海底ヨリハ硫黃ヲ噴出シ爲ニ海水ヲシテ白濁ナラシム。

龜尾岸 龜山島ノ西端ニシテ之ヨリ礫堆北西方ヘ約100米ノ間擴延ス。此ノ礫堆ノ北側ハ潮流ヲ感セズ、距岸約2鍾、水深20米ヨリ淺キ底質沙ノ處ニ假泊地ヲ得ベシ。

龜卵岩 (クースン) 龜山島西端ノ南方2浬餘ニ在ル高サ9.2米ノ平頂岩ナリ、其ノ西側ニ3箇ノ干出岩アリ、周圍急深ナリ。

大溪燈竿 頭圍川河口ノ北東方約6.5浬、大溪漁港船溜ニ在リ、灯高11米。

第8編

新南群島

本群島ハ北緯7度ヲ南界、北緯12度ヲ北界トシ東經111度30分ヨリ同117度ニ跨ガル區域ニ散在セル嶼礁群ナリ。

險惡地圏外

海圖上點線ヲ以テ示セル險惡地ノ周縁外方ニシテ一般ニ既測又ハ略測ノ地トス。

險惡地圏外北西部

險惡地圏ノ北西側外方ニシテ嶼礁比較的集團シ群島中ノ主要部分ヲ成ス。

北險礁 (ホクケン) (海圖249) 群島最北ノ珊瑚礁脈ニシテ臺灣方面ヨリ來リタルトキ最初ニ取付クベキ嶼ナリ、内部ハ水深22—45米ノ鹹湖ヲ成ス。北險礁ノ縁邊ハ四周淺水ニシテ其ノ北東及南西兩端ニ在ル洗礁上ニハ激シキ破浪アリ。此ノ礁ノ縁邊至近ノ處ハ測深儀ノ鍾索182米ニテモ鍾量尙海底ニ達セズ。

二子島 (フタゴ) 北險礁ノ北西側ニ於テ約1.5浬ヲ隔テ北東—南西ノ方向ニ相對スル2島ノ總稱ニシテ兩島共雜草繁茂ス、支那人漁夫ニシテ屢海南島ヨリ來リ高瀬貝、龜甲等ヲ採集スル者アリ。兩島間ニ幅約1浬、水深約8.4—15米ノ水路アリテ礁内ノ鹹湖ニ通ズ。

2島中**北二子島**ハ長サ約4鍾、高サ3米ニシテ1團ノ矮樹アリ、其ノ中央ニ在ル井戸ヨリ淡水ヲ得、此ノ島ノ南西端ニ近ク高サ2米ノ白色小嶼アリ。**南二子島**ハ長サ約3.5鍾、高サ4.6米。

破浪岩 北險礁ノ北東端部ニ於テ北二子島ノ東方1.5—2.5湮ニ破浪岩ノ1群アリ、**北東礁**ト稱ス又北險礁ノ南西端部ニ於テ南二子島ノ南西方2.5—3.5湮ニモ破浪岩ノ1群アリ、**南西礁**ト稱ス、共ニ長徑約1.3湮ニ及ブ。

三叉礁(ミツマタ) 北險礁ノ東方約16湮ニ在ル珊瑚淺瀬ニシテ北北東—南南西ノ方向ノ長サ12.5湮、幅約6湮アリ、此ノ淺瀬上ニハ多クノ點礁散在シ何レモ水深18米ヨリ淺ク、殊ニ其ノ内ノ北端、東端及南端ニ於ケル3箇所ハ甚ダ淺水ナリ又其ノ縁邊上ニモ處々ニ點礁散在シ内ニ鹹湖ヲ抱擁ス、鹹湖内ノ水深36—62米。三叉礁ノ外側至近ハ測深儀ノ錘索182米ニシテ錘量尙海底ニ達セズ。

千津礁(チヅ)(海圖249) 北險礁ノ南方約20湮ニ位スル東西ノ2珊瑚堆ニシテ全長12湮ニ及ブ、該堆上ニハ沙島、沙洲及多數ノ險礁アリ。此ノ2堆ハ深キ狹水道ニ依リテ分タル。

西方堆 千津礁ノ西方珊瑚堆ハ長サ7湮、最大幅3.3湮ニシテ中央部ハ最大水深34米ノ鹹湖ヲ成ス。西方堆ノ東端ヲ形成スル礁脈上ニ**三角島**ト稱スル長サ約4鍾ナル低沙島アリ、島上ニ小井アリ、其ノ附近ニ少許ノ椰子樹及「ミバセウ」樹立ス。

西方堆ノ南側ハ北側程危險ナラズ、船舶ハ北西側ノ草沙堆ヲ40—315度ニ望ム範圍又ハ該堆南端ノ小礁ト三角島下ノ礁脈トノ間ニ錨泊スルヲ得ベク、此等ノ錨地ハ水深7.3米ヨリ淺カラズ。

東方堆 千津礁ノ東方珊瑚堆ハ長サ4.5湮、幅約1.5湮ノ間ニ成

レル礁及點礁ノ1團ニシテ其ノ西端ハ三角島ノ東方約1.2湮ニ當ル。**須美礁**(スミ)(海圖249分圖) 千津礁西端ノ南南西方約7.5湮ノ處ヲ北端トシ低潮ニ干出スル不齊形ノ珊瑚礁ニシテ北東—南西ノ方向ノ長サ約3.5湮、最大幅約2湮、常ニ破浪シ且周圍急深ナリ。内部ニ鹹湖アルモ之ニ入ルベキ水路ナキモノノ如シ。

鳩礁(海圖249分圖) 千津礁ノ南東方約15湮ニ位スル北東—南西ノ方向ノ長サ約21湮ノ礁脈ニシテ其ノ中央部附近ノ幅約7湮アルモ兩端ニ向ツテ漸次尖細ト成ル、該礁上ニハ1—2ノ草沙堆及數箇ノ珊瑚點礁アリ。

千里堆(チザト)(海圖249分圖) 鳩礁ノ南方約20湮ニ位シ東西ノ長サ約30湮、最大幅約11湮、新南群島中最モ主要ナルモノナリ、此ノ堆ハ干出セル數箇ノ礁脈ニ依リテ1鹹湖ヲ抱擁セルモノヨリ成リ周圍ハ急深ナリ。該礁脈中ニハ島ヲ有スルモノ2箇、草沙堆ヲ有スルモノ1箇アリ、其ノ2島トハ長島及南小島ニシテ兩島ニ茂レル樹木ノ頂ハ8—10湮ノ距離ヨリ望見スルヲ得ベシ又草沙堆ハ之ヲ北小島ト稱ス。鹹湖内ニ於ケル既測ノ最大水深ハ83米ニシテ湖内ニハ水深7—11.9米ナル數箇ノ珊瑚礁頭アリ。

吃水適度ノ船舶ハ必要ノ場合好天氣ノ際ニハ千里堆縁礁上隨處ニ便宜ノ錨地ヲ得ベキモ、此ノ方面一般ニ錘測ノ際發見洩レノ淺水部アルヤセ揣リ難キヲ以テ常ニ相當ノ注意ト警戒トヲ以テ近ヅクヲ要ス。

北小島 北東礁ノ西南西方約5.5湮ニ當リ千里堆ノ北縁上ニ徑約8鍾ノ1礁アリ、其ノ中央ニ近ク位スル高サ約4.6米ノ1草沙堆ヲ北小島ト稱ス。

北小島ト其ノ西方長島トハ1列ノ淺水點礁ニ依リ相連リ、其ノ略中央

＝高潮＝没スル徑約4鏈ノ1礁アリ。此ノ礁ト北小島トノ間＝於テ水深11.3—15米ノ處ハ良好ナル錨地ヲナス。

長島 千里堆ノ西隅＝位スル礁脈上ノ狹長島＝シテ新南群島中ノ主島ナリ、東西ノ長サ約7鏈、島ハ小樹及叢林＝蔽ハレ樹頂迄ノ高サ約7.6米アリ、島内＝井戸ヲ設ク、此ノ井戸ヨリ得ラルル淡水ハ他島＝於ケルモノヨリ比較的良質ナリ。

三角礁 千里堆ノ西端ヲ成セル徑約1湮ノ礁＝シテ高潮＝没ス、其ノ北東端＝近ク1小草沙堆アリ。

南西礁 三角礁ノ南南東方約2.5湮＝在ル長サ約6鏈ノ礁＝シテ千里堆ノ南西端ヲ成シ高潮＝没ス。

南小島 南西礁ノ東方約5.5湮＝當リ千里堆ノ南縁上＝東西ノ長サ約2湮ナル狹長礁アリ、此ノ礁上＝於テ其ノ東部＝位スル長サ約3鏈、幅1鏈ノ小島ヲ南小島ト稱ス、島ノ高サ約6.1米＝シテ小樹及叢樹繁茂ス。

明神礁 (ミヨウジン) 長島ノ西方約45湮＝位シ南支那海ノ此ノ方面＝於ケル最西方ノ險礁ナリ、此ノ礁ハ北東—南西ノ方向ノ長サ約1.5湮ナル狹長礁＝シテ、其ノ南西部＝ハ僅＝隱没セル數箇ノ岩點礁存在シ又其ノ他＝水深1.8—5.5米ノ數箇ノ點礁點在シ危險ナリ。該礁ノ外縁至近ハ水深36—128米ナリ。

險惡地圈外南西部

險惡地圈ノ南西側外方＝シテ嶼礁比較的分散點在ス。

黑洲礁 (クロス) 長島ノ西南西方約90湮ノ處ヲ北東端トシテ南西方＝約14湮擴延スル最大幅約4湮ノ珊瑚礁脈＝シテ數箇ノ干出點礁ヲ有シ最大干出點礁ハ其ノ南西端＝在リ、此等點礁ノ大部ハ輕風ア

ルトキ若ハ輕微ナル「ウネリ」アルトキト雖モ常＝破浪ス。

鐵礁 (クロガネ) 黑洲礁南西端ノ南方約41湮ノ處ヲ東端トシテ其ヨリ西方約38湮ノ間＝擴ガレル4箇 (東鐵礁、中鐵礁、北鐵礁、西鐵礁)ノ礁脈＝シテ附近急深ナリ。南支那海中ノ多クノ險礁＝於ケルト同様、此ノ礁モ亦深水＝圍繞セラレ鍾測＝依リ探知シ得ザルヲ以テ此等礁脈ノ近傍ヲ航行スルトキハ大ナル警戒ヲ必要トス、且船舶ハ太陽＝直面シツツ此等ノ險礁＝向進セザルヲ要ス。

西鳥島 西鐵礁ノ南西方約20湮＝位スル扁平ノ1不毛島＝シテ長サ1.3湮、幅7鏈ナル珊瑚堆ノ西端上＝在リ。

某船ハ該堆ノ北東端＝於テ島ノ兩外端ヲ221度及244度＝、堆ノ西縁＝於ケル破浪ノ外端ヲ264度＝望ム水深約11米ノ處＝投錨セル＝南西風ヲ能ク遮蔽セリト謂フ。低潮＝干出スル石陂島ヲ圍繞スルガ故＝上陸＝ハ警戒ヲ要スルモ南西信風季＝ハ風下側ヨリ上陸スルヲ得ベシ。該堆ハ急深＝シテ海上靜穩ナルトキノ外ハ常＝甚シク破浪ス。

潮汐及潮流 西鳥島＝於テ夏季中觀測セシ處＝據レバ高潮ハ24時間中唯1回ヲ算スルノミ＝シテ、某年7月上旬＝於ケル高潮時ハ午前9時、潮升1.6米ナリキ。上記期間ノ實驗＝據レバ西鳥島堆ノ北東隅＝於テ潮流ノ方向ハ漲潮＝南西方＝向ヒ、落潮＝南東—東北東ノ方向＝向フヲ見タリ。

大瀬 西鳥島ノ南方約30湮、水深3.5米ノ處ヲ中心トシ徑約8湮ノ廣サヲ有スル隱没珊瑚堆＝シテ堆域内＝ハ水深2米以下ノ淺水珊瑚礁頭數箇ヲ算ス。

丸島 姬磯堆最淺部ノ東方約70湮＝位スル1小珊瑚堆ノ南西端＝在ル草沙堆＝シテ長サ約150米、高サ約2米。該珊瑚堆ハ一部干出

シ堆上ハ如何ナル「ウネリ」ニモ常ニ甚シク破浪ス、堆ノ外方ハ急深ナリ、就中丸島北東方ノ部分ハ2鍾ノ幅ヲ以テ約1湮ニ互リ擴延シ該島ヲ距ル約3鍾ノ處ニ於テハ水深7.3米ナルモ堆縁ニ至リテハ急ニ増加シテ16—31米ト爲リ其ノ外方ハ深水ナリ。嘗テ某船ハ南西信風季ニ該北東方擴延堆上水深9.1米ノ處ニ錨泊セシガ丸島ニ依リテ可ナリ良ク此ノ流行風ヲ避ケ得タルコトアリ。

明治22年此ノ地ニ寄島シタル某船ノ報告ニ依レバ丸島ノ中央ヨリ371度0.5—1湮ノ間ニ水深3.7—4.6米ノ1礁アリト謂フ。

潮流 丸島ニ於ケル小潮前2日間ノ觀測ニ據レバ潮流ノ最大流速ハ1.4節ニシテ、漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ西方ニ向ヒ、當時漲潮流ハ午後11時、落潮流ハ午前6時ニ始リシト謂フ、潮升ハ明瞭ナラズ。

險惡地圈外南東部

險惡地圈ノ南東側外方ニシテ Palawan Passage 南部ニ在リ、花栗礁、翁礁、福瀨等ナリ。

潮流 福瀨ニ於テハ漲潮中流向北東方ニ向フヲ驗セリ。

險惡地圈内

海圖上點線ヲ以テ示セル險惡地圈内ニハ長瀨礁、西青島、相生礁、龜甲島、南洋島、五ツ礁、二見礁、金輪堆、飛鳥島、帆上ノ瀨、三門礁、中富礁、有明礁、南富礁、蓬萊礁等ノ諸險礁ノ外全ク未知ノ險礁及多數ノ淺瀨存在スルヲ以テ船舶ハ此ノ區域ヲ通航スベカラズ。

氣象表

凡例

1. 氣壓ハ耗ヲ以テ示シ温度、重力及海面更正ヲ施シタルモノヲ示ス。
2. 氣温ハ攝氏ノ度ヲ以テ示シ氷點下ハ(—)符號ヲ以テ示ス。
3. 濕度ハ飽和ヲ100トシ100分率ヲ以テ示ス。
4. 降水量ハ耗ヲ以テ示ス。
5. 風向ハ記法ノ如何ニ拘ラズ眞方位ヲ示ス。
6. 風速ハ $\frac{1}{10}$ ヲ以テ示ス。
7. 暴風日數ハ風速度10 $\frac{1}{10}$ 以上ノ風ニ達シタル日ヲ示ス。
8. 快晴日數ハ平均雲量2未滿ノ日ヲ示ス。
9. 曇天日數ハ平均雲量8以上ノ日ヲ示ス。
10. 降水日數ハ降水量0.1耗以上ニ達シタル日ヲ示ス。
11. 降雪日數ハ現象ノアリタル日ヲ示ス。

第1

名瀨氣象表

月	平均氣壓	氣 溫			濕 度		降 水 量		風			平均雲量	天 氣 日 數						
		平均	最高	最低	平均	最小	總量	最大	平均	平方	平均		最速	最方	最速	快晴	雲天	雨天	霧
1	765.7	14.3	17.6	11.2	73.0	39	200.1	113.6	N 7E	4.1	N	16.0	8.1	0.5	20.2	22.7	0.0	3.1	
2	764.4	14.2	17.3	11.2	73.2	40	210.6	135.7	N 4E	4.2	N	15.5	8.5	0.2	20.5	21.4	—	2.2	
3	763.5	16.2	19.6	13.0	73.0	37	210.8	131.5	N 31E	3.8	N	15.3	8.1	0.5	20.3	20.2	—	2.8	
4	761.3	19.4	22.9	16.1	76.0	34	260.9	210.6	S 44E	3.2	S	12.5	8.0	1.0	19.3	18.8	—	1.2	
5	758.6	21.8	25.7	18.5	77.6	34	319.8	547.1	S 28E	2.6	S	16.1	8.1	0.7	19.8	19.3	—	0.2	
6	756.4	25.3	28.9	22.3	79.7	30	406.8	365.4	S 5E	2.5	S	19.0	8.2	0.4	20.2	19.9	—	0.4	
7	756.5	27.4	31.2	24.2	79.0	44	245.7	225.7	S 17E	2.5	S	23.7	6.9	1.2	13.4	18.0	—	0.4	
8	755.3	27.5	31.2	24.4	80.1	43	332.2	407.0	S 34E	2.8	S	30.3	6.7	1.1	12.5	19.8	—	1.2	
9	757.7	26.0	29.8	23.0	79.9	39	269.1	213.3	S 50E	2.9	S	26.7	6.6	1.6	11.6	19.8	—	2.2	
10	761.2	22.7	26.4	19.5	75.8	40	306.2	240.7	N 55E	3.3	N	29.5	7.2	1.1	15.3	18.6	—	2.2	
11	764.1	19.3	22.7	16.2	73.2	32	230.9	421.5	N 31E	3.7	N	24.3	7.8	0.5	18.1	16.9	—	1.4	
12	765.5	15.9	19.2	12.8	71.9	40	176.1	152.5	N 8E	4.0	N	15.9	7.9	0.8	19.0	20.8	—	4.0	
全年	760.8	20.8	24.4	17.7	76.0	303	169.2	547.1	S 70E	3.3	N	30.3	7.7	9.6	210.2	236.2	0.0	21.3	
觀測年數		1897			1897	1897	1897	1897	1897	1898	1897	1897		1897	1897	1897	1897	1897	1923
			1926			1929	1926	1929	1925	1929	1923	1929		1926	1926	1926	1926	1927	

那霸氣象表

月	平均氣壓		氣溫		濕度		降水量		風			天氣日數					
	平均	最高	最低	平均	平均	最小	總量	最大	平均	最頻	最速	最速	快晴	曇天	雨天	霧	暴風
1	765.3	16.2	19.5	13.1	75.0	37	134.7	149.2	N35E	4.3	NE	17.5	1.4	17.0	19.0	0.1	5.8
2	764.3	15.9	19.2	12.9	75.3	37	137.1	88.2	N31E	4.4	N	17.8	0.6	17.2	17.5	0.1	5.5
3	763.2	18.0	21.3	14.8	77.4	37	154.8	197.9	N54E	3.8	N	24.3	1.0	18.7	17.6	0.1	3.6
4	761.0	20.9	24.3	17.8	80.8	40	155.8	351.8	S84E	3.1	S	22.3	1.1	17.1	15.6	0.1	3.5
5	758.4	23.2	26.6	20.2	82.7	34	224.9	206.1	S83E	2.9	S	19.8	1.1	18.1	16.7	0.2	0.2
6	756.7	26.4	29.7	23.7	84.6	43	253.8	184.4	S3W	2.7	SSW	23.6	0.9	16.1	16.0	—	0.4
7	755.9	28.0	31.6	25.1	81.3	46	181.2	232.4	S25E	2.8	S	25.7	1.7	9.3	15.9	0.1	1.6
8	754.8	27.8	31.3	25.0	82.3	47	255.4	245.8	S61E	3.2	SE	32.0	2.2	8.9	18.7	—	4.5
9	756.9	26.6	30.3	23.8	81.3	39	179.9	185.1	N68E	3.5	NE	45.0	3.1	7.9	17.5	0.0	6.5
10	760.6	23.9	27.4	20.8	77.9	39	166.9	248.2	N43E	3.8	NE	33.9	3.4	10.4	15.7	0.0	5.4
11	763.1	20.8	24.1	17.9	76.0	37	149.3	427.0	N42E	4.3	NE	32.9	1.7	14.6	15.7	—	7.0
12	765.1	17.6	21.0	14.6	74.1	34	109.7	107.0	N37E	4.3	NE	17.2	1.7	16.0	16.5	0.0	8.8
全年	760.5	22.1	25.5	19.1	79.1	34	2103.5	427.0	N64E	3.6	NE	45.0	19.9	171.3	202.4	0.8	52.8
觀測年數	1897		1897		1890		1897	1891	1900	1897	1897	1891	1897		1897		1923
	1926		1926		1929		1926	1929	1925	1926	1923	1929	1926		1926		1927

石垣島氣象表

月	平均氣壓		氣溫		濕度		降水量		風			天氣日數					
	平均	最高	最低	平均	平均	最小	總量	最大	平均	最頻	最速	快晴	曇天	雨天	霧	暴風	
1	764.9	18.1	21.3	14.9	77.5	42	148.3	136.2	N44E	4.9	NE	18.6	1.2	20.0	20.5	0.2	0.7
2	764.0	17.7	21.0	14.4	77.8	38	127.8	157.8	N44E	4.8	NE	17.9	1.0	18.0	17.4	0.2	3.5
3	762.8	19.8	23.0	16.6	79.9	30	122.3	115.5	N65E	4.9	NE	17.1	0.9	19.1	17.6	1.0	3.2
4	760.5	22.4	25.6	19.3	82.2	35	129.1	169.1	S85E	4.4	NE	16.1	1.1	15.9	15.3	1.1	3.0
5	757.9	24.8	28.0	21.7	82.9	34	203.9	189.4	S74E	4.3	NE	16.9	1.5	15.8	17.0	0.5	1.2
6	755.8	27.2	30.1	24.3	84.1	45	200.1	180.4	S1W	5.1	S	41.2	1.7	12.7	16.2	0.2	2.8
7	755.1	28.3	31.3	25.1	80.8	47	202.8	257.6	S14E	5.3	S	44.3	3.9	7.4	16.3	—	4.2
8	754.1	28.0	31.0	24.8	81.8	46	235.5	231.4	S31E	5.1	S	46.5	3.4	9.4	17.7	0.2	5.4
9	756.6	26.9	30.3	23.5	80.2	41	258.2	349.5	N58E	4.9	NE	48.6	3.4	7.9	18.6	0.0	5.0
10	760.3	24.6	28.0	21.4	77.9	38	231.4	245.3	N43E	5.0	NE	39.6	2.8	11.8	17.6	0.1	3.6
11	763.0	21.9	25.1	18.7	76.4	41	171.5	229.0	N43E	5.2	NE	18.7	1.3	16.5	19.2	0.1	1.4
12	764.6	19.2	22.3	16.1	77.2	40	170.7	172.3	N50E	5.2	NE	19.0	0.7	19.4	20.7	0.1	3.2
全年	760.0	23.2	26.4	20.1	79.9	30	2201.6	349.5	N68E	4.9	NE	48.6	22.9	173.9	214.1	3.8	37.2
觀測年數	1897		1897		1897		1897	1897	1897	1900	1897	1900	1897		1897		1923
	1926		1926		1929		1926	1929	1925	1929	1923	1929	1926		1926		1927

臺北氣象象表

月	平均氣壓		氣溫			濕度		降水量		風			平均雲量				天氣日數			
	平均	最高	最低	平均	最小	總量	最大	平均	最多次	平均	最多次	最快速度	最快速度	最快速度	最快速度	快晴	曇天	雨天	霧	暴風
1	766.0	15.3	19.2	12.4	83.9	32	87.0	50.0	N78E	3.5	E	11.1	7.9	2.0	19.7	16.3	1.7	0.5		
2	765.1	14.7	18.4	11.9	84.1	34	132.4	58.6	N77E	3.3	E	10.9	8.2	1.4	19.6	16.8	1.6	0.4		
3	763.4	17.0	20.9	14.0	84.3	31	174.6	70.0	N72E	3.6	E	13.9	8.1	1.4	20.9	17.0	1.6	1.1		
4	760.6	20.6	24.8	17.2	83.0	30	161.0	116.4	N69E	3.2	E	11.2	7.8	1.3	17.8	15.4	0.7	0.9		
5	757.7	23.9	28.4	20.5	81.8	32	234.9	157.8	N76E	2.9	E	13.2	7.5	1.5	17.0	16.5	0.8	0.5		
6	755.2	26.6	31.4	22.9	80.7	29	289.2	199.2	N77E	2.3	E	19.0	7.3	1.1	14.6	15.5	1.0	0.6		
7	754.4	28.1	33.2	24.2	77.2	27	209.4	189.9	N64E	2.5	E	20.3	5.8	3.1	8.2	13.6	0.4	1.6		
8	753.8	27.8	32.7	24.1	78.1	37	309.1	287.3	N70E	2.9	E	30.5	5.9	3.4	9.3	15.1	0.4	2.4		
9	757.0	26.1	30.8	22.5	79.8	34	254.6	232.0	N83E	3.1	E	30.6	5.7	5.4	9.4	14.1	0.3	1.3		
10	761.4	22.9	27.2	19.7	81.3	41	125.0	198.7	N81E	3.7	E	22.5	6.7	3.9	14.5	14.8	0.6	0.9		
11	764.2	19.7	23.6	16.7	81.3	37	69.3	57.2	N81E	4.0	E	14.2	7.3	2.7	17.2	15.5	1.1	0.8		
12	765.7	16.7	20.6	13.8	82.9	27	72.4	79.3	N80E	3.7	E	10.5	7.6	2.2	18.9	15.6	1.3	0.3		
全年	760.4	21.6	25.9	18.3	81.5	27	2118.9	287.3	N81E	3.2	E	30.6	7.1	29.4	186.9	186.2	11.5	11.2		
觀測年數	1897			1897			1897		1897			1897				1897				
	1929			1926			1929		1923			1929				1929				

臺中氣象象表

月	平均氣壓		氣溫			濕度		降水量		風			平均雲量				天氣日數			
	平均	最高	最低	平均	最小	總量	最大	平均	最多次	平均	最多次	最快速度	最快速度	最快速度	最快速度	快晴	曇天	雨天	霧	暴風
1	764.4	15.8	21.9	11.5	81.0	27	34.5	89.0	N 2W	2.3	N	10.5	5.5	6.1	9.6	7.9	2.6	0.1		
2	763.7	15.4	21.1	11.5	81.9	29	63.7	59.2	N 5W	2.3	N	16.2	6.3	4.4	11.9	10.9	2.4	0.2		
3	762.3	18.1	23.5	14.4	83.1	27	101.5	86.7	N11W	2.0	N	11.8	6.6	3.2	13.8	12.2	2.0	0.2		
4	760.0	21.8	26.9	18.1	82.7	30	129.0	133.8	N23W	1.7	N	8.9	6.6	2.3	13.0	11.0	0.8	—		
5	757.5	25.0	29.8	21.4	82.4	35	245.8	143.0	N49W	1.5	N	11.4	6.6	2.2	13.2	13.6	0.4	0.0		
6	755.5	26.7	31.5	23.1	81.9	41	340.5	284.9	N32W	1.7	S	12.8	6.9	1.4	12.9	16.5	0.1	0.1		
7	754.7	27.6	32.5	23.9	80.4	46	274.0	305.3	N47W	1.6	S	14.7	6.2	1.4	9.8	15.1	0.1	0.3		
8	754.0	27.3	32.1	23.8	82.0	37	341.7	411.6	N44W	1.6	S	21.1	6.5	1.4	11.2	17.8	0.1	0.4		
9	756.3	26.3	31.6	22.5	80.6	35	154.6	294.7	N16W	1.7	N	26.6	4.9	5.1	5.6	8.4	0.1	0.5		
10	759.7	23.6	29.6	19.5	79.0	35	23.2	205.3	N 7W	1.9	N	18.8	4.2	9.6	5.7	3.6	1.1	0.2		
11	762.2	20.2	26.4	16.0	78.8	23	19.4	61.0	N 4W	2.1	N	14.1	4.7	8.6	7.4	5.4	1.5	0.2		
12	763.9	17.2	23.2	12.9	80.4	26	22.8	34.2	N 2W	2.2	N	14.0	4.8	7.6	7.5	6.3	2.1	0.2		
全年	759.5	22.1	27.5	18.2	81.2	23	1750.7	411.4	N16W	1.9	N	26.6	5.8	53.3	121.5	127.8	13.3	2.5		
觀測年數	1897			1897			1897		1897			1897				1897				
	1929			1929			1929		1923			1929				1929				

恒春氣象表

月	平均氣壓		氣溫		濕度		降水量		風				天氣日數							
	平均	最高	最低	平均	平均	最小	總量	最大	平均	方向	平均	最頻	最速	最強度	快晴	曇天	雨天	霧	暴風	
1	763.4	20.4	24.1	17.6	74.3	33	24.7	37.7	N41E	5.4	NE	19.8	5.6	4.0	8.1	9.1	0.0	11.4		
2	762.7	20.3	24.3	17.3	74.4	41	29.7	94.8	N39E	4.9	NE	19.1	5.4	4.1	6.8	7.9	0.0	8.6		
3	761.6	22.2	26.4	19.2	74.9	35	22.5	111.6	N47E	4.6	NE	17.8	5.4	3.4	6.8	7.1	0.0	8.1		
4	759.6	24.5	28.8	21.4	77.2	32	50.7	111.8	N51E	3.7	NE	17.6	5.4	3.7	7.4	8.0	—	3.5		
5	757.3	26.3	30.5	23.4	79.4	42	186.3	380.2	N33E	3.2	NE	26.8	6.1	2.1	10.2	12.9	—	2.0		
6	755.6	27.3	30.8	24.6	83.8	47	373.4	270.9	N49W	2.9	W	28.2	6.6	2.0	11.6	18.2	—	0.9		
7	754.8	27.5	31.0	24.7	84.3	49	467.2	408.1	N55E	3.0	E	21.4	6.1	2.4	10.4	20.5	—	1.5		
8	754.1	27.1	30.5	24.6	85.5	49	561.6	395.5	N19W	3.1	NW	39.8	6.9	2.1	14.1	22.3	—	2.0		
9	756.3	26.6	30.4	23.9	81.8	43	272.5	243.9	N47E	3.1	NE	29.7	5.9	2.7	8.5	17.2	—	3.0		
10	759.4	25.2	28.7	22.8	77.2	39	146.5	228.3	N45E	4.8	NE	27.2	5.5	4.4	7.9	12.1	—	7.5		
11	761.5	23.2	26.5	21.0	73.9	43	35.8	85.2	N42E	6.2	NE	22.5	5.5	4.6	8.3	9.4	—	12.7		
12	762.9	21.3	24.5	18.9	73.2	34	16.9	34.1	N41E	6.2	NE	24.2	5.5	4.3	8.5	8.2	—	14.9		
全年	759.1	24.3	28.0	21.6	78.3	32	2187.9	408.1	N41E	4.3	NE	39.8	5.8	39.7	108.5	152.6	0.1	176.0		
觀測年數																				
	1897				1897		1897					1897		1897				1897	1897	1897
	1929				1926		1929					1923		1929				1929	1926	1926

臺東氣象表

月	平均氣壓		氣溫		濕度		降水量		風				天氣日數							
	平均	最高	最低	平均	平均	最小	總量	最大	平均	方向	平均	最頻	最速	最強度	快晴	曇天	雨天	霧	暴風	
1	764.6	19.0	23.3	15.7	74.2	35	42.2	65.5	N 2W	3.7	NNW	13.3	7.8	0.7	18.0	11.5	—	—	1.7	
2	763.8	18.8	23.1	15.4	75.0	33	42.9	56.5	N 3W	3.7	NNW	16.6	8.0	0.4	17.6	10.2	—	—	1.7	
3	762.4	20.7	25.0	17.3	77.1	25	57.1	54.3	N 1W	3.4	NNW	13.8	8.0	0.9	19.4	12.7	—	—	2.0	
4	760.0	23.1	27.4	19.6	79.4	26	78.0	87.5	N 2E	2.8	NNW	13.3	7.6	0.7	17.0	15.3	—	—	1.1	
5	757.5	25.1	29.2	21.7	82.0	32	177.0	166.9	N 4E	2.5	NW	16.0	7.5	0.9	16.8	19.0	—	—	0.9	
6	755.2	26.9	31.0	23.2	81.8	27	201.1	273.1	N 31W	2.4	NW	15.1	6.4	2.9	10.9	13.4	—	—	1.7	
7	754.6	27.4	31.5	23.8	81.1	36	372.7	467.5	N 15W	2.4	NW	17.4	5.6	4.8	9.2	12.7	—	—	1.8	
8	753.8	27.2	31.4	23.7	81.5	33	299.1	414.4	N 9W	2.5	NW	26.9	6.1	3.4	10.6	14.3	—	—	1.9	
9	756.6	26.3	30.6	23.0	80.5	42	268.5	221.4	N 2E	2.7	NW	20.2	6.3	2.6	10.9	15.1	—	—	1.4	
10	760.3	24.3	28.5	21.1	77.4	35	181.2	240.8	N 5E	3.4	NNW	32.4	6.8	1.7	13.3	12.7	—	—	2.0	
11	763.0	22.0	26.1	18.8	74.9	36	51.0	112.1	N 4E	3.7	NNW	16.1	7.3	1.1	14.4	9.6	—	—	2.9	
12	764.2	19.9	24.0	16.7	74.4	35	39.1	99.2	N 9W	3.7	NNW	16.6	7.8	0.5	18.0	9.6	—	—	1.8	
全年	759.7	23.4	27.6	20.0	78.3	25	1809.9	467.5	N	3.1	NNW	32.4	7.1	20.6	176.1	156.2	—	—	20.9	
觀測年數																				
	1901				1901		1901					1901		1901				1901	1901	1901
	1929				1929		1929					1923		1929				1929	1926	1926